

このたびは **i MiEV** をお買い上げいただき、ありがとうございます。

J09200102833

この取扱説明書は、お客様のお車をいつも安全・快適に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。

また、お車のお手入れや万一のときの処置についても記載してありますので、ご使用前に必ずお読みください。

「i-MiEV を正しく理解していただくために」および「安全なドライブのために」は重要ですので、しっかりお読みください。

安全に関する表示

- 運転者や他の人が傷害を受けるおそれがあることと、その回避方法をつぎの表示で記載しています。重要な事項ですので必ず読んでお守りください。



警告

記載事項を守らないと、死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。



注意

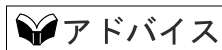
記載事項を守らないと、傷害や事故につながるおそれがあること。



安全のためにしてはならない行為。(イラスト内に表示されています)

その他の表示

- お車に関することやその他のアドバイスは、つぎの表示で記載しています。



お車のために守っていただきたいこと。
知っておくと便利なこと。

タイプ別装備

オプション装備に表示しています。

- お車や装備品に貼られているラベルなどに表示されているマークの意味は、つぎの通りです。



取扱説明書をお読みください。

- 取扱説明書は車の中に保管してください。
- 保証および点検、整備内容については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。
- 三菱自動車販売会社で取り付けられた装備の取り扱い要領については、その装備に添付の取扱説明書をお読みください。
- お車をゆずられるときは、取扱説明書およびメンテナンスノートをお車につけておいてください。

- 装備仕様の変更などにより、本書の内容がお客様のお車と合わないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点は、担当営業スタッフにお問い合わせください。

目次

絵で見る目次	1
i-MiEVを正しく理解していただくために	2
安全なドライブのために	3
環境にやさしく快適なドライブのために	4
充電	5
各部の開閉	6
安全装備	7
計器盤・スイッチ	8
運転装置	9
室内装備	10
エアコン	11
オーディオ	12
簡単な整備・車のお手入れ	13
寒冷時の取り扱い	14
もしものときの処置	15
サービスデータ	16
さくいん	17

ハンドルまわり

J00100802517

ライトスイッチ P.8-14
方向指示レバー P.8-18
フロントフォグランプスイッチ P.8-19

ワイパー・ウォッシャースイッチ
P.8-20, 8-22

回生レベルセクター
(パドル式) P.9-9

運転席 SRS エアバッグ
P.7-20, 7-22

ホーンスイッチ P.8-23

パワースイッチ P.9-4

メーター P.8-2
表示灯・警告灯 P.8-10

ドアミラー調整スイッチ P.9-3
アクティブスタビリティ
コントロール (ASC)
OFF スイッチ P.9-18
リヤウインドウデフォグガー
(曇り取り) スイッチ P.8-22

ボンネットオープナー
P.6-29

普通充電リッドオープナー P.5-11

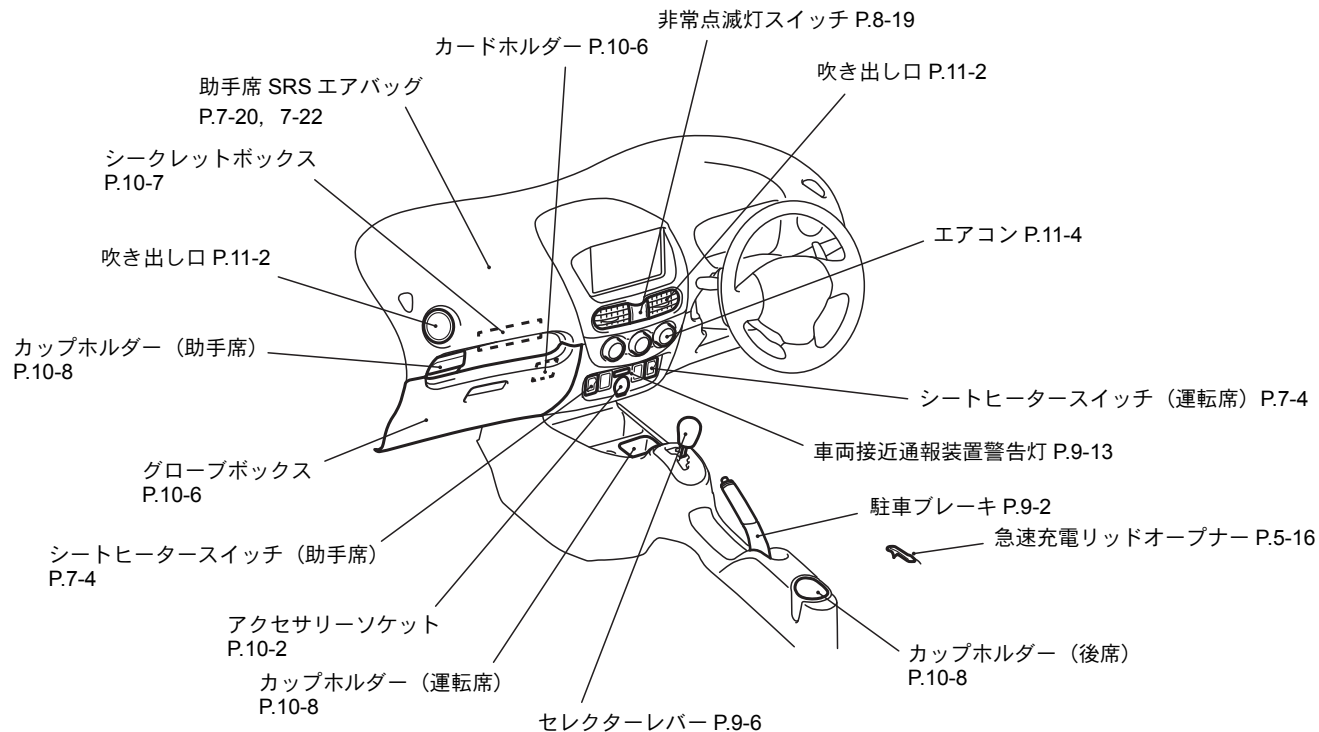
・ 装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AJ5105338

計器盤まわり

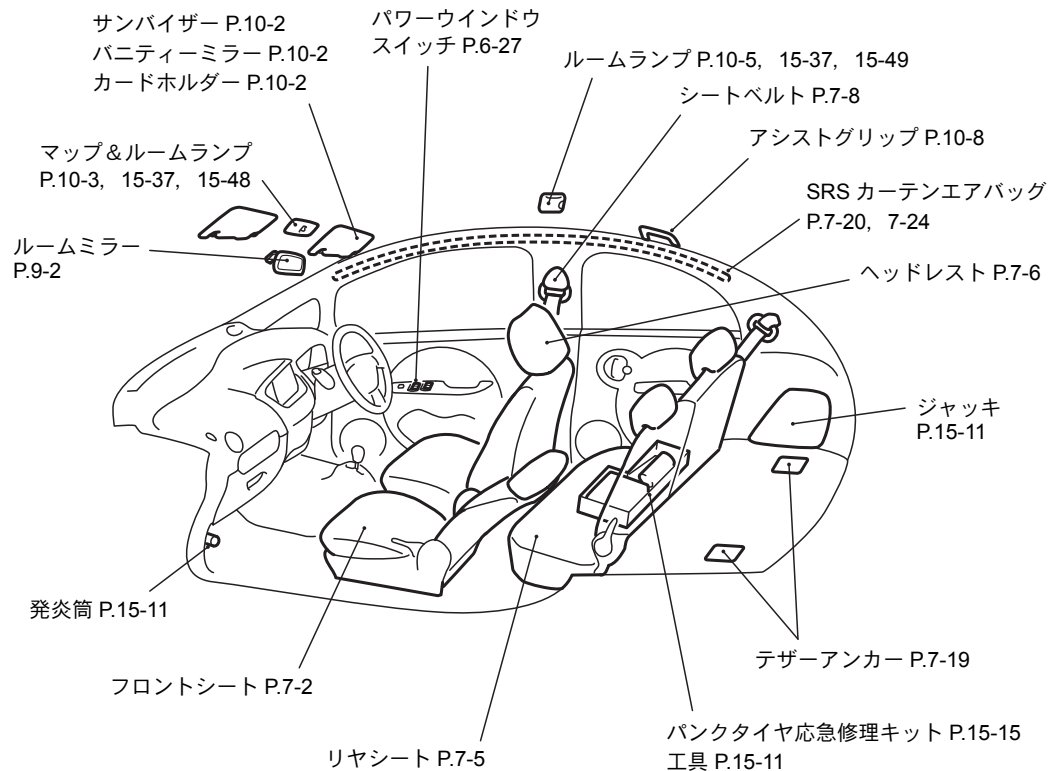
J00100103315

1



・ 装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AJ5107459

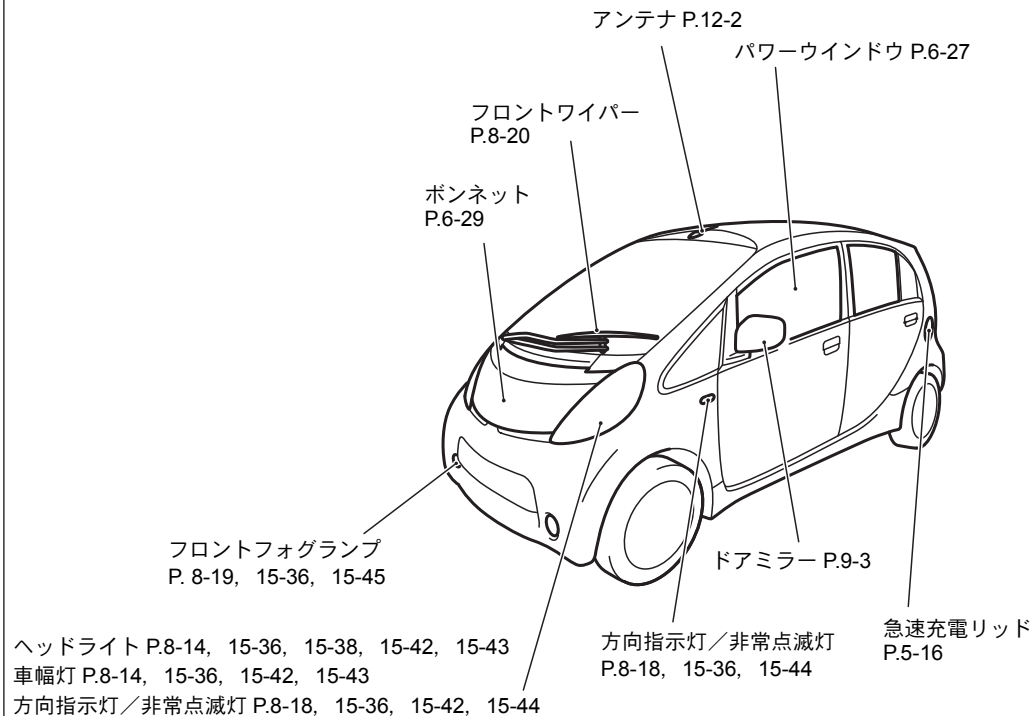


・ 装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

外まわり

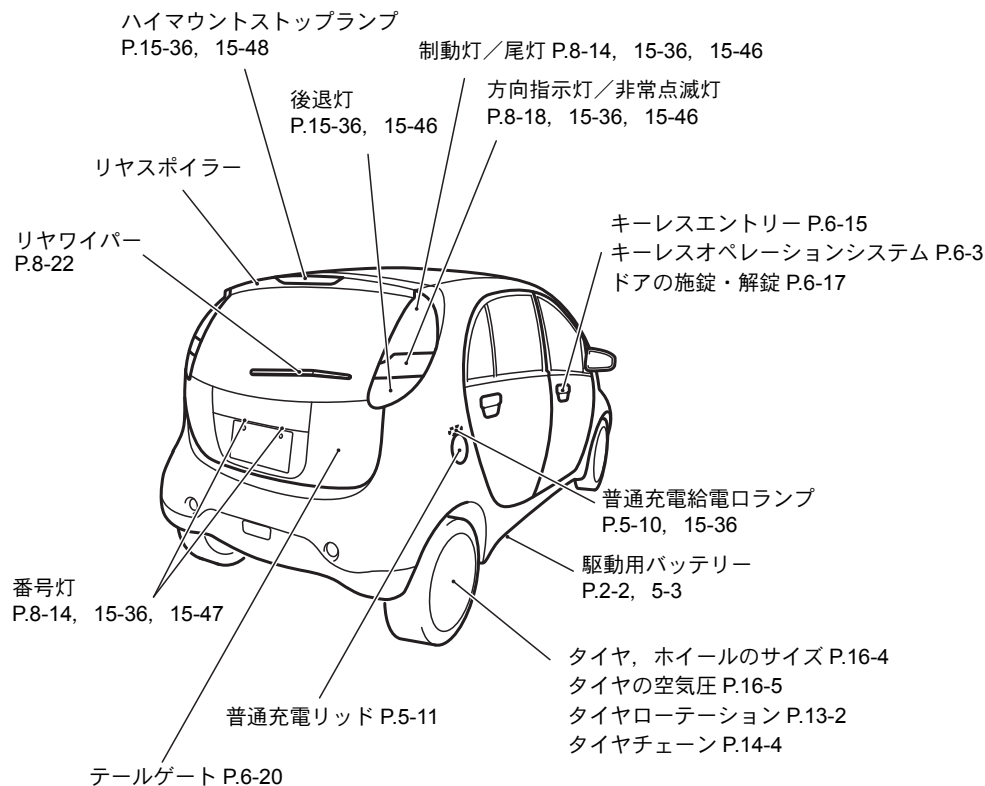
J00100403594

1



・ 装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AJ5107462



・ 装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

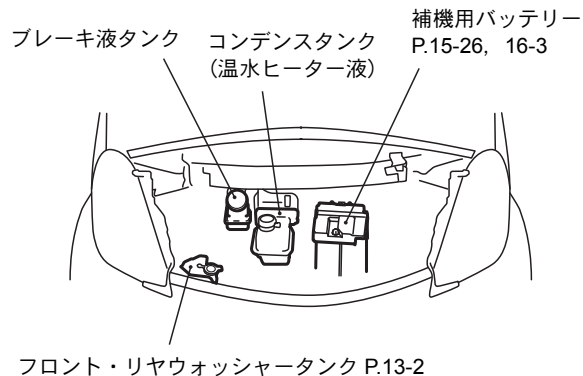
AJ5107475

ボンネット／パワーユニットルーム

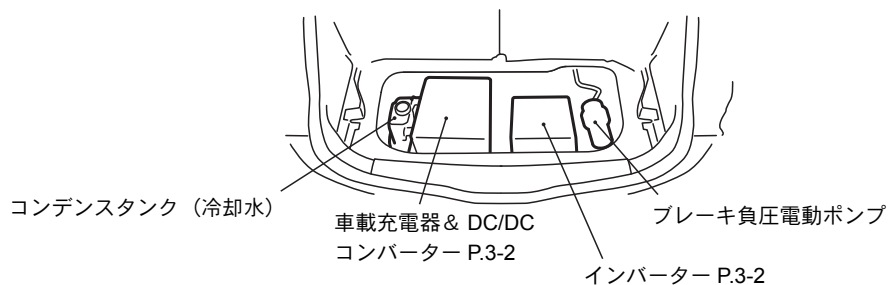
J00100502817

1

ボンネットルーム



パワーユニットルーム (ラゲッジルーム床下)



・ 装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AJ5107488

警告

- パワーユニットルーム内ではコンデンスタंक以外の部品に触れないでください。コンデンスタंक以外に点検が必要な部品はありません。特に高電圧を発生する部品および高電圧の配線（オレンジ色）ならびにそのコネクターの取り外し、分解などは絶対に行わないでください。感電など、命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。これらの部品には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼り付けてありますので、ラベルの指示にしたがってください。必要な整備については、三菱自動車販売会社へ依頼してください。
- 点検や交換した後は、工具や布などをボンネットルームまたはパワーユニットルームに置き忘れていないことを確認してください。万一の場合、故障や火災になるおそれがあります。

注意

- パワーユニットルーム内の部品には高温になるものがあります。やけどをするおそれがありますので、各部が十分冷えてから点検してください。これらの部品には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼り付けてありますので、ラベルの指示にしたがってください。

i-MiEV を正しく理解していただくために

i-MiEV の電気自動車としての特徴，守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。重要ですので，しっかりお読みください。

主な特長	2-2
駆動用バッテリーについて	2-2
航続可能距離について	2-3
車両接近通報装置について	2-3
充電中またはブレ空調中の作動音について	2-4
万一，事故が起きたときは	2-4
酷暑時の注意事項と対処方法	2-6
極寒時の注意事項と対処方法	2-7

主な特長

J02000101141

- 走行に必要なエネルギーは電気のみで、燃料の補給を必要としません。
- 駆動用バッテリーやパワーユニット（モーターなど）を全て車室外に搭載することで、エンジン車の i（アイ）と同様の大人4人が乗車できる室内空間を確保しました。
- 高性能モーターの採用により、走行中の騒音・振動を大幅に抑えるとともに力強く加速します。
- 回生ブレーキを採用し、アクセルオフ時に自動的に駆動用バッテリーを充電します。
- AC 100V または AC 200V の EV 充電用コンセントから充電することができま
- CHAdeMO（チャデモ）規格に準拠した急速充電器による充電が可能です。CHAdeMO は、日本発の電気自動車用急速充電の規格で、その内容は国際標準にもなっています。

回生ブレーキとは ...

- モーターを発電機として使用して運動エネルギーを電気エネルギーに変換します。

この変換時にブレーキ力が発生し、変換された電気エネルギーは駆動用バッテリーに充電されます。

- 走行中アクセルペダルから足を離れたときに、エンジン車のエンジンブレーキに相当するブレーキ力が発生します。また、セクターレバーの位置が **D** → **Eco** → **B** の順に回生ブレーキの効きが強くなります。走行状況に合わせて、セクターレバーを **Eco** または **B** に入れてください。
- ブレーキペダルを踏み込んだとき、フットブレーキに加えて、回生ブレーキの効きが強くなります。
- 回生ブレーキの効きが強いときは、ブレーキペダルを踏んでいなくても制動灯が点灯します。
- つぎの場合は、回生ブレーキの効きは制限されて効きにくなると同時に回生ブレーキ力警告灯が点滅します。この場合でも、フットブレーキは効きますのでブレーキペダルを踏んで減速してください。
- ABS や ASC が作動しているとき
- 満充電に近い満充電のため、回生ブレーキで変換された電気エネルギーが、駆動用バッテリーに充電されないとき

→ 「下り坂では回生ブレーキを併用、満充電に近いときや満充電時の下り坂はスピードを控えて走行」 P.3-11

→ 「下り坂走行」 P.9-12

- 外気温が約 40℃ 以上のとき
→ 「酷暑時の注意事項と対処方法」 P.2-6
- 外気温が約 -15℃ 以下のとき
→ 「極寒時の注意事項と対処方法」 P.2-7
- パワーユニットに異常があるとき

駆動用バッテリーについて

J02001400069

駆動用バッテリーとは ...

モーター（パワーユニット）およびエアコンを作動させるバッテリーです。i-MiEV には駆動用バッテリーの他に照明、ワイパーなどを作動させる補機用バッテリーも搭載しています。

- i-MiEV には、密閉式のリチウムイオン高電圧電池が搭載されています。リチウムイオン電池は、不適切な方法で処分すると、重度のやけどや感電により重大な傷害または死亡につながるおそれがあるだけでなく、環境汚染につながります。

- リチウムイオン電池には、つぎの特性があります。よくお読みいただき、つぎの点に注意して取り扱いください。

特性

- 一般的なリチウムイオン電池と同様に時間の経過や使用状況に伴い、バッテリー容量が低下し、これに伴い航続可能距離が短くなります。
バッテリー容量の低下は、バッテリーが元々持つ特性であり、故障などではありません。また、バッテリー容量低下の割合は、車両の使用および保管の状況、充電のしかたなどによって変化するため、残存バッテリー容量は、5年経過時で新車時の80%目安（10年で70%目安）と予測しておりますが、これを保証するものではありません。特に、急な加減速の繰り返し、頻繁な急速充電の実施、酷暑地での使用、高温での車両保管などの場合は低下の割合が大きくなります。
- 外気温により性能が変化することがあります。特に低温時は常温時に比べて、航続可能距離が短くなり、充電時間が長くなります。
- 使用しなくても徐々に放電しバッテリー残量が減っていきます。
- 充電前にバッテリー残量を使い切る必要はありません。

取り扱いの注意点

- 駆動用バッテリー残量計の目盛が0になった状態で車を保管しないでください。
目盛が0の状態でお車を保管すると電池がダメージを受け、容量低下の状態によっては、駆動用バッテリーの交換が必要になる場合があります。
- 長期間お車を使用されない場合は、駆動用バッテリー残量計の目盛が0の状態になるのを避けるため、3ヶ月ごとには、満充電するようにしてください。
- 駆動用バッテリーの回収を行いますので、廃車するときは必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。

航続可能距離について

J02001500031

- エアコン（冷房または暖房）は駆動用バッテリーの電力を消費するため、過度に使用すると航続可能距離がいちじるしく短くなります。
冷やしすぎや暖めすぎにならないように、風量をこまめに絞り、さらに設定温度を控えめに調整してください。

- 充電量が同じでも走行状況によって航続可能距離は変化します。高速走行や山道の登坂は、通常よりも駆動用バッテリーの電力を消費するため、航続可能距離が短くなります。
- 道路状況に合わせてセレクトレーバーを**B**または**Eco**に入れ、回生ブレーキを上手に使用して、駆動用バッテリーを充電すれば航続距離を延ばすことができます。

車両接近通報装置について

J02001201077

- 低速で走行しているとき、通報音で歩行者などに車両の接近を知らせる装置です。
→「車両接近通報装置」P.9-13
- 車両接近通報装置が鳴っていても、歩行者には特に注意してください。歩行者は車両の接近や発進に気づかず、事故が発生して重大な傷害または死亡につながるおそれがあります。

充電中またはプレ空調中の作動音について

J02002000059

充電中、パワースイッチが LOCK の位置でも、駆動用バッテリー冷却システムが作動しているときや、プレ空調（タイプ別装備）が作動しているときに、冷却ファンやエアコンコンプレッサーなどの作動音が聞こえることがあります。異常ではありません。

→「プレ空調」P.5-26、5-38

万一、事故が起きたときは

J02000800024

事故などにより車体に衝撃を受けたときに、パワーユニットの作動を停止する場合があります。

この場合、パワーユニットを再起動できなくなりますので三菱自動車販売会社へご連絡ください。

緊急処置が必要となるような事故が発生した場合は、エンジン車と同様の処置をしてください。また、重大な傷害または死亡につながるおそれのある重度のやけどや感電を防止するため、つぎのことに注意してください。

⚠警告

- 後発事故を防ぐため、走行可能な場合は、車両を現場付近の路肩など安全な場所に移動してください。
また、可能な場合はつぎの処置を行い、緊急隊員が到着するまで交通の邪魔にならない場所で待機してください。
 - ・ 輪止めをする。
 - ・ セレクターレバーを **P** にする。
 - ・ 駐車ブレーキをかける。
 - ・ 窓、ドアおよびテールゲートを開ける。
 - ・ パワースイッチを LOCK にする。
 - ・ 非常点滅灯を点滅させるか、停止表示板などで故障表示をする。
 - ・ 意図しないスイッチ操作（パワースイッチへの接触など）によるシステム起動や事故などの影響による予期しないシステム起動の可能性を低減させるため、キーレスエントリーキーまたはキーレスオペレーションキーは車両から離れた場所（車外）に保管する。
- インバーターや駆動用バッテリーなどの高電圧の配線ならびにそのコネクター、他の高電圧部位に触れないでください。車両の内部または外部から露出した電線が見える場合は、感電するおそれがあります。高電圧部位については、「主な高電圧部位」を参照してください。→P.3-2

⚠警告

- 駆動用バッテリー液の漏れ、車体や駆動用バッテリーの損傷は火災の原因となります。漏れや損傷などが見つかったときは、そのまま使用せず消防に通報してください。
車内または車外に液体の漏れが見つかったときは、火気を近づけないでください。また、絶対に触れないでください。
駆動用バッテリー液が皮膚についたり、目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い、速やかに専門医の治療を受けてください。
- ブレーキ液の漏れがあると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
漏れが見つかったときは、そのまま使用せず三菱自動車販売会社へご連絡ください。
- 車両が損傷し、車両が安全であることを確認できない場合は、車両に触れないでください。車両から離れ、三菱自動車販売会社に連絡し、事故車が電気自動車であることを伝えてください。
- リチウムイオン電池の消火には多量の水が継続的に必要となります。万一、車両火災が発生したときは、自分で消火しようとせず、できるだけ早く車両から離れて、消防に通報してください。
不適切な消火器の使用、少量の水での消火は重大な傷害または感電死につながるおそれがあります。

⚠警告

- 避難する際、有毒ガスや可燃性ガスが室内にこもらないように、また乗員救助や消火作業を容易にするため、可能であれば窓やドア、テールゲートを開けてください。
- 他の車両火災の場合と同様に、車両から出る煙、蒸気、ガスは有毒である可能性があるため、吸わないでください。風上の高い場所へ移動し、消防が来るまで交通のじゃまにならない場所で待機してください。
- 高電圧バッテリー付近から液体の漏れ、火花、煙、火災、ゴボゴボ音、シューシュー音、またはパーンという音がする場合はバッテリー火災のおそれがあります。すぐに消防に通報してください。
- 車両または高電圧バッテリーが損傷している場合は、有毒ガスや可燃性ガスが発生して発火するおそれがあります。事故後しばらく時間が経過してからガスが発生することもあるため、注意してください。
- 車体が大きく破損・変形しているときにけん引される場合は、必ず4輪とも持ち上げて搬送してください。後輪が接地した状態でけん引すると、モーターが発電して火災の原因となります。
→「けん引」P.15-29
- 損傷している電気自動車を自分で修理しようとししないでください。三菱自動車販売会社に修理を依頼してください。

⚠警告

- ボデー修理や塗装の補修が必要なときは、駆動用バッテリーやインバーター、配線などの高電圧部品の取り外しが必要になるため、三菱自動車販売会社にご連絡ください。駆動用バッテリーが塗装ブースで高温にさらされると、バッテリー容量が低下します。また、駆動用バッテリーが損傷している場合、訓練されていない方が整備作業を行うと危険です。

📖アドバイス

- つぎの場合は自動的に高電圧遮断システムが作動し、高電圧システムが働かなくなることがあります。
 - ・強い衝撃を車両に受けたとき
 - ・EVシステムが故障しているとき
- 高電圧遮断システムが作動しているとき、READY（走行可能）表示灯は消灯しています。→「表示灯・警告灯」P.8-10
- 高電圧遮断システムが作動した場合は、三菱自動車販売会社にご連絡ください。

酷暑時の注意事項と対処方法

J02001900064

- 外気温が高温時の走行では、冷房性能不足となる場合があります。また、冷房の使用により航続可能距離がいちじるしく短くなります。
- 外気温が約 30℃ 以上のときは、つぎのような現象となる場合がありますので、それぞれの対処方法を行ってください。
- 外気温が約 30℃ 未満のときでも、急速充電と連続高速走行および連続登坂走行などを繰り返した場合はつぎのような現象となる場合も稀にありますので、それぞれの対処方法を行ってください。

外気温目安	現象		対処方法
約 30℃ 以上	充電、電池に関して	連続高速走行および連続登坂走行などを繰り返した場合には電池温度が上昇します。 電池温度が高い状態で急速充電した場合、充電ランプ*1 が点滅（2 回消灯を繰り返す）し、電池の発熱を抑制するために充電電流を制限します。 それに伴い、充電時間が長くなる場合があります。	連続高速走行および連続登坂走行などを繰り返した場合は、風通しの良い日陰に駐車してください。
約 40℃ 以上	起動、走行に関して	● 急速充電と連続高速走行および連続登坂走行などを繰り返した場合、パワーダウン警告灯*2 が点灯し、モーター出力が制限されます。 ● パワーダウン警告灯*2 が点灯後もさらに走行を続けた場合、車両が停止する場合があります。	しばらく停車し、急速充電を控え、パワーダウン警告灯*2 が消灯するまで待機してください。
		回生ブレーキ力警告灯*3 が点滅し、回生ブレーキ力が低下する場合があります。	減速するときは、ブレーキペダルを踏み足してください。
	充電、電池に関して	電池温度が高い状態で急速充電した場合、充電ランプ*1 が点滅（2 回消灯を繰り返す）し、電池の発熱を抑制するために充電電流を制限します。 それに伴い、充電時間が長くなる場合があります。	風通しの良い日陰に駐車してください。

*1：→「充電ランプ」P.8-11 充電ランプの点滅は、お車の故障を示すものではありません。

*2: →「パワーダウン警告灯」 P.8-13 パワーダウン警告灯の点灯は、お車の故障を示すものではありません。

*3: →「回生ブレーキ力警告灯」 P.8-12 回生ブレーキ力警告灯の点滅は、お車の故障を示すものではありません。

極寒時の注意事項と対処方法

J02001601097

2

- 外気温が低温時の走行では、暖房性能不足となる場合があります。また、暖房の使用により航続可能距離がいちじるしく短くなります。
- 外気温が約 -15℃ 以下のときは、つぎのような現象となる場合がありますので、それぞれの対処方法を行ってください。
- 外気温が約 -25℃ 以下では、駆動用バッテリーが凍結して、充電やパワーユニットの起動ができない場合があります。車両を暖かい場所に移動してください。

外気温目安	現象		対処方法
約 -15℃ 以下	起動, 走行に関して	モーター出力が制限され、動力性能が低下する場合があります。 このときパワーダウン警告灯 * ¹ が点灯する場合があります。＜参考：駆動用バッテリー温度-15℃で、バッテリー残量 50%の場合、動力性能が約 30%低下＞	● 周りの車両と同程度の速度が出せる場合は走行を続けてください。 ● 周りの車両と同程度の速度が出せない場合は、安全な場所へ停止し充電するか、安全に十分注意して走行してください。
		回生ブレーキ力警告灯 * ² が点滅し、回生ブレーキ力が低下する場合があります。	減速するときは、ブレーキペダルを踏み足してください。
	充電, 電池に関して	充電時間が延びる場合があります。 また、満充電にならない場合があります。	走行後すぐなど、駆動用バッテリーが冷える前に充電してください。

外気温目安	現象		対処方法
約 -25℃ 以下	起動, 走行に関して	モーター出力が制限され、動力性能が低下する場合があります。 このときパワーダウン警告灯 * ¹ が点灯する場合があります。＜参考：駆動用バッテリー温度-25℃で、バッテリー残量 50%の場合、動力性能が約 50%低下＞	● 周りの車両と同程度の速度が出せる場合は走行を続けてください。 ● 周りの車両と同程度の速度が出せない場合は、安全な場所へ停止し充電するか、安全に十分注意して走行してください。
		回生ブレーキ力警告灯 * ² が点滅し、回生ブレーキ力が低下または無くなる場合があります。	減速するときは、ブレーキペダルを踏み足してください。
	充電, 電池に関して	充電ができない場合があります。	走行後すぐなど、駆動用バッテリーが冷える前に充電してください。
約 -30℃ 以下	起動, 走行に関して	READY（走行可能）表示灯 * ³ が点灯せず、パワーユニットが起動しない場合があります。最悪の場合、残量計や航続距離表示を残したまま走行不能となる場合があります。	日中、気温が上がるのを待つなどして、駆動用バッテリー周辺温度が上がってから、起動してください。
		回生ブレーキ力警告灯 * ² が点滅し、回生ブレーキ力が低下または無くなる場合があります。	減速するときは、ブレーキペダルを踏み足してください。
	充電, 電池に関して	充電ができない場合があります。	日中、気温が上がるのを待つなどして、駆動用バッテリー周辺温度が上がってから、充電してください。

*¹ : → 「パワーダウン警告灯」 P.8-13 パワーダウン警告灯の点灯は、お車の故障を示すものではありません。

*² : → 「回生ブレーキ力警告灯」 P.8-12 回生ブレーキ力警告灯の点滅は、お車の故障を示すものではありません。

*³ : → 「READY（走行可能）表示灯」 P.8-11

安全なドライブのために

お車のご使用前に知っておいていただきたいこと、守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。重要ですので、しっかりお読みください。

日常点検	3-2
出発前は	3-5
お子さまを乗せるときは	3-6
走行するときは	3-9
走行中に異常に気づいたら	3-13
駐停車するときは	3-14
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器 などの医療用電気機器を使用している方は	3-15
こんなことにも注意	3-16

日常点検

J002001100676

点検，整備を忘れずに

- 日常点検整備と定期点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。事故や故障を未然に防ぐため必ず実施してください。
- 日常点検整備は、長距離を走行するときや、洗車時などにお客様自身で行う点検整備です。

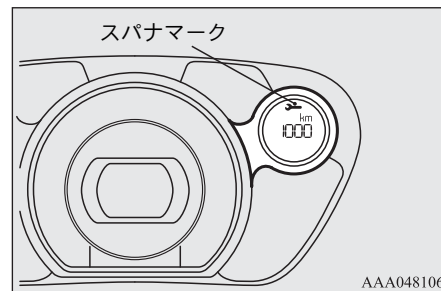
- 日常点検整備の項目および点検のしかたについては、別冊の「メンテナンスノート」に記載してありますので必ずお読みください。
- サービスリマインダーが点灯したら三菱自動車販売会社で定期点検整備を受けてください。

サービスリマインダー

次回定期点検までの残り月数と残り距離をお知らせする機能です。

定期点検時期に近づくとき、パワースイッチをLOCKからONにしたときにメーター内のスパナマークが数秒間表示され、定期点検時期であることをお知らせします。

→「サービスリマインダー」P.8-5



点検・整備をするときは

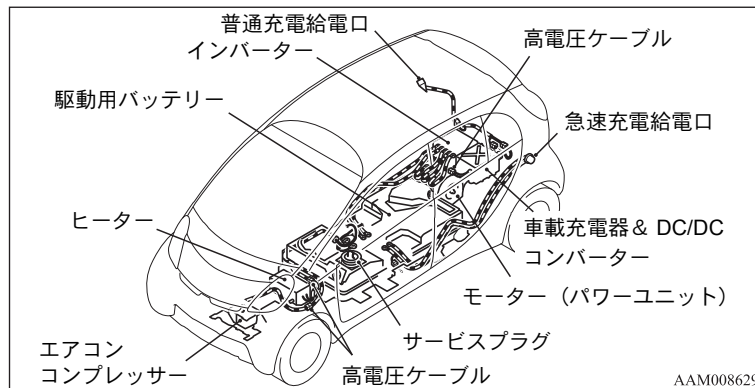
J00204901161

- 点検・整備をするときは、必ず車両から充電コネクターを取り外し、パワースイッチがLOCKになっていることを確認してから行ってください。

- パワーユニットルーム内ではコンデンスタंक以外の部品に触れないでください。コンデンスタंक以外に点検が必要な部品はありません。特に高電圧を発生する部品および高電圧の配線（オレンジ色）ならびにそのコネクターの取り外し、分解などは絶対に行わないでください。また、普通充電ケーブル、普通充電コネクタ、プラグ、コンセントの分解は絶対に行わないでください。感電など、命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

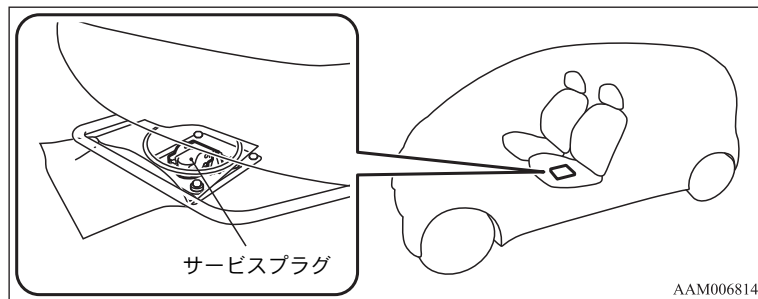
これらの部位には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼り付けてありますので、ラベルの指示にしたがってください。必要な整備については、三菱自動車販売会社へ依頼してください。

主な高電圧部位



- EV システムは、最大で 330V の直流高電圧が使用されるため、システム起動中や起動後、車両が止まったときに高温になることがあります。車両に貼り付けられているラベルにしたがい、高電圧と高温に注意してください。
- 高電圧バッテリーおよび関連部品には電圧がかかっており、常にバッテリーは満充電の状態であると考えてください。

- 助手席下にあるサービスプラグには、絶対にさわらないでください。サービスプラグは車両を修理するときなどに、三菱自動車販売会社で駆動用バッテリーの高電圧をしゃ断するためのものです。取り扱いを誤ると感電など、命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。



- READY (走行可能) 表示灯が点灯しているとき、および充電ランプが点灯・点滅しているときは、高電圧システムが作動しているため、絶対に整備作業を行わないでください。
- パワーユニットルーム内の部品には高温になるものがあります。
やけどの原因となりますので、各部が十分冷えてから点検してください。
これらの部品には取り扱い上の注意を記載したラベルが貼り付けてありますので、ラベルの指示にしたがってください。
- 補機用バッテリーを交換するときは、パワースイッチを LOCK の位置にしてから約 2 分以上経過後に、接続されている+端子や-端子を取り外してください。パワースイッチを LOCK の位置にした直後に補機用バッテリーの端子を取り外すと、電気部品故障の原因となります。
また、パワーユニット警告灯が点灯しているときは、高電圧部位に異常が発生しています。補機用バッテリーを外さずに、三菱自動車販売会社へご連絡ください。

ラジエーターやコンデンスタ ンク（冷却水・温水ヒーター 液）が熱いときは

J00205000032

- ラジエーターやコンデンスタ

却水・温水ヒーター液）が熱いときは、コンデンスタンのキャップを外さないでください。
蒸気や熱湯が噴き出しやけどをするおそれがあります。

三菱自動車販売会社で点検を 受けて

J00202100276

- つぎの場合は車が故障しているおそれがあります。

そのままにしておくと走行に悪影響をおよぼしたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

- いつもと違う音や臭いや振動がするとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- 地面に油などの漏れたあとが残っているとき

出発前は

J00200201313

シートベルトは必ず着用

- 運転する前に必ずシートベルトを着用してください。
→「シートベルト」P.7-8
- 同乗者にもシートベルトを着用させてください。



AAA003372

燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まない

- 燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まないでください。
容器が破裂したり、蒸発ガスに引火し爆発するおそれがあります。



AAA003385

窓越しにパワーユニットを起動しない

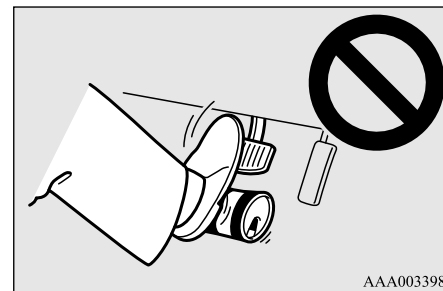
- 正しい運転姿勢で運転席に座り、パワーユニットを起動する習慣をつけましょう。
- セクターレバーがPの位置にあることを確認します。
思わぬ事故を避けるため、ブレーキペダルを右足でしっかり踏んでパワーユニットを起動する習慣をつけてください。

→「パワーユニット起動のしかた」P.9-5

- 窓越しなど車外からパワーユニットを起動しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転席の足元付近を点検

- ブレーキペダルの下に物がこもらないように、ブレーキ操作ができなくなるおそれがあります。
出発前に運転席の足元付近を点検してください。

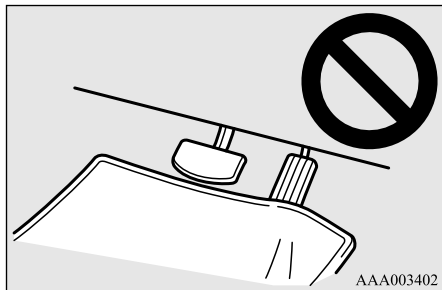


AAA003398

- フロアマットはペダルに引っかからないよう、車にあったものを正しく敷いてください。
→「フロアマット」P.10-8
正しく敷かないと、ペダル操作の妨げになり、重大な事故につながるおそれがありますので、つぎのことをお守りください。

お子さまを乗せるときは

- ずれないように固定クリップで確実に固定する。
- ペダルをおおわない。
- 重ねて敷かない。
- アクセルペダルの下に敷かない。



荷物を積むときは

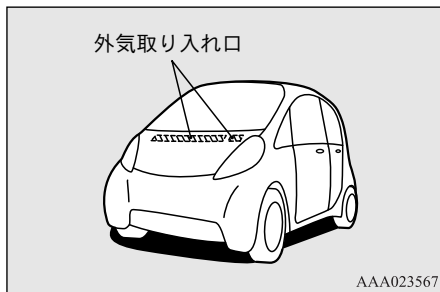
- 荷物はできるだけ低くし、シートの高さ以上に積まないでください。後方の確認ができなくなったり、急ブレーキをかけたとき、荷物が前方に飛び出してケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、コーナリングのとき、車の揺れが大きくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 重い荷物はできるだけ前の方に積んでください。

後ろの方が重くなるとハンドルが不安定になります。

- 荷物は荷くずれしないようにしっかりと固定してください。

フロントガラス前部の雪、落ち葉などは取り除く

- フロントガラス前部の外気取り入れ口に雪、落ち葉などが付いているときは取り除いてください。そのままにしておくと、車内の換気が十分にできずガラスが曇り、視界が悪くなるおそれがあります。



お子さまを乗せるときは

J00200302614

お子さまは後席に座らせる

- 助手席ではお子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく、お子さまが運転装置にふれて、重大な事故につながるおそれがあります。
- やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも、つぎのことをお守りください。
 - 必ずシートベルトを着用する
 - シートをできるだけ後方に下げる
 - シートに深く腰かけて、背もたれに背中がついた正しい姿勢で座らせる
- お子さまがシートベルトやチャイルドシートを使用せずにインストルメントパネルの前に立っていたり、助手席に正しい姿勢で座っていなかったりすると、SRS エアバッグが膨らむ際、SRS エアバッグにより、命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。



お子さまにもシートベルトを必ず着用させる

- ひざの上にお子さまを抱かないでください。
急ブレーキをかけたときや衝突したときなど、腕だけでは十分に支えることができません。お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。



- 後席でも必ずシートベルトを着用してください。

お子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトを着けたとき、肩のベルトが首、あご、顔などに当たる場合や、腰ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまには、体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
→「チャイルドシート」P.7-12
- 通常のシートベルトでは、衝突のとき強い圧迫を受け、シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 6才未満のお子さまは、チャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。

お子さまの安全のための装備

- お子さまの安全のため、つぎのような装備があります。
使い方を一度お読みになって、お子さまの安全にお役立てください。

ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカー

- この車は2006年10月1日施行の保安基準（国連の安全基準に準拠）に適合したISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーを標準装備しています。
→「チャイルドシート」P.7-12

ロックスイッチ

- ロックスイッチを ON にすると、助手席、後席のパワーウィンドウスイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
→「ロックスイッチ」P.6-28

チャイルドプロテクション

- ドアにあるレバーを施錠側にしておくと、後席ドアが車内から開けられなくなります。
→「チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）」P.6-20

ドア、ウィンドウ、シートの操作は大人が行う

- 手や顔などをはさまないように注意して操作してください。
- お子さまが誤って操作しないよう、パワーウィンドウにはロックスイッチをお使いください。

窓から手や顔を出させない

- 窓から手や顔を出していると、車外の物などに当たったり、急ブレーキをかけたとき、重大な傷害を受けるおそれがあります。



お子さまをシートベルトで遊ばせない

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
万一、シートベルトが外せなくなったときは、はさみなどでベルトを切断してください。



車から離れるときはお子さまも一緒に

- お子さまだけを車内に残さないでください。
炎天下での車内は高温となり、熱中症などのおそれがあります。

- 車内にキーを残したままにしておくと、お子さまのいたずらにより、パワーウィンドウなど電装品の誤った操作、車の発進、火災など、重大な事故につながるおそれがあります。



お子さまを荷室で遊ばせない

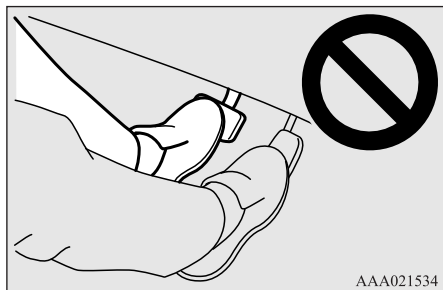
- 荷室は人が乗る構造になっておりません。
お子さまを乗せたり、遊ばせたりしないでください。
万一の場合、重大な事故につながるおそれがあります。

走行するときは

J00200401719

ブレーキペダルは右足で

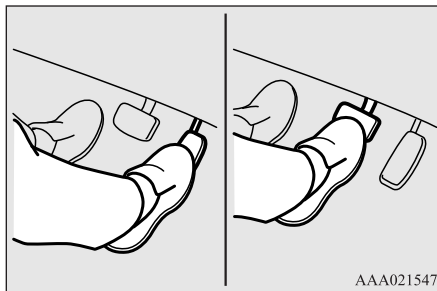
- 左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず、重大な事故につながるおそれがあります。



パワーユニットを起動する前に

- アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため、各ペダルの位置を右足で確認してください。

アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり、両方のペダルを同時に踏んでしまうと、車が急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。



- セクターレバーがPの位置にあることを確認してください。



パワーユニットを起動するとき

- ブレーキペダルを右足で踏んだままパワーユニットを起動します。
→「キーレスオペレーションシステム：パワーユニット起動のしかた」P.6-9
→「パワーユニット起動のしかた」P.9-5

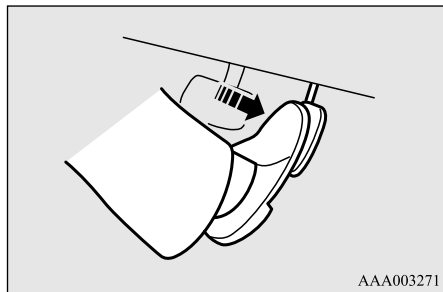
発進するときは

- READY（走行可能）表示灯が点灯した後、セクターレバーを操作してください。
- ブレーキペダルを右足で踏んだままセクターレバーを操作します。



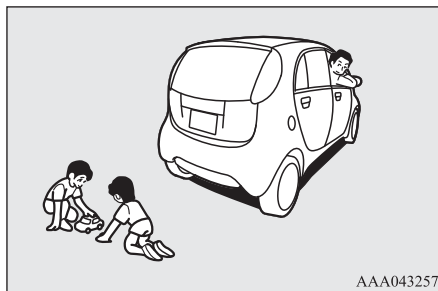
走行するときは

- アクセルペダルを踏み込みながらセレクターレバーを操作しないでください。
急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。
また、車両の故障の原因になります。
- ⑥に入れるとブザーが鳴ります。
ブザーは車の外には聞こえませんが注意してください。
- 発進するときは、ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。



- エンジン音がしないため、周囲の状況に十分注意して安全運転に心がけてください。
- 駐車後や信号待ちなどで停車したあとは、子どもや障害物など、車のまわりの安全を十分確認してから発進してください。

- 車をバックさせるときは目で後方を確認してください。
バックミラーでは確認できない死角があります。



同乗者はシートを倒して寝ころばない

- 走行中、同乗者はシートを倒して寝ころばないでください。
シートを倒して寝ころんでいると、急ブレーキをかけたときや衝突したときなど、身体がシートベルトの下にもぐり込み、シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。



走行中は

- 走行中はパワースイッチを ACC にしないでください。
走行中にパワースイッチを ACC にすると、パワーユニットが停止し、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが非常に重くなることがあるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



- 走行中は、セクターレバーを**N**に入れないでください。
誤って**P**、**R**に入れてしまったり、回生ブレーキがまったく効かなくなり、思わぬ事故の原因になります。
また、車両の故障の原因になります。

急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルは避けて

- 急ブレーキや急ハンドルは車両のコントロールができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
スピードを控えめにし、ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

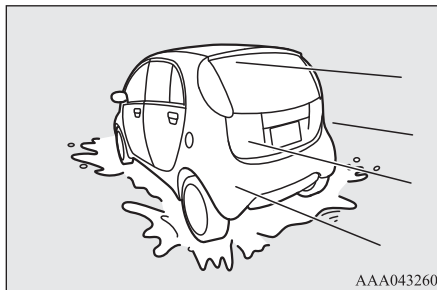
雨天時や水たまりを走行するときは

J00202200479

- 雨天時やぬれた道路ではスピードを控えめにし、ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。
特に雨の降りはじめは路面が滑りやすいため注意してください。
- 水たまり走行後や洗車後、ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなる場合があります。

ブレーキの効きが悪いときは、前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキを乾かしてください。

- わだちなど水のたまっている場所を高速で走行すると、ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。
- タイヤがすり減っていたり、空気圧が適正でないと、スリップしたり、ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。



AAA043260

ハイドロプレーニング現象とは...

- 水のたまっている道路を高速で走行するとき、あるスピード以上になるとタイヤが路面の水を排除できず、水上を滑走する状態になり、車のコントロールが効かなくなる現象。

冠水した道路を走行しない

J00204800017

- 冠水した道路を走行すると、パワーユニットが停止するだけでなく、漏電やショートなど故障の原因になります。
やむをえず冠水した道路を走行し、水に浸ってしまったときは、必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

下り坂では回生ブレーキを併用、満充電に近いときや満充電時の下り坂はスピードを控えて走行

J00203601103

- ぬれた道路や凍結した道路での急激な回生ブレーキは避けてください。
スリップして重大な事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂では、坂道の程度やスピードに応じてセクターレバーを**Eco**または**B**に入れ回生ブレーキを併用してください。
ブレーキペダルを踏んで減速を頻繁に繰り返すと、フットブレーキが過熱して効きが悪くなる場合があります。

●満充電に近いときや満充電時

回生ブレーキは、駆動用バッテリーが満充電に近いほど効きが弱くなり、満充電時には効かなくなります。また、同時に回生ブレーキ力警告灯が点滅します。

→「回生ブレーキ力警告灯」P.8-12

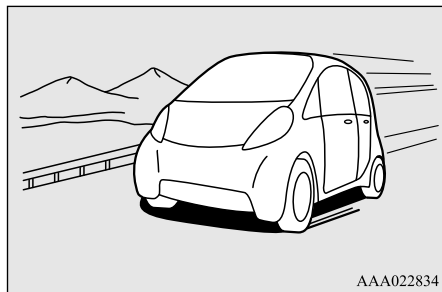
この場合もフットブレーキは効きますのでブレーキペダルを踏んで減速してください。

また、頻繁な減速でフットブレーキが過熱することがないように、あらかじめスピードを控えて走行してください。スピードが出すぎるときは、必要に応じてブレーキペダルを踏んで減速してください。

充電量が減ってくると、回生ブレーキは効くようになります。

なお、満充電に近いほど、パワーメーターの指針は基準の位置から左には振れなくなります。

→「パワーメーター」P.8-2



回生ブレーキとは...

→「回生ブレーキ」P.2-2

ブレーキペダルをフットレストがわりにしない

J00202400019

- ブレーキペダルに常に足をのせ、フットレストがわりにすることは避けてください。

ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱して、効きが悪くなるおそれがあります。

スタック（立ち往生）したときは

J00202601294

- スタックしたときは、タイヤを高速で回転させないでください。タイヤがバースト（破裂）したり、異常過熱により、思わぬ事故につながるおそれがあります。
→「タイヤがスリップして発進できない」P.15-7

寒冷時にブレーキの効きが悪くなったときは

J00202700171

- 寒冷時や雪道走行ではブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ブレーキの効が悪いときは、前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキを乾かしてください。

段差などを通過するときは

J00203300057

- 段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃によりタイヤおよびホイールを損傷するおそれがあります。またつぎのような場合、車体、バンパーなどを損傷するおそれがありますので十分注意してください。
 - ・駐車場の出入口
 - ・路肩や車止めのある場所
 - ・勾配の急な場所
 - ・わだちのある道路

停車中は

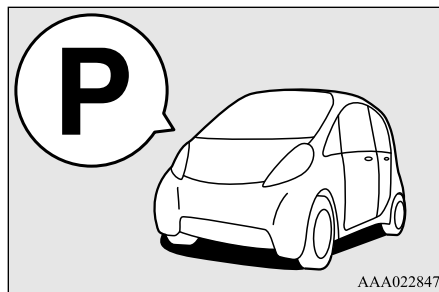
J00203700019

- 停車中は、むやみにアクセルペダルを踏み込まないでください。
万一、セクターレバーが**P**、**N**以外に入っていた場合、思わぬ急発進の原因になります。

駐車するときは

J00203800023

- 駐車するときは、ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけ、セクターレバーを**P**に入れます。
- 車が完全に止まらないうちに**P**に入れると、急停止してけがをするおそれがあります。
また、車両の故障の原因になります。
- 車から離れるときは、必ずパワースイッチをLOCKまで回し、READY（走行可能）表示灯が消灯したことを確認してください。
READY（走行可能）表示灯が点灯したままにしておくと、万一、セクターレバーが**P**、**N**以外に入っていた場合、クリープ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するおそれがあります。



その他に気をつけること

J00203900011

- 車を少し移動させるときでも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
- 少しだけ後退したときなどは、セクターレバーが**R**に入っていることを忘れてしまうことがあります。
後退した後は、すぐに**R**から**P**または**N**に戻す習慣をつけましょう。
- 車を後退させるときは、身体を後ろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。
ブレーキペダルが確実に踏めるように注意してください。

- 切り返しなどで**D**から**R**、**R**から**D**と何度もレバーを操作するときは、そのつどブレーキペダルをしっかりと踏み、車を完全に止めてから行ってください。
車が動いているうちに**P**や**R**に入ると、車両の故障の原因になります。

走行中に異常に気づいたら

J00200500986

走行中に READY（走行可能）表示灯が消灯したときは

走行中に READY（走行可能）表示灯が消灯したときは、運転操作に変化がおきますので、つぎの点に注意して車を安全な場所に止めてください。

- ブレーキ倍力装置が働かなくなることがあり、その場合、ブレーキの効きが非常に悪くなりますので、通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。
ブレーキペダルから足を離し、再び踏み直すと、ブレーキの効きがさらに悪くなります。
- 万一、スピードが落ちないときは、駐車ブレーキを慎重にかけてください。
このときも、ブレーキペダルは強く踏み続けてください。

駐停車するときは

- パワーステアリング装置が働かなくなることがあり、その場合、ハンドルが非常に重くなります。

走行中にタイヤがパンクまたはバースト（破裂）したときは

- 走行中にタイヤがパンクまたはバーストすると、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。ハンドルをしっかり持ち、徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。
- つぎのようなときは、パンクやバーストが考えられます。
 - ・ハンドルがとられるとき
 - ・異常な振動があるとき
 - ・車両が異常に傾いたとき

警告灯が点灯または点滅したときは

- 警告灯が点灯または点滅したときは、安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。
→「警告灯が点灯または点滅したときは！」P.15-2
点灯または点滅したまま走行すると、思わぬ事故を引き起こしたり、モーター（パワーユニット）などを損傷するおそれがあります。

車体床下に強い衝撃を受けたときは

- 車体床下に強い衝撃を受けたときは、すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。
駆動用バッテリー液の漏れ、車体や駆動用バッテリーの損傷は火災の原因となります。漏れや損傷などが見つかったときは、そのまま使用せず消防に通報してください。
- 車内または車外に液体の漏れが見つかったときは、火気を近づけないでください。
また、絶対に触れないでください。
駆動用バッテリー液が皮膚についたり、目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い、速やかに専門医の治療を受けてください。
- ブレーキ液の漏れがあると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
漏れが見つかったときは、そのまま使用せず三菱自動車販売会社へご連絡ください。

駐停車するときは

J00200701028

長時間 READY（走行可能）表示灯が点灯したままでの停車は避ける

- 長く停車するときは、パワースイッチを LOCK まで回し、READY（走行可能）表示灯が消灯したことを確認してください。
READY（走行可能）表示灯が点灯したままにしておくと、航続可能距離が短くなります。
- 無意識にセレクトレバーを動かし、アクセルペダルの踏み込みにより、不用意な発進など、重大な事故につながるおそれがあります。

車から離れるときは

- 車が無人で動き出したり、盗難にあうおそれがありますので、車から離れるときは必ずつぎのことをお守りください。
 - ・駐車ブレーキをかける。
 - ・セレクトレバーを P に入れる。
 - ・パワースイッチを LOCK にする。
 - ・キーを携帯し、ドアを施錠する。

また、施錠していても車内に貴重品を置いたままにしないでください。

車を移動するときは必ず READY（走行可能）表示灯を 点灯させる

- READY（走行可能）表示灯が点灯していないと、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが非常に重くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。坂道で車を移動させるときも、必ずパワースイッチを START まで回し、READY（走行可能）表示灯を点灯させてください。

坂道に駐車するときは

- 坂道に駐車するときは、駐車ブレーキを確実にかけ、セクターレバーを **P** に入れてください。さらに輪止めをすると効果があります。輪止めは、三菱自動車販売会社でお買い求めください。輪止めがないときは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。
- 急な坂道での駐車は避けてください。無人で車が動き出すなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は

J00206601104

普通充電をする前に

- 充電による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してから充電作業を行ってください。充電が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

→「普通充電のしかた（AC 200V コンセントまたは AC 100V コンセントでの充電方法）」P.5-4

→「MiEV リモートシステム」P.5-26

普通充電をするときは

- 充電中につぎのことをお守りください。
- 普通充電するときは、充電コネクター、充電ケーブル、コントロールボックス、普通充電スタンドに植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器の植込み部位を近づけないようにしてください。

- 車内にとどまらないでください。
- 物を取るときなどに、ラゲッジルームを含めた車内に入り込まないでください。
- 充電中にエアコンを使用しているときは乗車しないでください。

→「普通充電のしかた（AC 200V コンセントまたは AC 100V コンセントでの充電方法）」P.5-4

→「MiEV リモートシステム」P.5-26

→「充電中のエアコンの使い方」P.11-21

急速充電はしない、急速充電器には近づかない

- つぎのことをお守りください。電磁波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
- 急速充電器を使用しないでください。
- 急速充電器を設置している場所には、可能な限り近づかないでください。なお、不用意に近づいた場合は、立ち止まらず速やかに離れてください。
- 急速充電器を操作する必要がある場合は、他の方にお問い合わせください。

こんなことにも注意

→「急速充電のしかた（急速充電器での充電方法）」P.5-16

キーレスオペレーションシステムを使用するときは

- つぎのことをお守りください。電波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
- 車室外発信機・車室内発信機から約22cm以内に近づかないでください。
- キーレスオペレーションシステムに使用している電波による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してからご使用ください。

→「キーレスオペレーションシステム」P.6-3

こんなことにも注意

J00200902492

洗車をするときは

- 洗車のときはパワースイッチをLOCKにしてください。
- 駆動用バッテリーを充電しながら洗車をしないでください。火災、感電の原因となります。

- 洗車をする前には、充電リッドおよび中ボタンが確実に閉まっていることを確認してください。

リッドが開いていると充電装置に水がかかり、火災、感電の原因となります。

運転中に自動車電話や携帯電話を使用しない

- 運転中、運転者が自動車電話や携帯電話を使用すると周囲の状況に対する注意が不十分になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転中、運転者がハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

オーディオの操作は停車してから

- 走行中にオーディオまたは、カーナビゲーションなどの操作をしないでください。操作に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

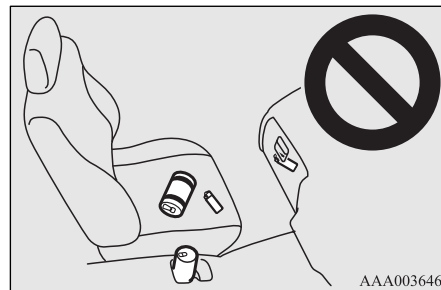
喫煙しながらの運転は控える

- 喫煙しながらの運転は控えてください。

注意がおろそかになり、思わぬ事故を招くことがあります。

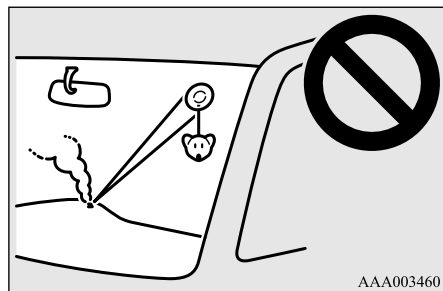
車内にライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しない

- 車内にライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しないでください。強い直射日光にさらされると車内が高温になるため、ライターなどの可燃物は自然発火したり、炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また、プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形、ひび割れをおこすおそれがあります。



アクセサリ取り付け時の注意

- ウィンドウガラスなどにアクセサリをつけたり、インストルメントパネルの上に芳香剤などを置かないでください。
運転の妨げになったり、吸盤や芳香剤の容器がレンズの働きをして火災など、思わぬ事故の原因となります。



AAA003460

- 塗装が施されている部分にはアクセサリなどをつけないでください。
吸盤に含まれる特殊な成分により、塗装面がはがれたり、変色したりするおそれがあります。

タイヤ、ホイールは指定サイズを使用

- タイヤ、ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したリ、種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは、安全走行に悪影響をおよぼしますので、避けてください。
→「タイヤ、ホイールのサイズ」P.16-4
- ホイールは、リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも、車体に干渉するため使えないときがあります。
お手持ちのものを使われるときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。

前後のタイヤは入れ換ええない

- タイヤ、ホイールのサイズが前後で異なるため、前後のタイヤを入れ換ええないでください。前後のタイヤを入れ換えると車の安定性や操縦性が確保できず、重大な事故につながるおそれがあります。

READY（走行可能）表示灯を点灯させたままジャッキアップしない

- READY（走行可能）表示灯を点灯させたままジャッキアップすると、ジャッキから車体が外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

違法改造はしない

- 法律で認められている改造以外は行わないでください。
また、三菱自動車純正以外の部品を装着すると、車の性能や機能に影響し、思いがけない事故が発生するおそれがあります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

AGA003501

電装品などを取り付けるときは

- 電装品などを取り付けるときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。
配線が車体に干渉したり、保護ヒューズがないなど取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お客様のお車には、電子制御システムの点検整備をするための故障診断コネクタが装備されています。そのコネクタに、点検整備用の故障診断機以外の機器を取り付けると、補機用バッテリーが上がったり、車両の電子機器に悪影響をおよぼすなど思わぬトラブルの原因となりますので、取り付けないでください。また、故障診断機以外に取り付けによる故障は、保証の対象外となることがあります。

無線機を取り付けるときは

- 無線機を取り付けるときは、必要な情報（周波数、送信出力、取り付け条件）について三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
周波数、送信出力、取り付け条件などが適切でない場合、電子機器に悪影響をおよぼしたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

環境にやさしく快適なドライブのために

経済的な運転をするために	4-2
機能を上手く使うために	4-2
環境保護のために守っていただきたいこと	4-2

経済的な運転をするために

J00300200362

無駄な荷物を載せない

J00300500017

- 不要な荷物を降ろして重量を軽くしてください。

発進、加速はスムーズに

J00300600018

- 不必要な急発進、急加速、急減速など、アクセルペダルをバタつかせるような運転は避け、アクセルペダルの操作はゆるやかに行ってください。

速度はできるだけ一定に

J00300800010

- 法定速度を守り、できるだけ一定のスピードで運転してください。

駐車時はパワースイッチをLOCKに

J00301800020

- READY（走行可能）表示灯が点灯したまま長い間駐車すると、航続可能距離が短くなります。

タイヤの空気圧は定期的にチェック

J00301100010

- タイヤの空気圧はこまめに点検し、常に規定の空気圧に調整してください。

エアコンは控えめに

J00301200053

- エアコン（冷房または暖房）は駆動用バッテリーの電力を消費するため、過度に使用すると航続可能距離がいちじるしく短くなります。冷やしすぎや暖めすぎにならないように、風量をこまめに絞り、さらに設定温度を控えめに調整してください。

その他に気を付けること

J00301300041

- 車間距離を十分にとり、不必要なブレーキをかけないようにしてください。
- 回生ブレーキを使用すると、駆動用バッテリーに充電することもできます。
→「回生ブレーキとは」P.2-2, 3-11
- 下り坂では早めにアクセルペダルを戻し、回生ブレーキを使用してください。
- 高速道路でも不必要な高速走行は避けてください。

機能を上手く使うために

J00300300015

携帯電話やパソコンなどの電子機器からの影響

- 車内で携帯電話を使用すると、オーディオから雑音が出ることがあります。このときは、携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。
- 車内や車の近くでパソコンなどの電子機器を使用すると、カーナビゲーションが正常に作動しないことがあります。このときは、電子機器を車からできるだけ離して使用してください。

環境保護のために守っていただきたいこと

J00300400162

廃棄物を処理するときは

J00301500056

- 補機用バッテリーは、鉛や希硫酸が使われています。使用済みの補機用バッテリーは、新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。

- タイヤを燃やすと、有害なガスを発生させます。
使用済みのタイヤは、新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- 冷却水などを地下や河川などに流すと、水質汚濁の原因となります。
冷却水などを交換する場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。

エアコンの冷媒ガスについて

J00301600015

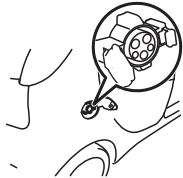
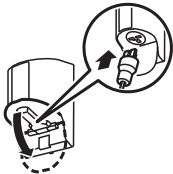
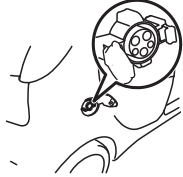
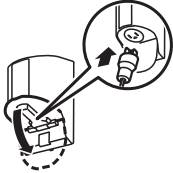
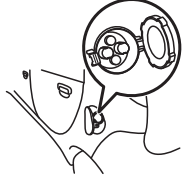
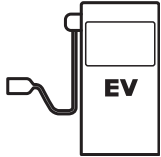
- エアコン冷媒は、オゾン層を破壊させない代替フロンガス HFC-134a (R134a) を使用していますが、この代替フロンガスにも地球を温暖化させる働きがあります。エアコンの効きが悪い場合は三菱自動車販売会社でガス漏れの点検を行い、ガスの大気放出を防止してください。



充電

充電	5-2
バッテリーについて	5-3
充電について	5-3
充電トラブルシューティングガイド	5-21
MiEV リモートシステム	5-26

駆動用バッテリーを充電するのに以下の方法があります。

種類	充電給電口	充電コネクター	電源	充電時間 * ¹	参照
普通充電 (AC 200V)				約 7 時間	P.5-4
普通充電 (AC 100V)* ² タイプ別装備				約 21 時間	P.5-4
急速充電				約 30 分 * ³ (満充電の 80%まで)	P.5-16

*¹: 駆動用バッテリー残量計が 1 目盛（駆動用バッテリー残量警告灯と交互点滅）になってからの充電時間であり、バッテリーの状態、車両の使用環境、急速充電器の仕様によって異なります。また、高温時、低温時および充電中にエアコンを使用したときは充電時間が長くなる場合があります。

*²: AC 100V 用の普通充電ケーブルは、標準装備されておりません。必要なときは、三菱自動車販売会社でお買い求めください。

*3: 急速充電器の出力が 50kW 仕様の場合の充電時間です。

バッテリーについて

J01800100031

お車にはモーター（パワーユニット）およびエアコンを作動させる駆動用バッテリーとパワーユニットの起動、照明、ワイパーなどを作動させる補機用バッテリーの 2 種類が搭載されています。本章では駆動用バッテリーの充電について説明します。

アドバイス

- 補機用バッテリーは READY（走行可能）表示灯の点灯中または駆動用バッテリーの充電中に自動的に充電されます。
- 補機用バッテリーがバッテリー上がりを起こしているときは、パワーユニットを起動できません。
また、充電もできません。
→「補機用バッテリーが上がったときは！」 P.15-26

充電について

J01800201231

普通充電は AC 200V*1 または AC 100V*2 の EV 充電用コンセントを電源として、車載の普通充電ケーブルを使用して行います。

急速充電は、CHAdeMO（チャデモ）規格に準拠した急速充電器で行います。（CHAdeMO は、日本発の電気自動車用急速充電の規格で、その内容は国際標準にもなっています。）

なお、普通充電は、公共用および家庭用に市販された充電ケーブル付き普通充電器を使用して行うことも可能です。ただし、これらの充電器には、i-MiEV の充電に対応していないものや、車載の普通充電ケーブルとは充電時間が異なるものがある可能性がありますので、各充電器のマニュアルおよび仕様をご確認の上、ご使用ください。

- *1: AC 200V 普通充電ケーブル使用時
- *2: AC 100V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

警告

- AC 200V・AC 100V いずれの場合も、20A 以上の専用分岐回路に接続された EV 充電用コンセントを使用してください。
また、電源回路には漏電遮断器を設置し、コンセントには必ずアース接続を行ってください。アース接続されていないコンセントは、万一の漏電の際に人体を感電から護る仕組みが働かないため、電気自動車の充電には使用しないでください。EV 充電用以外のコンセントを使用した場合、または専用の電源回路を使わない場合は配線の異常発熱、ブレーカーによる電気回路の遮断、他の電気機器への悪影響などが発生することがあります。
- 設置場所が屋外、または雨水などで濡れる可能性がある場合には、防水処理された EV 充電用コンセントを使用してください。
- 雨や雪の日でも充電はできます。ただし、感電を防止するためつぎのことに注意してください。
 - ・充電給電口、充電コネクタ、コンセント、プラグを濡れた手でさわらない。
 - ・充電給電口、充電コネクタ、コンセント、プラグの端子部が濡れないように接続する。
 - ・大雨、大雪、強風などの悪天候のときや、今後悪天候が予想されるときは、屋外での充電は行わない。

⚠ 警告

- 落雷のおそれがある場合は充電を行わない。万一、普通充電中に急に雷が鳴り出した場合は、車両および充電コネクタにはさわらず、ブレーカーを OFF にする。
- 充電給電口や充電コネクタに水が入ると漏電の原因となり、火災、感電のおそれがあります。充電リッドおよび中ブタを空けたままにしたり、充電ケーブルを屋外に放置しないようご注意ください。
- 充電中にコンセントの接続部分が雪に埋もれてしまったときは、先にコンセントにつながっている手元スイッチまたはブレーカーを切ってから、雪を除去してプラグを抜いてください。
充電中に車両が雪に埋もれてしまった場合も雪を除去してから、充電コネクタを抜いてください。
- 外出先で普通充電をする場合、普通充電器の一部は、この車両に対応していないことがあります。使用する前に、この車両に対応していることを普通充電器の管理者または充電器メーカーにお問い合わせください。また、充電作業は充電器本体に表示された操作手順にしたがって行ってください。

⚠ 注意

- 充電コネクタを充電給電口に接続したままでセクターレバーを **P** 以外に動かさないでください。傾斜のある場所では、車が動き充電コネクタなどが損傷するおそれがあります。
つぎの条件がそろった場合、充電ランプが点滅して充電コネクタ抜き忘れ警告ブザーが鳴り、充電コネクタが接続されたままであることを知らせます。
 - ・充電コネクタ：接続されている状態
 - ・パワースイッチ：“ON” 位置
 - ・セクターレバー：**P** 以外の位置

📖 アドバイス

- 駆動用バッテリーの容量を維持するため、つぎのことをおすすめします。
 - ・急速充電のみを繰り返す行う場合、2 週間に 1 回程度は、普通充電で満充電にする。
 - ・満充電付近で充電を繰り返さない。
 - ・できるだけ普通充電で充電する。
- 普通充電コネクタと急速充電コネクタを同時に差し込まないでください。同時に差し込むと普通充電ができない場合があります。

📖 アドバイス

- 充電中、パワースイッチが LOCK の位置でも、駆動用バッテリー冷却システムが作動しているときや、プレ空調（タイプ別装備）が作動しているときに、冷却ファンやエアコンコンプレッサーなどの作動音が聞こえることがあります。異常ではありません。
→「プレ空調」P.5-26, 5-38
- 普通充電中に停電が発生したときは、電気の復旧とともに充電も自動的に再開されます。

普通充電のしかた（AC 200V コンセント *¹ または AC 100V コンセント *² での充電方法）

J01801201212

- *¹: AC 200V 普通充電ケーブル使用時
 *²: AC 100V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

⚠ 警告

- 安全のため、充電はお子さまや不慣れな方だけで行わないでください。また、充電コネクタを幼児の手の届くところで使用しないでください。

⚠ 警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は、充電による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してから充電作業を行ってください。充電が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は、充電中につきのことをお守りください。
 - ・充電コネクター、充電ケーブル、コントロールボックス、普通充電スタンドに植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器の植込み部位を近づけないようにしてください。
 - ・車内にとどまらないでください。
 - ・物を取るときなどに、ラゲッジルームを含めた車内に入り込まないでください。
- 普通充電ケーブルを束ねたり、巻き付けた状態で充電しないでください。普通充電ケーブルが異常発熱して火災の原因となるおそれがあります。
- 充電前に、充電給電口および充電コネクターにほこりなどの異物が入っていないことを確認してください。このとき充電給電口に手を触れないようにしてください。ほこりなどの異物が入り込んでいる場合は、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠ 警告

- 充電コネクターと充電給電口を接続する際、接続部に水やほこりなどの異物が入らないようにしてください。水やほこりなどの異物が入ったまま接続すると火災、感電の原因となります。接続部に強く水などがかかるおそれのあるときは充電しないでください。
- 充電機器を取り扱うときはつぎの点に注意してください。火災、感電、ショートの原因となります。
 - ・普通充電ケーブルを抜き差しするときは、ケーブル部を引っ張って抜かないでください。プラグ部を持って抜いてください。
 - ・普通充電コネクター、コントロールボックス、プラグは水の中につけないでください。
- 感電など充電中の事故を防ぐため、つぎのことをお守りください。
 - ・普通充電ケーブルは、必ずこの車両用のものを使用する。
 - ・防水処置のされているコンセントを使用する。
 - ・ボデーカバーをかけたまま充電しない。
 - ・濡れた手でプラグの抜き差しをしない。
- 普通充電ケーブルやプラグが損傷していたり、異物が入り接続できない場合は、無理に接続しないでください。

⚠ 警告

- プラグや充電ケーブル、コントロールボックスに異常な発熱を感じたらすぐに使用を中止してください。使用中表面が暖かくなることがありますが故障ではありません。
- いつもと違う臭いがしたり、車両から煙が出ているときは、すみやかに充電を中止してください。
- 周囲が囲まれた換気の悪い場所で充電しないでください。また補機用バッテリーに火気を近づけないでください。充電の際に補機用バッテリーから発生する可燃性ガスが建物内などに充満して、爆発するおそれがあります。やむを得ず充電するときは、換気を十分に行ってください。

⚠ 注意

- 発電機などAC 200VまたはAC 100V コンセント以外の電源から充電を行なわないでください。故障の原因となります。
- 充電中、パワースイッチがLOCKの位置でも、ボンネットルーム内の冷却ファンが自動的に作動することがあります。充電中は、冷却ファンに手を近づけないでください。

アドバイス

- 普通充電コネクタや普通充電給電口に異物が入り接続ができなくなったときは、無理に接続せずに三菱自動車販売会社にご連絡ください。無理に接続しようとすると、充電装置と車両が破損するおそれがあります。

アドバイス

- 充電中は盗難などを防ぐため、必ずドアを施錠してください。

普通充電ケーブル

J01801801191

5

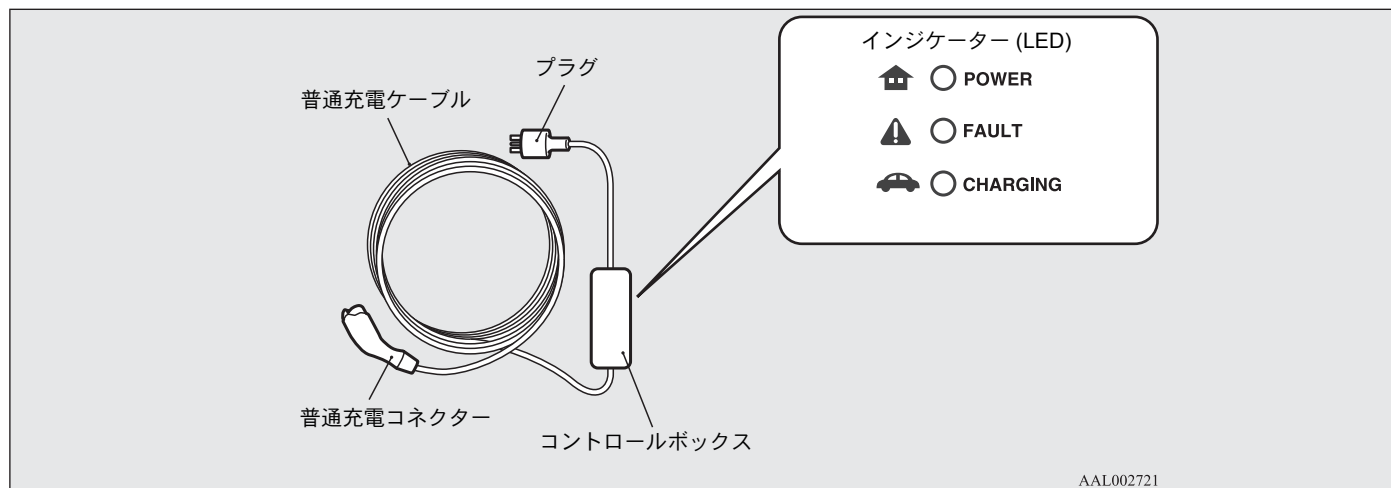
付属の袋に普通充電ケーブルが入っています。

- AC 200V 普通充電ケーブル 5m

つぎの普通充電ケーブルが必要なときは、三菱自動車販売会社でお買い求めください。

- AC 200V 普通充電ケーブル 10m
- AC 100V 普通充電ケーブル 5m

普通充電ケーブルには、コントロールボックスが装備されています。



インジケータは以下の状況で点灯，点滅します。

○：点灯 ◎：点滅 ●：消灯

POWER 🏠	FAULT ⚠	CHARGING 🚗	作動状態
○	○	○	普通充電ケーブルのプラグをコンセントに接続するたびに，作動確認のため，すべてのインジケータが約 0.5 秒点灯します。
○	●	●	普通充電コネクタを普通充電給電口に接続していないことを示します。
○	●	○	駆動用バッテリーが充電されています。
○	●	◎	充電が終了したことを示します。* ¹

充電について

*1: MiEV リモートシステム付き車では充電待機状態、または充電が終了したことを示します。

POWER 🏠	FAULT ⚠️	CHARGING 🚗	異常検知時作動状態 および必要な対応
○	◎	●	漏電しているか、普通充電ケーブルが故障しています。すぐに使用を中止して、三菱自動車販売会社にご連絡ください。
○	○	●	普通充電ケーブルが故障しています。すぐに使用を中止して、三菱自動車販売会社にご連絡ください。
●	●	●	コンセントが通電していないか、普通充電ケーブルが故障しています。コンセントに電源がきているにもかかわらず、プラグをコンセントに接続してもインジケータが点灯しないときは、すぐに使用を中止して、三菱自動車販売会社にご連絡ください。

⚠️ 警告

- コントロールボックスの POWER と CHARGING インジケータが点灯しないとき、または充電中に FAULT インジケータが点滅または点灯したときは、すぐに普通充電ケーブルを取り外し、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 普通充電ケーブルの改造・分解はしないでください。火災、感電、けがの原因となります。

⚠️ 警告

- 普通充電ケーブルを使用しないときは普通充電コネクタのキャップを必ず取り付け、水で濡れたりほこりが入らない場所に保管してください。普通充電コネクタやプラグの金属端子部に水やほこりなどの異物が入ると火災、故障の原因となります。
- 普通充電ケーブル、普通充電給電口、普通充電コネクタ、プラグ、コンセントに損傷、腐食、さびがある場合、またプラグを挿してグラグラするような劣化したコンセントでは充電しないでください。火災、感電、ショートの原因となります。

⚠️ 警告

- 普通充電ケーブルを取り扱うときはつぎの点に注意してください。
ケーブルの損傷から、火災、感電、ショートの原因となります。
- ・ 落としたり、強い衝撃を与えない。
- ・ 無理に引っ張ったり、曲げたりしない。
- ・ ねじらない。
- ・ 引きずらない。
- ・ 上にものを載せない。
- ・ ストープなどの熱器具に近づけない。

📖 アドバイス

- 普通充電ケーブルをこの車両以外に使用しないでください。

📖 アドバイス

- 普通充電ケーブルは、日本国内の EV 充電用 AC 200V コンセント *¹ または EV 充電用 AC 100V コンセント *² 専用です。
- プラグをコンセントに差し込んだとき、作動確認のためコントロールボックスのすべてのインジケータが一瞬点灯し、その後に POWER インジケータのみ点灯し続けます。
- 充電が完了したとき、コントロールボックスの CHARGING インジケータが点滅します。なお、コンセントがつながっている間は POWER インジケータが点灯し続けます。

- *¹: AC 200V 普通充電ケーブル使用時
 *²: AC 100V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

コントロールボックスの取り扱い

J01802001073

⚠️ 警告

- コントロールボックスを取り扱うときはつぎの点に注意してください。コントロールボックスの損傷から火災、感電、けがの原因となります。
- 改造・分解はしない。
- 水の中につけない。

⚠️ 警告

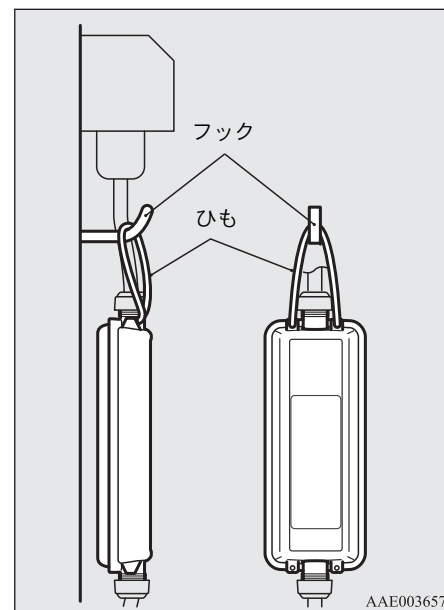
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしない。

⚠️ 注意

- ケーブルやコントロールボックスに足を引っ掛けるなどして強い力が加わると、コンセントおよびプラグが破損するおそれがありますので、注意してください。

📖 アドバイス

- コントロールボックスにひもを通して、フックに吊り下げることができます。
- フックおよびひもを使用する際は、普通充電ケーブルの重さ（約 4kg）に耐えられるものを使用してください。



5

普通充電ケーブルのお手入れ

J01801901033

1. ガーゼなどの柔らかい布に、中性洗剤を薄めた水溶液を含ませて、軽くふき取ります。
2. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって、洗剤をきれいにふき取ります。

充電について

3. 水分をよくふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠警告

- お手入れの際は、必ずプラグおよび普通充電コネクタをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 普通充電コネクタおよびプラグの金属端子部には水や中性洗剤を付けないようにしてください。水などが付いたままで使用すると火災、感電の原因となります。

⚠注意

- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変形、変色、故障の原因になります。また、各種クリーナ類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますので、よくご確認のうえ使用してください。

- いずれかのドアまたはテールゲートを開ける。



普通充電給電ランプを再度点灯したいときは、つぎのいずれかの操作を行ってください。

- キーレスオペレーションキーの UNLOCK スイッチを押す。
- いずれかのドアまたはテールゲートを開ける。

📖アドバイス

- 普通充電給電ランプはルームランプ（ルームランプのスイッチが中間（●）または DOOR の位置にあるとき）と同様に点灯／消灯します。ただし、ルームランプ（フロント）のレンズを押したり、ルームランプ（リヤ）のスイッチを ON の位置にしても、普通充電給電ランプは点灯しません。詳しくはつぎの項をお読みください。
→「キーレスオペレーションシステム：施錠・解錠時の作動確認」P.6-7, 6-15
→「マップ&ルームランプ（フロント）」P.10-3
→「ルームランプ（リヤ）」P.10-5
- ランプが消灯するまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

普通充電給電ランプ

J01804601057

普通充電給電ランプは、つぎのいずれかの操作で点灯します。

- キーレスオペレーションキーの UNLOCK スイッチを押す。

充電するときは

J01801701190

⚠ 警告

- コンセントはつぎの種類のもののみ対応しています。つぎの種類以外のコンセントおよび、専用回路ではないコンセントには、絶対に接続しないでください。

AC 200V コンセント *¹ :

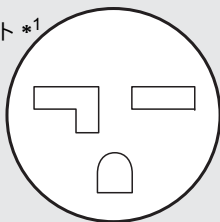
日本配線システム工業会規格 JWDS-0033

EV 充電用コンセント 20A 250V

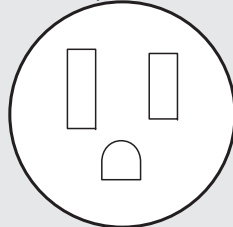
AC 100V コンセント *² :

日本配線システム工業会規格 JWDS-0033

EV 充電用コンセント 15A 125V

AC 200V
コンセント *¹

AAA051676

AC 100V コンセント *²

AAA053407

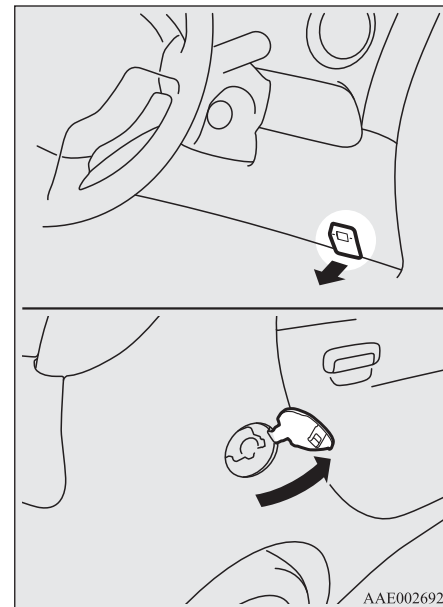
*¹: AC 200V 普通充電ケーブル使用時*²: AC 100V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

⚠ 注意

- コンセントは地上 1m 前後に設置されたものを使用してください。コンセントの設置位置が低い場合、コントロールボックスが地面に接し、水没や踏みつけてしまうなど、トラブルの原因となります。

1. 駐車ブレーキを確実にかけ、セクターレバーを P に入れます。
2. ライトなどの電装品を停止して、パワースイッチを LOCK まで回します。

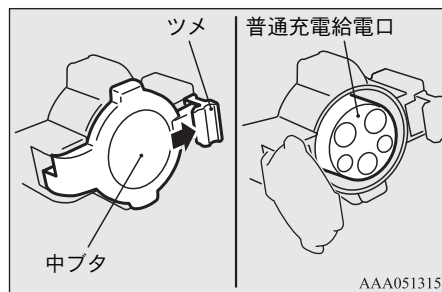
3. 計器盤右下のレバーを引いて車両右側後方のリッドを開けます。



AAE002692

充電について

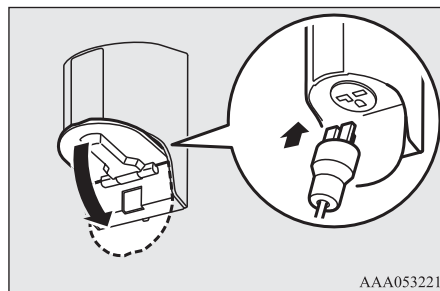
4. ツメを押して中ブタを開けます。



アドバイス

- 普通充電給電口が凍結したときは、ヘアドライヤーなどで解凍してください。凍結したまま普通充電コネクタを無理に接続しようとすると、故障の原因になります。

5. 普通充電ケーブルのプラグをコンセントに確実に差し込み、コンセントのふたロック機構でプラグをロックします。



警告

- 使用する前にコンセントにプラグが根元までしっかり差し込まれていることを確認してください。根元まで十分に差し込まれていない状態で充電を続けると異常発熱して火災の原因となるおそれがあります。

警告

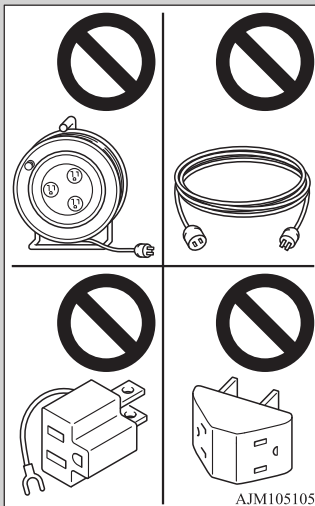
- AC 200V・AC 100V いずれの場合も、20A以上の専用分岐回路に接続された EV 充電用コンセントを使用してください。また、電源回路には漏電遮断器を設置し、コンセントには必ずアース接続を行ってください。アース接続されていないコンセントは、万一の漏電の際に人体を感電から護る仕組みが働かないため、電気自動車の充電には使用しないでください。EV 充電用以外のコンセントを使用した場合、または専用の電源回路を使わない場合は配線の異常発熱、ブレーカーによる電気回路の遮断、他の電気機器への悪影響などが発生することがあります。
- 設置場所が屋外、または雨水などで濡れる可能性がある場合には、防水処理された EV 充電用コンセントを使用してください。

アドバイス

- 普通充電給電口には排水用の穴があります。この穴が詰まったりして普通充電給電口内に水が溜まったときは、充電を行わずに三菱自動車販売会社にご連絡ください。

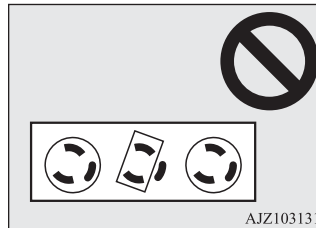
⚠ 警告

- コンセントとプラグの間に延長コードやアース変換プラグなどを絶対に接続しないでください。これらを接続すると、異常発熱して火災の原因となるおそれがあります。



📖 アドバイス

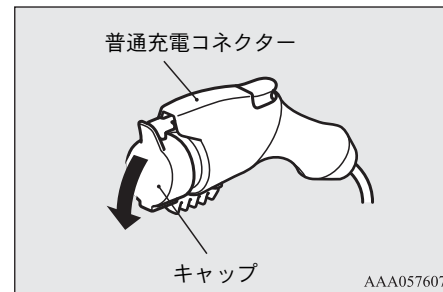
- AC 100V コンセント* にはプラグを差し込んだあと、時計回りに回して固定するものがありますが、このタイプは使用しないでください。このタイプは、庭園灯、看板灯、屋外で使用する電動工具などのために設置されているものなので、電気自動車の充電には使用できません。



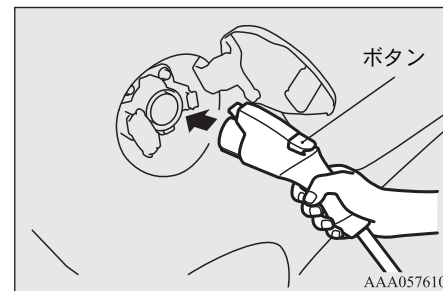
- つぎの場所に設置されているコンセントは使用する前に、この車両に対応しているか確認してください。
 - ・ 自宅やマンションなどに設置されているコンセント
 - ・ 一般の駐車場や車庫に設置されているコンセント

*: AC 100V 普通充電ケーブル（タイプ別装備）使用時

6. 普通充電コネクターのキャップを取り外し、普通充電コネクタおよび普通充電給電口の先端部にほこりなど異物が付いていないことを確認します。

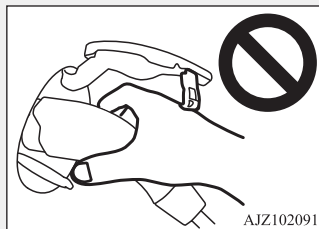


7. 図のように普通充電コネクターの下部を握り、ボタンを押さずにカチッと音がするまで差し込みます。



⚠ 注意

- 普通充電コネクタの頭部を握らないでください。
- リッドの内側の突起物に気をつけてください。



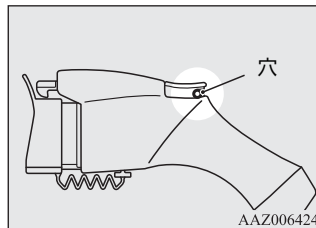
- 充電中は普通充電コネクタに無理な力を加えないでください。普通充電コネクタや普通充電給電口が破損して、充電ができなくなる可能性があります。

📖 アドバイス

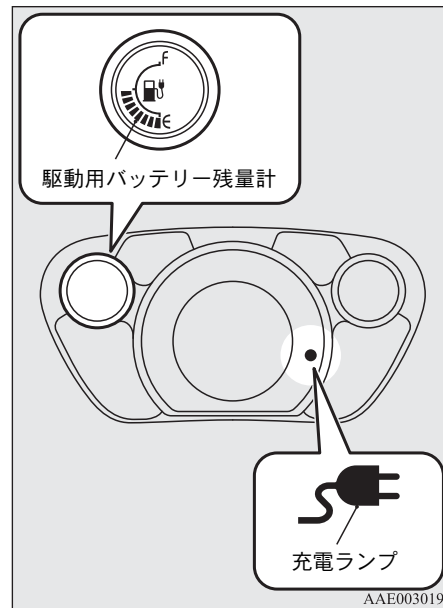
- 普通充電コネクタを短時間に何度も抜き差ししないでください。充電が開始されない場合があります。
- 普通充電コネクタを普通充電給電口に差し込んで、パワースイッチを START 位置まで回しても、走行可能状態になりません。

📖 アドバイス

- 充電中、普通充電コネクタの穴に南京錠をつけることで、普通充電コネクタの盗難防止ができますが、適さない寸法の南京錠を使用した場合は、盗難防止機能は働きません。また、南京錠に強い力を加えた場合は、充電コネクタの破損につながるおそれがあります。南京錠は三菱自動車販売会社へお問い合わせください。



8. メーター内の充電ランプが点灯していることを確認します。
このとき、駆動用バッテリー残量計も同時に点灯します。



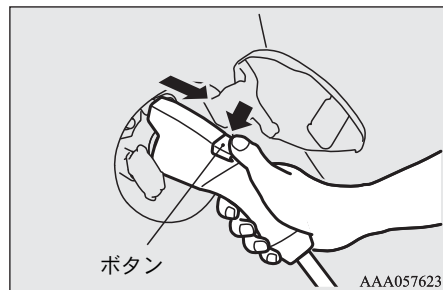
充電ランプが点灯しない場合は、充電が開始されていません。

普通充電給電口およびプラグが正しく接続されているか確認しながら、再度手順 5. からやり直してください。

アドバイス

- 充電ランプは、充電コネクタを充電給電口に差し込むと点滅し、充電が開始されると点灯に切り替わります。
- 充電中はメーター内の駆動用バッテリー残量計が点灯し、充電量を確認することができます。充電が完了すると、消灯します。
- 充電中は盗難などを防ぐため、必ずドアを施錠してください。

9. 充電ランプが消灯したら充電は完了です。図のように普通充電コネクタの下部を握り、ボタンを押しながら引き抜き、普通充電コネクタのキャップを取り付けます。



注意

- 走行する前は、必ず普通充電コネクタが普通充電給電口から取り外されていることを確認してください。普通充電コネクタが根元まで差されておらずロックがかかっていない場合、パワースイッチを操作すると走行可能状態にできるため、車両が発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 充電を途中で中止することもできます。この場合も、ボタンを押しながら普通充電コネクタを引き抜きます。

10. 中ブタを閉じてから、リッドを閉じます。

警告

- 充電が終わった後は普通充電給電口の中ブタおよびリッドを確実に閉めてください。また、普通充電給電口、中ブタおよび普通充電コネクタに水やほこりが入らないように注意してください。水やほこりなどが入ると漏電の原因となり、火災、感電の原因となります。

アドバイス

- 中ブタを閉めずにリッドを強引に閉めると、中ブタが破損するおそれがありますので確実に閉じてください。

11. 普通充電ケーブルのプラグをコンセントから引き抜きます。
12. 普通充電ケーブルを付属の袋に入れて保管します。

電池暖房(電気温水式ヒーター付き車)

タイプ別装備

J01804501027

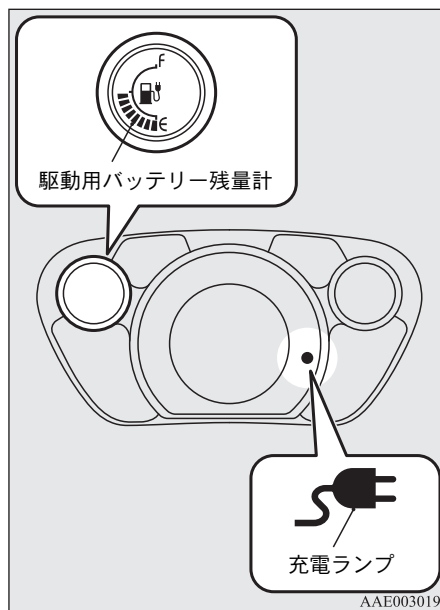
駆動用バッテリーの温度が -25°C 以下では充電ができません。そのため、つぎの条件がすべて整っているときに自動でエアコンが作動し、駆動用バッテリーを温めます。

- 駆動用バッテリー温度が -30°C から -25°C の間にある
- 駆動用バッテリー残量計の目盛が 4 つ以上である
- パワースイッチが LOCK の位置にある
- 普通充電コネクタが普通充電給電口に差し込んである

📖 アドバイス

- MIEV リモート付き車は、充電開始から 6 時間ごとに上記の条件をチェックし、すべて整っていると、電池暖房を実施します。

電池暖房中は、メーター内の駆動用バッテリー残量計と充電ランプが点灯します。
駆動用バッテリーの温度が -20°C 以上に温まると、電池暖房は自動で停止します。



📖 アドバイス

- プレ空調作動中に電池暖房が作動すると、プレ空調はいったん停止します。電池暖房が停止すると、再びプレ空調が作動します。

急速充電のしかた（急速充電器での充電方法）

J01801301239

⚠️ 警告

- 必ず、CHAdemo 規格に準拠し、CHAdemo 協議会の認証を受けた急速充電器を使用してください。それ以外の急速充電器を使用すると火災、故障の原因となります。
- 急速充電器の操作は、各急速充電器のマニュアルにしたがって正しく行ってください。無理な操作を行うと故障の原因となります。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は、つぎのことをお守りください。電磁波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
 - ・急速充電器を使用しないでください。
 - ・急速充電器を設置している場所には、可能な限り近づかないでください。なお、不用意に近づいた場合は、立ち止まらず速やかに離れてください。
 - ・急速充電器を操作する必要がある場合は、他の方をお願いしてください。
- 充電前に、急速充電給電口および急速充電コネクタにほこりなどの異物が入っていないことを確認してください。このとき急速充電給電口に手を触れないようにしてください。

⚠ 警告

- 急速充電コネクタと急速充電給電口を接続する際、接続部に水やほこりなどの異物が入らないようにしてください。水やほこりなどの異物が入ったまま接続すると火災、感電の原因となります。接続部に強く水などがかかるおそれのあるときは充電しないでください。
- 充電中は、急速充電コネクタをむりやり外そうとしたり、ゆすったりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 充電中、パワースイッチがLOCKの位置でも、ボンネットルーム内の冷却ファンが自動的に作動することがあります。充電中は、冷却ファンに手を近づけないでください。

📖 アドバイス

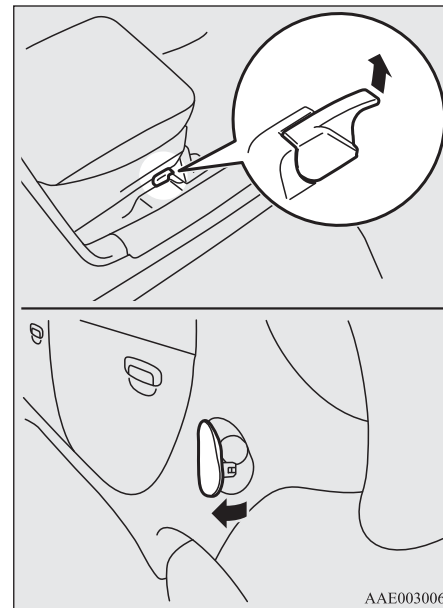
- 充電中には急速充電コネクタ、ケーブルが車体よりはみ出すため、体に引っ掛けたり、隣の車両に接触しないように注意してください。
- 急速充電コネクタや急速充電給電口に異物が入り接続ができなくなったときは、無理に接続せずに三菱自動車販売会社にご連絡ください。無理に接続しようとする、充電装置と車両が破損するおそれがあります。
- 充電中は盗難などを防ぐため、必ずドアを施錠してください。

📖 アドバイス

- 充電中は、パワースイッチをONにしないでください。ONにすると急速充電が停止します。また、もう一度急速充電を開始する場合、再度課金されることがあります。
- 急速充電器は、使用可能時間内に充電が終了するように余裕を持って使用してください。充電中に急速充電器の電源がOFFになった場合、車両故障につながるおそれがあります。

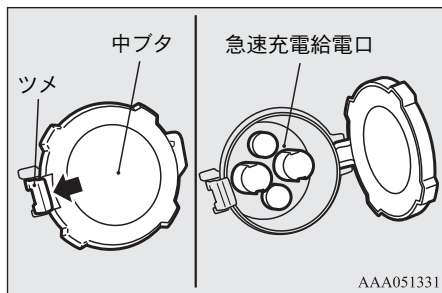
1. 駐車ブレーキを確実にかけ、セレクトレバーをPに入れます。
2. ライトなどの電装品を停止して、パワースイッチをLOCKまで回します。

3. 運転席右下のレバーを引いて車両左側後方のリッドを開けます。



充電について

4. ツメを押して中ブタを開けます。



📖 アドバイス

- 急速充電給電口が凍結したときは、ヘアドライヤーなどで解凍してください。凍結したまま急速充電コネクタを無理に接続しようとすると、故障の原因になります。

5. 急速充電給電口に急速充電コネクタを取り付け、充電を開始します。取り付け方、取り外し方については、各急速充電器のマニュアルにしたがってください。

⚠ 注意

- 急速充電コネクタを落下させるとケガをしたり、車両や急速充電コネクタ、急速充電給電口を破損したりするおそれがありますので、十分注意してください。
- 急速充電コネクタを差し込むときは、急速充電給電口に対してまっすぐに根元まで差し込んでください。急速充電コネクタが根元まで差し込まれないまま充電を開始すると、駆動用バッテリーが充電されなかったり、充電機器が破損するおそれがあります。

⚠ 注意

- 充電中は急速充電コネクタがロックされ取り外すことができません。無理に急速充電コネクタを外そうとすると急速充電コネクタが破損する可能性がありますので、充電中は急速充電コネクタに触らないようにしてください。途中で充電を止めるときは、急速充電器の表示手順に従って充電を停止して、充電が中止されたことを確認してから急速充電コネクタを取り外してください。

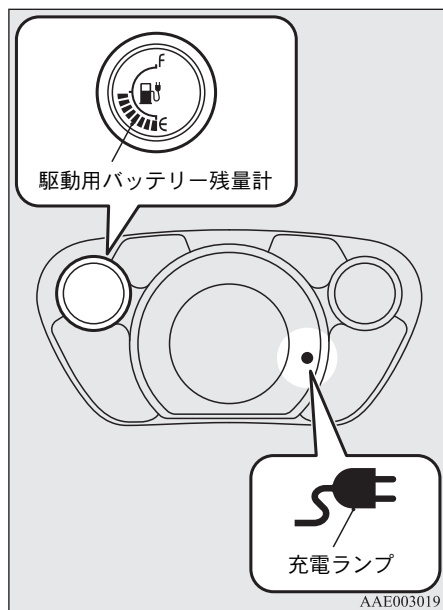
6. メーター内の充電ランプが点灯していることを確認します。
このとき、駆動用バッテリー残量計も同時に点灯します。

⚠ 警告

- 急速充電給電口の中ブタおよびリッドを開けたまま長時間放置しないでください。急速充電給電口に水やほこりなどが入ると漏電の原因となり、火災、感電の原因となります。
- 急速充電給電口および急速充電コネクタの金属端子部に手を触れないでください。感電、故障の原因となります。

📖 アドバイス

- 急速充電給電口には排水用の穴があります。この穴が詰まったりして急速充電給電口内に水が溜まったときは、充電を行わずに三菱自動車販売会社にご連絡ください。



充電ランプが点灯しない場合は、充電が開始されていません。
急速充電器のマニュアルにしたがってください。

アドバイス

- 充電ランプは、急速充電コネクタを急速充電給電口に差し込むと点滅し、充電が開始されると点灯に切り替わります。

アドバイス

- 充電中はメーター内の駆動用バッテリー残量計が点灯し、充電量を確認することができます。充電が完了すると、消灯します。
- 急速充電中は、冷却ファンやエアコンプレッサーなどの作動音が聞こえることがあります。これは駆動用バッテリー冷却システムが作動したためで異常ではありません。
- 駆動用バッテリー冷却システムはエアコンの冷気を利用するため、自動的にエアコンが作動します。急速充電後車体下が濡れていても、透明でサラサラしていればエアコンの除湿水であり異常ではありません。

7. 充電ランプが消灯したら充電は完了です。充電は下記の条件で終了します。

- ほぼ満充電になったとき。
- 充電時間が 60 分を経過したとき。
- 急速充電器側で充電停止操作を行ったとき。
- 急速充電器側に設定されている停止条件（充電量・充電時間）となったとき。

各急速充電器のマニュアルにしたがって、急速充電コネクタを取り外します。

注意

- 充電が終わった後は急速充電コネクタを取り付けたまま放置しないでください。誤ってケーブルに足を引っかけたて転倒したり、いたずらにより急速充電給電口を破損するおそれがあります。
- 走行する前は、必ず急速充電コネクタが急速充電給電口から取り外されていることを確認してください。急速充電コネクタが根元まで差されておらずロックがかかっていない場合、パワースwitchを操作すると走行可能状態にできるため、車両が発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 急速充電が正常に終了しなかった場合、パワーユニットを起動することはできませんが、充電ランプは点滅し続けます。このようなときは、再度急速充電を行い、正常に終了させるか、三菱自動車販売会社へ連絡してください。
- 急速充電は満充電付近になると充電される速度が遅くなります。つぎに待っている人がいるときは、必要な量で充電を停止し、つぎの方にゆずってあげてください。
- 充電終了後は、充電器の前に車両を駐車したままにせず、すみやかに車両を移動してください。

アドバイス

- 急速充電は、充電量が100%になる前に充電が完了します。これは CHAdeMO 規格の仕様であり、故障ではありません。

8. 中ボタンを閉じてから、リッドを閉じます。

警告

- 充電が終わった後は急速充電給電口の中ボタンおよびリッドを確実に閉めてください。
また、急速充電給電口、中ボタンおよび急速充電コネクタに水やほこりが入らないように注意してください。
水やほこりなどが入ると火災、感電、ショートの原因となります。

アドバイス

- 急速充電コネクタを急速充電給電口に接続したままで、パワースイッチをSTART位置まで回しても、パワーユニットの起動はできません。
起動させる前に、必ず急速充電コネクタを外してください。
- 充電が終わった後、急速充電給電口の中ボタンを閉めずにリッドを強引に閉めると、中ボタンが破損するおそれがありますので確実に閉めてください。

充電トラブルシューティングガイド

J01804401172

症状	原因	対処法
充電が開始されない。	セクターレバーが P 以外の位置にある。	セクターレバーを P の位置にしてください。
	パワースイッチが ON になっている。	充電前に、パワースイッチを LOCK にしてください。
	駆動用バッテリーがすでに満充電になっている。	駆動用バッテリーがすでに満充電になっているときは、充電が行われません。
	駆動用バッテリーの温度が極端に低い。	駆動用バッテリーの温度が極端に低いと充電が行われません。→「極寒時の注意事項と対処方法」P.2-7
	補機用バッテリーがあがっている。	パワーユニットが起動できないため、駆動用バッテリーが充電できません。補機用バッテリーを充電してください。→「補機用バッテリーが上がったときは！」P.15-26
	車両または充電ケーブルに異常がある。	車両または充電ケーブルに異常がある可能性があります。メーター内のパワーユニット警告灯が点灯してないか確認してください。→「パワーユニット警告灯」P.8-13 また、コントロールボックスのインジケーターが異常を示していないか確認してください。→「普通充電ケーブル」P.5-6 警告が表示された場合は、すぐに充電を中止し三菱自動車販売会社に連絡してください。
	ヒューズが切れている。	運転席足元にあるヒューズボックス内の室内灯（ルームランプ）のヒューズが切れていないか確認してください。→「ヒューズが切れたときは！」P.15-32

症状	原因	対処法
普通充電が開始されない。	コンセントまで電力がきていない。	停電していたり、漏電遮断機が作動していないか確認してください。なお、電源にタイマー機能がついている場合、電源に設定されている時間帯までは、コンセントに電力が供給されないものもあります。 コントロールボックスの POWER インジケータが点灯しているか確認してください。
	充電コネクタが正しく接続されていない。	普通充電コネクタが正しく接続されているか確認してください。
	他の車種の普通充電ケーブルを使用している。	この車両専用の普通充電ケーブルを使用してください。
	充電コネクタを短時間に何度も抜き差しした。	一度充電コネクタを取り外し、しばらく待ってからもう一度充電開始操作を行ってください。
	この車両に対応していない普通充電器を使用している。	この車両に対応した普通充電器であるか管理者または充電器メーカーにお問い合わせください。また、充電作業は充電器本体に表示された操作手順にしたがって行ってください。

症状	原因	対処法
普通充電が途中で止まってしまう。	コンセントまで電力がきていない。	充電中に漏電遮断器が作動したり、停電が起きたりした可能性があります。この場合、電力が復帰すると自動的に充電も再開されます。
	普通充電ケーブルが抜けてしまっている。	普通充電ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	充電コネクターのボタンが押されている。	充電コネクターのボタンがしばらく押されたままになっていると、充電が停止します。もう一度充電開始操作を行ってください。
	駆動用バッテリーの温度が極端に低い。	駆動用バッテリーの温度が極端に低いと充電が行われません。→「極寒時の注意事項と対処方法」P.2-7
	普通充電のタイマーで終了している。	普通充電器本体には、一定時間で充電が停止するようにタイマーが設定されていることがあり、この時間が経過した場合は充電が停止されます。さらに充電したいときは、一度充電コネクタを取り外し、もう一度充電開始操作を行ってください。
急速充電が開始されない。	充電コネクタが正しく接続されていない。	急速充電コネクタが正しく接続されているか確認してください。
	急速充電器のセルフチェック機能で NG になってしまった。	車両もしくは急速充電器が故障している可能性があります。ただちに充電を停止して、三菱自動車販売会社もしくは急速充電器の管理者または急速充電器メーカーに連絡してください。
	急速充電器の電源が OFF になっている。	急速充電器の電源を確認してください。OFF である場合、急速充電器の管理者または急速充電器メーカーに連絡してください。

症状	原因	対処法
5 急速充電が途中で止まってしまう。	パワースイッチを ON にした。	充電中にパワースイッチを ON にすると急速充電が停止します。パワースイッチを LOCK にして、もう一度充電開始操作を行ってください。
	急速充電のタイマーで終了している。	急速充電器本体には、一定時間で充電が停止するようにタイマーが設定されていることがあり、この時間が経過した場合は充電が停止されます。さらに充電したいときは、各急速充電器のマニュアルにしたがって一度急速充電コネクタを取り外し、もう一度充電開始操作を行ってください。
	充電時間が 60 分経過した。	急速充電の時間は最大で 60 分に設定しているため、60 分が経過した場合は自動的に充電を停止します。さらに充電したいときは、各急速充電器のマニュアルにしたがって一度急速充電コネクタを取り外し、もう一度充電開始操作を行ってください。
	急速充電器の電源が OFF になってしまった。	急速充電器の電源を確認してください。OFF である場合、急速充電器の管理者または急速充電器メーカーに連絡してください。
急速充電の時間が普段よりも長い。 急速充電中に充電ランプが点滅（2 回消灯を繰り返す）し続ける。 急速充電器の電流値が普段よりも小さい。	駆動用バッテリーの温度が高くなっている。	通常通りの充電を行う場合は、風通しの良い日陰に駐車して駆動用バッテリーの温度を下げてください。 →「酷暑時の注意事項と対処方法」P.2-6 充電時間が長くなりますが、故障ではありません。
急速充電後にパワーユニットを起動したとき、急速充電コネクタが接続されていないのに充電ランプが点滅し続ける。	急速充電が正常に終了していない。	再度急速充電を行い、正常に終了させてください。または、三菱自動車販売会社へご連絡ください。

症状	原因	対処法
急速充電後にパワーユニットが起動しない。	車両に異常がある。	車両が故障している可能性があります。パワースイッチを ON にして、セレクターレバーを N に入れた後、同乗者または付近の人に応援を求め、安全な場所まで車を押して移動させてください。 移動したら三菱自動車販売会社へご連絡ください。

MiEV リモートシステム

タイプ別装備

J01802301034

MiEV リモートシステムは、MiEV リモコンによりつぎの3つの遠隔操作を行うことができます。

すぐにMiEV リモコンを使用したい方は、「MiEV リモコンの基本操作」を参照してください。→5-31

●タイマー充電 →5-32

普通充電ケーブル接続状態で、充電開始時間または充電終了時間を指定しておく、その時間に充電を行います。

●プレ空調 →5-38

普通充電ケーブル接続状態で、乗車前に空調を運転しておくことで、乗車時の快適性を向上、または視界確保を容易にすることができます。

COOL：

プレ空調専用の冷房モードで作動します。

HEAT：

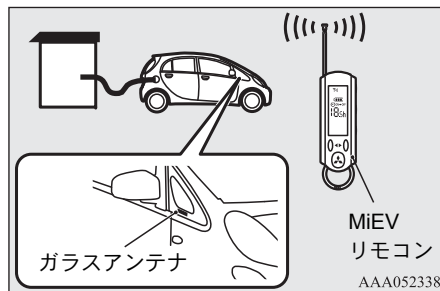
プレ空調専用の暖房モードで作動します。

また、プレ空調中にシートヒータスイッチをONにしておく、とシートヒーターが作動します。



プレ空調専用のウインドウガラスの霜取りモードで作動します。また、プレ空調中にリヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチをONにしておく、とリヤウインドウデフォッガーが作動します。

- 駆動用バッテリー 残量表示 →5-39
駆動用バッテリーの残量を確認することができます。



⚠警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用機器を使用している方は、充電やMiEV リモートシステムに使用している電磁波による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してから充電作業を行ってください。充電や電磁波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

⚠警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を使用している方は、ガラスアンテナやMiEV リモコンから約22cm以内に近づかないようにしてください。MiEV リモートシステムに使用している電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。
- 医療機器の近くでは使用しないでください。電波により医療機器に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- MiEV リモコンは、お子さまの手の届かない場所に保管してください。MiEV リモコンのアンテナなどで目を突いたりしてけがをしないよう注意してください。
- MiEV リモコンなどMiEV リモートシステムの構成部品は、電波法に基づき特定小電力無線機として、技術基準適合証明を受けています。必ずつぎの内容を守ってお使いください。
 - ・分解、改造をしないでください。電池交換のとき以外はMiEV リモコンを不用意に分解しないでください。分解、改造したMiEV リモコンを使用することは法律で禁止されています。
 - ・MiEV リモコンの裏側に貼られている技術基準適合ラベルは、はがさないでください。ラベルのないMiEV リモコンは、使用が禁止されています。

⚠ 警告

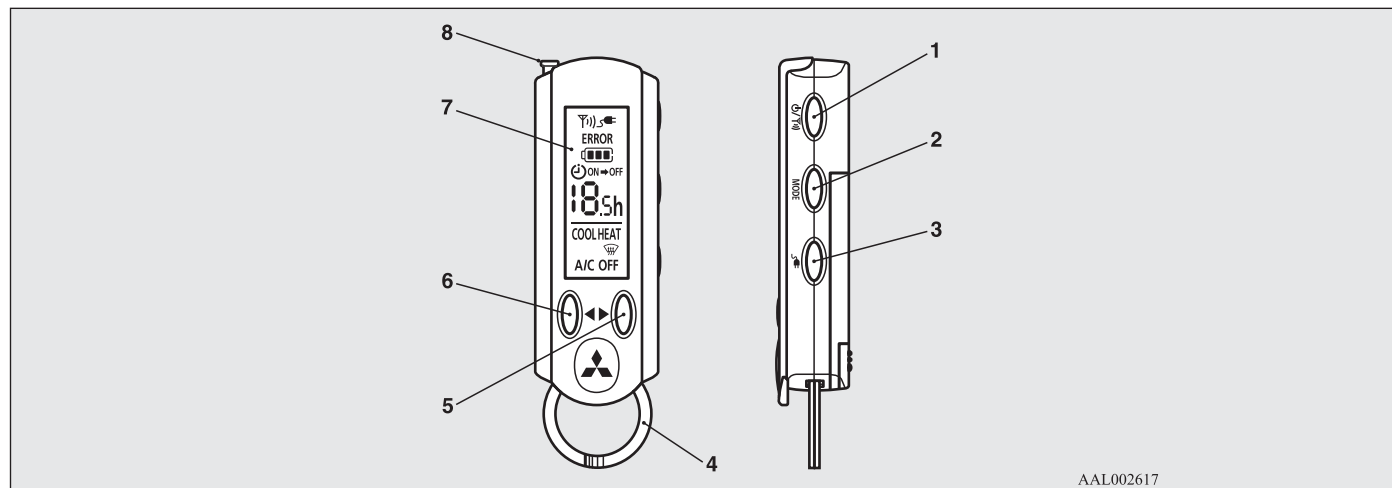
- この製品は外国の電波法には準じておりません。日本国内でご使用ください。
This product is for the use only in JAPAN.
- この製品は他の無線システムとの混信防止機能として識別自動送受信機能を搭載しています。
- 航空機内に MiEV リモコンを持ち込むときは、機内でスイッチを押さないでください。スイッチを押すと電波が発信され、航空機の運航に悪影響をおよぼすおそれがあります。
かばんなどに入れて持ち込むときも、簡単にスイッチが押されないようにしてください。

📖 アドバイス

- MiEV リモートシステムは、電波を使用しています。MiEV リモコンのスイッチは車両から約 100 m 程度で作動しますが、つぎのような周囲の環境や状況のときは、車両と通信することができない場合や正しく作動しなかったり、不安定な作動となる場合があります。あらかじめ通信可能かどうか確認して使用してください。
 - 車両と MiEV リモコンがコンクリートや金属などの壁でさえぎられているとき
 - 車両が駐車場で車高の高い車両に囲まれている場合
 - 近くに TV 塔や変電所、放送局、空港など強い電波を発する設備があるとき

📖 アドバイス

- MiEV リモコンの近くに携帯電話や無線機などの通信機器やパソコンなどの電化製品があるとき
- MiEV リモコンが金属性のものに接したり、覆われているとき
- MiEV リモコンの電池が消耗しているとき
- MiEV リモコンのメロディー音やブザー音を“音あり”、“音なし”に切り替えることができます。→「メロディー音、ブザー音の ON/OFF 切り替え方法」P.5-37
- アンテナはしっかり伸ばし、垂直に立てて操作した方が電波の飛距離が長くなります。
- ガラスアンテナは、アンテナ線が右側デルタガラスの内側にプリントされています。
- 充電施設によっては、時間帯によって電源を ON/OFF するタイマー機能を持つものがあります。タイマー機能付充電施設で充電を行う場合は、充電施設の電源が ON になっている時間内でタイマー充電時間を設定してください。
- タイマー充電中、パワースイッチが LOCK の位置でも、プレ空調が作動しているときに冷却ファンやエアコンコンプレッサの作動音が聞こえることがあります。→「プレ空調」P.5-38



AAL002617

1- 電源 / 通信スイッチ

- 電源 OFF 時, 1 秒以上長押しすると電源が入ります。
- 電源 ON 時, 1 秒未満で短く押すと車両と通信します。
- 電源 ON 時, 3 秒以上長押しすると電源が切れます。

2- MODE スイッチ

ON タイマー, OFF タイマー, プレ空調 の各表示を切り替えます。

3- マニュアル充電スイッチ

設定中の ON タイマー, OFF タイマーをキャンセルします。また, 実施中のプレ空調を停止します。

4- リング

5- UP スイッチ

表示中の設定値を上げます。

6- DOWN スイッチ

表示中の設定値を下げます。

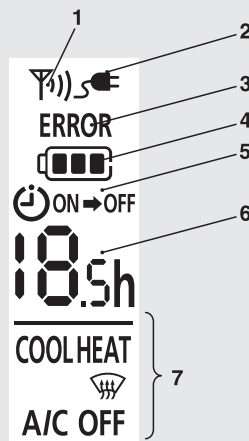
7- 表示部

8- アンテナ

アドバイス

- MiEV リモコンを紛失したときや、新しい MiEV リモコンを登録したいときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。最大 4 個まで登録することができます。

MiEV リモコン表示部



AAL002620

- 1- 車両と通信中または通信エラーであれば点滅します。
- 2- 充電中に点灯します。マニュアル充電スイッチを押したとき、またはタイマー充電やプレ空調を設定時に普通充電ケーブル未接続のときは点滅します。
- 3- 車両と通信時に、通信エラーや作動条件が整っていない場合などに点滅します。

- 4- 点灯の数によって駆動用バッテリーの残量を表示します。
また、プレ空調を設定時に駆動用バッテリーの残量不足であれば  が点滅します。
- 5-  ON:ON タイマー表示
 ON→OFF:OFF タイマー表示
- 6- ON タイマー設定時間と OFF タイマー設定時間を表示します。
- 7- プレ空調設定時に点灯します。
COOL：冷房モード
HEAT：暖房モード
：ウインドウガラスの霜取りモード
A/C OFF：プレ空調 OFF

5

注意

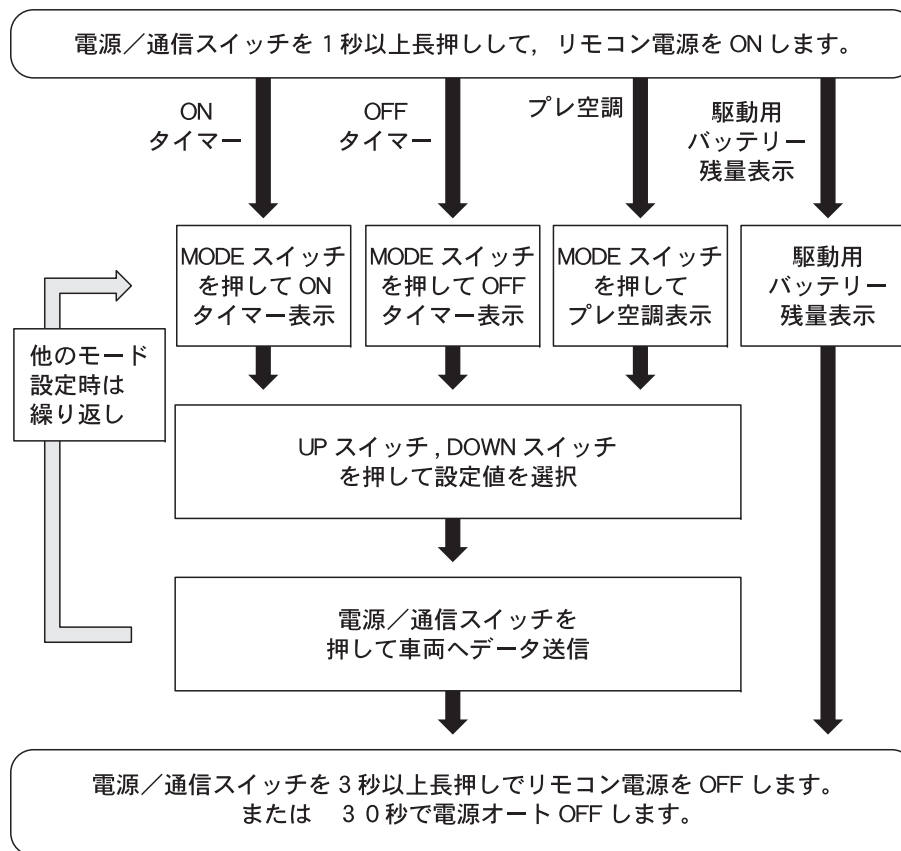
- MiEV リモコンが直射日光に当たるなど高温になる場所や極低温度の場所には置かないでください。MiEV リモコンが損傷したり、正常に作動しない場合があります。
- MiEV リモコンを落としたり、ぶつかけたり、アンテナに無理な力を加えたりしないでください。故障の原因になります。
- MiEV リモコンを水に浸さないでください。水没などで内部に水が浸入すると故障の原因になります。なお、MiEV リモコンは日常生活防水対応になっていますが、濡れた場合は速やかに水分をふき取ってください。

アドバイス

- MiEV リモコンの電池の残量は表示しません。

MiEV リモコンの基本操作

J01804301025



MiEV リモコンのお手入れ

J01802501023

1. ガーゼなどの柔らかい布に、中性洗剤を薄めた水溶液を含ませて、軽くふき取ります。
2. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって、洗剤をきれいにふき取ります。
3. 水分をよくふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠ 注意

- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変形や変色、故障の原因になります。
- また、各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。

タイマー充電の方法

J01802601024

タイマー充電は、つぎの設定ができます。

- 充電開始までの“ON タイマー”
- 充電開始から停止するまでの“OFF タイマー”

作動条件はつぎのとおりです。

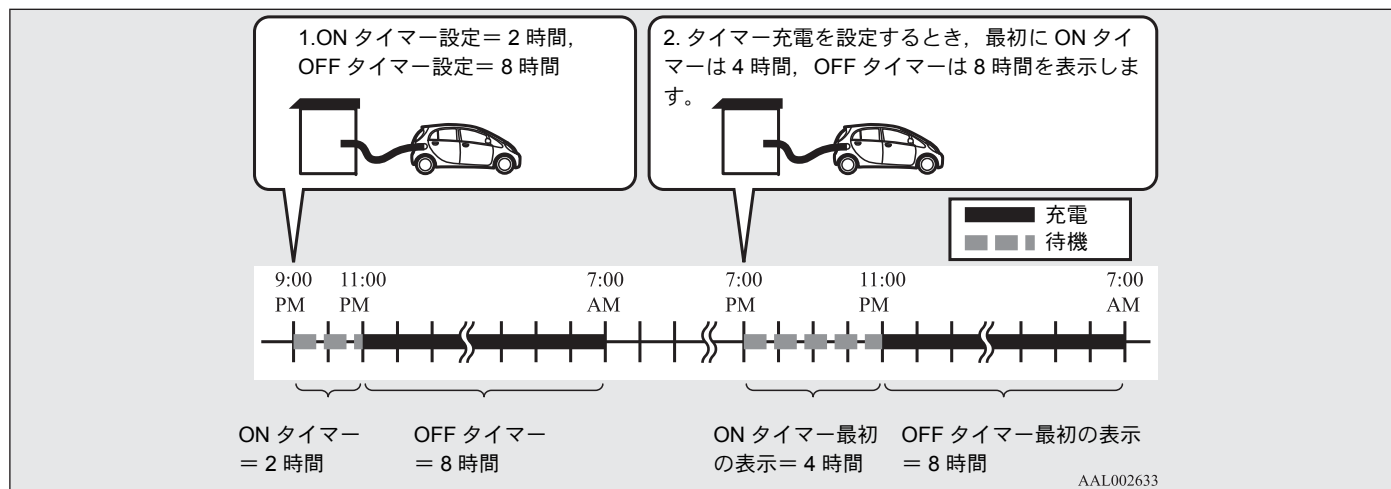
- セレクターレバー：P 位置
- パワースイッチ：“LOCK” 位置
- 普通充電ケーブル：接続
- 急速充電：充電中でない

5

タイマー充電の使用例

J01802700015

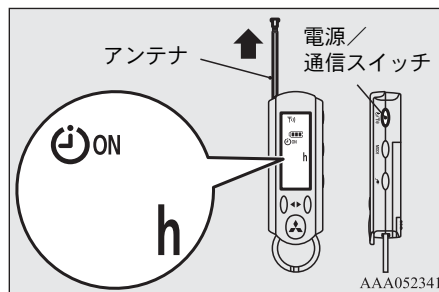
1. 午後 9 時に、午後 11 時から翌日午前 7 時までの 8 時間、充電を行うよう設定する場合
2. 翌日は午後 7 時に、前日と同じ時間に充電を行うよう設定する場合



MiEV リモコンの電源 ON/OFF のしかた

J01802800016

1. アンテナを伸ばし、電源／通信スイッチを 1 秒以上長押しして、MiEV リモコンの電源を ON にします。車両と通信し、通信が正常に終了すると、車両の情報が表示されます。



2. OFF にするときは、電源／通信スイッチを 3 秒以上長押しして、MiEV リモコンの電源を OFF にし、アンテナを収納します。

⚠ 注意

- アンテナを伸ばすときや収納するとき、先端部を持って、まっすぐに動かしてください。無理な力を加えるとアンテナが曲がり破損する場合があります。

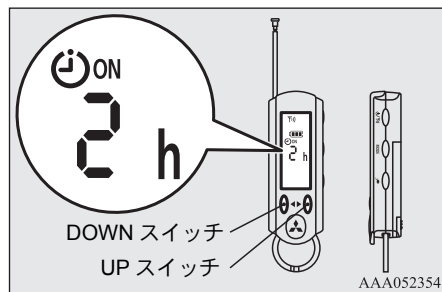
アドバイス

- MiEV リモコンは、約30秒放置しておく
電源が OFF になります。

ON タイマーの設定方法

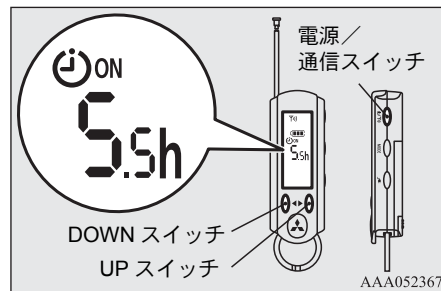
J01802900017

1. 普通充電を開始します。→「普通充電のしかた」P.5-4
2. MiEV リモコンの電源を ON します。→「MiEV リモコンの電源 ON/OFF のしかた」P.5-33
3. UP スイッチまたはDOWN スイッチを1回押すと、前回の充電を開始した時刻までの残り時間が点滅します。



4. 充電の開始時刻を前回と異なる時間に
する場合は、UP スイッチまたは
DOWN スイッチを押して、表示を変
更します。

ON タイマーは 0h から 19.5h の範囲
で 0.5h 単位で変更できます。



アドバイス

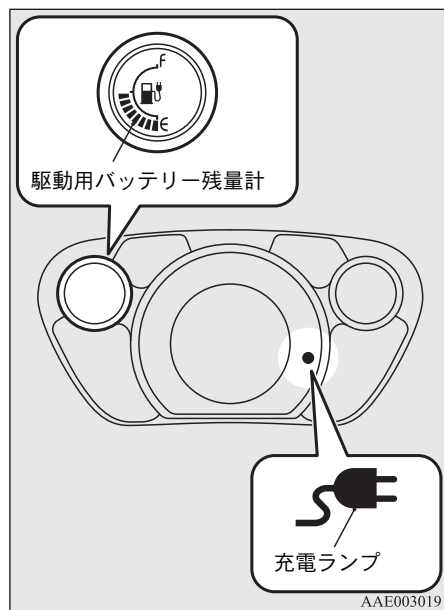
- ON タイマーセット時、OFF タイマーが未
設定の場合、OFF タイマーには「—（満
充電）」が自動設定されます。
- ON タイマーを0hに設定すると、OFFタイ
マーやプレ空調をキャンセルしなくても
すぐに充電を開始することができます。

5. 電源／通信スイッチを1秒未満押し
て、設定を車両へ送信します。
送信メロディーの後に、正常受信メロ
ディーが鳴れば、設定完了です。
→「車両と通信中の MiEV リモコンの
表示」P.5-36
6. 終了する場合は、MiEV リモコンの電
源を OFF にします。→「MiEV リモコ
ンの電源 ON/OFF のしかた」P.5-33

引き続き OFF タイマーを設定する場
合は、「OFF タイマーの設定方法」を
参照してください。→P.5-35

アドバイス

- ONタイマー送信後、約30秒間はメーター
内の駆動用バッテリー残量計は点灯、充
電ランプは点滅します。
約30秒後に駆動用バッテリー残量計と充
電ランプが消灯し、充電待機状態になり
ます。
- タイマー表示は、時間の経過とともに
0.5h ずつ減っていき 0h 表示になります。
- 変更中に MODE スイッチを押すと変更内
容はキャンセルされ、変更前の設定に戻
ります。
- ON タイマー、OFF タイマー、プレ空調を
同時に設定したいときは、MiEV リモコン
で1つずつ設定してください。



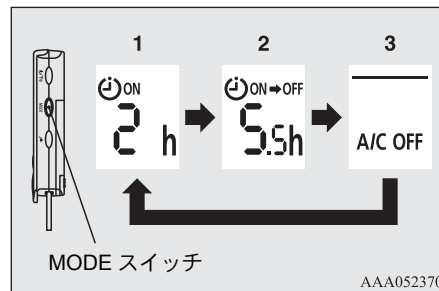
AAE003019

OFF タイマーの設定方法

J01803000015

普通充電中または ON タイマー設定後に OFF タイマーの設定ができます。

1. MiEV リモコンの電源が OFF の場合は、電源を ON します。→「MiEV リモコンの電源 ON/OFF のしかた」P.5-33
2. MODE スイッチを押して、OFF タイマー (2) に表示を切り替えます。



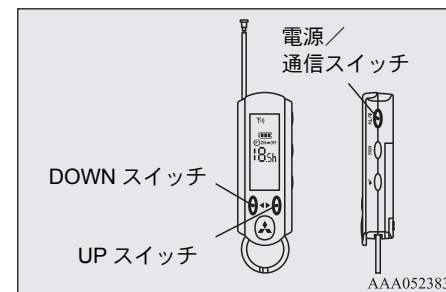
- 1- ON タイマー表示
- 2- OFF タイマー表示
- 3- プレ空調表示

アドバイス

- UP/DOWN スイッチを押すと、前回設定した充電時間または “—” 表示が点滅します。

3. 充電時間を前回と異なる時間にする場合は、UP スイッチまたは DOWN スイッチを押して、つぎのいずれかに設定を変更します。

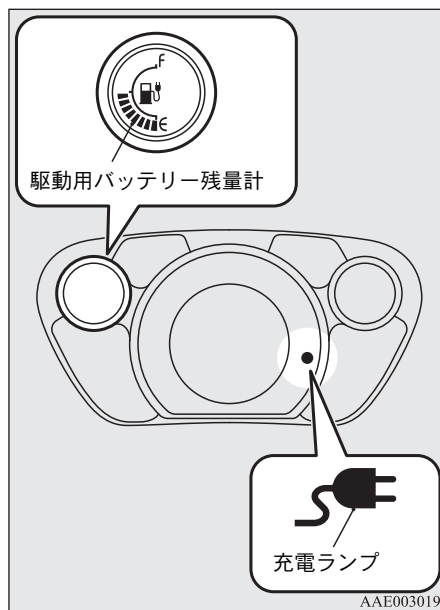
- 充電時間を設定する場合は、0.5h から 19.5h の範囲で 0.5h 単位で変更させます。
- 満充電まで充電したいときは、表示を “—h” にします。



4. 電源／通信スイッチを 1 秒未満押し、設定を車両へ送信します。送信メロディーの後に、正常受信メロディーが鳴れば、設定完了です。→「車両と通信中の MiEV リモコンの表示」P.5-36
5. MiEV リモコンの電源を OFF にします。→「MiEV リモコンの電源 ON/OFF のしかた」P.5-33

アドバイス

- 既に充電待機中の場合もOFF タイマー送信後、約 30 秒間はメーター内の駆動用バッテリー残量計は点灯、充電ランプは点滅します。
約30秒後に駆動用バッテリー残量計と充電ランプが消灯し、充電待機状態になります。
- 充電中はMiEVリモコンの  シンボルが点灯します。
- 充電終了後は、充電待機状態に戻ります。
満充電でなく、再充電するときは、タイマー充電を再設定してください。またはパワースイッチを一旦“ON”か“ACC”位置にしてから再び“LOCK”位置にすると満充電まで充電が開始されます。
- OFF タイマー作動中に満充電になると充電は終了し、ON タイマー、OFF タイマーはキャンセルされます。
- OFFタイマーセット時、ONタイマーが設定してないとONタイマーは“0h”が自動設定されます。



車両と通信中の MiEV リモコンの表示

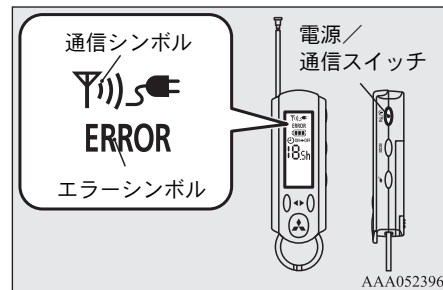
J01803100016

電源／通信スイッチを 1 秒以上長押しして、MiEV リモコンの電源を ON にするときや、ON のときに 1 秒未満押ししたときは、車両と通信します。

送信メロディーの後に、正常受信メロディーが鳴れば、設定完了です。

車両との通信中は、 シンボルが点滅します。

ブザーが鳴り、ERROR シンボルが点滅した場合は、エラーが発生しています。→「正常に作動しないときの処置」P.5-41



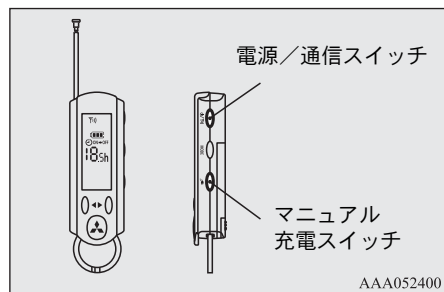
タイマー充電設定後のキャンセル方法

J01803200020

MiEV リモコンを使用する場合

1. MiEV リモコンの電源が OFF の場合は、電源を ON します。→「MiEV リモコンの電源 ON/OFF のしかた」P.5-33

2. マニュアル充電スイッチを押した後、電源／通信スイッチを1秒未満押しして送信します。



アドバイス

- マニュアル充電スイッチを押すと、MiEV リモコンの  シンボルが点滅します。また、プレ空調は停止します。

3. 送信メロディーの後に、正常受信メロディーが鳴れば、設定完了です。
→「車両と通信中の MiEV リモコンの表示」P.5-36

MiEV リモコンを使用しない場合

パワースイッチを一旦“ACC”または“ON”位置にしてから再び“LOCK”位置にします。

充電を取り止める場合

普通充電ケーブルを取り外します。→「普通充電のしかた」P.5-4

タイマー充電待機中の操作について

J0180330103T

MiEV リモコンで正常にONタイマーを設定できた後は、タイマー充電待機中に普通充電コネクタを抜いてもタイマー充電の設定はキャンセルされません。普通充電コネクタが抜かれている間はONタイマー値の変更はできません。ONタイマーのキャンセルはマニュアル充電またはパワースイッチ操作により可能です。

警告

- 充電中はボンネットルーム内の冷却ファンが自動的に作動することがあります。充電中は冷却ファンに手を近づけないでください。

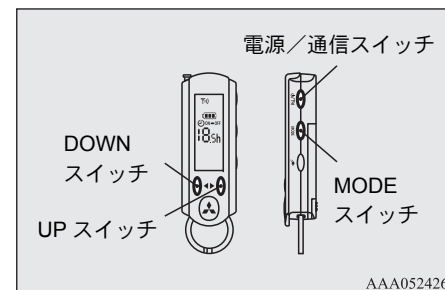
アドバイス

- MiEV リモコンで送信すると駆動用バッテリーのファンが作動し音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

メロディー音、ブザー音のON/OFF 切り替え方法

J01803400019

1. 電源／通信スイッチを1秒以上長押しして、MiEV リモコンの電源をONにします。
MODEスイッチを押しながら、UPスイッチを押すと“音なし”，DOWNスイッチを押すと“音あり”になります。ON/OFFの設定時にはメロディー音が鳴ります。



2. 電源／通信スイッチを3秒以上長押しして、MiEV リモコンの電源をOFFにします。

プレ空調

J01803501020

⚠警告

- 車内にお子様や介護を必要とされる方、ペットなどがいるときは使用しないでください。
- プレ空調を設定しても、システムの自動停止などの理由で車内が高温または低温になることがあります。炎天下では車内の温度は急速に上昇し、熱中症や脱水症状になるおそれがあります。また、外気温が低い場合は、車内の温度は急速に下がることがあります。
- 最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。
- フードが開いているときは、プレ空調を操作しないでください。
- 急に冷却ファンが作動して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

プレ空調の操作方法

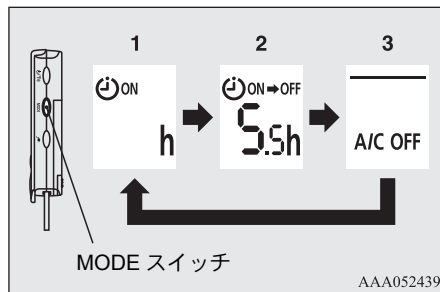
J01803601047

プレ空調の作動条件はつぎのとおりです。

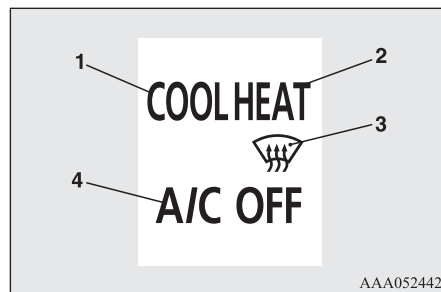
- セレクトアーレバー：P位置
- パワースイッチ：“LOCK”位置
- 普通充電ケーブル：接続
- 急速充電：充電中でない

- 駆動用バッテリー残量：1目盛以上点灯
→「駆動用バッテリー残量表示の方法」P.5-39
- 全てのドアとテールゲート：閉

1. 普通充電を開始します。→「普通充電のしかた」P.5-4
2. MiEV リモコンの電源を ON にします。→「MiEV リモコンの電源 ON/OFF のしかた」P.5-33
3. MODE スwitchを押して、プレ空調表示 (3) に切り替えます。

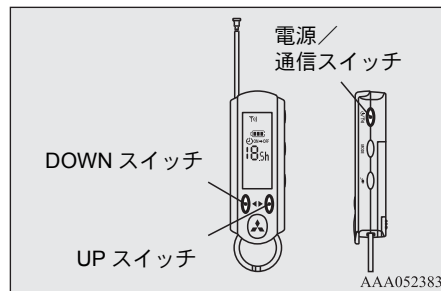


- 1- ON タイマー表示
- 2- OFF タイマー表示
- 3- プレ空調表示
4. 車両の現在のプレ空調の状態が点灯します。



- 1- COOL：冷房モード
- 2- HEAT：暖房モード
- 3- W：ウインドウガラスの霜取りモード
- 4- A/C OFF：プレ空調 OFF

5. UPスイッチまたはDOWNスイッチを押して、設定したいモードを選択します。
- 表示は4項の1から4の順番で切り替わります。



アドバイス

- “A/C OFF”時にUPスイッチまたはDOWNスイッチを押すと前回作動したモードが点滅表示します。

6. 電源／通信スイッチを 1 秒未満押し、設定を車両へ送信します。送信メロディーの後に、正常受信メロディーが鳴れば、設定完了です。車両との通信中の表示は、「車両と通信中の MiEV リモコンの表示」を参照してください。→P.5-36

7. MiEV リモコンの電源を OFF にします。→「MiEV リモコンの電源 ON/OFF のしかた」P.5-33

アドバイス

- プレ空調は、車両のエアコンのスイッチやダイヤルの設定とは関係なく、MiEV リモコンで選択したモードに基づいた専用モードで作動します。なお、プレ空調作動中は、車両のエアコンのスイッチやダイヤルの操作は受け付けません。
- プレ空調の作動時間は最長で 30 分です。30 分経過すると自動的に停止します。乗車前の約30分以内に作動させると効果的です。
- プレ空調は、家屋側のコンセントから供給される電力で作動します。

アドバイス

- つぎの場合はプレ空調で得られる効果が小さくなったり、プレ空調作動後に駆動用バッテリーの充電量が低下することがあります。
 - ・ 外気温が非常に高いとき、または低いとき
 - ・ 日射が強いとき
 - ・ 駆動用バッテリーが満充電付近のとき
- 充電中にプレ空調を開始したときは、満充電までの時間が延びたり、充電量が少なくなります。
- プレ空調作動中に電池暖房（タイプ別装備）が作動すると、プレ空調はいったん停止します。電池暖房が停止すると、再びプレ空調が作動します。→「電池暖房」P.5-15
- メロディー音は ON/OFF できます。→「メロディー音、ブザー音の ON/OFF 切り替え方法」P.5-37

途中で停止する方法

J01803701022

つぎのいずれかの方法で停止することができます。

- MiEV リモコンで、マニュアル充電スイッチを押した後、送信してください。→「タイマー充電設定後のキャンセル方法」P.5-36

- MiEV リモコンで、“A/C OFF”を選択し送信してください。
- パワースイッチをLOCK以外の位置にしてください。
- 普通充電コネクタを取り外してください。

アドバイス

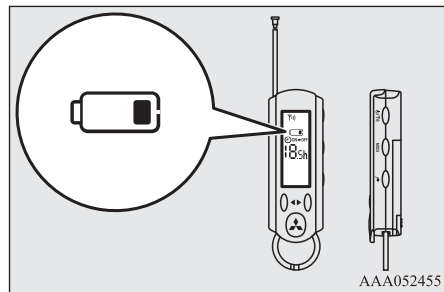
- プレ空調の作動中にドアまたはテールゲートを開けても作動は停止しません。

駆動用バッテリー残量表示の方法

J01803801023

1. MiEV リモコンの電源が OFF の場合は、電源を ON します。→「MiEV リモコンの電源 ON/OFF のしかた」P.5-33

2. 車両の最新情報を受信して、駆動用バッテリー残量が表示されます。
車両との通信中の表示は、「車両と通信中の MiEV リモコンの表示」を参照してください。→P.5-36



3. 駆動用バッテリーの残量を確認します。

- : 3 目盛: 残量大
- : 2 目盛: 残量中
- : 1 目盛: 残量小
- : 0 目盛: ほとんどない

アドバイス

- プレ空調の作動には、以上の残量が必要です。

4. MiEV リモコンの電源を OFF にします。「MiEV リモコンの電源 ON/OFF のしかた」を参照してください。→P.5-33

アドバイス

- 普通充電コネクタの接続はしなくても表示可能です。

MiEV リモコンの電池交換方法

J01803900014

警告

- 電池および取り外した部品は、誤ってお子さまが飲み込まないように注意してください。

注意

- MiEV リモコンは信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため、内部の金属部分や回路に触れないでください。また水やゴミを付着させないでください。
- バッテリーカバーを取り外し、取り付けするときは、バッテリーカバーのツメを折らないようにしてください。

電池について

J01804000012

電池切れにより通信ができない場合は、新しい電池と交換してください。
電池寿命の目安は約 1 年間です。

アドバイス

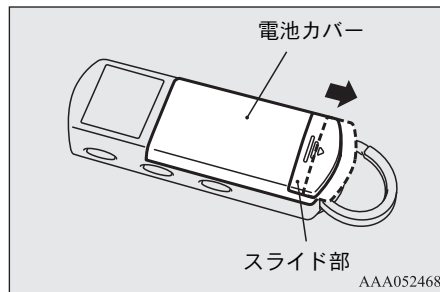
- 電池の寿命は、使用する環境や条件によって異なります。

電池交換のしかた

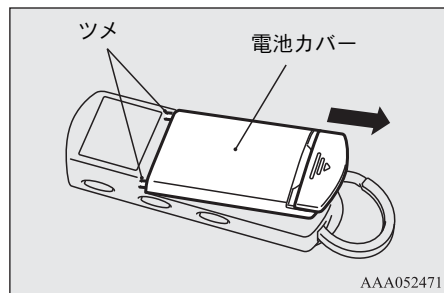
J01804100013

使用電池：CR2032

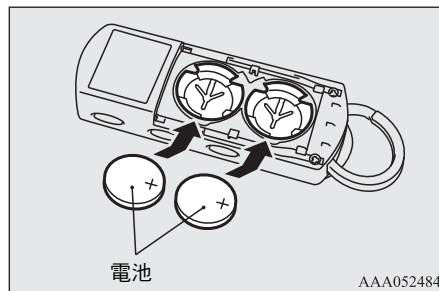
1. 電池交換をする前に部屋のドアノブなどの金属部分に触れて、身体の静電気を除去してください。
2. スライド部を矢印方向にスライドさせると、電池カバーが持ち上がります。



3. ツメ 2 箇所を外して電池カバーを取り外します。



5. 新しい電池は+極を上にして取り付けます。



7. MiEV リモートシステムが正常に動作するか確認します。

アドバイス

- 必ず 2 個とも新しい電池に交換してください。
- 電池は三菱自動車販売会社、時計店またはカメラ店などでお買い求めください。

4. 古い電池を取り外します。

6. 電池カバーを、取り外したときと逆の手順で取り付けます。

5

正常に作動しないときの処置

J01804201040

正常に作動しない現象が起きた場合は、つぎの処置を行ってください。処置を行っても、正常に作動しない場合や表以外の原因の場合は、機器の故障が考えられますので、最寄りの三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

現象	原因	処置
普通充電コネクタを挿入しても、充電が始まらない。	ON タイマーが設定されている。	ON タイマーをキャンセルしてください。
	普通充電コネクタのロックが半勘合である。	普通充電コネクタをしっかりとロックしてください。
	普通充電ケーブルの家屋側電源が OFF となっている。(家屋側のプラグ外れなど)	普通充電ケーブルの家屋側電源を入れてください。

現象		原因	処置
MiEV リモコンが正 常に作動しない。	電源が入らない。	MiEV リモコンの電池 不良または電池切れである。	MiEV リモコンの電池 を交換してください。 →「電池交換のしかた」 P.5-40
	電源／通信スイッチを押して通信すると表示が全て消える。		
	メロディーやブザーが鳴らない。	メロディー音、ブザー音を OFF に設定している。	メロディー音、ブザー音を ON に設定してください。 →「メロディー音、ブザー音の ON/OFF 切り替え方法」 P.5-37
MiEV リモコンの電源／通信スイッチを押すと、つぎのシンボルが点滅する。 ・ERROR シンボル ・𐄂) シンボル	約 1 秒後に点滅する。	MiEV リモコンの周囲にノイズ源がある。(パソコンなど)	ノイズ源から遠ざけてください。
	約 10 秒後に点滅する。	MiEV リモコンのアンテナを伸ばしていない。	MiEV リモコンのアンテナを伸ばして通信してください。
		車両との通信圏外にいる。(遠い場所、電波が遮断される場所など)	通信圏内へ移動してください。
		パワースイッチ が “LOCK” 位置以外になっている。	パワースイッチ を “LOCK” 位置にしてください。
		車両の周囲にノイズ源がある。	車両をノイズ源から遠ざけてください。
		補機用バッテリーが上がっている。	補機用バッテリーを充電または交換してください。 →「補機用バッテリーが上がったときは」 P.15-26 →「補機用バッテリーの種類」 P.16-3
MiEV リモコンの電源／通信スイッチを押して約 10 秒後に、ERROR シンボルが点滅する。	通信処理中に何らかのエラーが発生している。	再度、時間をおいて電源／通信スイッチを押してください。	

現象	原因	処置
タイマー充電ができない。	電源／通信スイッチを押して数秒後に、つぎのシンボルが点滅する。 ・ ERROR シンボル ・  シンボル	普通充電コネクタが挿入されていない。またはロックが半勘合になっている。
	普通充電ケーブルの家屋側電源が OFF となっている。(家屋側のプラグ外れなど)	普通充電ケーブルの家屋側電源を入れてください。
	家屋側の漏電遮断機が作動している。または停電している。	家屋側の漏電遮断機や停電の状況を確認してください。
	タイマー機能付き充電施設の場合、充電施設の電源が OFF になっている。	タイマー機能付き充電施設の電源が ON になっている時間内でタイマー充電を設定してください。
	セレクトーレバーが P 位置以外になっている。	セレクトーレバーを P 位置にしてください。
	急速充電中である。( シンボルは点灯する。)	急速充電を停止するか、急速充電が終了してから操作してください。
	駆動用バッテリー の温度が 約 60 °C 以上になっている。	車両を涼しい場所に移動して駆動用バッテリー 温度が下がるのを待ってください。
	駆動用バッテリー の温度が約 -25 °C 以下になっている。(除く、電池暖房付き車)	車両を暖かい場所に移動して駆動用バッテリー 温度が上がるのを待ってください。
	ON タイマー設定中に充電が開始された。	故障ではありません。電池暖房に必要な充電量になると停止します。
	電池暖房用予備充電が作動した。(タイプ別装備)	

現象		原因	処置
5	タイマー充電ができない。	他の MiEV リモコンでタイマーがキャンセルまたは設定時間が変更された。	他の MiEV リモコン所有者に操作の有無を確認してください。
		充電待機中に パワースイッチ を操作した。	充電待機中に パワースイッチ の操作の有無を確認してください。
		駆動用バッテリー の温度が 約 60 °C 以上になっている。	車両を涼しい場所に移動して駆動用バッテリー 温度が下がるのを待ってください。
		駆動用バッテリー の温度が約 -25 °C 以下になっている。(除く、 電池暖房付き車)	車両を暖かい場所に移動して駆動用バッテリー 温度が上がるのを待ってください。
		タイマー充電の予約が正しく設定されていない。	タイマー充電を再設定してください。
	充電を予約したが、満充電までの時間が長い。	プレ空調を行った。	プレ空調を行ったか確認してください。
		電池暖房が作動した。(タイプ別装備)	車両を暖かい場所に移動してください。
		駆動用バッテリー の温度が低い。	車両を暖かい場所に移動して駆動用バッテリー 温度が上がるのを待ってください。
	満充電になっていない。	タイマー機能付き充電施設の場合、充電施設の電源が充電中に OFF になった。	タイマー機能付き充電施設の電源が ON になっている時間内でタイマー充電を設定してください。

現象	原因	処置
プレ空調ができない。	電源／通信スイッチを押して数秒後に、つぎのシンボルが点滅する。 • ERROR シンボル •  シンボル	普通充電コネクタが挿入されていない。またはロックが半勘合になっている。
	普通充電ケーブルの家屋側電源が OFF となっている。(家屋側のプラグ外れなど)	普通充電ケーブルの家屋側電源を入れてください。
	家屋側の漏電遮断機が作動している。または停電している。	家屋側の漏電遮断機や停電の状況を確認してください。
	タイマー機能付き充電施設の場合、充電施設の電源が OFF になっている。	タイマー機能付き充電施設の電源が ON になっている時間内でタイマー充電を設定してください。
	電源／通信スイッチを押して数秒後に、つぎのシンボルが点滅する。 • ERROR シンボル •  シンボル	駆動用バッテリーの残量が不足している。 MiEV リモコンの電池残量表示が 1 目盛以上点灯するまで 駆動用バッテリー を充電してください。

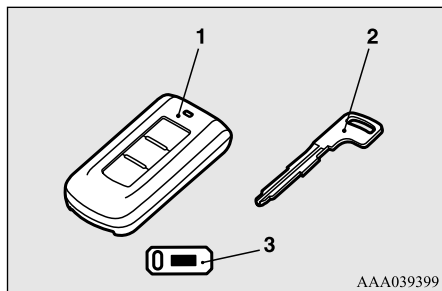
現象		原因	処置
5	プレ空調ができない。	いずれかのドアまたは、テールゲートが開いている。	全てのドアとテールゲートを閉じてください。
		セクターレバーがP位置以外になっている。	セクターレバーをP位置にしてください。
		急速充電中である。(⚡シンボルは点灯する。)	急速充電を停止するか、急速充電が終了してから操作してください。
		駆動用バッテリーの温度が約 60 °C 以上になっている。	車両を涼しい場所に移動して駆動用バッテリー温度が下がるのを待ってください。
		駆動用バッテリーの温度が約 -25 °C 以下になっている。(除く、電池暖房付き車)	車両を暖かい場所に移動して駆動用バッテリー温度が上がるのを待ってください。
	プレ空調が作動しない。	充電待機中にパワースイッチを操作した。	充電待機中にパワースイッチの操作の有無を確認してください。
		駆動用バッテリーの温度が約 60 °C 以上になっている。	車両を涼しい場所に移動して駆動用バッテリー温度が下がるのを待ってください。
		駆動用バッテリーの温度が約 -25 °C 以下になっている。(除く、電池暖房付き車)	車両を暖かい場所に移動して駆動用バッテリー温度が上がるのを待ってください。
	シートヒーターが入らない。	シートヒータースイッチが OFF になっている。	シートヒータースイッチを ON にしてください。
	冷房中にシートヒーターが熱くなる。	シートヒータースイッチが ON になっている。	シートヒータースイッチを OFF にしてください。

各部の開閉

キー	6-2
キーレスオペレーションシステム	6-3
ドア	6-17
センタードアロック	6-19
チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）	6-20
テールゲート	6-20
セキュリティアラーム	6-22
パワーウインドウ	6-27
ボンネット	6-29
パワーユニット点検口	6-30

キー

J00400102731



AAA039399

- 1: キーレスオペレーションキー
(キーレスエントリー機能付き)
- 2: エマージェンシーキー
- 3: キーナンバープレート

⚠ 警告

- 航空機内にキーを持ち込むときは、機内でキーのスイッチを押さないでください。スイッチを押すと電波が発信され、航空機の運航に悪影響をおよぼすおそれがあります。かばんなどに入れて持ち込むときも、簡単にスイッチが押されないようにしてください。

📖 アドバイス

- キーレスエントリー機能付きのキーは、信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため、つぎの点をお守りください。
 - ・ダッシュボードの上など直射日光が当たる場所には放置しない
 - ・分解、改造をしない
 - ・キーを無理に曲げたり、強い衝撃を与えない
 - ・水にぬらさない
 - ・磁気を帯びたキーホルダーなどを近づけない
 - ・オーディオ、パソコン、テレビなど磁気を帯びた機器の近くに置かない
 - ・携帯電話や無線機など強い電波を発する機器の近くに置かない
 - ・超音波洗浄器などで洗浄しない
- 電池交換のとき以外はキーを不用意に分解しないでください。分解、改造したキーを使用することは法律で禁止されています。また、必ず日本国内でご使用ください。
- 万一、キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに三菱自動車販売会社にご相談ください。また、キーナンバーを三菱自動車販売会社へ連絡していただければ、キーを作ることができます。キーナンバーはキーナンバープレートに打刻してあります。キーナンバープレートは、キーとは別に大切に保管してください。

📖 アドバイス

- セキュリティーアラームを「作動する」に設定したときは、つぎの点にご注意ください。
 - 「セキュリティーアラーム」P.6-22
- セキュリティーアラームをシステム作動可能状態にしているときは、キーやドアのロックノブを使って解錠した後ドアを開けると警報が作動します。
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定していても、キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使わないで施錠した場合はシステム準備状態になりません。

キーレスオペレーションシステム

J00407402049

キーレスオペレーションシステムは、キーレスオペレーションキーを携帯するだけで、ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作やパワーユニットの起動操作ができるシステムです。

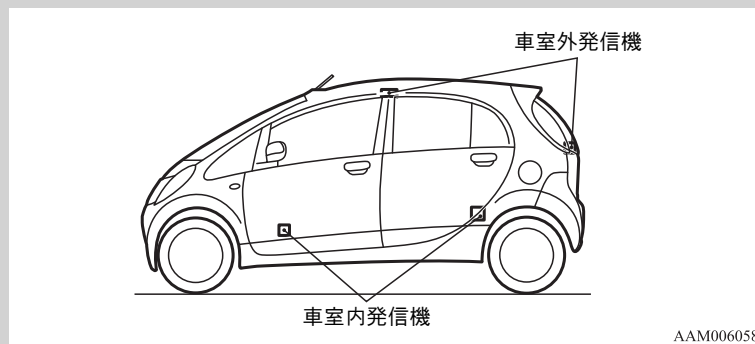
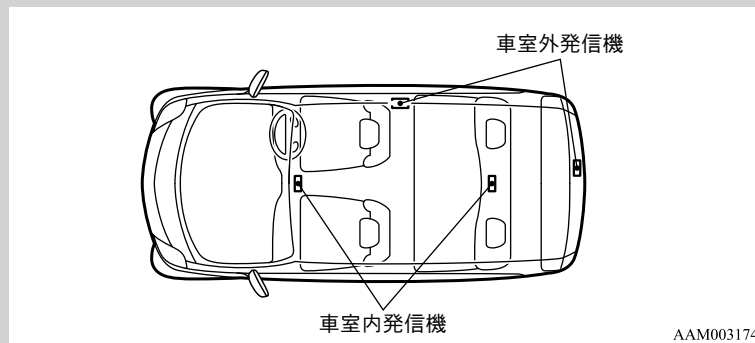
また、キーレスオペレーションキーはキーレスエントリーのリモコンスイッチとしても使えます。

→「キーレスオペレーションシステム：キーレスエントリー」P.6-15

キーレスオペレーションキーは必ず運転者が携帯してください。ドアおよびテールゲートの施錠・解錠やパワーユニットの起動など車を操作するために必要ですので、車から離れるときは必ずキーレスオペレーションキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。

⚠ 警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を使用されている方は、車室外発信機・車室内発信機から約 22cm 以内に近づかないようにしてください。キーレスオペレーションシステムに使用している電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。



- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用している方は、キーレスオペレーションシステムに使用している電波による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してからご使用ください。電波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

キーレスオペレーションシステムでできる操作をつぎのように変更することができます。(キーレスエントリーとしての操作は可能です)

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

- ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作のみできるようにする
- パワーユニットの起動操作のみできるようにする
- キーレスオペレーションシステムを働かないようにする

アドバイス

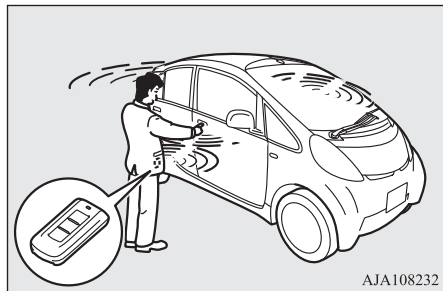
- キーレスオペレーションキーは微弱な電波を使用しています。
つぎのような場合、正しく作動しなかったり、不安定な作動となることがあります。
 - 近くに TV 塔や変電所、放送局、空港、電気自動車の急速充電器など強い電波を発する設備があるとき
 - 携帯電話や無線機などの通信機器やパソコンなどの電化製品と一緒に携帯しているとき
 - キーレスオペレーションキーが金属製のものに接したり、覆われているとき
 - 近くでキーレスエントリーを使用しているとき
 - キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているとき
 - 強い電波、ノイズのある場所に置いたとき
 - 電波で車両の検出を行っているコインパーキングに駐車したとき
 このようなときは、つぎのいずれかの方法でドアの施錠・解錠を行ってください。
 - キーレスオペレーションキーの LOCK または UNLOCK スイッチを押す
→ 「キーレスエントリー」 P.6-15
 - エマージェンシーキーを使用する
→ 「キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは」 P.6-12
 また、キーレスオペレーションキーをドアスイッチに近づけてドアスイッチを押すと作動する場合もあります。
なお、パワーユニットの起動は、エマージェンシーキーを使用してください。
→ 「キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは」 P.6-12
- キーレスオペレーションキーは、車両との通信のために常時受信動作をしているため、キーレスオペレーションキーの使用に関係なく常に電池を消耗しています。使用状況にもよりますが、電池の寿命は約 1 年～3 年です。電池が消耗した場合は、新しい電池に交換してください。
→ 「電池交換のしかた」 P.6-17
- キーレスオペレーションキーは、常時受信動作をしているため、強い電波の受信は電池の消耗につながります。テレビ、パソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。

キーレスオペレーションシステムの作動範囲について

J00407501678

キーレスオペレーションキーを携帯してキーレスオペレーションシステムの作動範囲内に入り、ドアのスイッチまたはテールゲートのスイッチを押すとIDコードの照合を行います。

車両とキーレスオペレーションキーのIDコードが一致した場合のみ、ドアおよびテールゲートの施錠・解錠操作やパワーユニットの起動操作が可能になります。



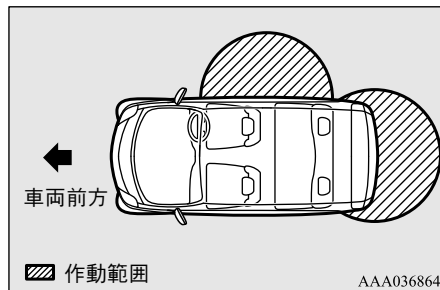
AJA108232

アドバイス

- キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているときや、強い電波またはノイズのある場所などでは、作動範囲が狭くなったり、不安定な作動となることがあります。

ドアおよびテールゲートを施錠・解錠するときの作動範囲

作動範囲は運転席ドアのハンドルおよびテールゲートのスイッチから周囲約 70 cm 以内です。



AAA036864

アドバイス

- 運転席ドアおよびテールゲートの操作でのみ施錠・解錠ができます。
- キーレスオペレーションキーが運転席ドア、ドアガラス、テールゲートに近づきすぎているときは作動しないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが運転席ドアのハンドルおよびテールゲートのスイッチから周囲約 70 cm 以内でも、地面の近くや高い場所にあるときは、作動しないことがあります。

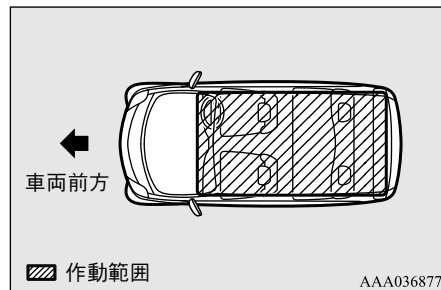
アドバイス

- 普通充電中は、ラゲッジルームの作動範囲が狭くなることがあります。
- キーレスオペレーションキーが作動範囲内にあれば、キーレスオペレーションキーを携帯していない人でも、運転席ドアおよびテールゲートの操作でドアおよびテールゲートの施錠・解錠ができます。

パワーユニットを起動するときの作動範囲

J00413000020

作動範囲は車室内です。



AAA036877

アドバイス

- キーレスオペレーションキーが作動範囲内であっても、グローブボックスなどの小物入れやインストルメントパネル上部、ドアポケットまたはラゲッジルームなどにあるときは、パワーユニットを起動できないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが車外にあって、ドアやドアガラスに近づきすぎているときは、パワーユニットを起動できることがあります。

キーレスオペレーション機能を使って操作するときは

J00407700224

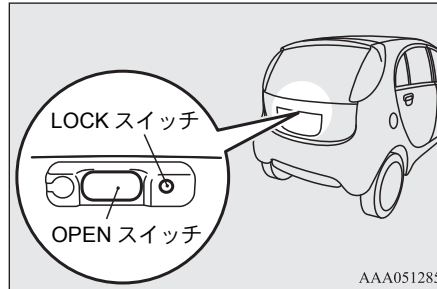
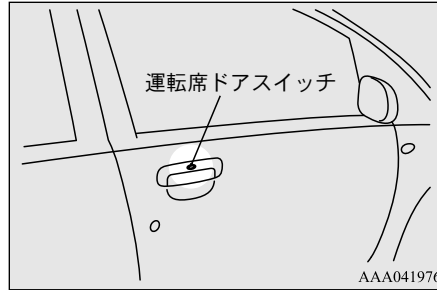
ドアおよびテールゲートの施錠

J00412500145

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき、作動範囲内で運転席ドアのスイッチまたはテールゲートの LOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠します。

「各部の開閉：ドア、センタードアロック、テールゲート」も合わせてお読みください。

→P.6-17, 6-19, 6-20



アドバイス

- つぎのようなときは、キーレスオペレーション機能は作動しません。
 - ・車内にキーレスオペレーションキーがあるとき
 - ・ドア、テールゲートが開いている、または半ドアのとき
 - ・パワースイッチが LOCK 以外のとき

アドバイス

- ・パワースイッチにエマージェンシーキーが差しあてるとき
- セキュリティアラームを「作動する」に設定しているときは、施錠と同時にシステム準備状態、続いてシステム作動可能状態になります。詳しくは「セキュリティアラーム」をお読みください。→P.6-22
- テールゲートの OPEN スイッチを押して施錠を確認することができます。確認は施錠後約 3 秒以内に行ってください。施錠後約 3 秒以上過ぎて OPEN スイッチを押すと、ドアおよびテールゲートは再び解錠されます。
- テールゲートの OPEN スイッチ操作で施錠の確認ができる時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

ドアおよびテールゲートの解錠

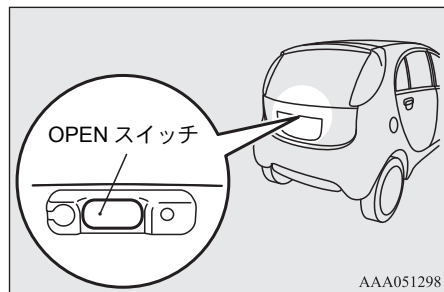
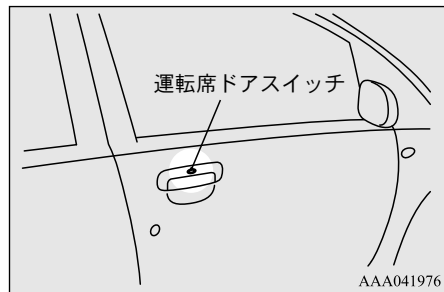
J00412600221

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき、作動範囲内で運転席ドアのスイッチまたはテールゲートの OPEN スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。運転席ドアのスイッチを押して解錠しても約 30 秒以内にドアおよびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます(自動施錠機能)。

キーレスオペレーションシステム

「各部の開閉：ドア、センタードアロック、テールゲート」も合わせてお読みください。

→P.6-17, 6-19, 6-20



アドバイス

- つぎのようなときは、キーレスオペレーション機能は作動しません。

アドバイス

- ・車内にキーレスオペレーションキーがあるとき
- ・ドア、テールゲートが開いている、または半ドアのとき
- ・パワースイッチが LOCK 以外のとき
- ・パワースイッチにエマージェンシーキーが差してあるとき
- 施錠した後約3秒間は、施錠の確認のためテールゲートの OPEN スイッチを押して解錠することはできません。
- テールゲートの OPEN スイッチ操作で施錠の確認ができる時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 他の車のキーレスオペレーションキーや、電波を発する通信機器または電化製品などを同時に携帯しているときは解錠が遅れたり、解錠されないことがあります。
- テールゲートの OPEN スイッチを押すと、解錠と同時にテールゲートが開くため、約30秒後の自動的な施錠はしません。
- 解錠した後、自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。ただし、ルームランプの点滅・点灯

はルームランプのスイッチが中間 (●) または DOOR 位置にあるときに限られません。

施錠時： ルームランプ、マップ&ルームランプおよび非常点滅灯が1回点滅し、ブザーが1回鳴る

解錠時： ルームランプ、マップ&ルームランプが約15秒点灯し、非常点滅灯が2回点滅し、ブザーが2回鳴る

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- ・作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ、または解錠時のみにする。
- ・作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）およびブザーを働かなくする。
- ・作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。

ドアミラーの格納

J00412701128

ドアまたはテールゲートのスイッチを押して施錠した後、約30秒以内にスイッチをさらに続けて2回押すとドアミラーが格納されます。

アドバイス

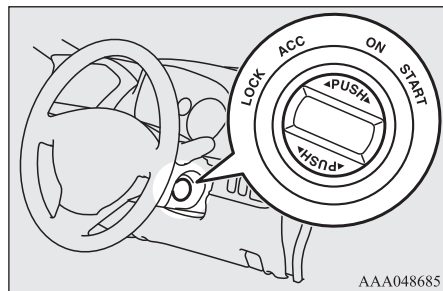
- ドアまたはテールゲートのスイッチによる操作でドアミラーの格納をドアおよびテールゲートの施錠と連動させるように変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

パワーユニットの起動

J00413101057

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき、パワースイッチを回すとパワーユニットの起動ができます。

「運転装置：パワーユニット起動のしかた」も合わせてお読みください。
→P.9-5



パワースイッチの位置と働き

LOCK
(PUSH OFF)

ハンドルがロックされる位置

LOCK
(PUSH ON)

車室内でのIDコードの照合が一致したとき、ハンドルロックが解除されてパワースイッチを回すことができます

ACC

READY (走行可能) 表示灯が消灯しているときでもオーディオ、アクセサリソケットなどを使用できる位置

ON

パワーユニット作動中の位置
すべての電気系統が働きます

START

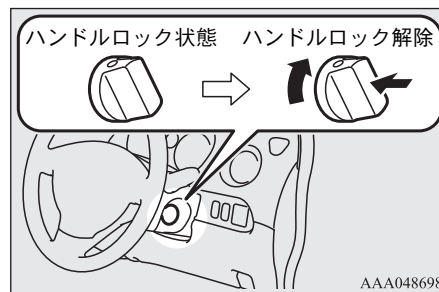
パワーユニットを起動する位置
手を離すと自動的に ON の位置へ戻ります

アドバイス

- READY (走行可能) 表示灯が消灯しているときはパワースイッチを LOCK にしてください。パワースイッチを ON または ACC のままオーディオなどの電気製品を長時間使用すると、補機用バッテリーが上がり、パワーユニットの起動ができなくなるおそれがあります。
- パワースイッチがACCのままで約30分経過すると、ACC の位置で作動する装備の電源を自動的にカットします。
→「ACC 電源オートカット機能」P.9-5

LOCK (PUSH OFF) から ACC に回すときは

パワースイッチを押しながらゆっくり回します。

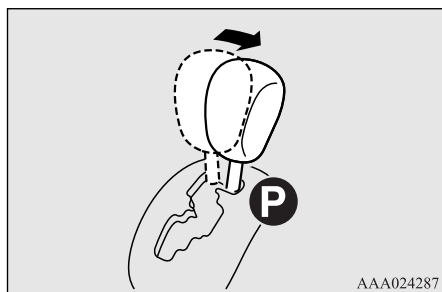


アドバイス

- パワースイッチが LOCK (PUSH OFF) から ACC に回らないときは、再度パワースイッチを押してハンドルを左右に動かし、パワースイッチを回します。
- キーレスオペレーションキーが車室内にないとパワースイッチを回すことはできません。
→「パワーユニットを起動するときの作動範囲」 P.6-6

ACC から LOCK に回すときは

セクターレバーを確実に **P** にしてから、LOCK までゆっくり押しながら回します。
→「セクターレバーの動かし方」 P.9-6

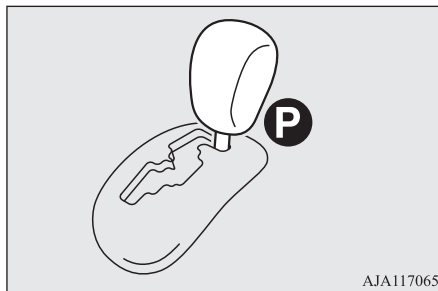


アドバイス

- セクターレバーを確実に **P** にしていないと、パワースイッチを LOCK まで回すことはできません。

パワーユニット起動のしかた

1. 正しい運転姿勢がとれるように、シートを調整します。
→「フロントシート」 P.7-2
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. セクターレバーが **P** にあることを確認します。



アドバイス

- セクターレバーが **P** の位置以外ではパワーユニットを起動することはできません。

4. ブレーキペダルを右足で踏み、パワースイッチを LOCK (PUSH OFF) から LOCK (PUSH ON) に押しながらいっぱいまで回し、START 位置で 1~2 秒間保持した後、ON の位置までゆっくり戻します。
起動音と共に READY (走行可能) 表示灯が点灯すればパワーユニットの起動は完了です。

警告

- アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため、各ペダルの位置を右足で確認してください。
アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり、両方のペダルを同時に踏んでしまうと、車が急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。



警報作動について

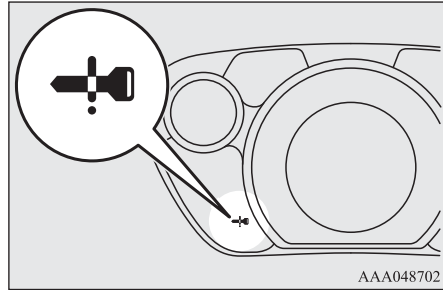
J00407800179

キーレスオペレーションシステムでは誤操作や車両盗難防止のため、メーター内

の表示灯および警報ブザーで注意を促します。
警報作動をしたときは、必ず車両およびキーレスオペレーションキーの確認を行ってください。また、キーレスオペレーションシステムに異常がある場合も表示灯が点滅します。

キーレスオペレーションシステム表示灯

J00412900035



AAA048702

つぎのようなときに表示灯が点滅します。
三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- キーレスオペレーションシステムに異常があるとき（約 5 分間）
三菱自動車販売会社にご連絡ください。
- キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているとき（約 30 秒間）

できるだけ早く、新しい電池に交換してください。
→「電池交換のしかた」P.6-17

つぎのようなときにも表示灯が点滅しますが、正しい使い方をすれば表示灯は消灯します。

- キーレスオペレーションキーと車両の ID コードの照合ができなかったとき（約 5 分間）
このようなときは、ID コードの異なるキーレスオペレーションキーを携帯している、またはキーレスオペレーションキーが作動範囲内にないことが考えられます。
- 運転席ドアまたはテールゲートのスイッチを押しても施錠できないとき（約 5 秒間）
このようなときは、パワースイッチが LOCK (PUSH OFF) 以外にある、車内にキーレスオペレーションキーがある、ドアまたはテールゲートが開いている（半ドアも含む）ことが考えられます。

キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構

J00410600214

駐車中、かつパワースイッチが LOCK (PUSH OFF) 以外の位置にあるとき、い

ずれかのドアを開けてキーレスオペレーションキーを車内から持ち出した後ドアを閉めると、表示灯の点滅とブザーが 4 回鳴り警報します。

アドバイス

- ドアを開けずに窓からキーレスオペレーションキーを持ち出すと、キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構は働きません。
- ドアを開けずに窓からキーレスオペレーションキーを持ち出したとき、キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構を働かせることができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- パワーユニットを起動するときの作動範囲内でキーレスオペレーションキーを携帯していても、周囲の環境または電波状態などにより、キーレスオペレーションキーと車両の ID コードの照合ができなかったときは、警報が作動することがあります。

キー閉じ込め防止機構

J00410700185

パワースイッチが LOCK (PUSH OFF) の位置にあるとき、車内にキーレスオペレーションキーを置いたまますべてのドアおよびテールゲートを閉め、運転席ドアおよびテールゲートのスイッチを押し

キーレスオペレーションシステム

て施錠しようとする、表示灯の点滅と約 3 秒間のブザーで警報し、ドアおよびテールゲートの施錠ができません。

しようとする、表示灯の点滅と約 3 秒間のブザーで警報し、ドアおよびテールゲートの施錠ができません。

アドバイス

- 必ずキーレスオペレーションキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。
車内にキーレスオペレーションキーを置いたままでも、周囲の環境または電波状態などにより、施錠されることがあります。

半ドア防止機構

J00410800128

パワースイッチが LOCK (PUSH OFF) の位置にあるとき、いずれかのドアまたはテールゲートを完全に閉めずに運転席ドアおよびテールゲートのスイッチを押して施錠しようとする、表示灯の点滅と約 3 秒間のブザーで警報し、ドアおよびテールゲートの施錠ができません。

パワースイッチ切り忘れ防止機構

J00413200022

パワースイッチが LOCK (PUSH OFF) 以外の位置にあるとき、すべてのドアおよびテールゲートを閉め、運転席ドアおよびテールゲートのスイッチを押して施錠

キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは

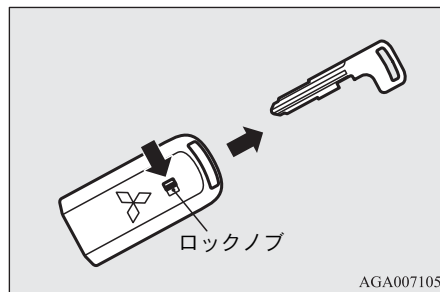
J00407900314

エマージェンシーキー

J00412001206

エマージェンシーキーはキーレスオペレーションキーに内蔵されています。キーレスオペレーションキーの電池切れや補機用バッテリーが上がったときなど、キーレスオペレーション機能が使用できない場合、ドアの施錠・解錠操作やパワーユニットの起動操作をすることができます。

ロックノブを矢印の方向に押しながら、キーレスオペレーションキーからエマージェンシーキーを取り外します。



AGA007105

アドバイス

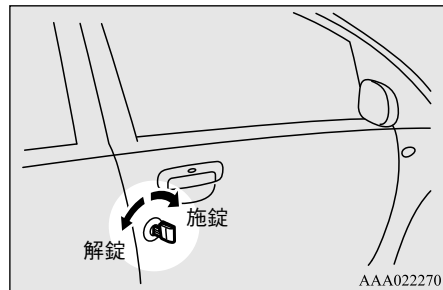
- エマージェンシーキーは緊急を要する場合のみご使用ください。
キーレスオペレーションキーの電池が切れたときなどはできるだけ早く電池交換をして、キーレスオペレーションキーとして使用するようにしてください。
→「電池交換のしかた」 P.6-17
- エマージェンシーキーを使用した後は、必ずキーレスオペレーションキーに戻しておいてください。

ドアの施錠・解錠

エマージェンシーキーを車両前方に回すと施錠、車両後方に回すと解錠されます。

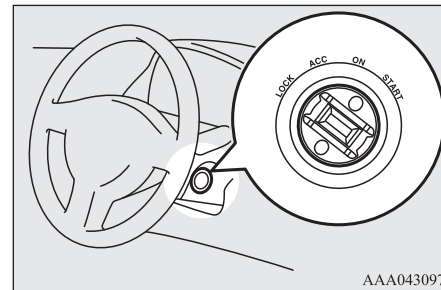
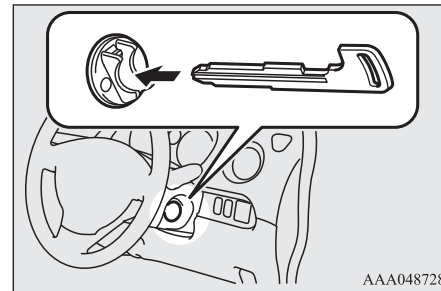
「各部の開閉：ドア」も合わせてお読みください。

→P.6-17



パワーユニットの起動

パワースイッチのカバーを取り外し、エマージェンシーキーでパワーユニットを起動します。
「運転装置：パワーユニット起動のしかた」も合わせてお読みください。
→P.9-5



● パワースイッチの位置と働き

LOCK

ハンドルがロックされる位置
エマージェンシーキーが抜き差しできます

ACC

READY（走行可能）表示灯が消灯しているときでもオーディオ、アクセサリソケットなどができる位置

ON

パワーユニット作動中の位置
すべての電気系統が働きます

START

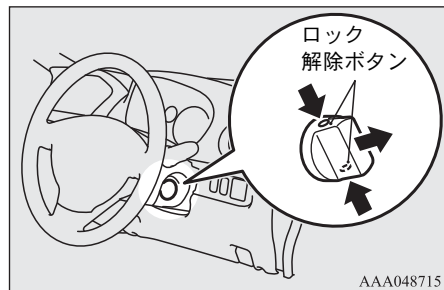
パワーユニットを起動する位置
手を離すと自動的に ON の位置へ戻ります

アドバイス

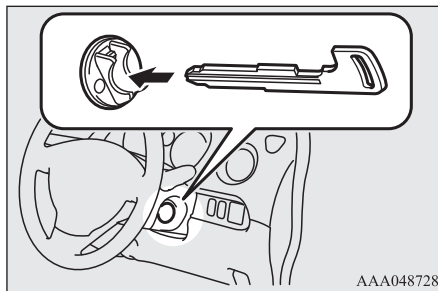
- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときはパワースイッチを LOCK にしてください。パワースイッチ を ON または ACC のままオーディオなどの電気製品を長時間使用すると、補機用バッテリーが上がり、パワーユニットの起動ができなくなるおそれがあります。

LOCK から ACC に回すときは

1. キーレスオペレーションキーからエマージェンシーキーを取り出します。
→「エマージェンシーキー」 P.6-12
2. ロック解除ボタンを押しながらパワースイッチのカバーを取り外します。



3. パワースイッチにエマージェンシーキーを差し込み、押しながらゆっくり回します。

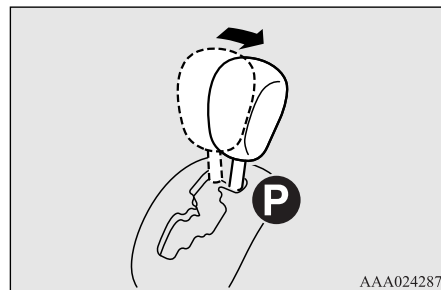


アドバイス

- パワースイッチが LOCK から ACC に回らないときはハンドルを左右に動かしながらパワースイッチを回します。

ACC から LOCK に回すときは

1. セクターレバーを確実に **P** に入れてから、LOCK まで押しながら回して抜きます。
→「セクターレバーの動かし方」 P.9-6



2. パワースイッチのカバーを取り付けます。
3. エマージェンシーキーをキーレスオペレーションキーに戻します。

アドバイス

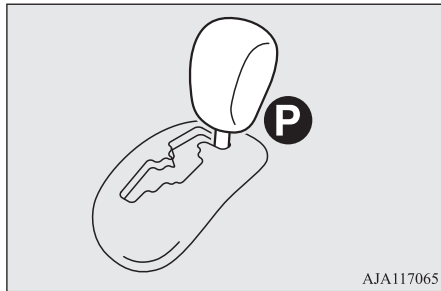
- セクターレバーを確実に **P** に入っていないと、LOCK まで回せないためエマージェンシーキーを抜くことはできません。

アドバイス

- エマージェンシーキーを使用しないときは必ず パワースイッチのカバーを取り付けておいてください。パワースイッチのキー穴にほこりなどが入り故障の原因になるおそれがあります。

パワーユニット起動のしかた

1. 正しい運転姿勢がとれるように、シートを調整します。
→「フロントシート」P.7-2
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. セレクターレバーが **P** にあることを確認します。



アドバイス

- セレクターレバーが **P** の位置以外ではパワーユニットを起動することはできません。

4. ブレーキペダルを右足で踏み、パワースイッチをいっぱいまで回し、START 位置で 1~2 秒間保持した後、ON の位置までゆっくり戻します。
起動音と共に READY（走行可能）表示灯が点灯すれば、パワーユニットの起動は完了です。

警告

- アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため、各ペダルの位置を右足で確認してください。アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり、両方のペダルを同時に踏んでしまうと、車が急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。



キーレスエントリー

J00408901679

キーレスオペレーションキーのスイッチですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠、およびドアミラーを操作することができます。



6

アドバイス

- 近くに TV 塔や変電所、放送局があるなど周囲の状況により作動距離が変わることがあります。
- つぎのようなときはキーレスオペレーションキーは作動しません。
 - ・パワースイッチにエマージェンシーキーが差してあるとき
 - ・ドア、テールゲートが開いている、または半ドアのとき

アドバイス

- キーレスオペレーションキーを紛失したときや、新しいキーレスオペレーションキーを作りたいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。最大 4 個まで作ることができます。
- つぎのときはリモコンスイッチの電池の消耗が考えられます。
 - ・作動距離が短くなったとき
 - ・作動表示灯が暗い、または点灯しないとき

電池が消耗した場合は、新しい電池に交換してください。

→「電池交換のしかた」P.6-17

ドアおよびテールゲートの施錠・解錠

LOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し、UNLOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

UNLOCK スイッチを押して解錠しても約 30 秒以内にドアおよびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます（自動施錠機能）。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーのスイッチを押すと作動表示灯が点灯します。

アドバイス

- セキュリティアラームを「作動する」に設定しているときは、施錠と同時にシステム準備状態、続いてシステム作動可能状態になります。詳しくは「セキュリティアラーム」をお読みください。→P.6-22
- UNLOCK スイッチを押した後、自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。ただし、ルームランプの点滅・点灯はルームランプのスイッチが中間 (●) または DOOR の位置にあるときに限られます。

施錠時：ルームランプ、マップ&ルームランプおよび非常点滅灯が 1 回点滅し、ブザーが 1 回鳴る

解錠時：ルームランプ、マップ&ルームランプが約 15 秒点灯し、非常点滅灯が 2 回点滅し、ブザーが 2 回鳴る

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
 - ・作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ、または解錠時のみにする。
 - ・作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）およびブザーを働かなくする。
 - ・作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。

ドアミラーの格納・復帰

LOCK スイッチを押して施錠した後、約 30 秒以内に LOCK スイッチをさらに続けて 2 回押すとドアミラーが格納されます。UNLOCK スイッチを押して解錠した後、約 30 秒以内に UNLOCK スイッチをさらに続けて 2 回押すとドアミラーは元の位置に戻ります。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーのスイッチでドアミラーの格納・復帰をドアおよびテールゲートの施錠・解錠と連動させることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

電池交換のしかた

J00408000178

⚠ 警告

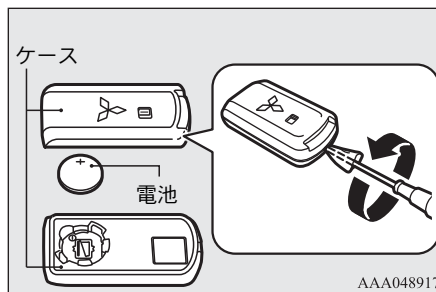
- 電池および取り外した部品は、誤ってお子さまが飲み込まないように注意してください。

📖 アドバイス

- 電池交換をする際は、キーを破損するおそれがあるため、三菱自動車販売会社での交換をおすすめします。
- キーは信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため、内部の金属部分や回路に触れないでください。また水やゴミを付着させないでください。
- 電池は三菱自動車販売会社、時計店またはカメラ店などでお買い求めください。

使用電池：CR2032

1. 電池交換をする前に部屋のドアノブ等の金属部分に触れて、身体の静電気を除去してください。
2. エマージェンシーキーを取り外します。
→「エマージェンシーキー」P.6-12
3. 三菱マークを上にして、先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでケースを開きます。



4. 新しい電池は＋極を上にして取り付けます。
5. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

ドア

J00400400482

⚠ 警告

- 車から離れるときは、火災や盗難などを未然に防ぐため、必ずパワースイッチをLOCKにしてドアを施錠してください。法的にも義務づけられています。お子さま連れのときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。また車内に貴重品を置いたままにしないでください。

⚠ 注意

- ドアを開めるときは、確実に閉め、メーター内の半ドア警告灯が消灯していることを確認してください。半ドアでは、走行中にドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 アドバイス

- 運転席のドアが開いているときは、キー閉じ込め防止のため、運転席ドアのロックノブまたはキーを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。

車外から施錠・解錠するときは

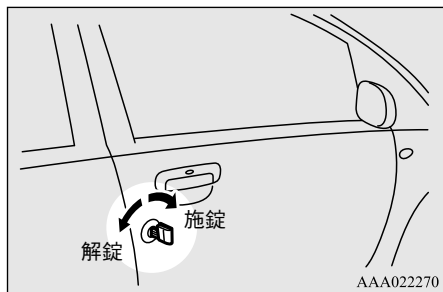
J00404401982

キーを使って施錠・解錠するときは

キーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

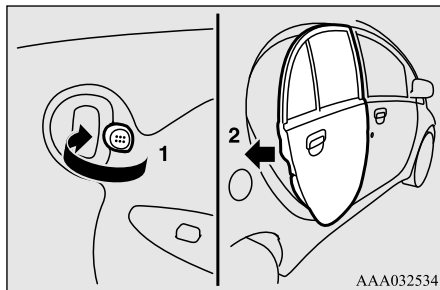
アドバイス

- キーレスオペレーションシステム付き車は、エマージェンシーキーを使って施錠・解錠をすることができます。
→「エマージェンシーキー」P.6-12



キーを使わずに施錠するときは (助手席，後席ドア)

1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒します。
2. ドアを閉じます。



パワースイッチ切り忘れ警告ブザー

J00413300049

パワースイッチがONの位置のままで、運転席ドアを開くとパワースイッチ切り忘れ警告ブザーが断続的に鳴り、パワースイッチの切り忘れを知らせます。

キー抜き忘れ警告ブザー

J00404500638

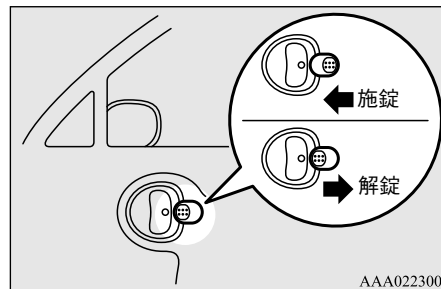
パワースイッチにキーを差したまま運転席ドアを開くとキー抜き忘れ警告ブザー

が断続的に鳴り、キーの抜き忘れを知らせます。

車内から施錠・解錠するときは

J00404600697

ロックノブを車両前方へ倒すと施錠し、車両後方へ戻すと解錠します。



オーバーライド機構

運転席ドアはロックノブを車両前方に倒したままでも、室内側のドアハンドルを引くとドアを開けることができます。また、同時にすべてのドアおよびテールゲートが解錠されます。

センタードアロック

J00400500799

つぎの操作ですべてのドアおよびテールゲートの施錠・解錠ができます。

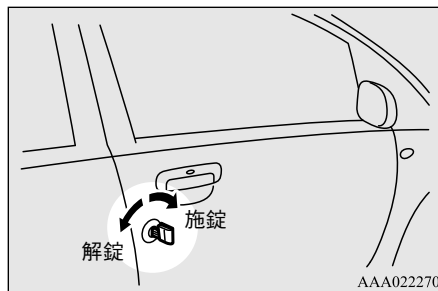
アドバイス

- 運転席のドアが開いているときは、キー閉じ込め防止のため、運転席ドアのロックノブまたはキーを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。
- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動なくなることがあります。このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

キーを使って施錠・解錠するときは

J00411000055

運転席ドアのキーを車両前方に回すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し、車両後方に回すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

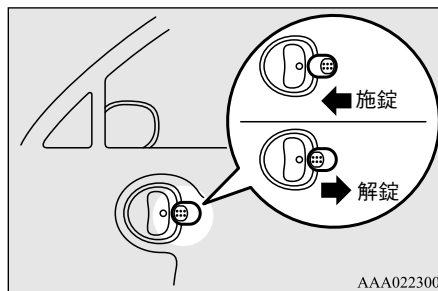


AAA022270

ロックノブを使って施錠・解錠するときは

J00411100056

運転席ドア内側のロックノブを車両前方へ倒すとすべてのドアおよびテールゲートが施錠し、車両後方へ倒すとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。



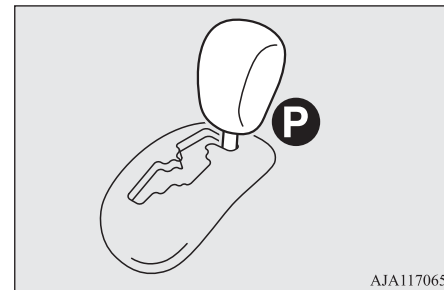
AAA022300

セレクトーレバーを使って解錠するときは

J00411301215

パワースイッチが ON のときにセレクトーレバーを **P** に入れるとすべてのドアおよびテールゲートが解錠します。

工場出荷時は「解錠しない」に設定されています。「解錠する」に変更したいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。



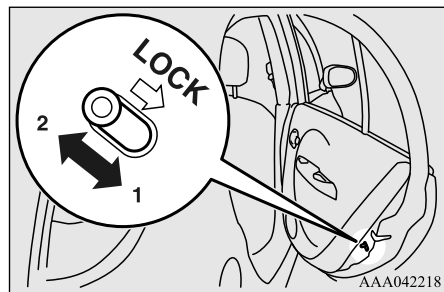
AJA117065

チャイルドプロテクション （後席ドア安全施錠装置）

J00400601885

レバーを施錠側 (1) にしてドアを開めると、ドアのロックノブの位置に関係なく、車内からはドアが開けられなくなります。

安全上、お子さまを乗せるときにご使用ください。



AAA042218

- 1- 施錠
- 2- 解錠

ドアを開けるときは車外のドアハンドルで開けます。

アドバイス

- 万一の場合、車内からドアを開けたいときは、ドアのロックノブを解錠状態にしてドアガラスを下げ、窓から手を出して車外のドアハンドルを引いてください。

テールゲート

J00401102129

警告

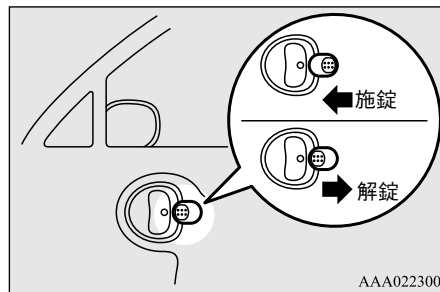
- ラゲッジルームは人が乗る構造になっておりません。人を乗せたり、お子さまを遊ばせたりしないでください。万一の場合、重大な事故につながるおそれがあります。
- 走行前に必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。また、走行中に開くと、荷物が落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- テールゲートを開閉するときは、周囲の安全や車両の後方および上方に十分なスペースがあることを確認し、頭をぶついたり、手や首などをはさまないように注意してください。
- テールゲートに積雪や氷の付着があるときは、テールゲートを開ける前に雪や氷を取り除いてください。取り除かずに開けておくと、雪や氷の重みでテールゲートが突然閉じるおそれがあります。

警告

- テールゲートを開けたときは、テールゲートが必ず全開で静止していることを確認してください。途中までしか開いていないと、突然閉まるおそれがあります。特に傾斜地では、平坦な場所よりもテールゲートの開閉がしにくかったり、急に開いたり閉じたりするおそれがあります。

施錠・解錠するときは

運転席ドア内側のロックノブを車両前方へ倒すとテールゲートおよびすべてのドアが施錠し、車両後方へ倒すとテールゲートおよびすべてのドアが解錠します。



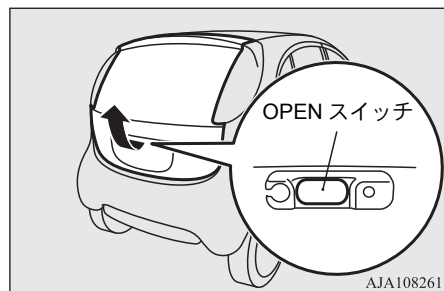
AAA022300

アドバイス

- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

開けるときは

解錠後、OPEN スイッチを押してテールゲートを引き上げます。



⚠ 注意

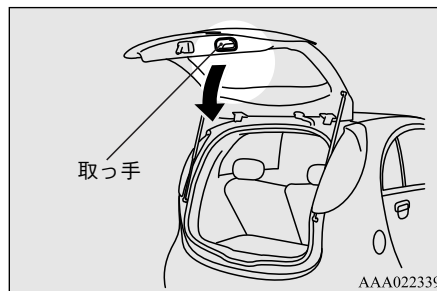
- テールゲートを開けるときは、まわりに人がいないことを確認してください。

アドバイス

- OPEN スイッチを押した後すぐに開けないと、テールゲートは引き上げられません。その場合はもう一度 OPEN スイッチを押してテールゲートを引き上げます。
- 補機用バッテリーが上がったり、または外しているときは、テールゲートを開けることはできません。

閉めるときは

テールゲートの取っ手に手をかけてテールゲートを途中まで引き下げた後、取っ手から手を離してテールゲートを軽く押しつけます。

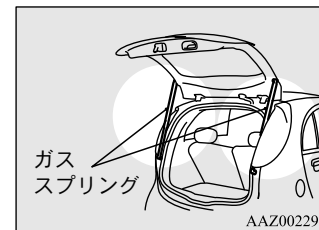


⚠ 注意

- テールゲートの取っ手に手をかけたまま直接テールゲートを閉じないでください。手や腕をはさみ、けがをするおそれがあります。

アドバイス

- テールゲートを支えるためのガススプリングがつぎの位置についています。



損傷や作動不良を防止するため、つぎのことをお守りください。

- ガススプリングに手をかけてテールゲートを閉めたり、押ししたり引いたりしないでください。
- ビニール片、テープなどがガススプリングに付着しないようにしてください。
- ひもなどをガススプリングに巻き付けないでください。
- ガススプリングに物をかけないでください。

セキュリティアラーム

J00401202221

セキュリティアラームは、車両内への不正侵入防止のため、キーレスエントリー機能またはキーレスオペレーション機能で解錠せずにドアやテールゲートを開けたときまたはボンネットを開けたときに警報を作動させ、周囲に異常を知らせるシステムです。キーレスエントリー機能またはキーレスオペレーション機能以外の操作で（キーやドアのロックノブを使って）ドアおよびテールゲートを施錠したときは、このシステムは働きません。

工場出荷時は、セキュリティアラームが「作動しない」に設定されています。設定を変更するときは「システム作動の設定変更のしかた」の手順にしたがって操作してください。→P.6-23

アドバイス

- 三菱自動車純正部品以外の部品を装着すると、セキュリティアラームに影響をおよぼす可能性があります。
- リモコンスイッチを押しても施錠、解錠およびセキュリティアラームのセット、解除ができないときには電池の消耗が考えられます。新しい電池に交換してください。
→「電池交換のしかた」 P.6-17

システムの基本状態

J00412301081

セキュリティアラームには準備状態、作動可能状態、警報作動、作動解除の4つの状態があります。

それぞれの状態に応じて、ブザー、セキュリティインジケータ、非常点滅灯またはホーンがつぎの通り作動します。



準備状態：約 20 秒間

（ブザーが断続的に鳴り、セキュリティインジケータが点滅する）

キーレスオペレーションキーの LOCK スイッチを押す、またはキーレスオペレーション機能ですべてのドアおよびテールゲートを施錠した後、システム作動可能状態になるまでの準備時間です。

車内に荷物を忘れたり、ドアガラスを閉め忘れたのに気がついて、一時的にキーレスエントリー機能またはキーレスオペレーション機能を使わずにドアまたはテールゲートを開けたときに警報しないよう、この状態を設定しています。

作動可能状態

（ブザーは停止し、セキュリティインジケータがゆっくりと点滅し続ける）

システム準備状態が過ぎると、システム作動可能状態になります。

このとき、キーレスエントリー機能またはキーレスオペレーション機能以外の操作で（キーやドアのロックノブを使って）解錠し、いずれかのドア、テールゲートまたはボンネットを開けると警報が作動し、周囲に異常を知らせます。

警報作動

車内警報の後、車外警報が作動します。

車内警報（約 10 秒間）：

ブザーが鳴り、車内に異常を知らせます。

車外警報（約 30 秒間）：

非常点滅灯が点滅し、ホーンが鳴り、周囲に異常を知らせます。

→「警報作動」P.6-26

作動解除

システム準備状態、システム作動可能状態のときにシステムの作動を解除することができます。

また、警報が作動しているときも警報作動を解除することができます。

→「システム作動の解除のしかた」P.6-25

→「警報作動の解除のしかた」P.6-27

アドバイス

- 他の人にお車を貸されるときや、セキュリティアラームの作動について知らない人が運転されるときは、セキュリティアラームについて十分ご説明いただくか、セキュリティアラームを「作動しない」に設定してください。セキュリティアラームについて知らない人が誤って解錠すると、警報が作動し、周囲への迷惑となります。

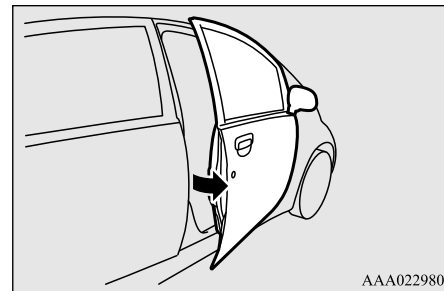
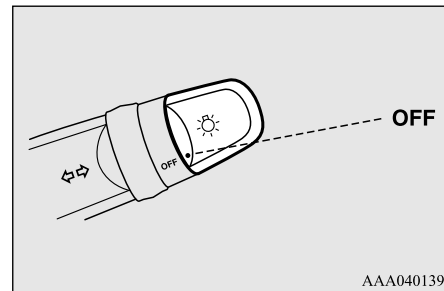
システム作動の設定変更のしかた

J00402702122

警報作動の設定状態を選択することができます。つぎの手順にしたがって設定を変更してください。

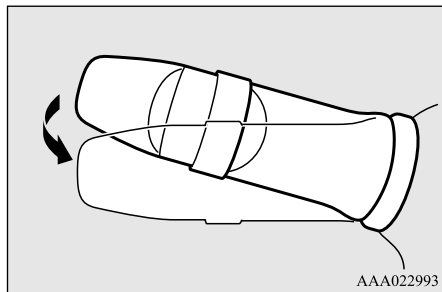
1. パワースイッチを LOCK にします。
さらに、エマージェンシーキーを使ってパワーユニットを作動させているときは、パワースイッチからエマージェンシーキーを抜きます。

2. ライトスイッチを OFF 位置にして、運転席ドアを開いたままにします。



セキュリティアラーム

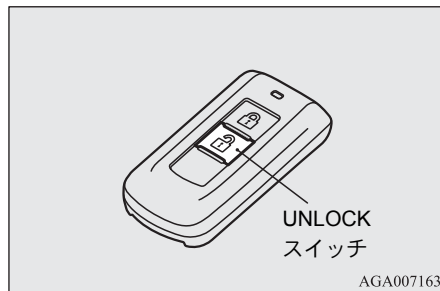
3. フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたまま保持します。
(パワースイッチが LOCK にあるため、ウォッシャー液は出ません。)



6

4. 約 10 秒経過するとブザーが鳴りますが、フロントワイパー・ウォッシャースイッチは手前に引いたまま保持してください。
(フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離すと、設定変更モードが無効になります。
やり直すときは手順3.からもう一度操作してください。)

5. ブザーが鳴り止んだら、フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたままキーレスオペレーションキーの UNLOCK スイッチを押してセキュリティアラームの設定状態を選択します。
設定状態は UNLOCK スイッチを押すごとに切り換わり、ブザーの回数によって確認できます。



ブザーの回数	セキュリティアラームの設定状態
1 回	警報作動しない
3 回	ホーンと非常点滅灯で警報作動する

6. つぎのいずれかの操作でシステム設定変更モードが終了します。
- フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離す
 - 運転席ドアを閉じる
 - ライトスイッチを OFF 位置以外にする
 - 設定を変更しないまま約 30 秒経過する
 - パワースイッチを LOCK (PUSH ON) の位置に押し込む
 - パワースイッチにエマージェンシーキーを差す

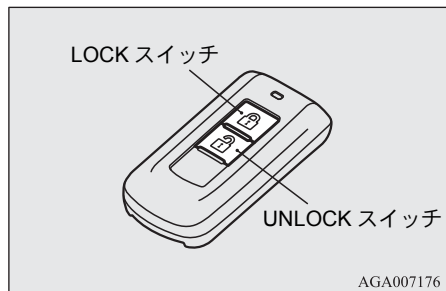
アドバイス

- セキュリティアラームの設定変更がわかりにくいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- セキュリティアラームを「作動する」に設定した場合も、万一のため、車を離れるときは車内に貴重品を置いたままにしないでください。

システム作動のセットのしかた

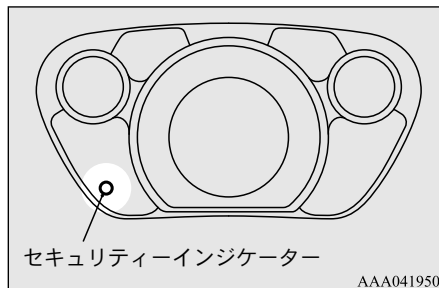
J00402802019

あらかじめセキュリティアラームを「作動する」に設定した後、つぎの手順でシステム作動可能状態にセットします。



1. パワースイッチを LOCK にします。
さらに、エマージェンシーキーを使ってパワーユニットを作動させているときは、パワースイッチからエマージェンシーキーを抜きます。
2. 車両から出てすべてのドア、テールゲートおよびボンネットを閉じます。

3. キーレスオペレーションキーの LOCK スイッチを押す、またはキーレスオペレーション機能ですべてのドアおよびテールゲートを施錠します。
キーレスエントリー機能またはキーレスオペレーション機能による施錠操作で、システム準備状態になります。このとき確認のためのブザーが断続的に鳴り、メーター内のセキュリティインジケーターが点滅します。



アドバイス

- キーレスエントリー機能またはキーレスオペレーション機能以外の操作で（キーやドアのロックノブを使って）すべてのドアおよびテールゲートを施錠したときは、システム準備状態になりません。

アドバイス

- ボンネットが開いているときは、セキュリティインジケーターが点灯し、システム作動可能状態になりません。
ボンネットを閉めるとシステム準備状態になり、約 20 秒後にシステム作動可能状態になります。

4. 約 20 秒後、ブザーが止まり、セキュリティインジケーターの点滅速度が遅くなり始めたらシステム作動可能状態です。
システム作動可能状態中は、セキュリティインジケーターは点滅し続けます。

アドバイス

- 車内に人が乗っている状態、またはドアガラスが開いた状態でもセキュリティアラームは作動します。警報の思わぬ作動を防ぐため、車内に人が乗っている状態ではシステム作動可能状態にしないでください。

システム作動の解除のしかた

J00402901866

システム準備状態またはシステム作動可能状態のときに、つぎの方法でシステム作動を解除することができます。

セキュリティアラーム

- キーレスオペレーションキーのUNLOCKスイッチを押す
- キーレスオペレーション機能を使って解錠する
- パワースイッチをONまたはACCにする
- システム準備状態のとき、いずれかのドア、テールゲートを開けるか、パワースイッチにエマージェンシーキーを差し込む

アドバイス

- システム準備状態のときにボンネットを開けるとシステム準備状態が中断し、ボンネットを閉めるとシステム準備状態に戻ります。
- システム準備状態のときに補機用バッテリー端子を外すと記憶は消去されます。
- キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチは4個まで登録できます。登録済みのリモコンスイッチであれば、セットしたリモコンスイッチと別のリモコンスイッチを使ってもシステムを解除することができます。リモコンスイッチの追加登録については三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

アドバイス

- UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアおよびテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。このときもシステム準備状態になります。UNLOCKスイッチを押した後、自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

警報作動

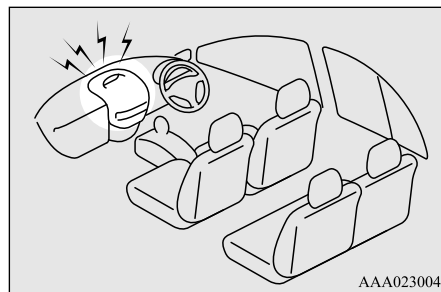
J00403000779

システム作動可能状態のときに、キーレスエントリー機能またはキーレスオペレーション機能で解錠せずに、いずれかのドア、テールゲートまたはボンネットを開けるとつぎのように警報作動します。

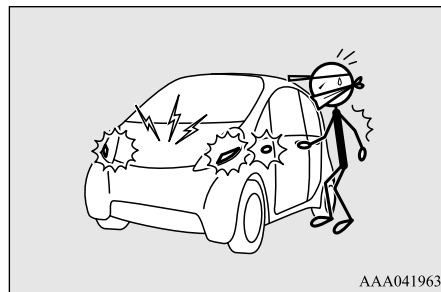
1. 約10秒間ブザーが断続的に鳴ります。
(車内警報)

アドバイス

- 作動可能状態中にボンネットを開けると車内警報は作動せず、すぐに車外警報が作動します。



2. 車内警報の後、設定した車外警報が約30秒間作動します。
非常点滅灯が点滅し、ホーンが断続的に鳴ります。



3. 警報が停止した後もドア、テールゲートまたはボンネットを開くと車外警報が再び作動します。

警報作動の解除のしかた

J00403101719

つぎの方法で警報作動を止めることができます。

- キーレスオペレーションキーの LOCK または UNLOCK スイッチを押す
[LOCK スイッチを押したとき、すべてのドアおよびテールゲートが閉じていれば施錠し、再びシステム準備状態になります]
- キーレスオペレーションキーを携帯し、つぎの操作でドアおよびテールゲートを施錠または解錠する
 - ・運転席ドアのスイッチまたはテールゲートの LOCK スイッチを押して施錠する
 - ・運転席ドアのスイッチを押して解錠する
 - ・テールゲートの OPEN スイッチを押して解錠する
- パワースイッチを ON または ACC にする

アドバイス

- 車内警報中にドアまたはテールゲートを閉じて警報作動は解除されません。

アドバイス

- パワースイッチを ON にしたときブザーが 4 回鳴り、セキュリティインジケータが 4 回点滅したときは、駐車中に警報が作動したことを示しています。盗難にあっていないかお車の中を確認してください。
- 補機用バッテリーを外しても警報作動の記憶は消去されません。
一時的に補機用バッテリーを外して警報作動しないようにしても、補機用バッテリーを再び接続するとすぐに警報し、周囲に異常を知らせます。

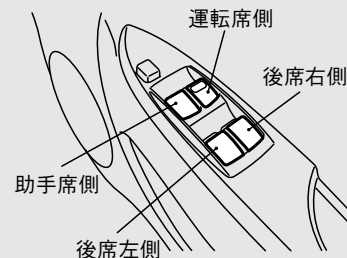
パワーウィンドウ

J00401501982

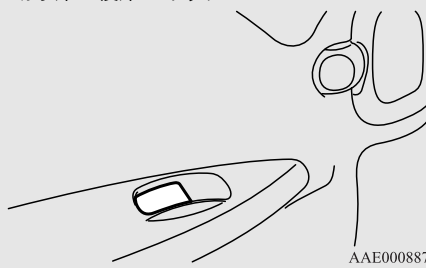
警告

- パワーウィンドウを閉じるときは、安全のため同乗者が窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- 安全のためパワーウィンドウの操作はお子さまではなく大人が行ってください。車を離れるときは必ずお子さまと一緒に連れて出てください。
車内にキーを残したままにしておくと、お子さまがいたずらをして手や首をはさむおそれがあります。

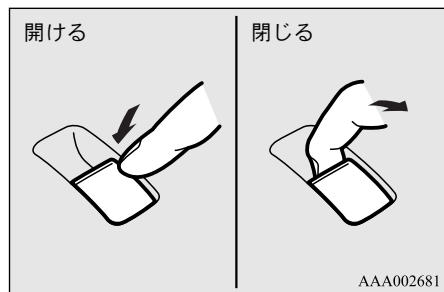
運転席スイッチ



助手席・後席スイッチ



パワースイッチが ON のときにスイッチを押すと開き、引き上げると閉まります。



運転席ドアガラスは、運転席側のスイッチを強く押したり、強く引き上げると自動的に全開、全閉します。途中で止めたいときはスイッチを軽く操作します。

📖 アドバイス

- 運転席スイッチで全席のドアガラスの開閉をすることができます。
- 急速充電中は、パワースイッチをONにしないでください。ONにすると急速充電が停止します。

タイマー機構

J00405201873

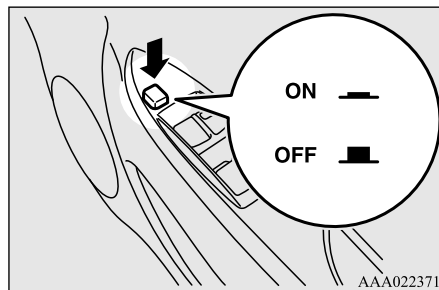
パワースイッチを ACC または LOCK にした後でも約30秒間はドアガラスを開閉することができます。ただし、この時間内に運転席ドアまたは助手席ドアを開け

るとドアガラスの開閉はできなくなります。

ロックスイッチ

J00404300782

お子さまを乗せるときはロックスイッチを ON にしてください。助手席、後席スイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。解除するときはもう一度押します。



📖 アドバイス

- ロックスイッチがONのときは、運転席スイッチでは運転席ドアガラスのみ開閉することができます。

セーフティー機構

J00403200641

運転席ドアガラス

万一、手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にドアガラスが少し下がります。ドアガラスが下がった後、再度スイッチを引き上げるとドアガラスを閉めることができます。

⚠️ 注意

- ドアガラスを確実に閉めるため、閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。
- パワーウィンドウスイッチを引き上げている間は、セーフティー機構は働きません。手や首をはさまないように注意してください。
- 手や首などをはさんで故意にセーフティー機構を働かせないでください。万一、手や首をはさんだ場合、重大な事故につながるおそれがあります。

📖 アドバイス

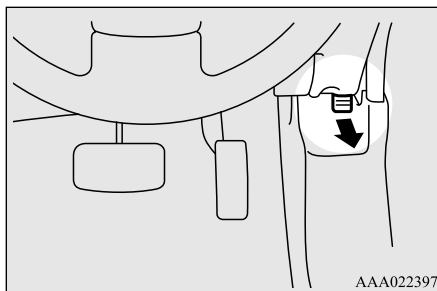
- 環境や走行条件により、手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると、セーフティー機構が働くことがあります。

アドバイス

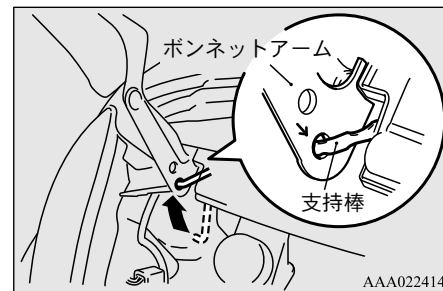
- 3 回以上連続してセーフティー機構が働いたときは、セーフティー機構が解除され、ドアガラスが正常に閉まらなくなります。

つぎの方法でドアガラスを処置してください。

ドアガラスが開いているときは、パワーウィンドウスイッチを繰り返し引き上げて、ドアガラスを一度全閉します。全閉後、いったんスイッチから手を離し、再度約 1 秒間スイッチを引き上げてください。これにより、元通りドアガラスの開閉操作ができるようになります。



3. ボンネットのすき間に手を入れ、前端中央部のレバーを左へ押しながらボンネットを持ち上げます。



ボンネット

J00402100483

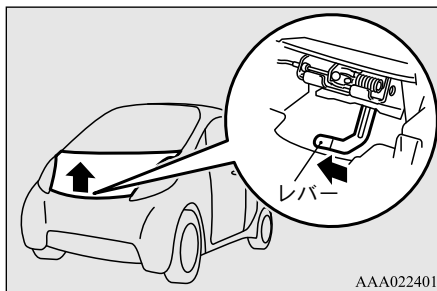
開けるときは

1. ワイパーアームが立っているときはワイパーアームを倒します。

アドバイス

- ワイパーアームが立った状態でボンネットを開けるとボンネットに傷がつくおそれがあります。

2. 計器盤右下にあるレバーを引くとボンネットが少し浮き上がります。



4. 支持棒をボンネットアーム下側の穴に差し込み、ボンネットを確実に固定します。

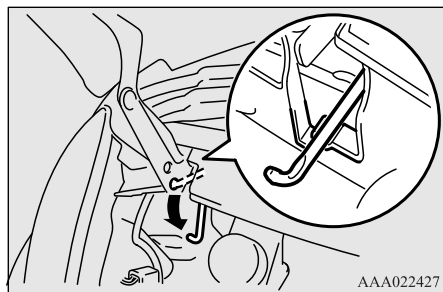
注意

- 風の強いときにボンネットを開けていると、風にあおられて支持棒が外れることがあります。特に風の強いときはご注意ください。
- 支持棒は必ず所定の穴に差し込んでください。所定以外の箇所に差し込むと支持棒が外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

1. ボンネットを支えながら支持棒をボンネットアームの穴から外して、クリップに固定します。

パワーユニット点検口



2. ボンネットを少し持ち上げた位置（約30cm）から離します。

⚠ 注意

- 手や物をはさまないように注意してください。

3. ボンネットが完全に閉じていることを確認します。

⚠ 注意

- 走行前に必ずボンネットが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないまま走行するとボンネットが開くおそれがあります。

📖 アドバイス

- ボンネットを手で強く押しつけないでください。力のかけぐあいや場所によっては、万一の場合、車体がへこむおそれがあります。

パワーユニット点検口

J00413400024

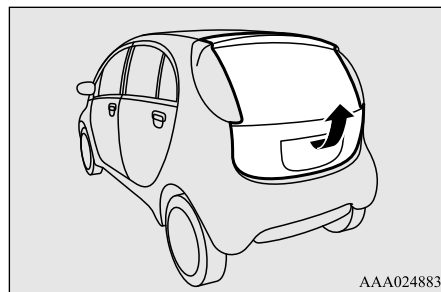
ラゲッジルームの下にパワーユニット点検口があります。パワーユニットルームの点検をするときは、ラゲッジフロアカーペットおよびパワーユニットルームリッドを取り外してください。

⚠ 注意

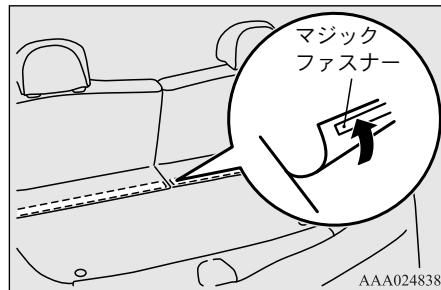
- パワーユニットルームリッドおよびその周辺は熱くなっていることがありますので注意してください。

開けるときは

1. テールゲートを開けます。
→「キーレスオペレーションシステム：キーレスオペレーション機能を使って操作するときは」P.6-7
→「センタードアロック」P.6-19
→「テールゲート」P.6-20

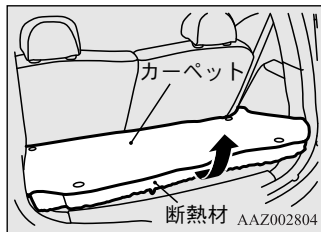


2. マジックファスナーをはがし、ラゲッジフロアカーペットを取り外します。

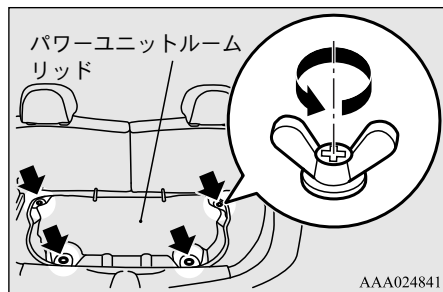


アドバイス

- ラゲッジフロアカーペットには断熱材が付いています。
ラゲッジフロアカーペットを取り外すときは、カーペット生地だけではなく、断熱材とカーペット生地を一緒につかんで持ち上げてください。



3. パワーユニットルームリッドのネジ（前後 4 箇所）を左に回して外し、パワーユニットルームリッドを取り外します。



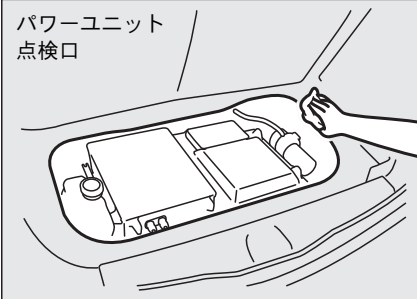
アドバイス

- パワーユニットルームリッドを地面に置くときは、パワーユニットルームリッド裏側のゴム面を上にして置いてください。
下にして置くとゴムにゴミなどが付き、パワーユニットルームリッドを元に戻すときに確実に取り付けられなくなります。

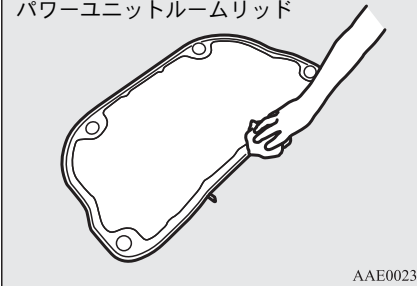
閉めるときは

1. パワーユニット点検口の周辺およびパワーユニットルームリッド裏側のゴムに付いた汚れをきれいに取り除きます。

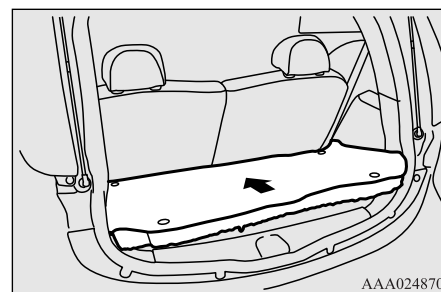
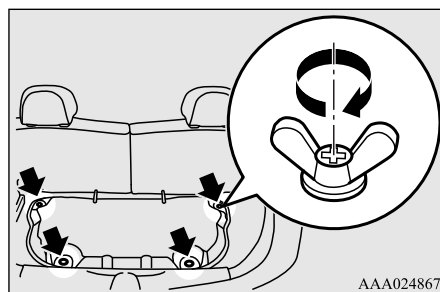
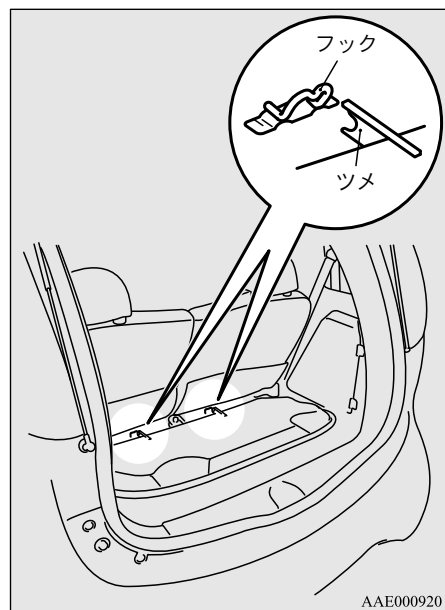
パワーユニット
点検口



パワーユニットルームリッド



2. パワーユニットルームリッドのツメをリヤシート下のフックに差し込みます。



アドバイス

- パワーユニットルームリッドを取り付けるときは、パワーユニット点検口の周辺に異物がないことを確認し、ネジを確実に締め付けてください。
締め付けが不十分だと車内にパワーユニットルームの音が漏れて車内で聞こえる音が大きくなったり、路面からはね上げられた水がラゲッジルームに入り込むことがあります。

3. パワーユニットルームリッドの穴と床の穴（前後4箇所）の位置を合わせます。
4. ネジを穴に差し込み、右に回してパワーユニットルームリッドを確実に取り付けます。

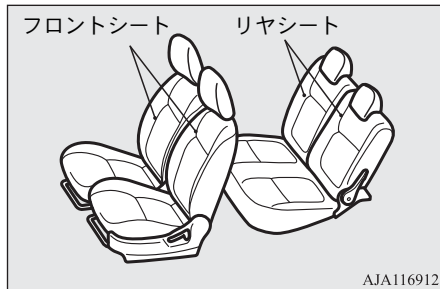
5. ラゲッジフロアカーペットを元の位置に戻し、マジックファスナーで固定します。

安全装備

シート	7-2
シート調整	7-2
フロントシート	7-2
リヤシート	7-5
ヘッドレスト	7-6
シートベルト	7-8
プリテンショナー機構／ フォースリミッター機構付シートベルト	7-11
チャイルドシート	7-12
SRS エアバッグ	7-20

シート

J00509902427



AJA116912

フロントシート

- 前後調整 P.7-3
- 背もたれの角度調整 P.7-3
- 上下調整（運転席） P.7-4
- シートヒーター P.7-4

リヤシート

- 背もたれの角度調整 P.7-5
- 背もたれの前倒し P.7-5

シート調整

J00500201550

シート各部の調整は走行前に行ってください。

⚠ 警告

- シートの調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり、重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの調整をした後は、シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き、重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、身体がシートベルトの下にもぐり、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートの下に物を置かないでください。物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、シートなどの故障の原因になります。

⚠ 注意

- シートの下に落とした物を拾うときや車内を清掃するときなど、シートの下に手を入れるときは十分注意してください。シートレールやシートフレームなどでけがをするおそれがあります。

フロントシート

J00500300727

正しい運転姿勢がとれるように、つぎの点に注意してシートを調整してください。

⚠ 注意

- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- シートを操作しているときは、シートの下や動いている部分に手足を近づけないでください。



⚠ 警告

- 背もたれと背中の中にクッションなどを入れないでください。
正しい運転姿勢がとれないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

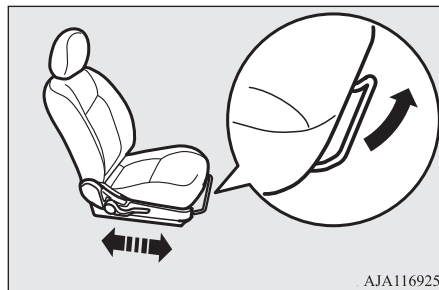
⚠ 注意

- 後方へシートを移動したり、背もたれを倒すときは乗員に注意してください。

前後調整

J00500401565

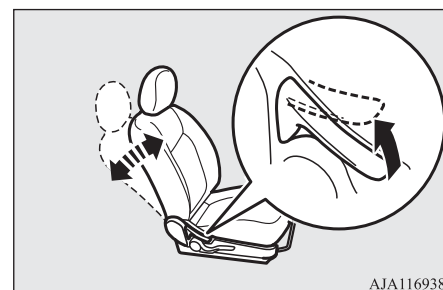
レバーを引いたまま調整します。
調整後はシートを前後に軽くゆすり、
シートが確実に固定されたことを確認し
ます。



背もたれの角度調整

J00500501700

レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり、背もた
れが確実に固定されたことを確認しま
す。



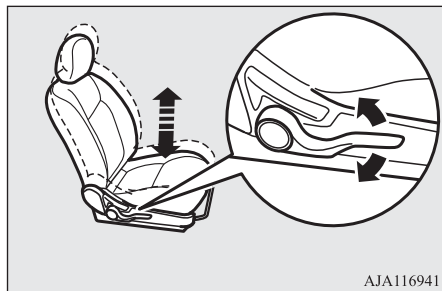
⚠ 注意

- レバーを操作するときは、背もたれに身
体を添わせるか、手を添えて行ってくだ
さい。
背もたれが急に戻り顔などに当たるおそ
れがあります。

上下調整（運転席）

J00500601756

レバーを繰り返し操作して調整します。

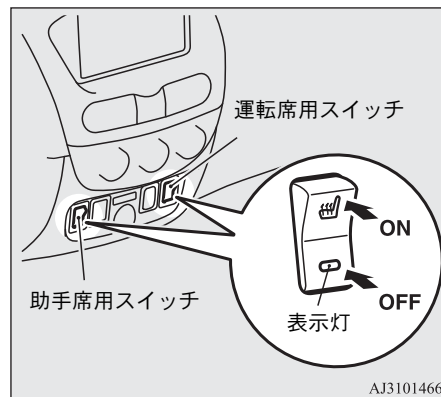


AJA116941

シートヒーター

J00501301646

パワースイッチが ON のときにスイッチの上側を押すとヒーターが作動し、スイッチ内の表示灯が点灯します。シートヒーターを切りりたいときはスイッチの下側を押します。



AJ3101466

⚠ 注意

- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときの連続使用は補機用バッテリーが上がる原因になります。
- 長時間の連続使用は低温やけど（水ぶくれなど）の原因になります。特につぎのような方は注意してください。
 - ・乳幼児，お子さま，お年寄，病気の方，身体の不自由な方

⚠ 注意

- ・皮膚の弱い方
- ・疲労の激しい方
- ・飲酒した方およびぬむけをさそう薬を飲んだ方（かぜ薬など）
- 重い荷物をシートの上に置いたり，針やくぎなどをシートに刺したりしないでください。
- 毛布や座ぶとんなど保温性のよいものをシートにかけないでください。過熱の原因となります。
- シートを手入れするとき，ベンジン，ガソリン，およびアルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。シート表面およびヒーターの損傷原因となります。
- 水，ジュースなどをこぼしたときは十分乾かしてから使用してください。

📖 アドバイス

- ご使用にならないときはスイッチを OFF にしてください。
- 急速充電中は，パワースイッチを ON にしないでください。ON にすると急速充電が停止します。また，もう一度急速充電を開始する場合，再度課金されることがあります。
- つぎの状況でもシートヒーターを使用することができます。
 - ・充電中にエアコンを使用しているとき
 - ・プレ空調が作動しているとき（MiEV リモートシステム付き車）

アドバイス

- 「充電中のエアコンの使い方」P.11-21
- 「プレ空調」P.5-26, 5-38
- 「植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は」P.3-15

リヤシート

J00501401227

⚠ 注意

- シートクッションと背もたれの間にチャイルドシート固定専用バーが装備されています。パワーユニットルームの熱により、固定専用バーが熱いことがありますので注意してください。

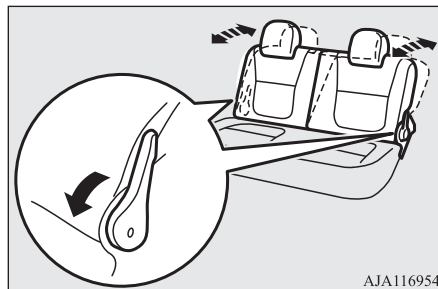


AJZ102932

背もたれの角度調整

J00501601290

レバーを手前に倒したまま調整します。調整後は背もたれを軽くゆすり、背もたれが確実に固定されていることを確認します。



AJA116954

アドバイス

- 背もたれの角度は片側ずつ調整できます。

背もたれの前倒し

J00501701435

背もたれを倒すことにより、大きな荷物を積むことができます。

⚠ 警告

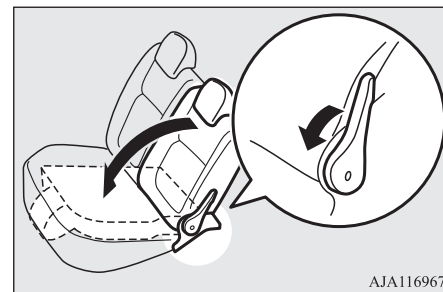
- リヤシートの背もたれを前倒した状態で、人を乗せたりお子さまを遊ばせないでください。急ブレーキをかけたときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また荷物は確実に固定してください。後方の確認ができなくなったり、急ブレーキをかけたときなどに荷物が前方に飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。

倒すときは

倒したい側のレバーを手前に倒したまま、背もたれを前に倒します。



AJA116967

ヘッドレスト

📖 アドバイス

- レバーを誤った方向に操作しないでください。
レバーが損傷し、背もたれの操作ができなくなるおそれがあります。

戻すときは

背もたれを確実にロックするまで起こします。
元に戻した後は、背もたれが確実に固定されていることを確認します。

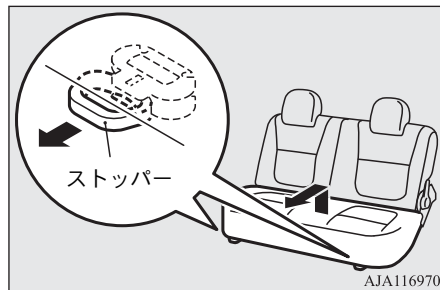
リヤシートクッション

J00502001217

リヤシートのシートクッションは取り外すことができます。シートの下に格納されている工具やパンクタイヤ応急修理キットを取り出すときに取り外します。また、シートカバーをつけるときなどにもご利用ください。

取り外すときは

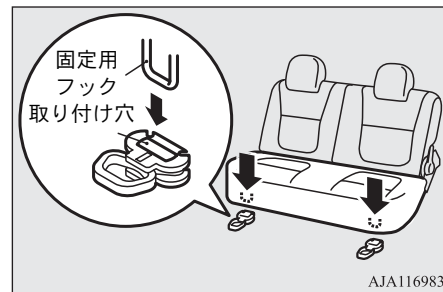
シートクッションのストッパーを手前に引いてロックを外し、シートクッションを持ち上げながら手前に引いて取り外します。



取り付けるときは

1. シートベルトのバックルをシートクッションの上に出します。

2. シートクッションを後方へいっぱい押し込みながら、シートクッション下側の固定用フックを左右ストッパーの取り付け穴にカチッと音がするまで押し込みます。



3. 取り付け後はシートクッションを軽くゆすり、シートクッションが確実に固定されていることを確認します。

ヘッドレスト

J00503401872

⚠️ 警告

- ヘッドレストの固定できる高さを超えて使用しないでください。
万一のとき安全確保に役立ちません。
- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れると安全確保に役立ちません。

⚠警告

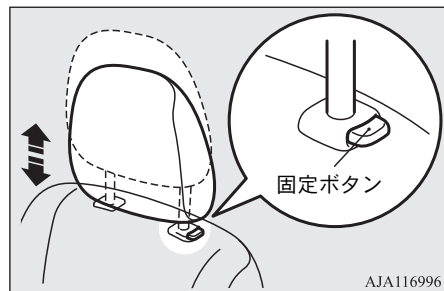
- ヘッドレストを取り外したままでは走行しないでください。走行前に必ず取り付けてください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

上下調整

フロントシート

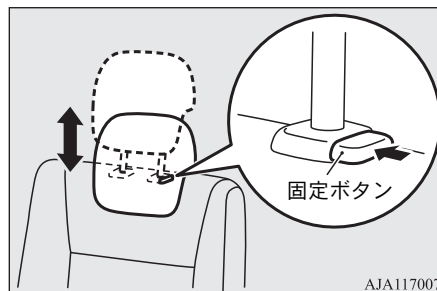
ヘッドレストの中央部ができるだけ耳の高さになるように調整します。耳の高さに届かない場合（特に背の高い人など）は、固定できる範囲で一番高い位置に調整してください。

上げるときはそのまま引き上げ、下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。



リヤシート

カチッと音がするまで引き上げます。上げるときはそのまま引き上げ、下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。



⚠警告

- リヤシートに座る場合は、ヘッドレストを下げた状態で走行しないでください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ずヘッドレストを固定できる高さまで引き上げてください。



取り外すときは

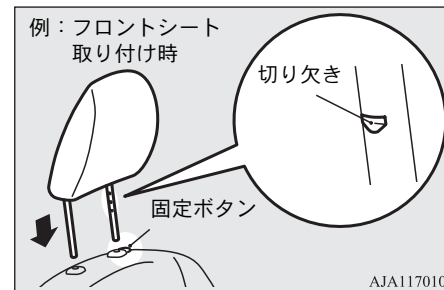
J00508900080

固定ボタンを押したまま、いっぱいに引き上げて取り外します。

取り付けるときは

J00509001652

切り欠きのあるヘッドレストステーが、固定ボタン側になるように取り付け、固定ボタンを押しながら差し込みます。

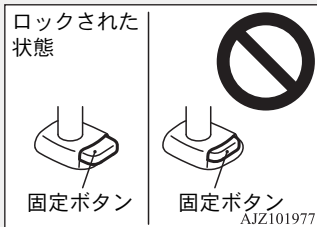


⚠注意

- 前後の向きを間違えて取り付けると、ヘッドレストが固定されません。

⚠ 注意

- ヘッドレストを取り付けた後、固定ボタンがロックされていることを確認してください。



シートベルト

J00505101785

シートベルトは万一の場合、運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトはつぎの使用方法、注意を守り、運転する前に必ず着用してください。



⚠ 警告

- 肩部ベルトは脇の下を通さないで、肩に十分かかるように着用してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに身体が前方に投げ出され、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 腰部ベルトは腹部にかけないでください。衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受け、シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 警告

- ベルトは1人用です。2人以上で使用しないでください。衝突のときなどにベルトが正常に働かず、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、身体がシートベルトの下にもぐり、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 車に乗るときは必ず全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに身体がシートに保持されず、車外に投げ出されたりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは上体を起こして、シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「フロントシート」を参照してください。→ P.7-2
- シートベルトはねじれないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、衝突したときなどに局部的に強い力を受けてシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。

⚠警告

- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分に支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。



- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。万一、シートベルトが外せなくなったときは、はさみなどでベルトを切断してください。

⚠警告

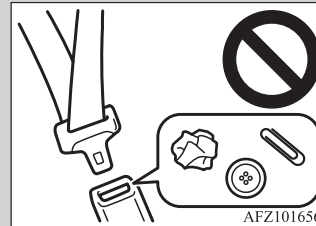
- 妊娠中の女性や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので、医師にご相談のうえ注意事項を確認してからご使用ください。

妊娠中の方は、腰部ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩部ベルトは確実に肩を通し、腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。

- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでベルトにたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- ほつれや切り傷ができたり、金具部などが正常に動かなくなったときは、シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず、性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 万一、事故にあって、シートベルトに強い衝撃を受けた場合は、外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も三菱自動車販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があり、性能を十分発揮できないおそれがあります。
- シートベルトを修理または交換する場合は三菱自動車販売会社へご相談ください。

⚠警告

- バックルや巻き取り装置の内部に異物（ビニール片、クリップ、ボタンなど）を入れないようにしてください。また、シートベルトの改造や取り外し、取り付けをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。



- ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤の使用や漂白、染色は絶対にしないでください。シートベルトの性能が落ち、十分な効果を発揮できなくなるおそれがあります。

3点式シートベルト

J00505200239

ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが、強い衝撃を受けたときは、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

アドバイス

- ベルトをすばやく引き出すことにより、ベルトがロックするか確認できます。

着用するときは

J00507800170

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

アドバイス

- シートベルトがロックしたまま引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ、再度ゆっくりと引き出してください。

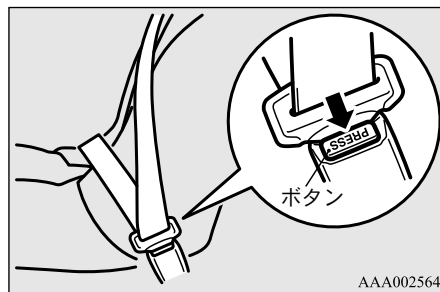
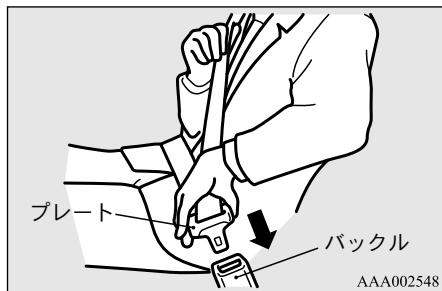
3. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ、ベルトを引いて腰部に密着させます。



外すときは

J00507901543

1. プレートを持ってバックルのボタンを押します。



2. ベルトは自動的に巻き取られますので、プレートに手を添えてゆっくり戻します。

アドバイス

- ベルトやリングが汚れていると、ベルトがスムーズに巻き取られないことがあります。ベルトやリングが汚れていれば、中性洗剤を使用して汚れをふき取ってください。



シートベルト警告

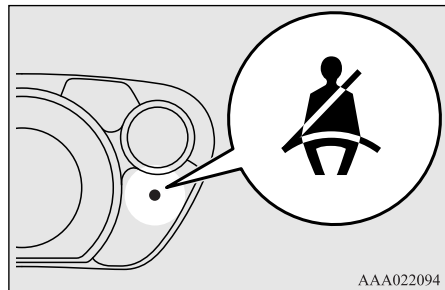
J00509700577

運転席のシートベルトを着用しないままパワースイッチを ON にすると、警告灯が点灯し、約 6 秒間ブザーが鳴ってシートベルトの着用を促します。そのままシートベルトを着用せずに走行したとき、パワースイッチを ON にしてから約 1 分が経過していると警告灯が点灯・点滅を繰り返し、ブザーが断続的に鳴ります。

警告灯とブザーの警告は約90秒で止まります。

その後、シートベルトを着用しないまま停車・発進を繰り返すと、発進するたびに警告灯とブザーによってシートベルトの着用を促します。また、走行中にシートベルトを外しても同じようにシートベルトの着用を促します。

シートベルトを着用すれば警告は止まります。



プリテンショナー機構／ フォースリミッター機構付 シートベルト

J00505700696

プリテンショナー付シートベルトは、運転席および助手席に装備されています。

プリテンショナー機構

J00512800077

プリテンショナー機構は、パワースイッチが ON のときに運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方より受けたときに、シートベルトを瞬時に引き込み、シートベルトの効果をいっそう高める装置です。

警告

- プリテンショナー付シートベルトの効果を十分に発揮させるため、つぎのことをお守りください。
 - ・シートを正しい位置に調整してください。
 - 「フロントシート」P.7-2
 - ・シートベルトを正しく着用してください。
 - 「シートベルト」P.7-8
- プリテンショナー付シートベルトやフロアコンソール付近の修理、カーオーディオなどの取り付けをする場合はプリテンショナー機構に影響をおよぼすおそれがありますので、三菱自動車販売会社にご相談ください。

注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。プリテンショナー付シートベルトが思いがけなく作動し、けがをするおそれがあります。

アドバイス

- プリテンショナー付シートベルトはシートベルトを装着していなくても、前方からの強い衝撃を受けると作動します。
- プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると再使用できません。三菱自動車販売会社で運転席、助手席側を同時に交換してください。

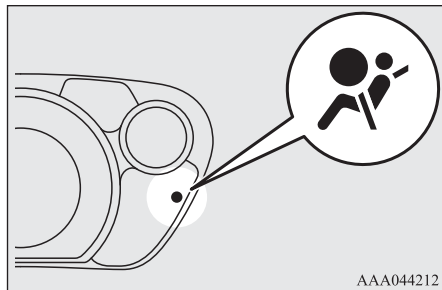
フォースリミッター機構

J00510100021

衝突時に、シートベルトにかかる荷重を効果的に吸収し、乗員への衝撃をやわらげる装置です。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

J00510001489



正常なときは、パワースイッチを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。SRS エアバッグまたはプリテンショナー機構に異常があるときは、点灯します。

⚠ 警告

- 警告灯がパワースイッチを ON にしても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故のときに SRS エアバッグやプリテンショナー付きシートベルトが正しく作動せず、重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

チャイルドシート

J00506002300

⚠ 警告

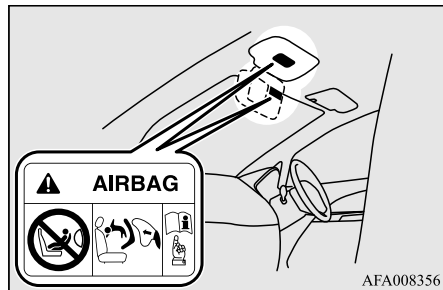
- シートベルトは大人の体格に合わせて設計されています。シートベルトを着けたとき肩部ベルトが首、あご、顔などに当たる場合や、腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け、シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
- 6才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- チャイルドシートはリヤシートに装着してご使用ください。

⚠ 注意

- 取り付けたチャイルドシートの前にあるシートを調整するときは、チャイルドシートと干渉しないように注意してください。
- フロントシートを後方へ移動したり背もたれを倒すときは、チャイルドシートに座ったお子さまに十分注意してください。お子さまがシートとチャイルドシートの間にはさまれるおそれがあります。

助手席へのチャイルドシート 取り付け時の注意

J00515001077



AFA008356

警告

- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けしないでください。また、前後向きとも装着可能なチャイルドシートでも後ろ向きには絶対に取り付けしないでください。助手席 SRS エアバッグが膨らむとき、強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり、背もたれに押しつけられてお子さまが死亡、または重大な傷害を受けるおそれがあります。



AHZ100121

警告

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は、助手席を一番後ろの位置にし、前向き装着のチャイルドシートを取り付けてください。

ISO FIX 対応 * チャイルドシート

J00506101942

チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーが装備された座席専用のチャイルドシートです。専用バーおよびアンカーを使用してチャイルドシートを固定します。車両のシートベルトでチャイルドシートを固定する必要はありません。

* この車は 2006 年 10 月 1 日施行の保安基準（国連の安全基準に準拠）に適合した ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーを標準装備しています。

チャイルドシート

シート位置別チャイルドシートの適合性一覧表 (ISO FIX対応チャイルドシート固定専用バーおよび テザーアンカーでの取り付け)

下の表から、装着位置に応じてチャイルドシートを選択してください。

質量グループ (お子さまの体重)		サイズ等級	固定具	車両 ISO FIX 位置
				リヤシート左右席
キャリコット		F	ISO/L1	X
		G	ISO/L2	X
0	10 kgまで	E	ISO/R1	X
0+	13 kgまで	E	ISO/R1	IL* ¹
		D	ISO/R2	X
		C	ISO/R3	X
I	9 ～ 18 kg	D	ISO/R2	X
		C	ISO/R3	X
		B	ISO/F2	IUF
		B1	ISO/F2X	IUF, IL* ²
		A	ISO/F3	IUF
II	15 ～ 25 kg			X
III	22 ～ 36 kg			X

サイズ等級の説明

サイズ等級	固定具	お子さまの大きさ	使用の向き	形状, 大きさ
A	ISO/F3	幼児	前	全高
B	ISO/F2	幼児	前	低型
B1	ISO/F2X	幼児	前	低型
C	ISO/R3	幼児	後ろ	大型
D	ISO/R2	幼児	後ろ	小型
E	ISO/R1	乳児	後ろ	—
F	ISO/L1	乳児	左	キャリコット
G	ISO/L2	乳児	右	キャリコット

⚠ 注意

- チャイルドシートを取り付けるときは、ヘッドレストを取り外してください。
- 三菱自動車純正チャイルドシート（MZ525277 および MZ525276）を取り付けるときは、フロントシートとチャイルドシートが干渉しないようにフロントシートの前後位置を中央より 2 段以上前方に調整してください。

7

記号の説明

- IUF: 国連の安全基準 UN-R44 に適合している汎用型（ユニバーサル）ISO FIX 対応の前向きチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- IL: 以下のリストに示す三菱自動車純正チャイルドシートの取り付けが可能です。
- X: チャイルドシートを取り付けることはできません。

チャイルドシート

三菱自動車純正チャイルドシート

ご購入、ご使用に関しては三菱自動車販売会社へご相談ください。

記号	純正部品番号	UN-R44 認可番号
IL *1	MZ525277 (チャイルドシート本体) MZ525276 (ベースシート)	E1-04301146
IL *2	MZ525280	E1-04301133

 アドバイス

●UN-R44 に適合したチャイルドシートには、つぎの認可マークが表示されています。

ECE R44/04
UNIVERSAL
0-18kg Y


123456

法規番号

カテゴリー

体重範囲

国番号

認可番号

AGZ001586

除く、ISO FIX 対応チャイルドシート

J00506202272

車両のシートベルトを使用して固定するチャイルドシートです。

シート位置別チャイルドシートの適合性一覧表（シートベルト使用による取り付け）

下の表から、装着位置に応じてチャイルドシートを選択してください。

質量グループ (お子さまの体重)		助手席	リヤシート左右席
0	10 kgまで	X	U
0+	13 kgまで	X	U, L ^{*1}
I	9 ～ 18 kg	L ^{*2}	U, L ^{*2}
II	15 ～ 25 kg	L ^{*3}	U, L ^{*3}
III	22 ～ 36 kg	L ^{*3}	U, L ^{*3}

7

前向きチャイルドシートを助手席に取り付ける場合は可能な限り助手席を後方へ移動してください。

⚠ 注意

- チャイルドシートを取り付けるときは、ヘッドレストを取り外してください。
- 三菱自動車純正チャイルドシート (MZ525280) を助手席に取り付けるときは、背もたれの角度を一番起こした位置から3段後ろに倒してください。
- 三菱自動車純正チャイルドシート (MZ525280およびMZ525298) をリヤシートに取り付けるときは、背もたれの角度を一番倒した位置から6段前に起こしてください。

記号の説明

- U: 国連の安全基準 UN-R44 に適合している汎用型（ユニバーサル）カテゴリのチャイルドシートのみが取り付け可能です。
- L: 以下のリストに示す三菱自動車純正チャイルドシートの取り付けが可能です。
- X: チャイルドシートを取り付けることはできません。

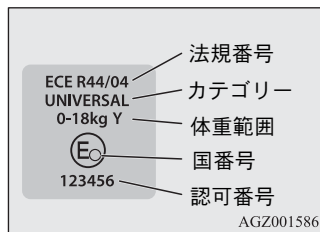
三菱自動車純正チャイルドシート

ご購入、ご使用に関しては三菱自動車販売会社へご相談ください。

記号	純正部品番号	UN-R44 認可番号
L*1	MZ525277	E1-04301146
L*2	MZ525280	E1-04301133
L*3	MZ525298	E1-04301312

📖 アドバイス

- UN-R44 に適合したチャイルドシートには、つぎの認可マークが表示されています。



ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーでの取り付け方

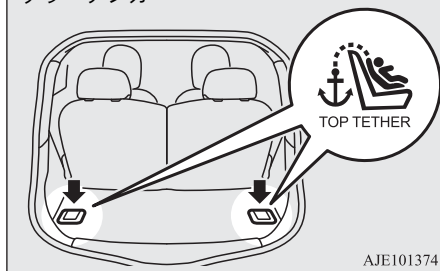
J00506302127

固定専用バーはリヤシートクッションと背もたれの間に、テザーアンカーはラゲッジルームの床面に、それぞれ装備されています。

固定専用バー



テザーアンカー



AJE101374

警告

- 固定専用バーおよびテザーアンカーはチャイルドシートを固定するために装備されています。その他の装備品の固定には使用しないでください。

取り付けるときは

チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって、チャイルドシートを取り付けます。

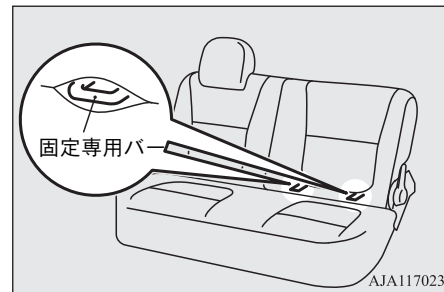
警告

- チャイルドシートを取り付けるときは、固定専用バーおよびテザーアンカー周辺に異物がないこと、シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物があるとチャイルドシートが固定されず、衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- リヤシートの背もたれを倒した状態でチャイルドシートを取り付けしないでください。また、チャイルドシートが取り付けられているときは、シートの調整はしないでください。

1. チャイルドシートを取り付けたい側のヘッドレストを取り外します。

→ 「ヘッドレスト：取り外すときは」P.7-7

2. シートクッションと背もたれのすき間を手で少し広げて、固定専用バーの位置を確認します。



AJA117023

注意

- パワーユニットルームの熱により、固定専用バーが熱いことがありますので注意してください。

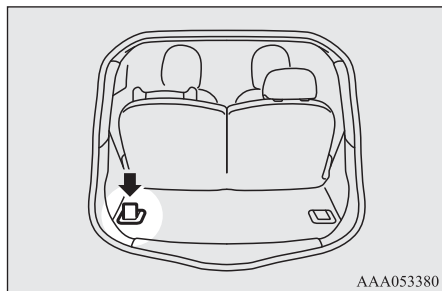
3. チャイルドシートを固定専用バーに取り付けます。
4. シートの背もたれおよびシートクッションと、チャイルドシートとの間にすきまができないように、シートの背もたれの角度を調整します。

トップテザー付きチャイルドシートの場合は、手順 5 から 7 を行ってください。

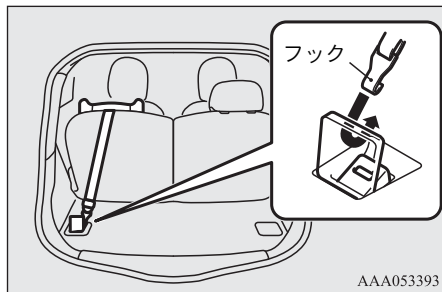
SRS エアバッグ

トップテザーが無いチャイルドシートの場合は、手順7を行ってください。

5. ラゲッジルーム床面にあるテザーアンカーの位置を確認します。



6. テザーベルトのフックをテザーアンカーに掛け、テザーベルトを締めて確実に固定します。



7. チャイルドシートを前後左右にゆすり、確実に固定されたことを確認します。

取り外すときは

チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって、チャイルドシートを取り外します。

シートベルトでの取り付け方

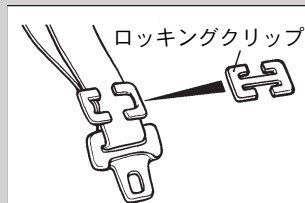
J00506502233

チャイルドシートを取り付けるときは、つぎの手順で確実に取り付けてください。

取り付けるときは

⚠ 警告

- チャイルドシートの種類によって取り付け方法が異なります。必ずチャイルドシートの取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。
チャイルドシートによってはチャイルドシートに付属のロックングクリップでの固定が必要です。



TAZ000186

1. チャイルドシートを取り付けたい席に置き、ヘッドレストを取り外します。

→「ヘッドレスト：取り外すときは」P. 7-7

2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって、チャイルドシートをシートベルトで固定します。

3. チャイルドシートを前後左右にゆすり、確実に固定されていることを確認します。

取り外すときは

プレートをバックルから外して、シートベルトをチャイルドシートから取り外します。

ベルトは自動的に巻き取られますので、プレートに手を添えて、ゆっくり戻してください。

SRS エアバッグ

J00506602380

SRS とは Supplemental Restraint System の略語で補助拘束装置の意味です。

運転席、助手席SRSエアバッグ

パワースイッチが ON のときに、運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに膨らみ、シートベルトの働きを補って、運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。

SRS カーテンエアバッグ

パワースイッチが ON のときに、運転者および同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ、運転者および同乗者の主に頭部への衝撃をやわらげる装置です。

⚠ 警告

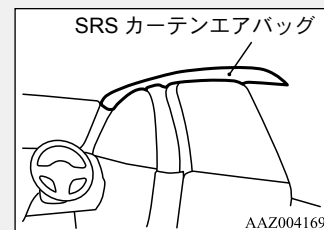
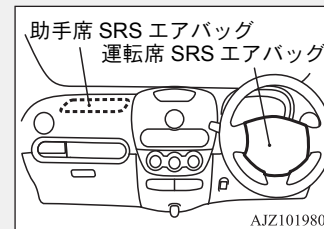
- SRS エアバッグはシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。
シートベルトをしていないと急ブレーキなどで身体が前方へ放り出されることがあり、その際に SRS エアバッグが膨らむとその強い衝撃で命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトはつぎの理由により必ず着用してください。

⚠ 警告

- SRS エアバッグが膨らんだとき、シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
- SRS エアバッグが作動しないときでも、シートベルトによりけがを軽減することができます。
- シートは正しい位置に調整し、背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。
SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため、SRS エアバッグに近づきすぎた姿勢で乗車していると SRS エアバッグが膨らむ際、エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRS エアバッグ構成部品およびその周辺は膨らんだ後、高温になりますのでさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

⚠ 注意

- SRS エアバッグが収納されている部分に傷がついていたり、ひび割れがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
衝突したときなどに SRS エアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。



📖 アドバイス

- SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため、SRS エアバッグとの接触によりすり傷や打撲などを受けることがあります。

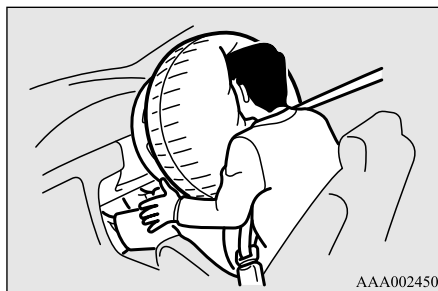
アドバイス

- SRS エアバッグが膨らむときかなり大きな音がし、白煙が出ますが火災ではありません。また人体への影響もありません。ただし、呼吸器系の疾患がある人や皮膚が弱い人の場合、一時的にのどや皮膚に刺激を感じることがあります。また、残留物（カスなど）が目や皮膚など身体に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚が弱い人の場合、まれに皮膚を刺激することがあります。
- 膨らんだ運転席、助手席 SRS エアバッグはすぐにしぼむので視界を妨げません。
- SRS エアバッグは一度膨らむと再使用できません。三菱自動車販売会社で SRS エアバッグ構成部品を交換してください。
- 衝撃や助手席 SRS エアバッグが膨らむことにより、前面ガラスが破損する場合があります。

運転席 SRS エアバッグ

J00506700390

運転席 SRS エアバッグはハンドルの中に装備されています。



警告

- ハンドルの交換や、パッド部にステッカーを貼ったり、カバーを付けることはしないでください。SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

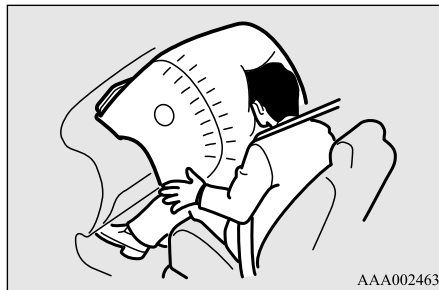


- ハンドルに顔や胸を近づけた姿勢で運転しないでください。
SRS エアバッグが膨らむ際、エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席 SRS エアバッグ

J00506802379

助手席 SRS エアバッグはグローブボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。
助手席 SRS エアバッグは同乗者がいなくても運転席 SRS エアバッグと同時に作動します。



⚠ 警告

- インストルメントパネルの上に物を置いたり、前面ガラスやルームミラーにアクセサリーなどを取り付けたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。
- また、インストルメントパネルの上にステッカーを貼ったりしないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。



AAZ002266

- お子さまを乗せるときには、必ずづぎのことをお守りください。SRS エアバッグが膨らむときの強い衝撃でお子さまが死亡、または重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまはリヤシートに座らせて必ずシートベルトを着用させてください。
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには、チャイルドシートをリヤシートに装着してご使用ください。
- 6才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。

⚠ 警告

- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けしないでください。
- また、前後向きとも装着可能なチャイルドシートでも後ろ向きには絶対に取り付けしないでください。
- 助手席 SRS エアバッグが膨らむとき、強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり、背もたれに押しつけられて、お子さまが死亡、または重大な傷害を受けるおそれがあります。



AHZ100121

- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートを取り付けることを禁止するラベルが、サンバイザーに貼り付けてあります。



AFZ001059

⚠ 警告

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は、助手席を一番後ろの位置にし、前向き装着のチャイルドシートを取り付けてください。
- 助手席同乗者は、シートの前端に座ったり、インストルメントパネルに手や足を乗せたり、顔や胸を近づけた姿勢で座らないでください。また、お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際、SRS エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。



TAZ000085



TAZ000098

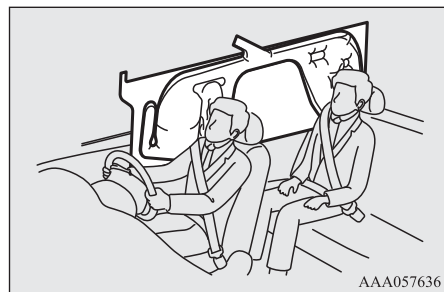
⚠ 警告

- 助手席同乗者は、かばんなどの荷物をひざの上にかかえるなど、SRS エアバッグとの間に物を置いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際に物が飛ばされ重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRS カーテンエアバッグ

J00507500438

SRS カーテンエアバッグはフロントピラーおよびルーフサイド部の中に装備されており、衝撃を受けた側のみ作動します。また、衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。



⚠ 警告

- フロントピラーおよびルーフサイド部の SRS カーテンエアバッグ収納部に近づいたり、ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。SRS カーテンエアバッグが膨らむ際、エアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。特にお子さまには注意してください。

SRS カーテンエアバッグ

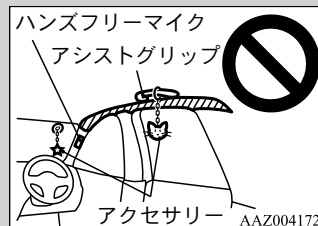


⚠ 警告



- 前面ガラス、側面ガラス、フロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部およびアシストグリップなどのSRSカーテンエアバッグ展開部周辺にステッカー等を貼りつけたり、アクセサリーやハンズフリーマイクなどを取り付けたりしないでください。

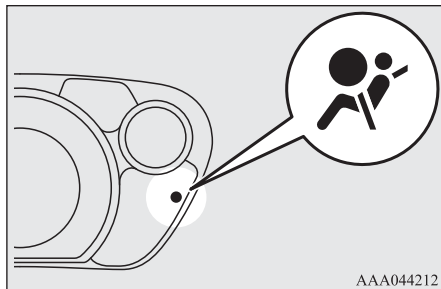
SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げたり、膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。



- 車内に荷物を積むときは、側面ガラス付近に積まないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

J00507302209



正常なときは、パワースイッチを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。
SRS エアバッグまたはプリテンショナー機構に異常があるときは、点灯します。

⚠ 警告

- 警告灯がパワースイッチを ON にしても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故のときに SRS エアバッグやプリテンショナー付きシートベルトが正しく作動せず、重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。
ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

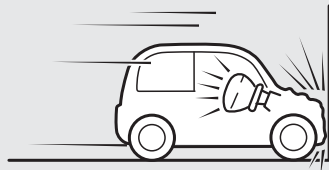
運転席，助手席 SRS エアバッグの作動条件

J00506901647

作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。

約 25km/h 以上の速度でコンクリートのような
固い壁に正面から衝突したとき



車両の前方左右約 30 度以内の方向から
強い衝撃（左記と同等）を受けたとき



AAJ002626

アドバイス

- コンクリートのような固い壁でなく、衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形，移動するもの）に衝突した場合は，エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

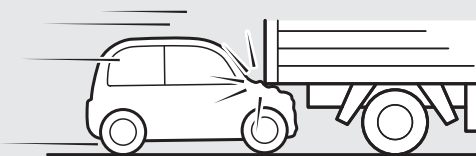
作動しないことがあるとき

衝突により車両前部が大きく変形しても、衝突した位置や角度、衝突したものの形状や状態などによって SRS エアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさと SRS エアバッグの作動は必ずしも一致しません。

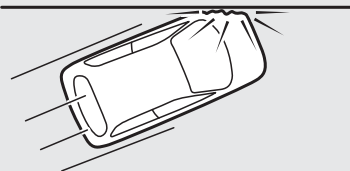
電柱や立木など狭い範囲に衝突したとき



トラックなどの荷台へ潜り込んだとき



斜め前方から衝突したとき



AJL100044

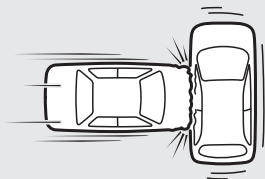
作動しないとき

SRS エアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また、一度作動した SRS エアバッグは、2 回目以降の衝突では再作動しません。

追突されたとき



側面から衝突されたとき



横転、転覆したとき



AAL000613

作動することがあるとき

走行中、車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。

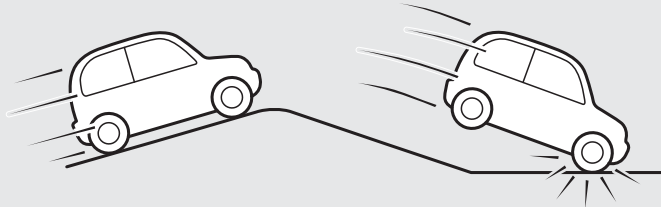
中央分離帯や縁石などに衝突したとき



深い穴や溝に落ちたとき



ジャンプして地面にぶつかったとき



AAL000626

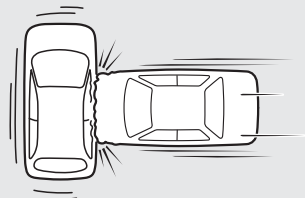
SRS カーテンエアバッグの作動条件

J00513001103

作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側方から受けたときに作動します。

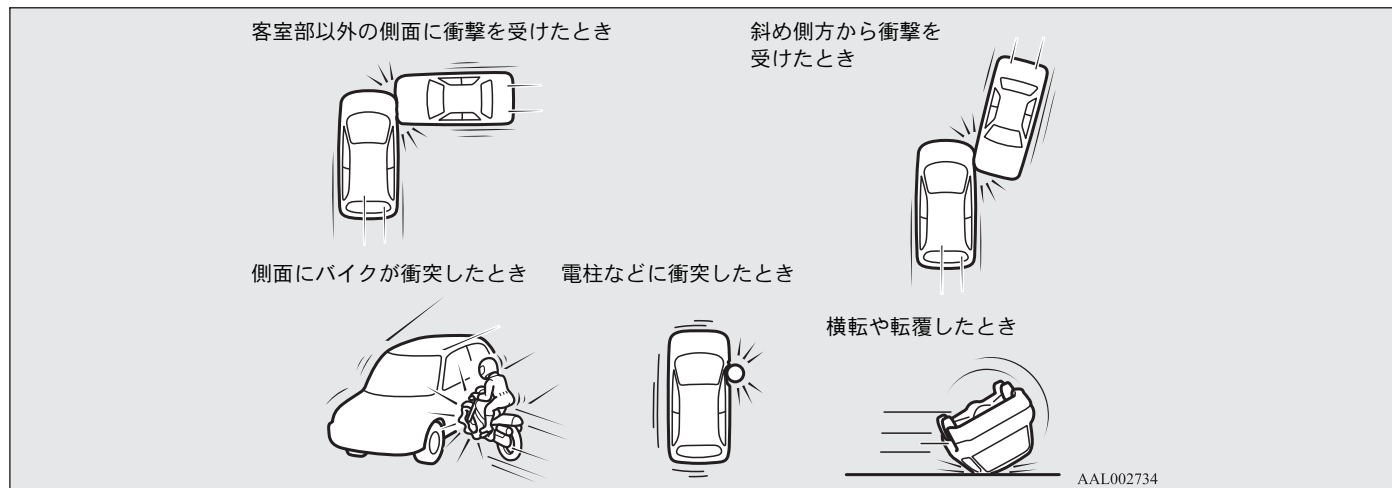
横方向から車体中央に強い衝撃を受けたとき



AAJ005858

作動しないことがあるとき

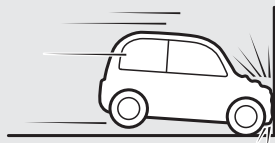
衝突により車両側面が大きく変形しても、衝突した位置や角度、衝突したものの形状や状態などによって SRS エアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさと SRS エアバッグの作動は必ずしも一致しません。



作動しないとき

SRS エアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また、一度作動した SRS エアバッグは、2 回目以降の衝突では再作動しません。

正面衝突したとき



追突されたとき



AAJ005861

取り扱い上の注意

J00507401939

⚠ 警告

- つぎの修理または部品の取り付けをするときは、SRS エアバッグに影響をおよぼしたり、SRS エアバッグが思いがけなく作動しけがをするおそれがありますので、三菱自動車販売会社へご相談ください。
- 運転席、助手席 SRS エアバッグ：
ハンドル周り、インストルメントパネル、フロアコンソール付近の修理、カーオーディオなどの取り付け、および車両前部の修理
- SRS カーテンエアバッグ：
フロントピラー、センターピラー、リヤピラー、ルーフサイド部、およびその付近の修理
- サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり、サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- つぎのSRSエアバッグ展開部付近を強くたたくなど、過度の力を加えないでください。
SRSエアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ステアリングパッド
- インストルメントパネル上部
- フロントピラー
- センターピラー

⚠ 警告

- ルーフサイド部

⚠ 注意

- 廃車するときは、三菱自動車販売会社へご相談ください。SRS エアバッグが思いがけなく作動し、けがをするおそれがあります。
- 電気テスターを使って、エアバッグの回路診断はしないでください。SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- 無線機の電波などは、SRS エアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので、無線機などを取り付けるときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。

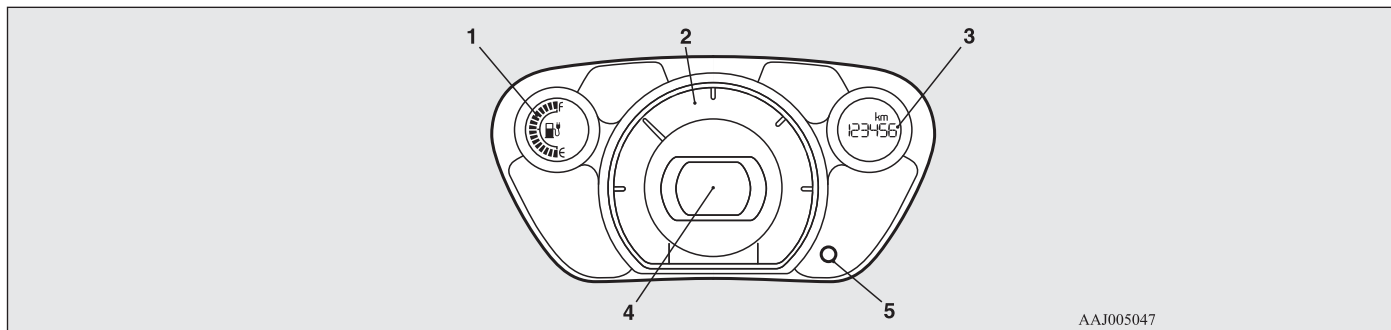
📖 アドバイス

- お車をゆずられるときはSRSエアバッグ装着車であることを説明し、取扱説明書を車につけておいてください。



計器盤・スイッチ

メーター	8-2
表示灯・警告灯	8-10
表示灯	8-11
警告灯	8-12
ライトスイッチ	8-14
方向指示レバー	8-18
非常点滅灯スイッチ	8-19
フロントフォグランプスイッチ	8-19
ワイパー／ウォッシャースイッチ	8-20
リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ	8-22
ホーンスイッチ	8-23



AAJ005047

- 1- 駆動用バッテリー残量計 →P.8-9
- 2- パワースピードメーター →P.8-2
- 3- オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）／
メーター照度表示／サービスリマインダー／航続可能距離表示 →P.8-3
- 4- スピードメーター →P.8-2
- 5- リセットボタン／メーター照度調整ボタン／切り換えボタン →P.8-3

スピードメーター

J00600200150

READY（走行可能）表示灯が点灯しているときに、走行速度を示します。

パワースピードメーター

J00616900022

パワーユニット、エアコンの消費電力および回生ブレーキで発生した電気エネルギーの充電電力を示します。
READY（走行可能）表示灯を点灯させると指針が基準の位置に移動し、車両の使用状況に応じて指針が左右に振れます。

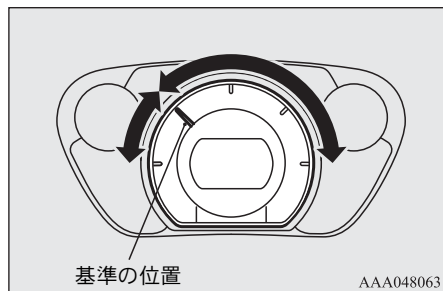
基準の位置より右に振れたとき

パワーユニットおよびエアコンの消費電力を示します。
右に振れる量が多いほど、電力を多く消費しています。

基準の位置より左に振れたとき

回生ブレーキで発生した電気エネルギーの充電電力を示します。

左に振れる量が大きいほど、電気エネルギーを多く充電しています。
満充電に近いほど、パワーメーターの指針は基準の位置から左には振れなくなります。



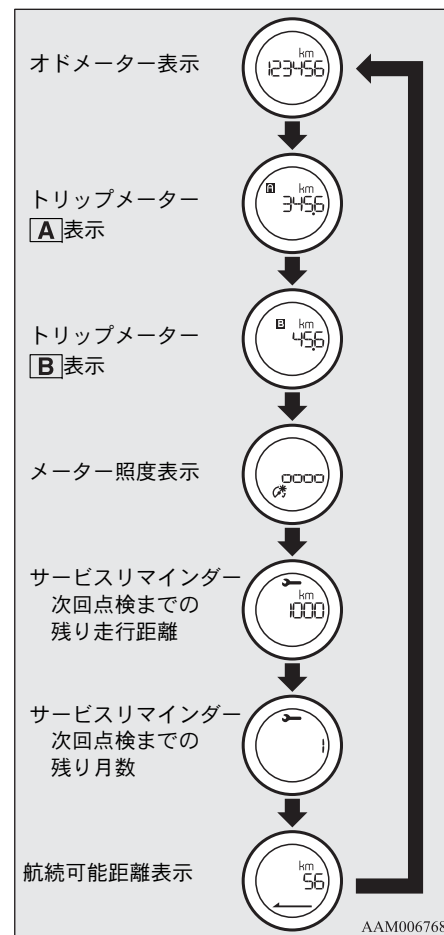
**オドメーター（積算距離計）／
トリップメーター（区間距離計）／メーター照度表示／サー
ビスリマインダー／航続可能
距離表示**

J00600601597

オドメーター表示、トリップメーター表示、メーター照度表示、サービスリマインダー、または航続可能距離表示を表示します。

表示を切り換えるときは

切り換えボタンを軽く（約 1 秒未満）押すたびに表示が切り換わります。



アドバイス

- パワースイッチがLOCKまたはACCのとき、航続可能距離表示は表示されません。
- メーター照度表示またはサービスリミッター表示のとき約10秒間何も操作しないとオドメーター表示に戻ります。

オドメーター

走行した総距離を km 単位で表示します。

トリップメーター

2地点間の走行距離を km 単位で表示します。

<トリップメーター[A]、トリップメーター[B]の使用例>

トリップメーター[A]で自宅を出発してからの距離を測りながら、トリップメーター[B]で途中の経由地からの距離を測ることができます。

リセットするときは

0に戻すにはリセットボタンを約1秒以上押し続けます。この場合、表示されている方だけリセットされます。

<例>

トリップメーター[A]が表示されていればトリップメーター[A]だけリセットされます。

アドバイス

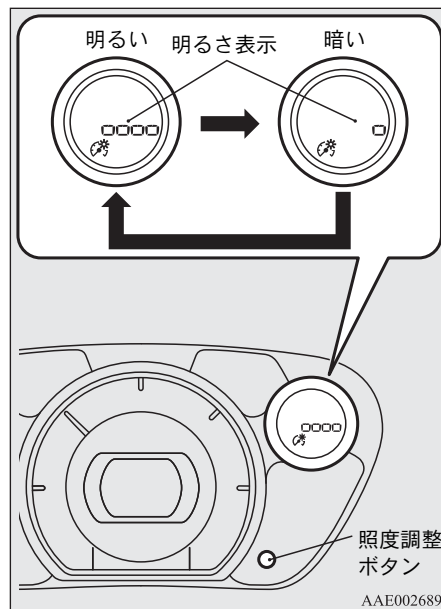
- トリップメーターはA、B共に9999.9kmまで計測することができます。
- パワースイッチをACCまたはLOCKにした後でもリセットボタンを押すと約30秒間オドメーターまたはトリップメーターを表示します。
- 補機用バッテリーの端子を外すと、トリップメーターの[A]表示、[B]表示とも記憶が消去され、表示が0に戻ります。

メーター照度表示

メーターの明るさを表示します。明るさ表示の数が多いほどメーター照明が明るくなります。

メーターの明るさを変えるときは

ボタンを押し続けると明るさ表示がオートスクロールし、手を離すと止まります。お好みの明るさに調整してください。



アドバイス

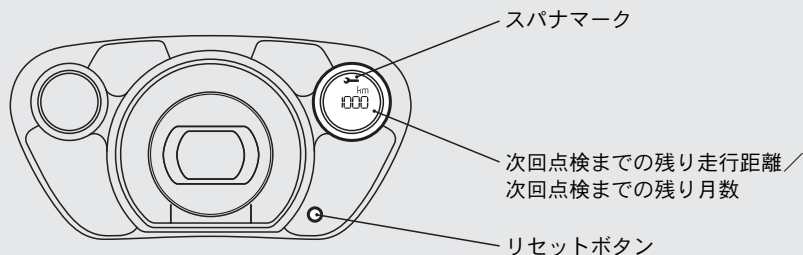
- 尾灯の点灯・消灯に応じてそれぞれ調整することができます。
- ライトスイッチがDまたは3000位置にあるときは、メーターの照明が自動的に調整した明るさに切り換わります。ライトスイッチがAUTO位置にあるときは、車外の明るさに応じてメーターの照明が自動的に調整した明るさに切り換わります。

アドバイス

- パワースイッチをACCまたはLOCKにした後でも、メーターの明るさの状態を記憶しています。

サービスリマインダー

J0061140093

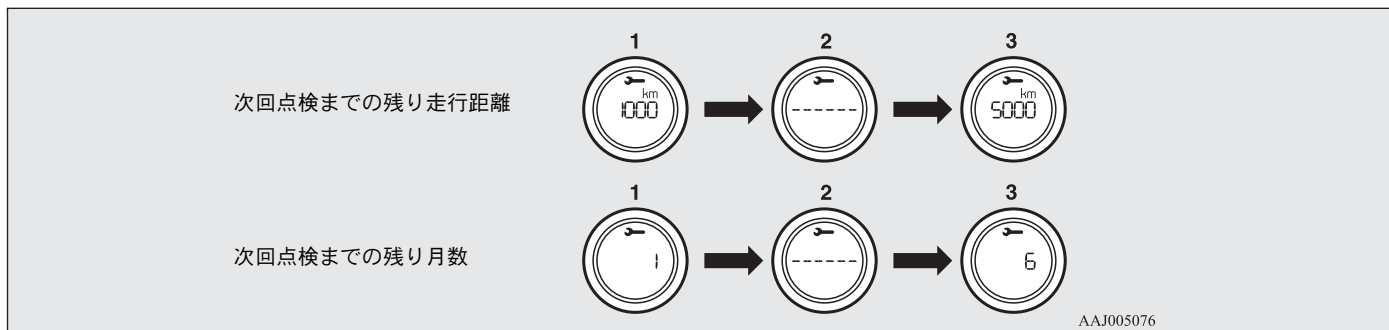


AAJ005063

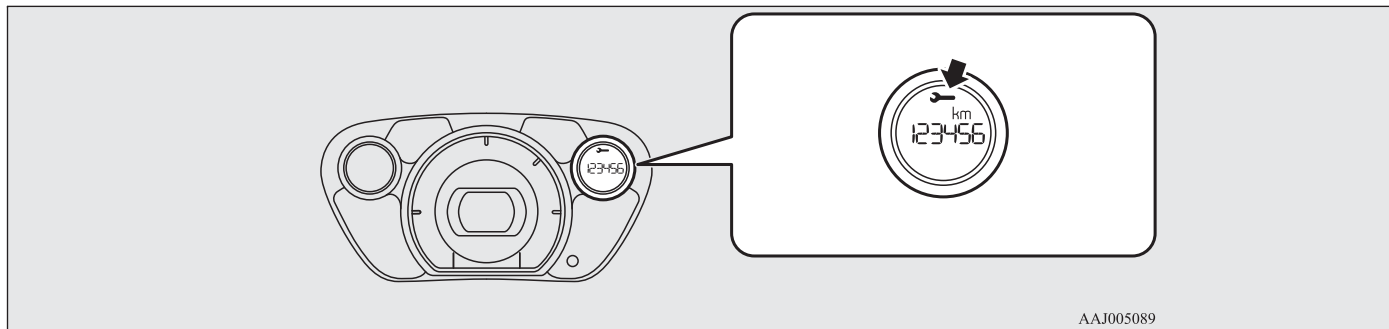
新車 1 ヶ月点検 (1.000km)、新車 6 ヶ月点検 (5.000km) とその後の 12 ヶ月ごとの定期点検までの残り走行距離または残り月数を表示します。

点検時期が近づいたときは、“-----”を表示して知らせます。

また、このときパワースイッチを LOCK または ACC から ON にするとスパナマークが数秒間表示されます。



1. 次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示します。
2. 点検時期が近づいたことを“-----”を表示して知らせます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
このときパワースイッチを LOCK または ACC から ON にするとスパナマークが数秒間表示されます。



3. 三菱自動車販売会社で点検を受けると、次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示します。

アドバイス

- 距離は 100km 単位、期間は 1ヶ月単位で減少します。

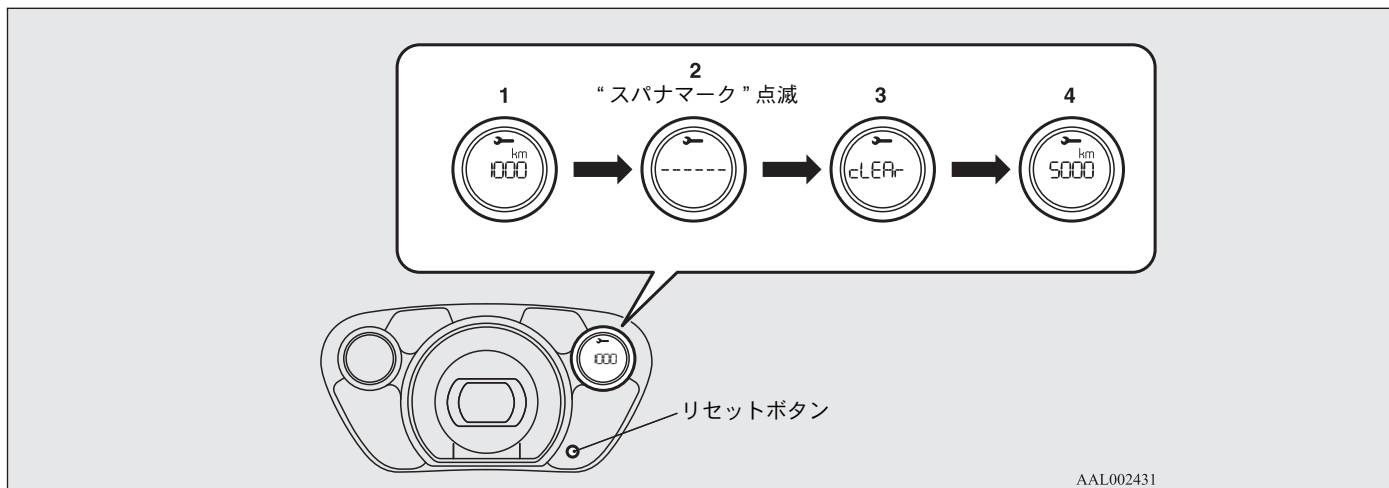
 アドバイス

- 新車 6ヶ月点検を過ぎると、期間のみを表示します。
- サービスリマインダーの設定を変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

リセットするときは

パワースイッチが LOCK または ACC のときに、スパナマーク、“-----” 表示をリセットすることができます。
リセットすると次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示し、パワースイッチを LOCK または ACC から ON にしたときに表示されていたスパナマークは表示されなくなります。

1. リセットボタンを押して、次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示させます。
2. リセットボタンを長く（約 2 秒以上）押して“スパナマーク”を点滅表示させます。
（点滅中、約 10 秒間何も操作しないと元の表示画面に戻ります。）
3. 点滅中にリセットボタンを軽く押すと“-----”が“cLEAr”表示にかわります。
4. その後、次回点検までの残り走行距離または次回点検までの残り月数を表示します。



⚠ 注意

- 日常点検整備と定期点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。事故や故障を未然に防ぐために必ず実施してください。

📖 アドバイス

- “-----” 表示はパワースイッチが ON のときはリセットできません。
- “-----” 表示後、一定距離及び一定期間が経過すると自動的にリセットされてつぎの定期点検までの時期を表示します。
- 誤ってリセットした場合は、三菱自動車販売会社にご相談ください。

航続可能距離表示

J00618701076

行できるか) を表示します。航続可能距離が短くなると “---” を表示します。

おおよその航続可能距離 (あと何 km 走

アドバイス

- 航続可能距離表示は、残りの走行可能距離の目安を表示していますが、表示されている距離と実際の走行可能距離が異なる場合があります。表示値は、主につぎのような情報をもとに算出しています。

- ・現在の駆動用バッテリー残量
- ・直近の電力消費率
- ・エアコンの作動状態

航続可能距離表示は、走行のしかたにより変化します。

直前の走行が、渋滞路、登坂、高速走行など電力を多く消費した場合や、走行時にエアコンが作動している場合は、駆動用バッテリーが満充電の状態でもメーターに表示される数値が減少する場合があります。

また、補機用バッテリーの端子を外したときは、今までの駆動用バッテリーの消費電力データが消去されるので、それまでとは異なった値が表示されることがあります。表示はあくまでも参考としてご利用ください。

- 充電すると航続可能距離が更新されます。ただし、充電量が少ないと正しい数値が表示されません。

駆動用バッテリー残量計

J0061700033

充電中またはパワースイッチが ON のときに、駆動用バッテリーの残量を表示します。

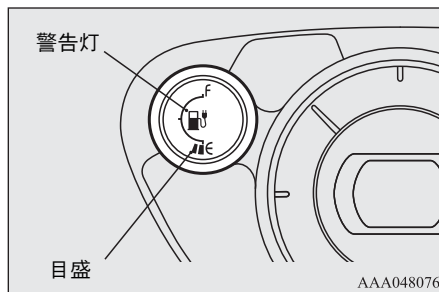
- F- 満充電です。
- E- 充電してください。

アドバイス

- 充電中は、充電ランプも同時に点灯します。
→「充電ランプ」P.8-11

駆動用バッテリー残量警告灯

J00617100047



パワースイッチが ON のときに駆動用バッテリー残量計の目盛が 2 つ以下にな

ると、つぎのように警告灯、目盛が点滅します。

- 目盛 2 つのとき: 警告灯が点滅
- 目盛 1 つのとき: 警告灯と目盛が交互に点滅

警告灯が点滅したら早めに充電してください。

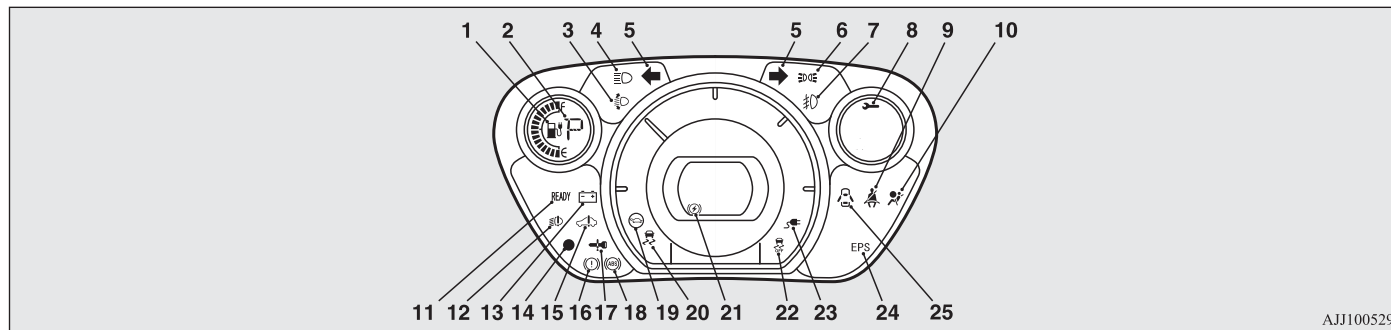
→「充電のしかた」P. 5-4, 5-16

アドバイス

- エアコン（冷房または暖房）使用中に目盛が 0 になると、エアコンが停止して、送風のみに切り換わります。
- 目盛が 0 になると、パワーダウン警告灯が点灯し、出力を制限します。
- 充電中は、目盛が 2 つのときは警告灯が点滅し、目盛が 1 つのときは警告灯と目盛が交互に点滅します。

表示灯・警告灯

J00601502747



AJJ100529

- 1- 駆動用バッテリー残量警告灯 →P.8-9
- 2- セレクターレバー位置表示 →P.9-7
回生レベル表示 →P.9-10
- 3- ヘッドライトオートレベリング警告灯 →P.8-18
- 4- ヘッドライト上向き表示灯 →P.8-11
- 5- 方向指示表示灯／非常点滅表示灯 →P.8-11
- 6- 車幅灯表示灯 →P.8-11
- 7- フロントフォグランプ表示灯 →P.8-11
- 8- サービスリマインダー →P.8-5
- 9- シートベルト警告灯 →P.7-10
- 10- SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯
→P.7-12, 7-25
- 11- READY（走行可能）表示灯 →P.8-11
- 12- LED ヘッドライト警告灯 →P.8-17
- 13- 補機用バッテリー充電警告灯 →P.8-13
- 14- セキュリティーインジケータ →P.6-22
- 15- パワーユニット警告灯 →P.8-13
- 16- ブレーキ警告灯 →P.8-12
- 17- キーレスオペレーションシステム表示灯 →P.6-11
- 18- ABS 警告灯 →P.9-15
- 19- パワーダウン警告灯 →P.8-13
- 20- アクティブスタビリティコントロール（ASC）作動表示灯
→P.9-18
- 21- 回生ブレーキ力警告灯 →P.8-12
- 22- アクティブスタビリティコントロール（ASC）OFF 表示灯
→P.9-18
- 23- 充電ランプ →P.8-11
- 24- 電動パワーステアリング警告灯 →P.9-16
- 25- 半ドア警告灯 →P.8-13

表示灯

J00601600018

方向指示表示灯／非常点滅表示灯

J00601700211



方向指示レバー，非常点滅灯を
作動させると点滅します。

 アドバイス

- 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト上向き表示灯

J00601801176



ヘッドライトを上向きにすると
点灯します。

フロントフォグランプ表示灯

J00601901412



フロントフォグランプを点灯させると表示灯が点灯します。

車幅灯表示灯

J00602100108



車幅灯，尾灯を点灯させると表示灯が点灯します。

READY（走行可能）表示灯

J00617200022



パワースイッチを START まで
回し走行が可能な状態になると
点灯します。

充電ランプ

J00617301075



普通充電ケーブルまたは急速充電ケーブルが接続されると点滅します。
その後，充電が開始されると点灯に切り換わり，充電が完了すると消灯します。

 アドバイス

- 充電コネクタが接続されているときにパワースイッチを ON にしてセクターレバーを **P** 以外の位置にすると，充電ランプが点滅して充電コネクタ抜き忘れ警告ブザーが鳴り，充電ケーブルが接続されていることを知らせます。
- 急速充電が正常に終了しなかった場合，パワーユニットを起動すると，充電ランプが点滅し続けます。
→「充電トラブルシューティングガイド」P.5-21
- 駆動用バッテリーの温度が高い状態で急速充電を行うと，充電ランプが点滅（2 回消灯を繰り返す）します。
→「酷暑時の注意事項と対処方法」P.2-6
それに伴い，充電時間が長くなる場合がありますが，車の故障ではありません。

警告灯

J00602500014

ブレーキ警告灯(ブレーキ警告ブザー)

J00602601054



パワースイッチを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。また、つぎのようなときに点灯します。

走行する前に、必ず警告灯が消えていることを確認してください。

- 駐車ブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- ブレーキ負圧発生システムに異常があるとき
- ブレーキ力配分機能に異常があるとき

ブレーキ警告ブザー

J00617701053

ブレーキの負圧が不足するとブザーが鳴り、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあることを運転者に知らせます。

⚠ 警告

- つぎの場合はブレーキの効きが非常に悪くなるおそれがありますので、ただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へご連絡ください。
- ブレーキ警告灯が点灯し、ブレーキ警告ブザーが鳴っている
- パワースイッチを ON にした直後にブレーキ警告灯が点灯しない
- 駐車ブレーキをかけているときパワースイッチが ON の位置でもブレーキ警告灯が点灯しない
- 駐車ブレーキを解除してもブレーキ警告灯が消灯しない

⚠ 注意

- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
- ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
- ブレーキペダルが奥まで踏み込まれた状態になることがあります。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 万一、ブレーキが効かないときは、回生ブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキを慎重にかけてください。このとき後続車に注意をうながすため、ブレーキペダルを踏んでストッランプを点灯させてください。

📖 アドバイス

- ブレーキペダルを何度も繰り返して踏み込むと、ブレーキ警告灯が点灯し、ブレーキ警告ブザーが鳴ります。ブレーキ操作をやめて数秒後に警告灯が消灯し、ブザーが鳴り止めば異常ではありません。
- パワースイッチを ON にした直後やブレーキペダルを踏み込んだときに、パワーユニットルームからブレーキ負圧電動ポンプの作動音が聞こえることがあります。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。

回生ブレーキ力警告灯

J00629201039



つぎのような状況で、回生ブレーキ力が通常より低下したときに点滅します。

- 駆動用バッテリーが満充電に近いとき、または満充電のとき
- 駆動用バッテリーの温度が高いとき、または低いとき

回生ブレーキ力警告灯が点滅してもフットブレーキは効きますので、必要に応じてブレーキペダルを踏んで減速してください。

→「下り坂では回生ブレーキを併用、満充電に近いときや満充電時の下り坂はス

ピードを控えて走行」 P.3-11

📖 アドバイス

- 回生ブレーキ警告灯の点滅は、車の故障を示すものではありません。

補機用バッテリー充電警告灯

J00617900032



補機用バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。正常なときはパワースイッチを ON にすると点灯し、パワーユニットが起動すると消灯します。

⚠️ 注意

- パワーユニットが作動しているときに点灯したときは、必ずつぎのことをお守りください。
- ただちに安全な場所に停車し、三菱自動車販売会社へご連絡ください。
- 補機用バッテリーに充電しないでください。

半ドア警告灯

J00603200597



いずれかのドア（含む、テールゲート）が完全に閉められていないときに点灯します。半ドアのまま車速が約 8km/h 以上になると、警告灯が 16 回点滅すると同時にブザーが 16 回鳴り、半ドアを知らせます。

⚠️ 注意

- 走行する前に、警告灯が消灯していることを確認してください。

📖 アドバイス

- 警告灯の点滅とブザーの機能を働かなくすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 運転席ドアが開いていると、パワースイッチ切り忘れ警告ブザーまたはキー抜き忘れ警告ブザーが鳴るため、半ドアを知らせる警告ブザーは鳴りません。

パワーユニット警告灯

J00617400024



高電圧部位に異常があると点灯します。
→ 「点検・整備をするときは」 P.3-2

⚠️ 注意

- 走行中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、三菱自動車販売会社にご連絡ください。

パワーダウン警告灯

J00617801083



つぎのようなときに点灯し、安全装置が働いて出力を制限します。

- 駆動用バッテリー残量計の目盛が 0 のとき
- 駆動用バッテリーの残量が少ないときや、電圧が低下しているとき、モーター（パワーユニット）や駆動用バッテリーの温度が高いときまたは低いとき

パワーダウン警告灯が点灯したときは、つぎのように処置してください。

ライトスイッチ

- 駆動用バッテリーの残量が少ないときは、早めに駆動用バッテリーを充電してください。
→「充電」P.5-2
- 外気温が高いときや上り坂を連続で走行した後、または急速充電中にエアコンを使用した後の走行時などに警告灯が点灯したときは、モーター（パワーユニット）や駆動用バッテリーを冷却するために安全な場所に停車してください。しばらく放置しても警告灯が点灯したままのときは、三菱自動車販売会社にご連絡ください。
- 外気温が低いときに警告灯が点灯したときは、車を暖かい場所へ移動してください。

⚠ 注意

- 走行中にパワーダウン警告灯が点灯したときは、アクセルペダルを踏んでも車速が上がらなくなることや減速することがあります。また、減速によって他の車両よりも速度が落ち、衝突の危険が高まるおそれがあります。急加速や急発進を避け周囲の状況に十分注意して走行してください。

📖 アドバイス

- パワーダウン警告灯の点灯は、車の故障を示すものではありません。

📖 アドバイス

- エアコン（冷房または暖房）使用中にパワーダウン警告灯が点灯すると、エアコンが停止して送風のみに切り換わることがあります。

ライトスイッチ

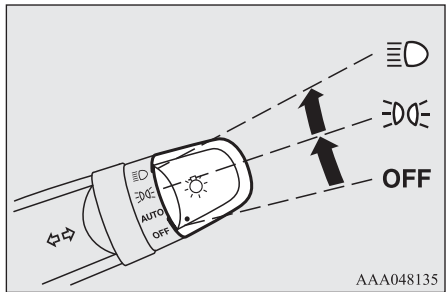
J00604000853

手動で使うときは

J00616701173

パワースイッチの位置に関係なく使用できます。
レバー先端のツマミを回すと下表の○印のランプが点灯します。

ツマミの位置	☹	☺
ヘッドライト	○	—
車幅灯	○	○
尾灯	○	○
番号灯	○	○
計器類照明灯	○	○



AAA048135

⚠ 注意

- 点灯中および消灯直後は、レンズの表面が高温になっているため触らないでください。やけどをするおそれがあります。

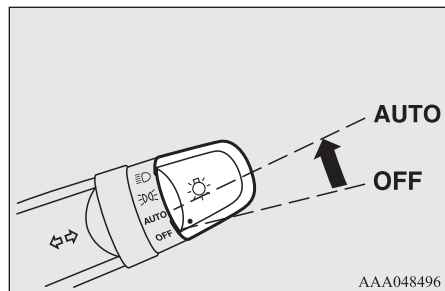
📖 アドバイス

- 雨の日や洗車後などにレンズ内側が曇ることがあります。これは湿気の多い日などに窓ガラスが曇ると同様の現象で、機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。ただし、ランプ内に水がたまっているときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

自動で使うときは(オートライトコントロール)

J00616801259

パワースイッチが ON のときに使用できます。レバー先端のツマミを AUTO 位置にすると、車外の明るさに応じてヘッドライト、車幅灯、尾灯、番号灯などが自動的に点灯・消灯します。パワースイッチを OFF にすると自動的に消灯します。



AAA048496

📖 アドバイス

- 自動点灯センサーの感度を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

📖 アドバイス

- オートライトによりヘッドライトと尾灯が消灯すると、フロントフォグランプも自動消灯します。再度オートライトによりヘッドライトまたは尾灯が点灯したときは、フロントフォグランプも同時に点灯します。
- 自動点灯・消灯装置のセンサーの上には物を置いたり、ガラスクリーナーなど吹きかけないでください。



AAZ005267

- AUTO の位置で点灯・消灯しないときは、手動スイッチを操作し、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト^{*1} オートカット機能 (自動消灯)

J00606002095

^{*1} ヘッドライトや車幅灯などの車外照明

- ライトスイッチが③Dまたは③DEの位置でも、パワースイッチを LOCK にし、運転席ドアを開くと、ランプ類が自動的に消灯します。

[キーレスオペレーション機能を使ってパワーユニットを作動させているとき]

- パワースイッチを LOCK にして運転席ドアを開いた場合は、ブザーが鳴り、ランプ類の消し忘れを知らせます。
- パワースイッチが LOCK (PUSH OFF)以外で運転席ドアを開いた場合は、ブザーが断続的に鳴り、パワースイッチの戻し忘れを知らせます。

[エマージェンシーキーを使ってパワーユニットを作動させているとき]

- エマージェンシーキーを抜き運転席ドアを開いた場合は、ブザーが鳴り、ランプ類の消し忘れを知らせます。
- エマージェンシーキーを差したまま運転席ドアを開いた場合は、ブザーが断続的に鳴り、キーの抜き忘れを知らせます。

- ライトスイッチが③Dまたは③DEの位置でも、パワースイッチを LOCK にし、運転席ドアを開かないまま約3分たつとランプ類が自動的に消灯します。

降車後、照明として利用するとき

J00615601087

降車後も約3分間ランプ類を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチを OFF にし、パワースイッチを LOCK にします。
2. ライトスイッチを③Dの位置にし、降車します。

アドバイス

- ライトスイッチを③DE位置にすると降車後照明として利用できません。(自動消灯せず通常通り、ランプ類が点灯し続けます。)
- キーレスオペレーション機能を使ってパワーユニットを作動させているときは、運転席から降車するときパワースイッチが LOCK 位置ではライト消し忘れ警告ブザーが鳴り、LOCK位置以外ではパワースイッチ戻し忘れ警告ブザーが鳴りますが、ドアを閉じれば止まります。
- エマージェンシーキーを使ってパワーユニットを作動させているときは、運転席から降車するときエマージェンシーキーが抜かれていればライト消し忘れ警告ブザーが鳴り、エマージェンシーキーが差さっていればキー抜き忘れ警告ブザーが鳴りますが、ドアを閉じれば止まります。

3.約 3 分後にランプ類が自動消灯します。

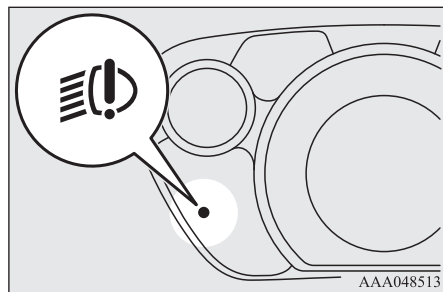
アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- ライトスイッチが $\equiv$ 位置でも降車後照明として利用できるようにする。
- ランプ類のオートカット機能を働かなくする。

LED ヘッドライト警告灯

J00618601088

LED ヘッドライトに異常があると点灯します。



アドバイス

- 警告灯が点灯したときは、装置の故障が考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ライト消し忘れブザー

J00606101406

キーレスオペレーション機能を使ってパワーユニットを作動させているとき

ライトスイッチが $\equiv$ または $\equiv$ 位置のままパワースイッチを LOCK にして運転席のドアを開くと、ブザーが鳴り、ランプ類の消し忘れを知らせます。

エマージェンシーキーを使ってパワーユニットを作動させているとき

ライトスイッチが $\equiv$ または $\equiv$ 位置のままエマージェンシーキーを抜き、運転席のドアを開くと、ブザーが鳴り、ランプ類の消し忘れを知らせます。

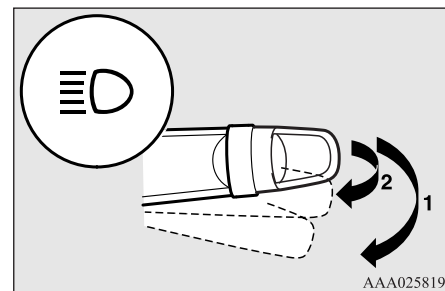
どちらのときも、ヘッドライトオートカット機能が働く、ライトスイッチを OFF にする、またはドアを閉じればブザーは止まります。

上下切り換え

J00606200413

レバーを(1)まで引くたびにヘッドライトの照らす方向が上向き、下向きと交互に切り換わります。

レバーを(2)まで軽く引くと、引いている間ヘッドライトが上向きになり、メーター内の表示灯も点灯します。



アドバイス

- ライトスイッチが OFF 位置でも、レバーを(2)まで軽く引いている間ヘッドライトが上向きで点灯します。
- ヘッドライトを上向きにしたまま戻し忘れても、次回ライトスイッチを $\equiv$ 位置にすると必ず下向きで始まります。

ヘッドライトオートレベリング

J00611501118

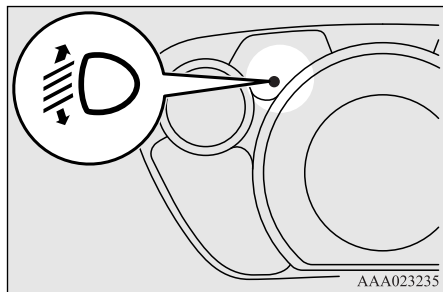
乗員の人数や荷物の重さなどによる車両姿勢の変化に応じて、ヘッドライトの照らす方向（光軸）を自動的に調整する装置です。

パワースイッチが ON のときにヘッドライトが点灯すると、停車時にヘッドライトの光軸を自動的に調整します。

ヘッドライトオートレベリング警告灯

J00611601050

正常なときはパワースイッチを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。



⚠ 注意

- パワースイッチを ON にしても警告灯が点灯しない、または点灯したままのときは装置の故障が考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

方向指示レバー

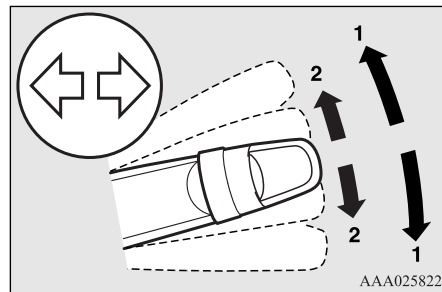
J00604202181

パワースイッチが ON のときにレバーを (1) まで操作すると、方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。

レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。ゆるいカーブなどで戻らないときは手で戻してください。

車線変更などのときは、レバーを (2) まで軽く操作すると操作している間だけ方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。

また、レバーを (2) まで軽く操作し、すぐ離すと 3 回、方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。



- 1- 方向指示
- 2- 車線変更

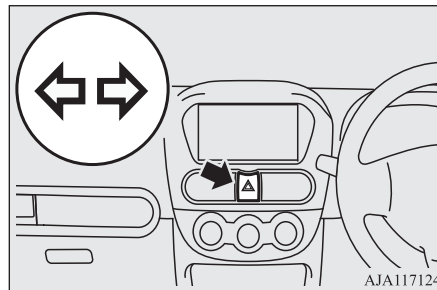
アドバイス

- 点滅が異常に速くなったときは、方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
 - ・パワースイッチがONまたはACCのときにレバーを操作すると、方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅する。
 - ・車線変更時、方向指示灯の3回点滅機能を働かなくする。
 - ・車線変更時、方向指示灯の3回点滅機能のレバー操作時間を調整する。

非常点滅灯スイッチ

J00604301840

故障したときなど、やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し、メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。



AJA117124

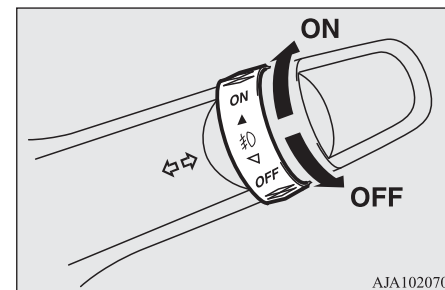
アドバイス

- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに長時間使用すると補機用バッテリーが上がり、パワーユニットの起動ができなくなることがあります。

フロントフォグランプスイッチ

J00604501640

霧の出ているとき、雨や雪などの降る夜間など視界が悪いときに使用します。ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときにノブを上に戻すと、フロントフォグランプが点灯し、メーター内の表示灯も点灯します。消灯するときはノブを下に戻します。



AJA102070

アドバイス

- ヘッドライトと尾灯が消灯すると、フロントフォグランプも自動消灯します。再度点灯させたいときは、ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときに、もう一度ノブを上に戻します。

ワイパー／ウォッシャースイッチ

📖 アドバイス

- ライトスイッチを AUTO 位置にしているときは、オートライトによりヘッドライトと尾灯が消灯すると、フロントフォグランプも自動消灯します。再度オートライトによりヘッドライトまたは尾灯が点灯したときは、フロントフォグランプも同時に点灯します。

ワイパー／ウォッシャースイッチ

J00604802233

パワースwitchが ON または ACC のときに使用できます。

⚠ 注意

- 寒冷時にウォッシャーを使用するとガラスに噴きつけられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げることがあります。ウォッシャー使用前にヒーターやリヤウインドウデフォグガーを使って、ガラスを暖めてください。

📖 アドバイス

- ガラスがほこりや泥で汚れているときは、洗車するかウォッシャー液を噴射してからワイパーを使用してください。汚れたままでワイパーを動かすとガラスに傷がつくことがあります。

📖 アドバイス

- ウォッシャー液が出ないとき、ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。

→「ウォッシャー液の点検・補給」

P.13-2

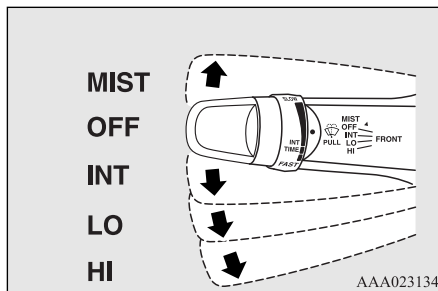
- 凍結などでワイパーブレードがガラスに張り付いたまま作動させないでください。ガラスに張り付いたまま作動させるとワイパーブレードを傷めたり、ワイパーモーターが故障するおそれがあります。

凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーブレードがガラスに張り付いていないことを確認してください。

- ワイパーを作動中、積雪などによりワイパーブレードが途中で止まったときは、モーターの過熱を防ぐためワイパーの作動が一時的に停止することがあります。このようなときは必ず車を安全な場所に止めてパワースwitchを LOCK にして積雪などを取り除いてください。モーターが冷えればワイパーは再び使用できるようになりますので、ワイパーが作動することを確認してからご使用ください。

フロントワイパースwitch

J00615401489



MIST 1 回作動（ワイパーミスト機能）

OFF 停止

INT 間けつ作動（車速感応）

車速に応じてワイパーが間けつ作動します。
車速が速くなると間けつ時間が短くなります。

LO 低速作動

HI 高速作動

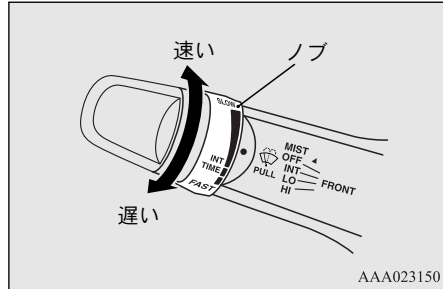
📖 アドバイス

- 車速感応の機能を働かなくすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

間けつ時間の調整のしかた

J00618201055

レバーが INT（間けつ作動）位置のときにノブを回すと間けつ時間を調整できます。

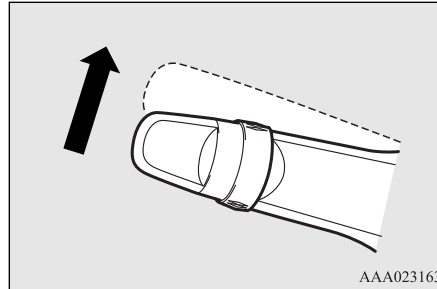


AAA023150

ワイパーミスト機能

J00618300033

レバーを MIST 位置に上げて離すとワイパーが 1 回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。レバーを MIST 位置に上げている間はワイパーが連続作動します。

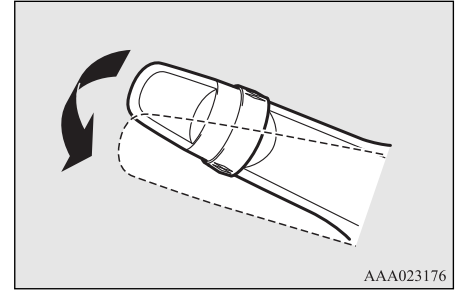


AAA023163

フロントウォッシャースイッチ

J00604900562

レバーを手前に引いている間ウォッシャー液が噴射します。ワイパーが作動していないときや間けつ作動中にウォッシャー液を噴射するとワイパーが数回作動します。



AAA023176

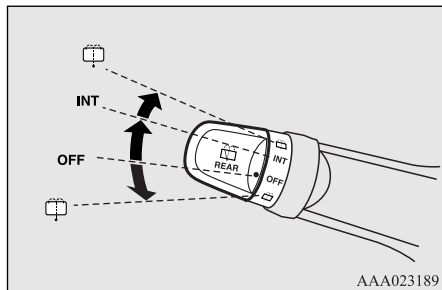
アドバイス

- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは、レバーを手前に引いた状態でパワースイッチを ON または ACC にするとワイパーは連動せず、ウォッシャー液のみが噴射します。
- ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させないようにすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

リヤワイパー／ウォッシャー スイッチ

J00605002128

パワースイッチが ON または ACC のときに使用できます。



レバー先端のツマミを回すとつぎの通り作動します。

8 INT 間けつ作動

数回作動し、その後約 8 秒おきに作動

OFF 停止

この位置に回している間、ウォッシャー液を噴射。同時にワイパーが数回作動。

アドバイス

- 後方の視界を確保するため、INT の位置で間けつ作動中にセレクトーレバーを **⑧** に入るとワイパーが自動的に数回作動し、その後間けつ作動に戻ります。
- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは、レバー先端のツマミを **⑨** の位置に回した状態でパワースイッチを ON または ACC にするとワイパーは連動せず、ウォッシャー液のみが噴射します。
- つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- ワイパーの間けつ作動時間を調整する。
この調整をした場合、間けつ作動だけでなく 1 秒以内にレバー先端のツマミを INT（間けつ作動）の位置に 2 回繰り返して回すと、ワイパーを連続作動に切り換えることができます。（連続作動モード）
- ワイパーの間けつ作動を連続作動にする。
- ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させない。

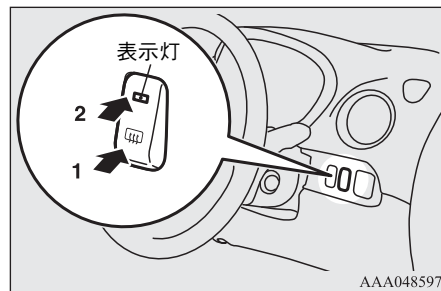
リヤウインドウデフォグ ガー（曇り取り）スイッチ

J00605501953

リヤガラスにプリントされた電熱線でガラスを暖めて曇りを取ると同時に、ガラス表面の霜や氷を取り除きやすくします。

パワースイッチが ON のときにスイッチの (1) 側を押すと作動し、表示灯が点灯します。

スイッチの (2) 側を押すと停止します。



リヤウインドウデフォグガーを作動させると、同時にドアミラーの曇りも取ることができます。

→「ヒータードアミラー」P.9-4

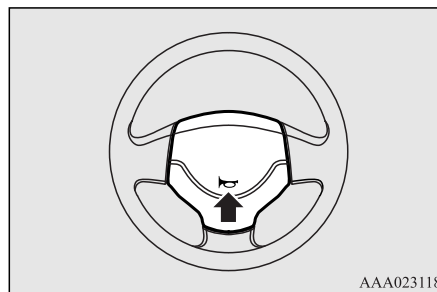
アドバイス

- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに使用しないでください。補機用バッテリーが上がり、パワーユニットの起動ができなくなることがあります。
- この装置は補機用バッテリーの消費電力が大きいため、曇りが取れたら停止させてください。
長時間使うと補機用バッテリーの電圧が低下し、パワーユニットの起動ができなくなることがあります。
- リヤガラス付近に物を置かないでください。車の振動で物が当たると電熱線が切れることがあります。
- リヤガラスの内側を清掃するときは、電熱線を傷つけないように柔らかい布を使い電熱線に沿ってふいてください。
- つぎの状況でもリヤウインドウデフォッガーを使用することができます。
 - ・充電中にエアコンを使用しているとき
 - ・ブレ空調が作動しているとき（MiEV リモートシステム付き車）
 →「充電中のエアコンの使い方」P.11-21
 →「ブレ空調」P.5-26, 5-38
 →「植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は」P.3-15

ホーンスイッチ

J00605600511

ハンドルのマーク部付近を押すとホーン（警音器）が鳴ります。



AAA023118



運転装置

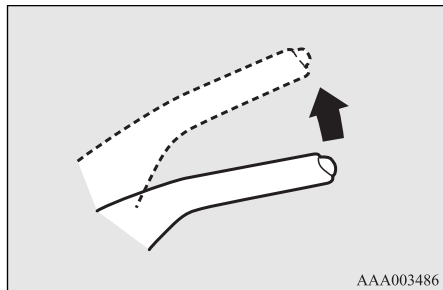
駐車ブレーキ	9-2
ルームミラー	9-2
ドアミラー	9-3
パワースイッチ	9-4
パワーユニット起動のしかた	9-5
セクターレバー	9-6
回生レベルセクター（パドル式）	9-9
運転のしかた	9-11
車両接近通報装置	9-13
ブレーキアシスト	9-14
アンチロックブレーキシステム (ABS)	9-15
電動パワーステアリング	9-16
アクティブスタビリティコントロール (ASC)	9-17

駐車ブレーキ

J00700100860

かけるときは

ブレーキペダルを踏み込んだまま、ボタンを押さずに駐車ブレーキレバーをいっぱいまで引きます。



AAA003486

⚠ 注意

- 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ、セレクトレバーを **P** に入ってください。

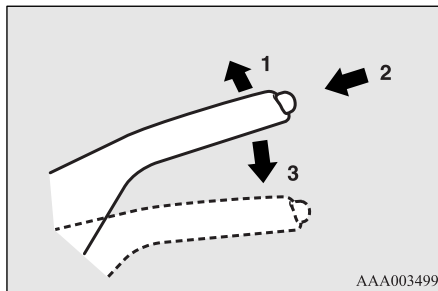
⚠ 注意

- 駐車ブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかりと踏み、完全に車を止めてから駐車ブレーキレバーを引いてください。
車が動いているうちに駐車ブレーキレバーを引くと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
また、駐車ブレーキの故障の原因になります。

解除するときは

1. ブレーキペダルを踏み込んだまま、レバーを少し引き上げ
2. ボタンを押したまま
3. 完全に戻します。

解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。



AAA003499

⚠ 注意

- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

ルームミラー

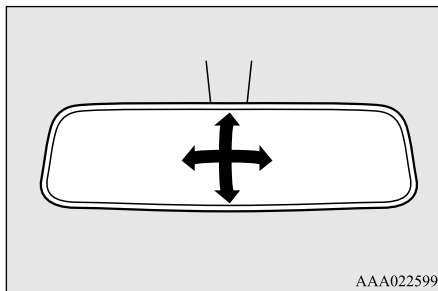
J00700300426

⚠ 注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ミラーの角度調整

ミラーの本体を上下左右に動かして調整します。



AAA022599

ドアミラー

J00700500792

ミラーの角度調整

J00718201203

⚠ 注意

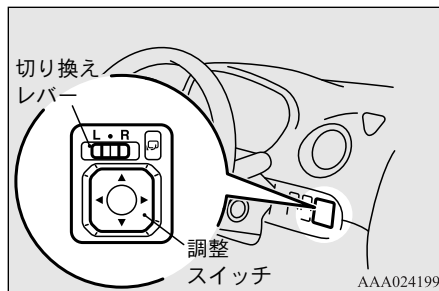
- 調整は必ず走行前に行ってください。
- ドアミラーは凸面鏡を採用しています。凸面鏡は平面鏡に比べ、物が遠くに見え、実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

パワースイッチが ON または ACC のときに操作できます。

1. 切り換えレバーを調整したい方向に動かします。
L：左側ミラーの調整
R：右側ミラーの調整
2. 調整スイッチを押して角度を調整します。

📖 アドバイス

- 調整が終わったら切り換えレバーは中央の位置に戻してください。



ドアミラーの格納・復帰

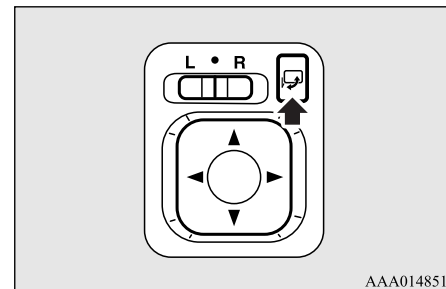
J00718301204

⚠ 注意

- ミラーを倒したままで運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

格納スイッチによるミラーの格納・復帰

パワースイッチが ON または ACC のとき、格納スイッチを押すとミラーが格納されます。もう一度押すと元の位置に戻ります。パワースイッチを切った後でも、約 30 秒間はミラーを格納・復帰することができます。



⚠ 注意

- ミラーは手で倒すことも戻すこともできますが、格納スイッチの操作で倒したミラーは手で戻さず、再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。格納スイッチで倒したミラーを手で戻すとミラーの固定が不完全になり、走行中の振動および風の影響などでミラーが動き、後方の確認ができなくなります。

アドバイス

- ミラーが動いているときは手などをはさまないように注意してください。
- キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチまたはテールゲートのスイッチでもミラーの格納・復帰操作ができます。
→「キーレスオペレーションシステム：キーレスエントリー」P.6-15
→「キーレスオペレーションシステム：キーレスオペレーション機能を使って操作するときは」P.6-8
- 手でミラーを動かしたり、人や物に当たってミラーが動いたあとは、格納スイッチでミラーを元の位置に戻せないことがあります。
このようなときは、一度格納スイッチを押してミラーを格納状態にしたあと、再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
- 凍結などによりドアミラーが動かないときはミラー格納スイッチを何回も操作しないでください。モーターが焼き付くことがあります。

ミラーの自動復帰

ミラーを格納した状態でパワーユニットを起動した後、走行スピードが約30km/hになると、安全のためミラーが自動的に復帰します。

アドバイス

- パワーユニット起動後に、格納スイッチを押して一度ミラーを格納したり、手動で格納した場合は、自動復帰しません。
この場合は、格納スイッチを押してミラーを復帰してください。パワースイッチを LOCK にすれば自動復帰の状態に戻ります。
- つぎのとおり機能を変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
 - ・運転席ドアを閉め、パワースイッチを ON にすると自動復帰、パワースイッチを OFF にした後、運転席ドアを開くと自動格納する。
 - ・キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチまたはキーレスオペレーション機能を使ってすべてのドアおよびテールゲートを施錠、解錠すると自動格納、自動復帰する。
 - ・格納スイッチ以外での操作をできないする。
 - ・自動復帰の機能を働かなくする。

ヒータードアミラー

J00706800393

リヤウインドウデフォグガーを作動させると、ドアミラー内部のヒーターも同時に作動し、ミラーの曇りを取り除くことができます。

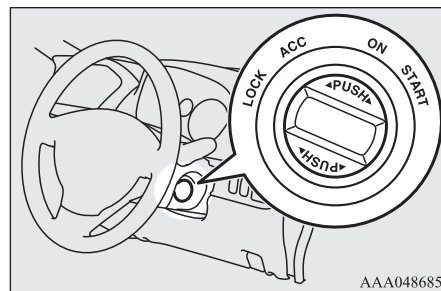
→「リヤウインドウデフォグガー（曇り取り）スイッチ」P.8-22

アドバイス

- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに使用しないでください。補機用バッテリーが上がリ、パワーユニットの起動ができなくなることがあります。
- この装置は補機用バッテリーの消費電力が大きいため曇りが取れたら停止させてください。
長時間使うと補機用バッテリーの電圧が低下し、パワーユニットの起動ができなくなることがあります。

パワースイッチ

J00719001064



AAA048685

各位置の働き

J00719101049

LOCK
(PUSH OFF)

ハンドルがロックされる位置

LOCK
(PUSH ON)

車室内での ID コードの照合が一致したとき、ハンドルロックが解除されてパワースイッチを回すことができます

ACC

READY (走行可能) 表示灯が消灯しているときでもオーディオ、アクセサリソケットなどが使用できる位置

ON

パワーユニット作動中の位置
すべての電気系統が働きます

START

パワーユニットを起動する位置
手を離すと自動的に ON の位置へ戻ります

アドバイス

- READY (走行可能) 表示灯が消灯しているときはパワースイッチを LOCK にしてください。パワースイッチを ON または ACC のままオーディオなどの電気製品を長時間使用すると、補機用バッテリーが上がり、パワーユニットの起動ができなくなるおそれがあります。
- パワースイッチが LOCK から ACC に回らないときはハンドルを軽く左右に動かしながらパワースイッチを回してください。

ACC 電源オートカット機能

J00722400010

パワースイッチが ACC のままで約 30 分経過すると、オーディオなど ACC の位置で作動する装備の電源を自動的にカットする機能です。ACC の位置からパワースイッチを操作すると、再び ACC の位置で作動する装備の電源が入ります。

アドバイス

- ACC 電源オートカット機能を働かなくすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

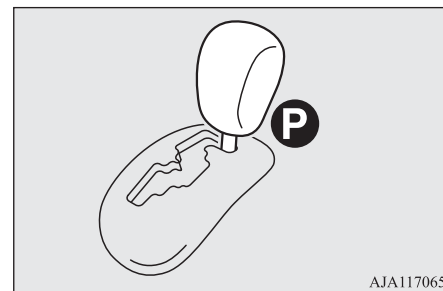
パワーユニット起動のしかた

J00719301100

⚠ 注意

- 窓越しなど車外からパワーユニットを起動しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- READY (走行可能) 表示灯が点灯中にパワーユニット警告灯が点灯したときは、高速走行を避けてただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
→「パワーユニット警告灯」P.8-13

- 正しい運転姿勢がとれるように、シートを調整します。
→「フロントシート」P.7-2
- 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
- セクターレバーが **P** にあることを確認します。



AJA117065

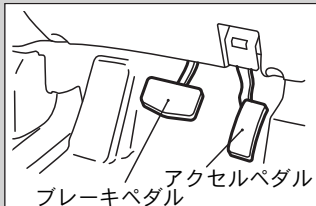
アドバイス

- セレクトーレバーがPの位置以外ではパワーユニットを起動することはできません。

4. ブレーキペダルを右足で踏み、パワースイッチを押しながらいっぱいまで回し、START位置で1~2秒間保持した後、ONの位置までゆっくり戻します。
起動音と共にREADY（走行可能）表示灯が点灯すればパワーユニットの起動は完了です。

警告

- アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため、各ペダルの位置を右足で確認してください。
アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり、両方のペダルを同時に踏んでしまうと、車が急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。



AAZ005283

アドバイス

- READY（走行可能）表示灯が点灯しない場合は、パワースイッチをいったんLOCKまで戻し、しばらくしてからSTARTに回してパワーユニットを起動してください。
- パワーユニットを起動したまま運転席ドアを開くとパワースイッチ切り忘れ警告ブザーまたはキー抜き忘れ警告ブザーが断続的に鳴ります。
→「パワースイッチ切り忘れ警告ブザー」P.6-18
→「キー抜き忘れ警告ブザー」P.6-18

セレクトーレバー

J00730900027

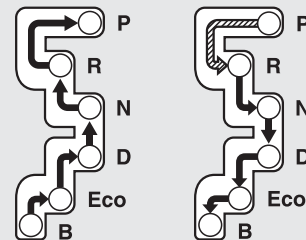
「安全なドライブのために：走行するときは」も合わせてお読みください。→P.3-9

セレクトーレバーの動かし方

J00731000041



AJA117078



AAA043101

- ⬇ ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトーレバーをゲートに沿って操作します。
- ⬇ セレクトーレバーをゲートに沿って操作します。

⚠ 警告

- セクターレバーを**N**→**D**または**N**→**R**に操作するときは、安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。また、車両の故障の原因になります。

📖 アドバイス

- レバーの操作は誤操作防止のため、各位置ごとに一旦止めて確実に行ってください。操作後は必ず表示灯でポジションを確認してください。
- ブレーキペダルを踏んでいないと、シフトロック装置が働いて**P**から他の位置に操作できません。また、パワースイッチがLOCK位置のときはブレーキペダルを踏んでも**P**から他の位置に操作できません。
- ④の操作はブレーキペダルを先に踏んでから行ってください。ブレーキペダルを踏む前に操作すると、セクターレバーが動かなくなることがあります。
- **D**から**R**、**R**から**D**および**P**に入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み、完全に車を止めてから入れてください。車が動いているうちに**P**や**R**に入ると車両の故障の原因になります。

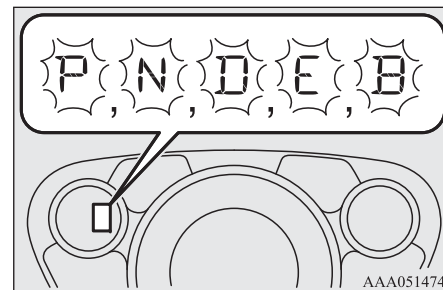
セクターレバー位置表示

J00731100042

セクターレバーの位置をメーター内に表示します。



AAA023088



AAA051474

📖 アドバイス

- セクターレバー位置が**R**のとき、セクターレバー位置表示は点滅しません。

セクターレバー位置表示が点滅したときは

J00731200043

セクターレバー位置表示が点滅したときは、トランスミッションに何らかの異常が発生し、安全装置が働いていると考えられます。ただちに安全な場所に停車し、三菱自動車販売会社へご連絡ください。

セクターレバーの位置・働き

J00731300028



(パーキング)
駐車およびパワーユニットを
起動するとき

車輪が固定されます。駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけて
Pに入れてください。
Pでのみパワースイッチを LOCK まで回すことができます。



(リバース)
後退させるとき

Rに入れるとブザーが鳴り、Rにあることを運転者に知らせます。

⚠ 注意

- ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。



(ニュートラル)
中立

動力が発生しません。
また、車輪も固定されません。



(ドライブ)
通常走行

通常走行するときに使います。



(エコ)
経済的な走行およびゆるやかな下り坂走行

電力の消費を抑えた走行をしたいときおよび軽い回生ブレーキが必要なときに使います。



（回生ブレーキ） 急な下り坂走行

回生ブレーキが必要なときに使います。

→「回生ブレーキ」P.2-2

→「下り坂走行」P.9-12

⚠警告

- ぬれた道路や凍結した道路では急激な回生ブレーキは避けてください。スリップして重大な事故につながるおそれがあります。

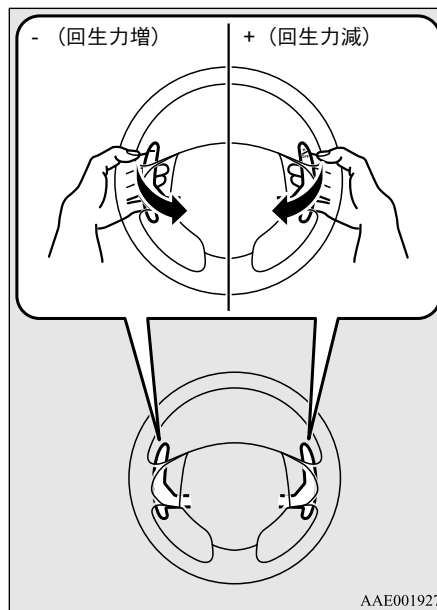
回生レベルセクター（パドル式）

J00728101032

回生レベルセクターは、走行中アクセルペダルから足を離したときの回生力を、ステアリングに手を添えたまま素早く変更することができます。

回生レベルセクターを手前に引くことで、回生ブレーキの効き（駆動用バッテリーに充電する電気エネルギー量）を、カーブの手前や下り坂などの走行状況に合わせて調整できます。

回生力は、0（回生力無し）から5（回生力大）の6段階に切り換わります。



AAE001927

⚠警告

- ぬれた道路や凍結した道路では急激な回生ブレーキは避けてください。スリップして重大な事故につながるおそれがあります。
- セクターレバーや回生レベルセクターを操作して強い回生ブレーキが発生したときは、ブレーキランプが点灯します。

⚠注意

- 左右の回生レベルセクターを同時に操作すると、回生力が変わらないことがあります。

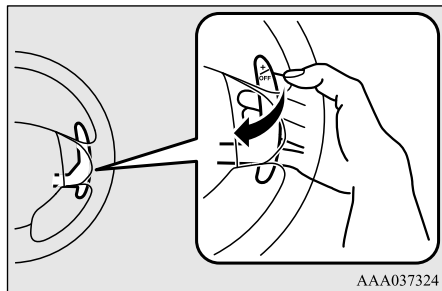
📖アドバイス

- 回生レベルセクターは、セクターレバー位置が **D**, **Eco**, または **B** のときに操作できます。
- 回生レベルセクターを連続して操作すると連続して切り換わります。

回生レベルセクター（パドル式）

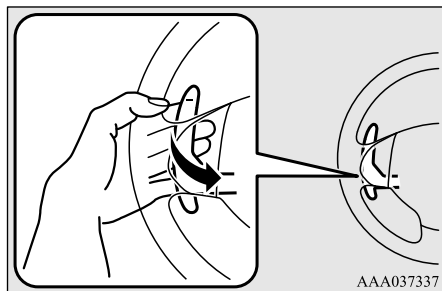
回生力を小さくするとき

回生レベルセクターの+側を引くごとに1段階ずつ回生力が小さくなります。



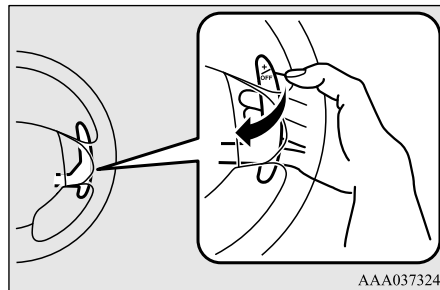
回生力を大きくするとき

回生レベルセクターの-側を引くごとに1段階ずつ回生力が大きくなります。



セクターレバー位置の回生力に戻すときは

回生レベルセクターの+側を約2秒以上手前に引くと、セクターレバー位置の回生力に戻ります。

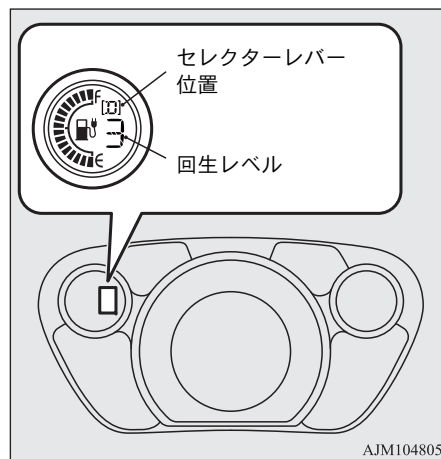


回生レベル表示

J00737200029

回生レベルセクターを操作すると、選択した回生レベルをメーター内に表示します。

例：セクターレバー位置が**D**で回生レベルが“3”のとき



運転のしかた

J00719901047

発進

J00720000025

1. READY (走行可能) 表示灯が点灯していることを確認します。
2. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠ 警告

- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。
左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず、重大な事故につながるおそれがあります。



AAZ002224

⚠ 注意

- セレクターレバーを **P**, **N** 以外の位置 (前進または後退の位置) に入れるとクリーブ現象により、ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。

クリーブ現象とは...

- セレクターレバーを **P**, **N** 以外に入れると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出す現象。
3. セレクターレバーを前進は **D** または **Eco**, 後退は **R** に入れます。

⚠ 警告

- セレクターレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。また、車両の故障の原因になります。

4. セレクターレバーの位置を確認します。



AAA006403

5. 周囲の安全を確認し、駐車ブレーキを解除します。

6. ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないよう駐車ブレーキをかけたまま、ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら、車が動き出す感触を確認し、駐車ブレーキを解除して発進します。

走行

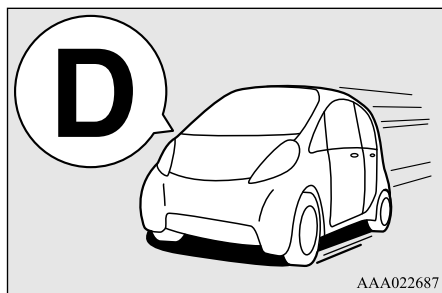
J00720101094

⚠ 警告

- 走行中はセレクターレバーを **N** に入れないでください。**N** で走行したり、誤って **P**, **R** に入ってしまった場合、思わぬ事故につながるおそれや車両の故障の原因になります。また、回生ブレーキが効かなくなります。

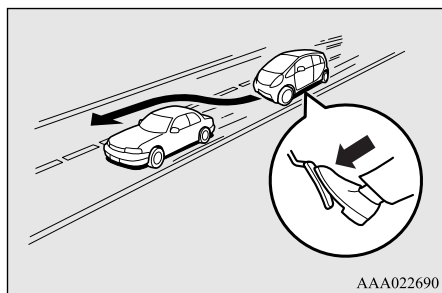
通常走行

セレクターレバーを **D** または **Eco** で走行します。
アクセルペダルとブレーキペダルの操作だけで加速、減速を行います。



急加速したいとき

アクセルペダルを深く踏み込みます。



上り坂走行

アクセルペダルをゆっくり踏み込み、スピードを調節します。

下り坂走行

J00730700054

長い下り坂や急な下り坂など回生ブレーキを必要とする場合は、坂道の程度やスピードに応じてセクターレバーを **Eco** または **B** に入れます。

⚠ 注意

- 長い下り坂では、回生ブレーキを併用してください。ブレーキペダルを踏んで減速を頻繁に繰り返すと、フットブレーキが過熱して効きが悪くなる場合があります。

⚠ 注意

- 満充電に近いときや満充電時

回生ブレーキは、駆動用バッテリーが満充電に近いほど効きが弱くなり、満充電時には効かなくなります。また、同時に回生ブレーキ力警告灯が点滅します。

→「回生ブレーキ力警告灯」P.8-12

この場合もフットブレーキは効きますのでブレーキペダルを踏んで減速してください。

また、頻繁な減速でフットブレーキが過熱することがないように、あらかじめスピードを控えて走行してください。スピードが出すぎるときは、必要に応じてブレーキペダルを踏んで減速してください。

充電量が減ってくると、回生ブレーキは効くようになります。

なお、満充電に近いほど、パワーメーターの指針は基準の位置から左には振れなくなります。

→「パワーメーター」P.8-2

停車

J00720200027

1. セクターレバーは **D** または **Eco** のままブレーキペダルをしっかりと踏みます。
2. 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。

⚠ 注意

- 坂道ではクリープ現象が働いても、車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み、しっかりと駐車ブレーキをかけてください。
- 上り坂でブレーキペダルを踏まずに、アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。車両の故障の原因になります。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはセクターレバーを **N** に入れます。
4. 再発進するときは、セクターレバーが **D** または **Eco** 位置にあることを確認してから駐車ブレーキを解除して発進してください。

駐車

J00720300028

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. セクターレバーを **P** に入れます。

⚠ 注意

- **P** では車輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセクターレバーが **P** に入っていることを確認してください。

⚠ 注意

- 車が完全に止まらないうちに **P** に入れると、急停止してけがをするおそれがあります。また、車両の故障の原因になります。

📖 アドバイス

- 坂道では、駐車ブレーキをかける前にセクターレバーを **P** に入れると、発進時のセクターレバー操作が重くなる場合があります。

4. パワースイッチを LOCK にします。

⚠ 注意

- 車から離れるときは必ずパワースイッチを LOCK まで回し、READY (走行可能) 表示灯が消灯したことを確認してください。
READY (走行可能) 表示灯が点灯したままにしておくと、万一、セクターレバーが **P** 以外に入っていた場合、クリープ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するおそれがあります。

車両接近通報装置

J00722501089

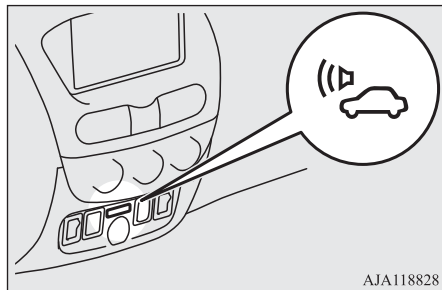
車両接近通報装置は、低速で走行しているとき、通報音で歩行者などに車両の接近を知らせる装置です。
発進後、車速が約 35km/h 以下の場合に前進時、後退時ともに通報音が鳴ります。

つぎの場合は通報音は鳴りません。

- ブレーキペダルを踏んで停車しているとき
- セクターレバーを **P** に入れたとき
- 車両接近通報装置警告灯が点灯しているとき

車両接近通報装置警告灯

装置に異常があると点滅します。正常なときは、パワースイッチを ON にすると、警告灯が点灯し、数秒後に消灯します。



⚠ 警告

- 車両接近通報装置が鳴っていても、歩行者には特に注意してください。歩行者は車両の接近や発進に気づかずに、事故が発生して重大な傷害または死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 走行する前に、必ず警告灯が消えていることを確認してください。警告灯が点滅しているときは、パワースイッチを LOCK にし、再度パワースイッチを ON にします。警告灯が消灯すれば異常ありません。再度警告灯が点滅するときは、装置の故障が考えられますので、できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ブレーキアシスト

J00722200021

ブレーキアシストは、緊急制動時などにブレーキペダルを強く踏み込めない運転者を補助し、より大きな制動力を確保する装置です。ブレーキペダルを素早く踏み込んだときにブレーキが強くなるようになります。

⚠ 注意

- ブレーキアシストはブレーキ性能以上の制動力を発揮させる装置ではありません。ブレーキアシストを過信せず、十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。

📖 アドバイス

- いったんブレーキアシストが作動すると、ブレーキペダルをゆるめても大きな制動力を保持します。ブレーキアシストの作動を停止させたいときは、ブレーキから完全に足を離してください。
- ブレーキペダルを素早く踏み込んだとき以外でも、いっぱいまで強く踏み込むとブレーキアシストが作動することがあります。
- 走行中にブレーキアシストが作動すると、ブレーキペダルが軽く感じられることがあります。また作動音とともにペダルが小刻みに動いたり、車体やハンドルに振動を感じる場合があります。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 走行中に限らず停車中であってもブレーキペダルを素早く踏み込んだり、いっぱいまで踏み込むと、ブレーキアシストの作動音が聞こえることがあります。これは、装置が正常に作動していることを示すもので、異常ではありません。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

J00703001809

アンチロックブレーキシステム (ABS) とは、急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し、制動力を維持し、かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

⚠ 注意

- ABS は制動時の車体安定性を確保するためのもので必ずしも制動距離が短くなるとはかぎりません。ABS を過信せず、十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。
- 雪道を走行した後は足回りに付いた雪や泥を取り除いてください。足回りを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- 指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差の少ないタイヤを使用してください。指定サイズ、種類や銘柄が異なったり、摩耗度合いがいちじるしく異なるタイヤを使用すると、ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

📖 アドバイス

- つぎのような場合は、ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなることがありますので、速度はひかえめにし、車間距離を十分とって運転してください。
 - ・ 砂利道や深い新雪路を走行するとき
 - ・ タイヤチェーンを装着しているとき
 - ・ 道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
 - ・ 凸凹道などの悪路を走行するとき
- マンホール、工事用の鉄板、白線の上、段差を乗り越えるときなど、車輪が滑りやすい状況では、車輪のロックを防止するため急制動以外でもABSが作動することがあります。
- ABS が作動すると車体、ハンドル、ブレーキペダルに振動を感じたり、作動音が聞こえます。また、ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じる場合があります。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 走行開始後、ボンネットルーム内より作動音がしたり、ブレーキペダルにショックを感じることがありますが、これはABS装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
- ABS は、発進後車速が約 10km/h になるまで作動しません。また、車速が約 5km/h まで下がると作動を停止します。

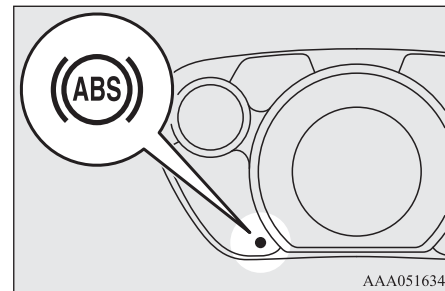
ABS 警告灯

J00704500918

正常なときは、パワースイッチを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。

⚠ 注意

- パワースイッチを ON にしても点灯しない、または点灯したままのときは装置の故障が考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



AAA051634

走行中に警告灯が点灯したときは

J00704601769

ABS 警告灯のみ点灯したときは

急ブレーキや高速走行を避け安全な場所に車を止めます。

セクターレバーを **P** に入れてパワースイッチを LOCK にした後 START まで回し、パワーユニットを起動します。その後しばらく走行して点灯しなければ異常ありません。

しばらく走行しても点灯したままのときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。この場合、ABS は作動せず、普通のブレーキとして作動します。

ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは

- ブレーキ力の配分機能が作動しないことがあるため、急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。

急ブレーキや高速走行を避け、ただちに車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へ連絡してください。

- 補機用バッテリーが電圧不足のときにパワーユニットを起動すると、警告灯が点灯することがあります。が ABS の故障ではありません。駆動用バッテリーを充電すると補機用バッテリーも同時に充電され、警告灯は消灯します。充電しても点灯したままのときや、たびたび点灯するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

電動パワーステアリング

J00703100252

READY (走行可能) 表示灯が点灯しているときにパワーアシストが作動し、ハンドルの操作力を軽くする装置です。もしパワーアシストが作動しなくなったときは、ハンドルが重くなります。この場合は三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠ 警告

- 走行中はパワースイッチを ACC にしないでください。パワースイッチを ACC にすると、ハンドルが非常に重くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 アドバイス

- 駐車するときなどに、ハンドルをいっばいに回す操作を繰り返すと、システムの過熱を防止するため保護機能が働きハンドル操作が徐々に重くなります。この場合、しばらくハンドル操作を控えてください。システムの温度が下がるとハンドルの操作力は元に戻ります。
- ヘッドライトを点灯したままで停車しているとき、ハンドル操作をするとヘッドライトが暗くなることがありますが異常ではありません。しばらくすれば元の明るさに戻ります。

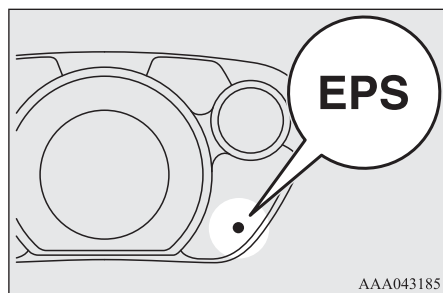
電動パワーステアリング警告灯

J00704700343

システムに異常があると点灯します。正常なときはパワースイッチを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。

⚠ 注意

- パワーユニット起動中に警告灯が点灯したときは、ハンドルが重くなることがありますので、できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



AAA043185

アクティブスタビリティコントロール (ASC)

J00710301413

アクティブスタビリティコントロール (ASC) はトラクションコントロール機能とスタビリティコントロール機能を持ち、アンチロックブレーキシステムと統合的に制御を行うことで、車両姿勢を安定させると共に駆動力を確保する装置です。つぎの項も合わせてお読みください。

→「アンチロックブレーキシステム (ABS)」P.9-15

→「トラクションコントロール機能」P.9-17

→「スタビリティコントロール機能」P.9-17

⚠ 注意

- ASC が作動した状態でも車両の安定確保には限界があり、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。ASC を過信せず、常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。
- 指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差の少ないタイヤを使用してください。指定サイズ、種類や銘柄が異なったり、摩耗度合いがいちじるしく異なるタイヤを使用すると、ASC が正常に働かなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。ASC が正常に作動しなくなるおそれがあります。

📖 アドバイス

- つぎのような場合は、ボンネットルーム内より作動音がすることがあります。また、ブレーキペダルにショックを感じることがあります。これは ASC 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
- パワースイッチを ON にしたとき
- パワーユニットを起動してしばらく走行したとき

📖 アドバイス

- ASC が作動すると、車体に振動を感じたり、ボンネットルーム内より作動音が聞こえたりします。これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。
- ABS 警告灯が点灯しているときは、ASC は作動しません。

トラクションコントロール機能

J00710400198

トラクションコントロールは、滑りやすい路面での駆動輪の空転を防止して発進しやすくすると共に、旋回加速時の適切な駆動力・操舵能力を向上させる機能です。

⚠ 注意

- 雪道や凍結路を走行するときは、冬用タイヤを装着して速度は控えめにし、車間距離を十分とって運転してください。

スタビリティコントロール機能

J00710501213

スタビリティコントロール機能は、急激なハンドル操作や滑りやすい路面のカーブに進入したときなどに生じる車両の横

アクティブスタビリティコントロール (ASC)

滑りを、各車輪のブレーキとパワーユニットの出力を制御することにより抑制し、車両の安定性を向上させる機能です。

📖 アドバイス

- スタビリティコントロール機能は、車速が約 15km/h 以上で作動します。

ASC の ON/OFF 作動切り換え

J00710801694

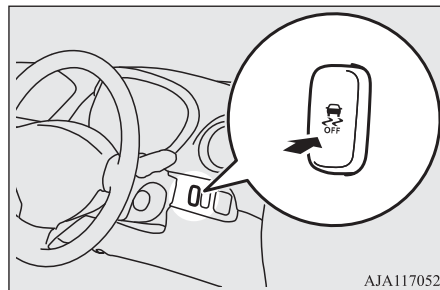
📖 アドバイス

- ぬかるみ、砂地または新雪などからの脱出時に、アクセルペダルを踏み込んでも ASC の働きによりパワーユニットの回転が上がらないことがあります。このようなときは、ASC OFF スイッチで ASC を OFF にすると駆動輪が回転しやすくなり、脱出に効果的な場合があります。

パワーユニットを起動すると自動的に ASC は ON になります。

ASC を OFF にしたいときは ASC OFF スイッチを 3 秒以上押し続けます。

スイッチを押し続けると 3 秒後に、 表示灯が点灯します。もう一度押すと ON になります。



AJA117052

⚠ 注意

- 安全のため、ASC OFF スイッチの操作は停車しているときに行ってください。
- 通常走行時は必ず ASC を ON にしてください。
- ぬかるみなどからの脱出時に ASC を OFF にした場合、脱出後はすみやかに ASC を ON にし、必要なとき以外は ASC を OFF にしないでください。

⚠ 注意

- ASC を OFF にした状態で、アクセルペダルを過度に踏み込んでタイヤを空転させ続けると、トランスミッションやその他の部品を損傷し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

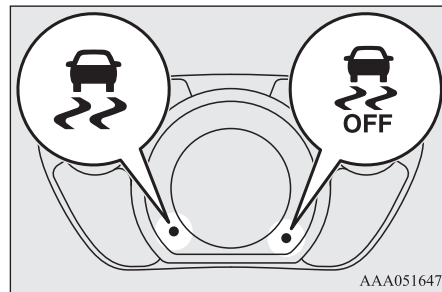
📖 アドバイス

- ASC OFF スイッチではスタビリティコントロール機能とトラクションコントロール機能の両方が OFF になります。
- ASC を OFF にした後も ASC OFF スイッチを押し続けると、誤操作防止機能が働いて ASC は ON に戻ります。

ASC 作動表示 / ASC OFF 表示

J00711600227

正常なときは、パワースイッチを ON にすると点灯し、数秒後に消灯します。



AAA051647

-  - ASC 作動表示灯
ASC が作動すると点滅します。
-  - ASC OFF 表示灯
ASC OFF スイッチで ASC を OFF にすると点灯します。

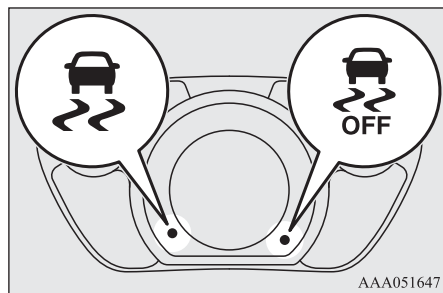
⚠ 注意

- 表示灯が点滅したときは路面が滑りやすい状態か、加速しすぎています。アクセルペダルをゆるめて控えめな運転をしてください。

ASC 警告表示

J00715700213

システムに異常があると 表示灯と 表示灯が同時に点灯します。



このような場合は、つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め、セレクトレーバーを P に入れます。
2. パワースイッチを LOCK にします。
3. 再度パワーユニットを起動し、表示灯および 表示灯が消灯するか確認します。

表示灯が消灯すれば異常ありません。消灯しないときや、たびたび点灯するときは、通常走行には支障はありませんが、できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

けん引するときは

J00716100083

⚠ 注意

- パワーユニットを起動して後輪だけを持ち上げたけん引を行うと、ASC が作動し思わぬ事故につながるおそれがあります。詳しくは「けん引」をお読みください。→P.15-29



室内装備

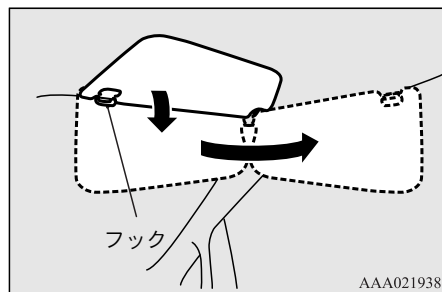
サンバイザー	10-2
アクセサリースocket	10-2
室内灯	10-3
小物入れ	10-6
カップホルダー	10-8
アシストグリップ	10-8
フロアマット	10-8

サンバイザー

サンバイザー

J00900100602

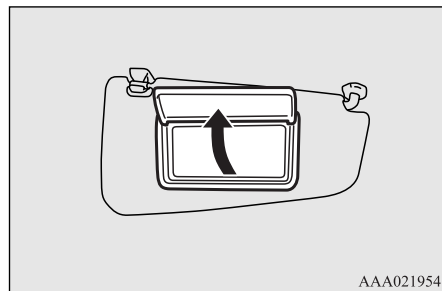
前面だけでなく、フックから外せば側面にも回せます。



バニティーミラー

J00912701279

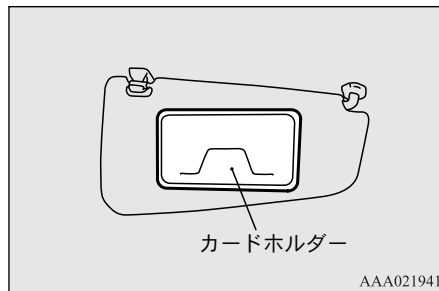
サンバイザーの裏側にあります。



カードホルダー

J00912801296

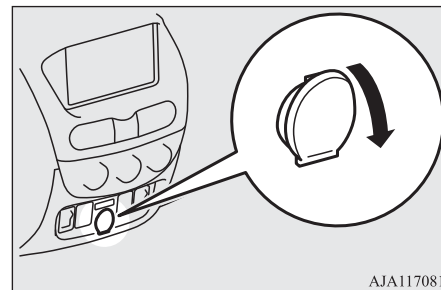
バニティーミラーのリッドの表側に通行券などをはさむことができます。



アクセサリースOCKET

J00900501922

パワースイッチがONまたはACCのときに使用できます。
フタを開け、プラグタイプの電気製品の電源としてご使用ください。



アドバイス

- 必ず、12Vで電気容量が120W以下の電気製品を使用してください。それ以上の容量の電気製品を使用すると、ヒューズが切れるおそれがあります。
- 市販の電気製品を使用しないでください。補機用バッテリーが上がったり、アクセサリースOCKETが損傷する原因となります。
- フタを開けたまま放置しないでください。
アクセサリースOCKETにゴミや金属片などの異物が入ると火災やショートの原因となるおそれがあります。

アドバイス

- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに長い間使用すると補機用バッテリーが上がる場合があります。

室内灯

J00900800319

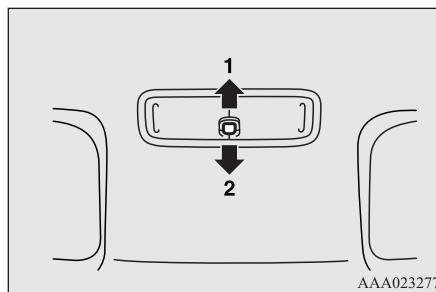
アドバイス

- READY（走行可能）表示灯が消灯しているときに長い間ランプを点灯させておくと補機用バッテリーが上がる場合があります。
車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

マップ&ルームランプ（フロント）

J00901201229

ルームランプ



AAA023277

1- (DOOR)

- いずれかのドアまたはテールゲートを開けると点灯，閉じると約 15 秒後に消灯します（遅延消灯）。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。
- ドアおよびテールゲートを閉じてパワースイッチを ON にしたとき
- ドアおよびテールゲートを閉じてセンタードアロックの機能を使って施錠したとき
- キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチを使って施錠したとき
- キーレスオペレーション機能を使って施錠したとき

- パワースイッチが LOCK または ACC の位置にあるときにドアまたはテールゲートを開け点灯したままにすると、約 30 分後に自動的に消灯します。
つぎのようなときは、再び点灯します。
- パワースイッチを ON の位置にしたとき。
- キーレスオペレーションシステムの操作をしたとき。
- すべてのドアおよびテールゲートを閉じた後、いずれかのドアまたはテールゲートを開けたとき。

📖 アドバイス

- キーレスオペレーション機能を使ってパワーユニットを作動させているときは、ドアおよびテールゲートが閉まっているときに パワー スイッチを LOCK にすると点灯し、約 15 秒後に消灯します。
- エマージェンシーキーを使って パワーユニットを作動させているときは、ドアおよびテールゲートが閉まっているときにパワースイッチを LOCK にしてエマージェンシーキーを抜くと点灯し、約 15 秒後に消灯します。

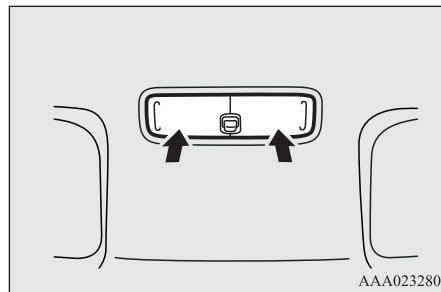
📖 アドバイス

- 遅延消灯までの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
遅延消灯までの時間を延ばしても、自動的に施錠されるまでの時間に合わせて、ルームランプが消灯します。自動施錠機能についてはつぎの項をお読みください。
→「キーレスオペレーションシステム：ドアおよびテールゲートの施錠・解錠」P.6-15
- 自動的に消灯する機能を働かなくすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

2-

ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく消灯します。

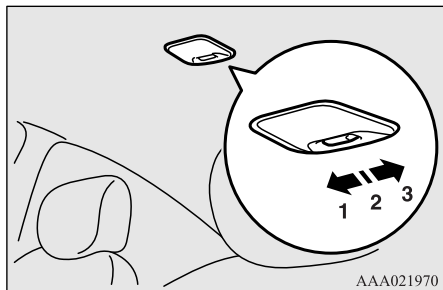
マップランプ



ルームランプのスイッチの位置に関係なくレンズを押すと押した側のランプが点灯し、もう一度押すと消灯します。

ルームランプ (リヤ)

J00901301161



AAA021970

1- (ON)

ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく点灯します。

2- (●)

- いずれかのドアまたはテールゲートを開けると点灯、閉じると約 15 秒後に消灯します (遅延消灯)。ただし、つぎのようなときはすぐに消灯します。
 - ドアおよびテールゲートを閉じてパワースイッチを ON にしたとき
 - ドアおよびテールゲートを閉じてセンタードアロックの機能を使って施錠したとき
 - キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチを使って施錠したとき
 - キーレスオペレーション機能を使って施錠したとき

- パワースイッチが LOCK または ACC の位置にあるときにドアまたはテールゲートを開け点灯したままにすると、約 30 分後に自動的に消灯します。つぎのようなときは、再び点灯します。
 - パワースイッチを ON の位置にしたとき。
 - キーレスオペレーションシステムの操作をしたとき。
 - すべてのドアおよびテールゲートを閉じた後、いずれかのドアまたはテールゲートを開けたとき。

 アドバイス

- キーレスオペレーション機能を使ってパワーユニットを作動させているときは、ドアおよびテールゲートが閉まっているときにパワースイッチを LOCK にすると点灯し、約 15 秒後に消灯します。
- エマージェンシーキーを使ってパワーユニットを作動させているときは、ドアおよびテールゲートが閉まっているときにパワースイッチを LOCK にしてエマージェンシーキーを抜くと点灯し、約 15 秒後に消灯します。

📖 アドバイス

- 遅延消灯までの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
遅延消灯までの時間を延ばしても、自動的に施錠されるまでの時間に合わせて、ルームランプが消灯します。自動施錠機能についてはつぎの項をお読みください。
- 「キーレスオペレーションシステム：ドアおよびテールゲートの施錠・解錠」P.6-15
- 自動的に消灯する機能は、ルームランプのスイッチが ON の位置にあるときは働きません。
また、自動的に消灯する機能を働かなくすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

3- (OFF)

ドアまたはテールゲートの開閉に関係なく消灯します。

小物入れ

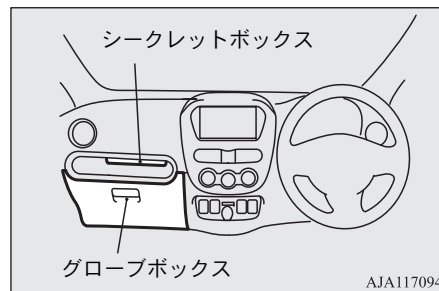
J00906701997

⚠️ 注意

- 車内にライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しないでください。
強い直射日光にさらされると車内が高温になるため、ライターなどの可燃物は自然発火したり、炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また、プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形、ひび割れをおこすおそれがあります。
- 走行中は小物入れのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合、フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

📖 アドバイス

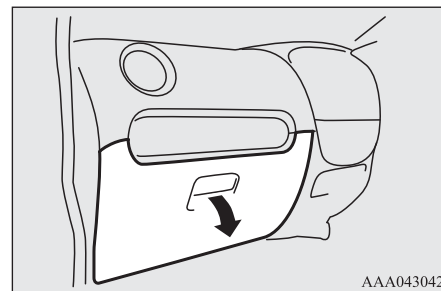
- 車を離れるときは小物入れに貴重品を入れたままにしないでください。



グローブボックス

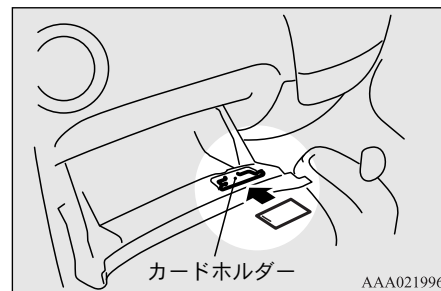
J00907200439

レバーを引くと開きます。



カードホルダー

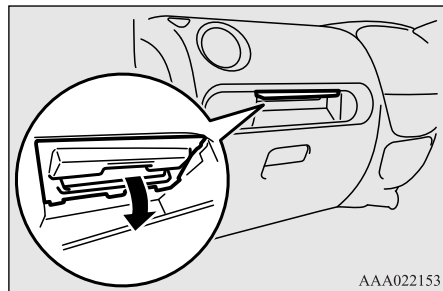
リッドの裏側にカードを収納することができます。



シークレットボックス

J00913000041

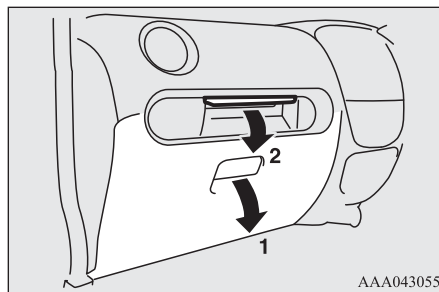
リッドを引くと開きます。



AAA022153

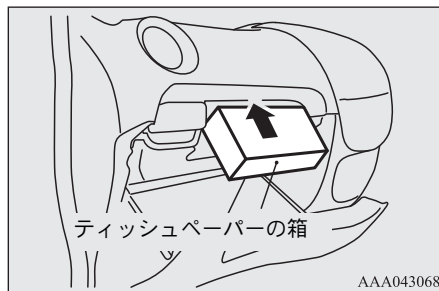
ティッシュペーパーの箱を収納するとき

1. グローブボックスのリッドを開けます。
2. シークレットボックスのリッドを開けます。



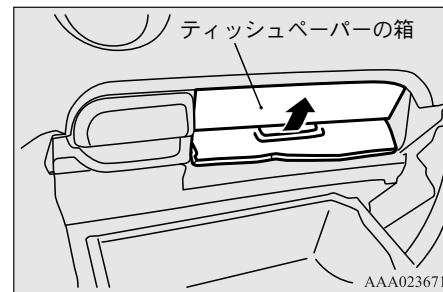
AAA043055

3. ティッシュペーパーの箱を逆さにして、シークレットボックスの奥まで押し込みます。



AAA043068

4. ティッシュペーパーの箱を上へ押し上げ、シークレットボックスのリッドを閉じます。

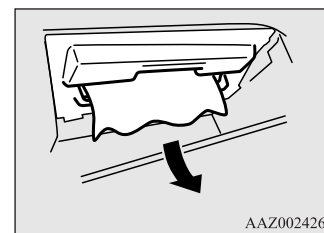


AAA023671

5. グローブボックスのリッドを閉じます。

アドバイス

- リッドの穴からティッシュペーパーを引き出すことができます。



AAZ002426

- ティッシュペーパーの箱の形状によっては収納できないことがあります。確かめてからご使用ください。
(収納できる大きさの目安：縦 11.5cm 以下、横 23.5cm 以下、高さ 5cm 以下)

カップホルダー

J00903802011

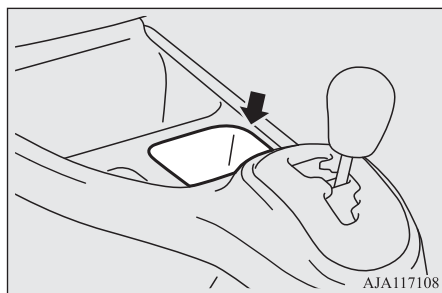
⚠️ 警告

- 車内に水をかけたり、飲み物などをこぼしたりしないでください。スイッチ類、配線や電気部品にかかると、故障や車両火災の原因になります。万一、飲み物などをこぼした場合は、可能な限り水分を取り除き、すみやかに三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠️ 注意

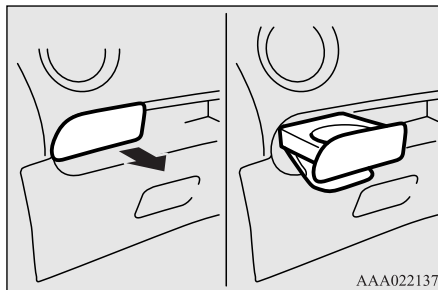
- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合、やけどをするおそれがありますので注意してください。

運転席用



助手席用

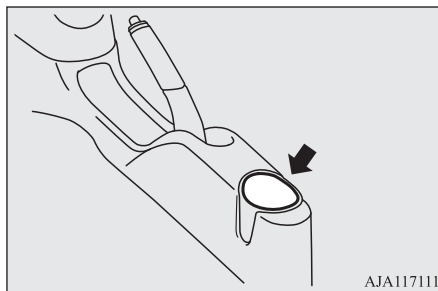
引き出して使用します。



📖 アドバイス

- ホルダーを使用しないときは格納しておいてください。

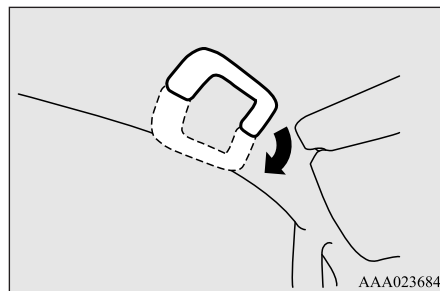
後席用



アシストグリップ

J00912900098

座ったときに、手で身体を支えるためのグリップです。



⚠️ 注意

- アシストグリップに手をかけて乗り降りしないでください。アシストグリップが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロアマット

タイプ別装備

J00922800058

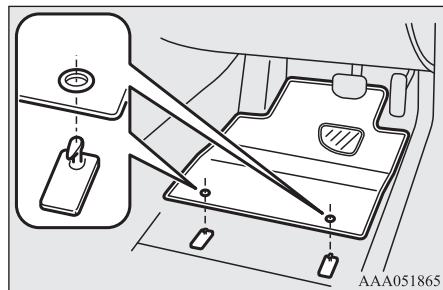
お客様のお車には、専用のフロアマットが設定されています。

フロアカーペットに装着されている固定クリップを使用し、つぎの手順で確実に固定してください。

固定のしかた

J00922900150

1. フロアマットを床の形状に合わせて敷きます。
2. フロアマットの取り付け穴に固定クリップを通し、確実に固定します。



アドバイス

- 車種により、フロアマットの形状や固定クリップの数が異なる場合があります。詳しい固定方法はフロアマットの取扱説明書をお読みください。

警告

- 運転席にフロアマットを敷くときは、つぎのことを必ずお守りください。お守りいただかないと、フロアマットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど重大な事故につながるおそれがあります。
- 固定クリップを使用し確実に固定する
- フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない
- フロアマットでペダルをおおわない
- フロアマットの上または下に、別のフロアマットを重ねて敷かない
- アクセルペダルの下に敷かない
- 三菱自動車純正フロアマットであっても、他車種または年式の異なるフロアマットを使用しない



- 運転する前につぎのことを確認してください。
- フロアマットがすべての固定クリップで正しく固定されていることを定期的に確認し、車内の清掃などでフロアマットを取り外した後は必ず確認する

警告

- パワーユニット停止時およびセレクターレバーがPのときに、各ペダルをいっばいに踏み込み、フロアマットと干渉がなく運転に支障がないことを確認する

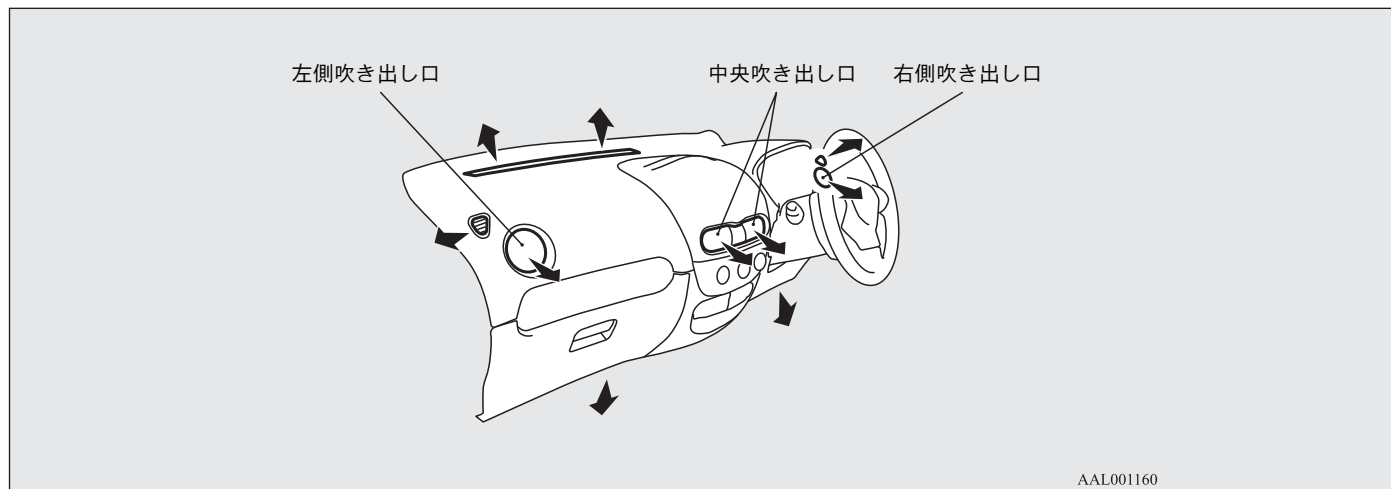


エアコン

吹き出し口	11-2
エアコン	11-4
エアコンの上手な使い方	11-20
クリーンエアフィルター（脱臭機能付き）	11-20
充電中のエアコンの使い方	11-21
プレ空調	11-22

吹き出し口

J01000100365

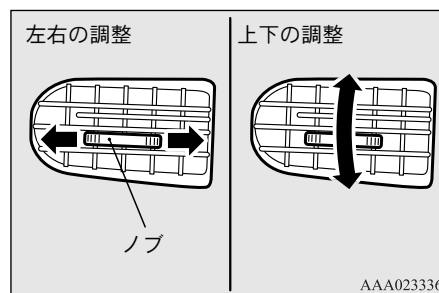


風量・風向き調整

J01000300426

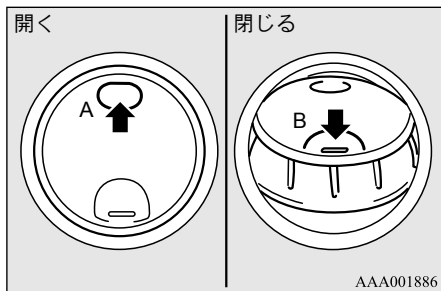
中央吹き出し口

ノブ、吹き出し口を動かして調整します。



左右吹き出し口

1. くぼみ (A 部) を押すと吹き出し口が開きます。
閉じるときは、反対側のくぼみ (B 部) を押します。
2. 風向きは吹き出し口を回して調整します。



アドバイス

- 冷房時まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので異常ではありません。
- 冷房、除湿効果が悪いときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

吹き出し口の切り換え

J01000400661

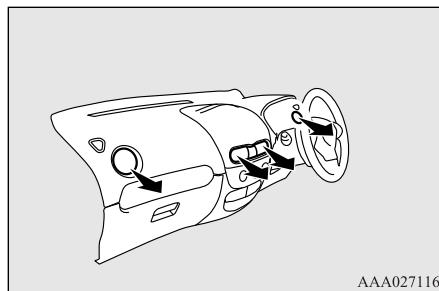
吹き出し口切り換えダイヤルを操作し、使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。

→ 「吹き出し口切り換えダイヤル」
P.11-6

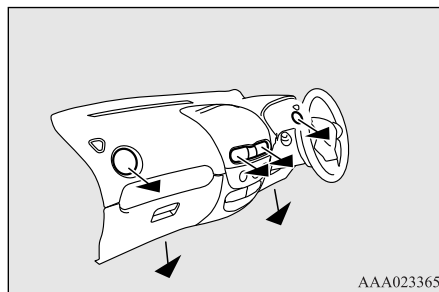
→ 風量弱

→ 風量強

🌀 上半身に送風したいとき



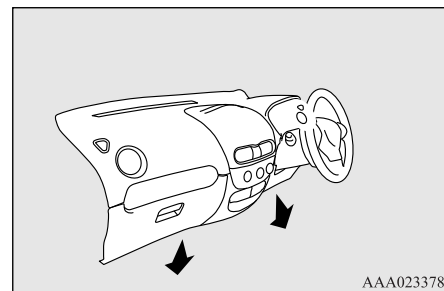
🌀 上半身と足元に送風したいとき



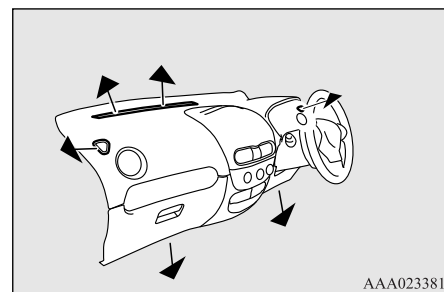
アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルを 🌀 と 🌀 の間にすると上半身へ多く、🌀 と 🌀 の間にすると足元へ多く送風されます。

🌀 足元に送風したいとき



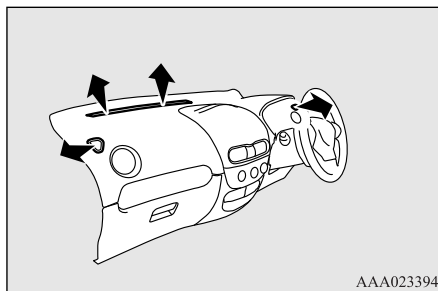
🌀 足元とウィンドウガラスに送風したいとき



📖 アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルを🌀と🌀の間にすると足元へ多く、🌀と🌀の間にするとウインドウガラスへ多く送風されます。

🌀 ウインドウガラスに送風したいとき



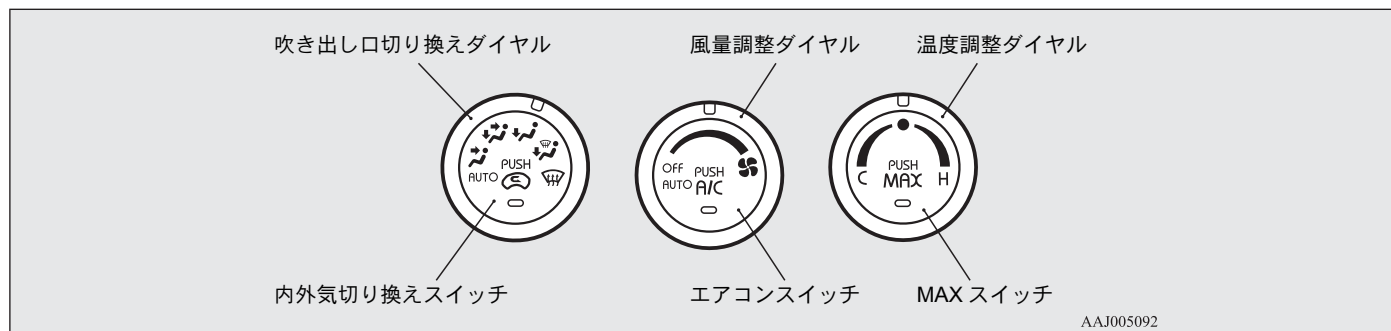
エアコン

J01002402106

READY（走行可能）表示灯が点灯しているときに使用できます。

📖 アドバイス

- 外気温が約 -10 °C 以下のときは暖房性能が十分に確保できず、約 -20 °C 以下のときは、エアコンが作動できないことがあります。（ヒートポンプエアコン付き車）
- 駆動用バッテリー残量計の目盛が0 のとき、またはパワーダウン警告灯が点灯しているときは、ダイヤルまたはスイッチを操作しても冷房／暖房効果を得られないことがあります。また、曇り取り効果も低下することがあります。
→ 「駆動用バッテリー残量計」 P.8-9
→ 「パワーダウン警告灯」 P.8-13
- エアコンを停止した後もしばらく冷媒が流れる音が聞こえることがありますが異常ではありません。（ヒートポンプエアコン付き車）
- 普通充電または急速充電中にエアコンを使用できるように設定を変更することができます。設定を変更したいときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。→ 「充電中のエアコンの使い方」 P.11-21



- スイッチの使い方 P.11-6
- 目的に合った使い方 P.11-9
 - ・暖房したいときは P.11-9
 - ・急速暖房したいときは P.11-10
 - ・冷房したいときは P.11-11
 - ・急速冷房したいときは P.11-12
 - ・ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは P.11-13
 - ・曇り止めと暖房を同時にしたいときは P.11-17
 - ・換気したいときは P.11-19
 - ・排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは P.11-20

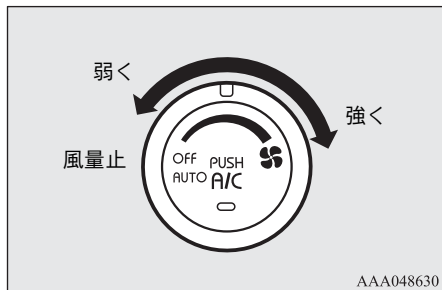
スイッチの使い方

J01002501214

風量調整ダイヤル

J01002801464

風量を強くするときには右へ、弱くするときには左へ回します。
ダイヤルを AUTO にすると、室内温度と温度調整ダイヤルの設定に応じて自動的に風量を調整します。

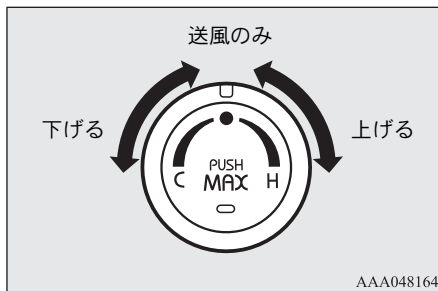


AAA048630

温度調整ダイヤル

J01003000509

送風温度を上げるときは右へ、下げるときは左へ回します。
ダイヤルを●にすると送風のみとなります。
冷房や暖房を使用しているときにダイヤルを●に動かすと、冷房・暖房は停止します。



AAA048164

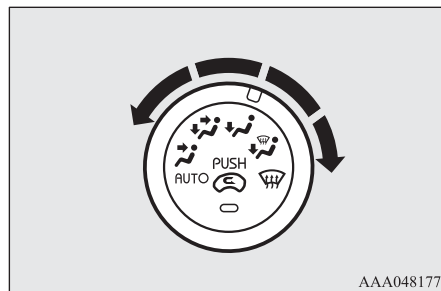
アドバイス

- エアコンが作動していない状態で、ダイヤルを●から左へ回しても送風温度は変わりません。
- エアコン作動中にダイヤルを●に動かした後、●から左へ回すと、エアコンが再び作動します。
- 温度調整ダイヤルを C にすると自動的に内気循環に切り換わり、エアコンが作動します。
その後ダイヤルを動かすと、エアコンは作動したまま、内外気の設定はダイヤルを C にする前の状態に戻ります。

吹き出し口切り換えダイヤル

J01003200396

使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。
→「吹き出し口の切り換え」 P.11-3



AAA048177

⚠ 注意

- と⌘の間で使用するときは、窓の曇りを防止するため内外気切り換えスイッチを押して外気導入にしてください。
→「内外気切り換えスイッチ」 P.11-7

AUTO で使うときは

ダイヤルを AUTO にすると、温度調整ダイヤルの位置に応じて、吹き出し口が下記の位置に切り換わります。

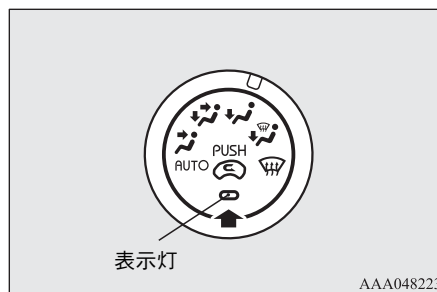
温度調整ダイヤルの位置	吹き出し口
C から●の間	⌘: 上半身

温度調整ダイヤルの位置		吹き出し口
●	C 側から●に合わせたとき	🌀: 上半身
	H 側から●に合わせたとき	🌀: 足元
●から H の間	●に近いとき	🌀: 足元
	H に近いとき	🌀: 足元とウインドウガラス

内外気切り換えスイッチ

J01003400385

スイッチを押すと外気導入（外気を車内に入れる）と内気循環（外気をしゃ断する）の切り換えができます。内気循環に切り換えるとスイッチ内の表示灯が点灯します。



AAA048223

⚠ 注意

- 窓の曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。
- 早く冷房したいときは内気循環にします。ただし、長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため、ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

エアコンスイッチ

J01003501817

温度調整ダイヤルを●から C の間に設定し、エアコンスイッチを押すと、エアコン（冷房・除湿機能）が作動し、スイッチ内の作動表示灯が点灯します。もう一度押すとエアコンは停止します。



AAA048324

📖 アドバイス

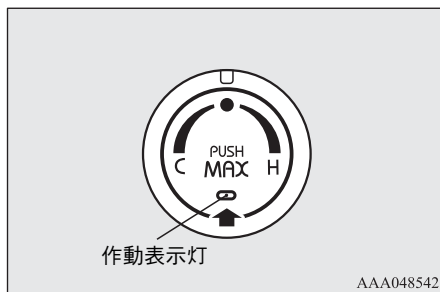
- ヒートポンプエアコン付き車は、温度調整ダイヤルが●の位置および●から H の間にあると、スイッチを押してもエアコン（冷房・除湿機能）は作動しませんが、異常ではありません。
- 電気温水式ヒーター付き車は、温度調整ダイヤルがどの位置にあっても、スイッチを押すとエアコン（冷房・除湿機能）が作動します。

MAX スイッチ

J01013301036

風量調整ダイヤルがOFF以外のときにスイッチを押すと、作動表示灯が点灯し、温度調整ダイヤルの位置に応じて冷房／暖房能力やエアコンの設定が切り換わります。

もう一度押すと、スイッチを押す前の状態に戻ります。



温度調整ダイヤルが●から H の間にあるとき

暖房能力が最大になります。

温度調整ダイヤルが●の位置にあるとき

送風量が最大になります。

温度調整ダイヤルが C から●の位置にあるとき

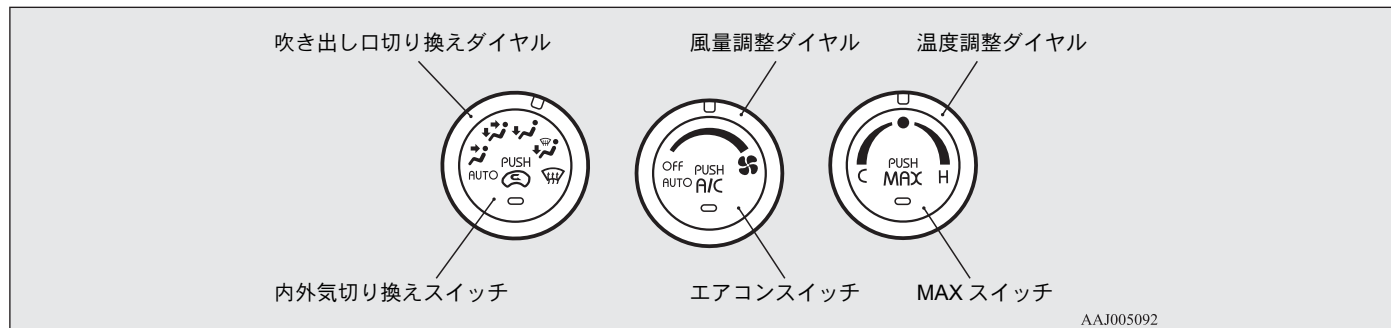
自動的にエアコンが作動し、冷房能力が最大になります。

アドバイス

- 作動表示灯が点灯しているときに風量調整ダイヤルまたは温度調整ダイヤルを操作すると、作動表示灯が消灯し、操作した機能が優先されます。その他の機能はMAXスイッチを押す前の状態に戻ります。
- MAXスイッチを使ってエアコンを作動させたときは、機能を停止しても、エアコンは停止しません。
- MAXスイッチを使った冷房／暖房の長時間使用は控えてください。MAXスイッチを使用しない冷房／暖房よりも消費電力が大きいいため、航続可能距離が短くなります。

目的に合った使い方

J01011601047



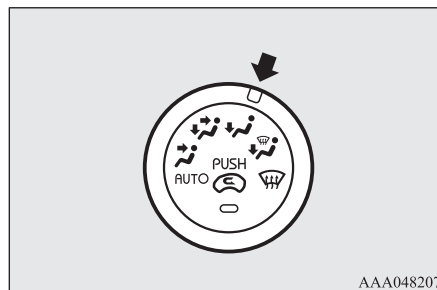
暖房したいときは

J01011601077

アドバイス

- ヒートポンプエアコン付き車は、暖房運転中に車外のエアコン機器に霜が付き、暖房性能が低下または航続距離が短くなることがあります。
→「ヒートポンプエアコン付き車」P.14-5

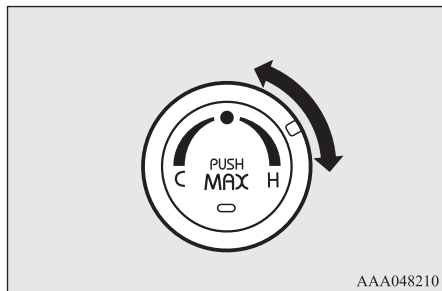
1. 吹き出し口切り換えダイヤルを❶にします。



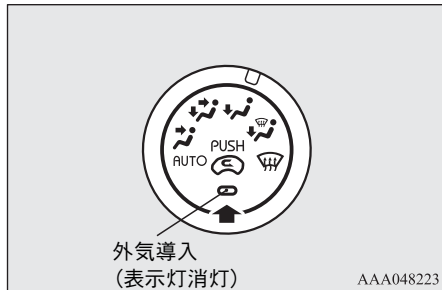
アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルを AUTO にしたときは、温度調整ダイヤルを●から H の間にとすると、吹き出し口が自動的に❶または❷に切り換わります。

2. 温度調整ダイヤルを●からHの間に設定し、お好みの温度になるよう調整します。



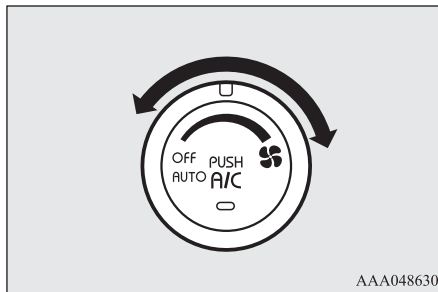
3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。



⚠ 注意

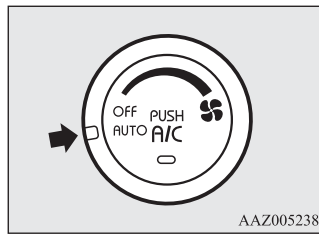
- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。



📖 アドバイス

- 風量調整ダイヤルをAUTOにすると、室内温度と温度調整ダイヤルの設定に応じて自動的に風量を調整します。



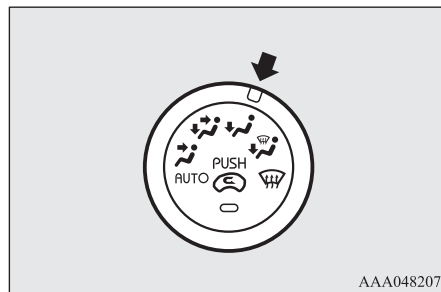
急速暖房したいときは

J01012401056

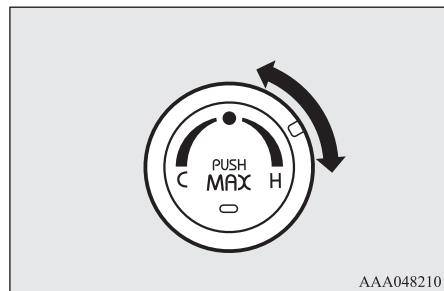
📖 アドバイス

- ヒートポンプエアコン付き車は、暖房運転中に車外のエアコン機器に霜が付き、暖房性能が低下または航続距離が短くなることがあります。
→「ヒートポンプエアコン付き車」P.14-5

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを🌀にします。



2. 温度調整ダイヤルを●からHの間に設定します。



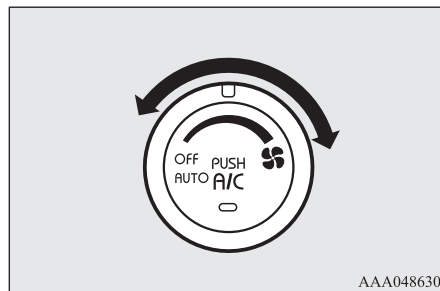
3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。



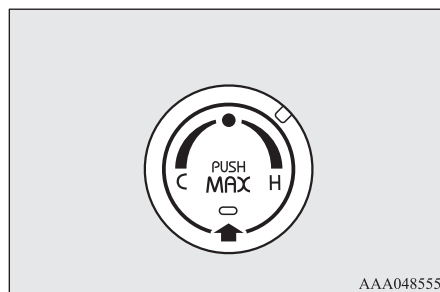
⚠ 注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

4. 風量調整ダイヤルを OFF 以外の位置にします。



5. MAX スイッチを押します。



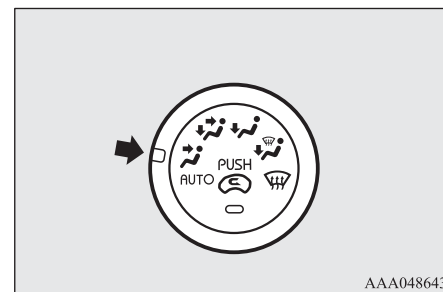
📖 アドバイス

- MAXスイッチを使った暖房の長時間使用は控えてください。MAX スイッチを使用しない暖房よりも消費電力が大きいので、航続可能距離が短くなります。

冷房したいときは

J01012500047

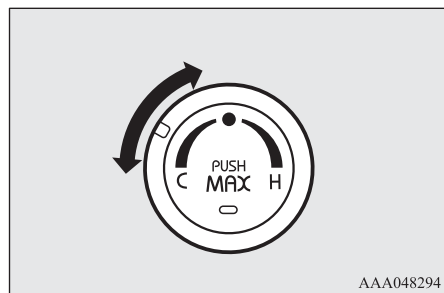
1. 吹き出し口切り換えダイヤルを❧にします。



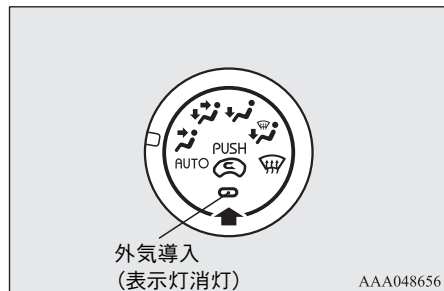
📖 アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルを AUTO にしたときは、温度調整ダイヤルを●からCの間にすると、吹き出し口が自動的に❧に切り換わります。

2. 温度調整ダイヤルを●からCの間に設定し、お好みの温度になるよう調整します。



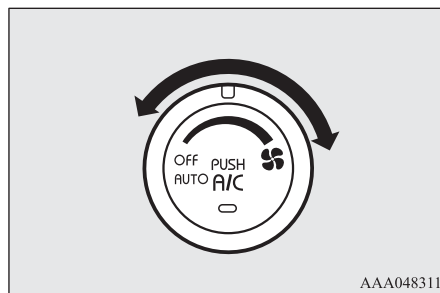
3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。



⚠ 注意

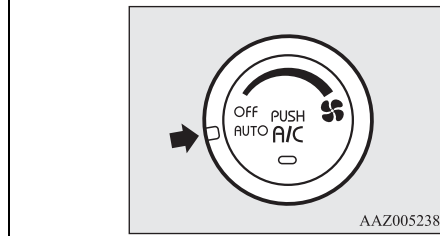
- 内気循環にすると早く冷房されますが、換気のためときどき外気導入に切り換えてください。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。



📖 アドバイス

- 風量調整ダイヤルをAUTOにすると、室内温度と温度調整ダイヤルの設定に応じて自動的に風量を調整します。



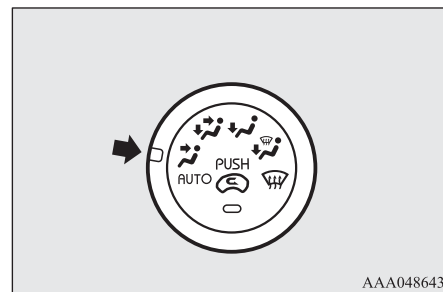
5. エアコンスイッチを押してエアコンを作動させます。
エアコンが作動するとスイッチ内の作動表示灯が点灯します。



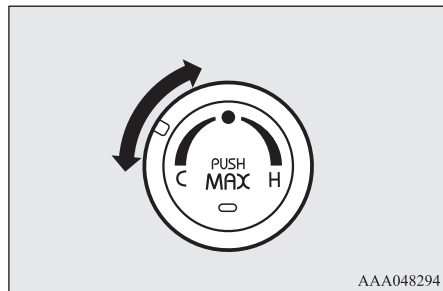
急速冷房したいときは

J01012601045

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを  にします。



2. 温度調整ダイヤルを●からCの間に設定します。



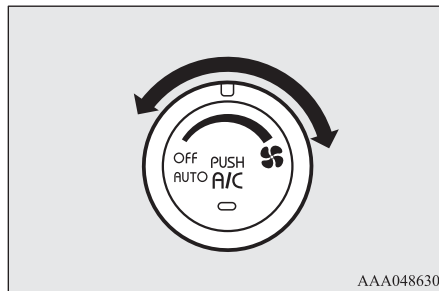
3. 内外気切り換えスイッチを押して内気循環にします。



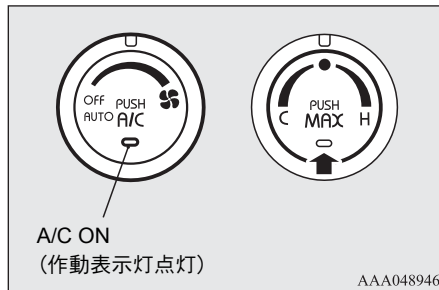
⚠ 注意

- 内気循環にすると早く冷房されますが、換気のためときどき外気導入に切り換えてください。

4. 風量調整ダイヤルを OFF 以外の位置にします。



5. MAX スイッチを押します。
エアコンが自動的に作動し、作動表示灯が点灯します。



📖 アドバイス

- MAXスイッチを使った冷房の長時間使用は控えてください。MAX スイッチを使用しない冷房よりも消費電力が大きいので、航続可能距離が短くなります。

ウィンドウガラスの曇り、霜を取りたいときは

J01012700036

お車の仕様に合わせ、参照ページをお読みください。

ヒートポンプエアコン付き車

- 冷房使用時にウィンドウガラスの曇りを取りたいときは →P.11-14
- 暖房使用時にウィンドウガラスの曇り、霜を取りたいときは →P.11-15

電気温水式ヒーター付き車

- ウィンドウガラスの曇り、霜を取りたいときは →P.11-16

⚠ 注意

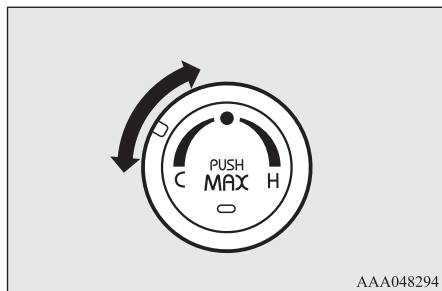
- 安全のため、ウィンドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。

冷房使用時にウィンドウガラスの曇りを取りたいときは

J01013901029

ヒートポンプエアコン付き車

1. 温度調整ダイヤルを●から C の間に設定し、好みの温度になるよう調整します。

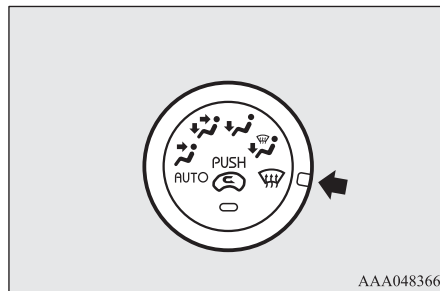


AAA048294

アドバイス

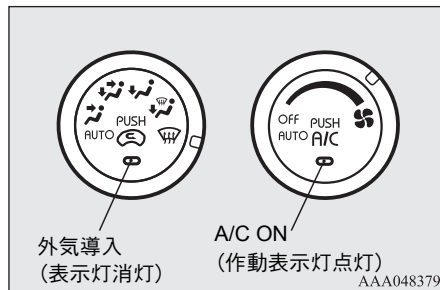
- 吹き出し口切り換えダイヤルを  (曇り取り) にしてエアコンを使用するときは設定温度を最低温度付近にしないでください。ウィンドウガラスの外側に露が付くことがあります。

2. 吹き出し口切り換えダイヤルを  (曇り取り) にします。



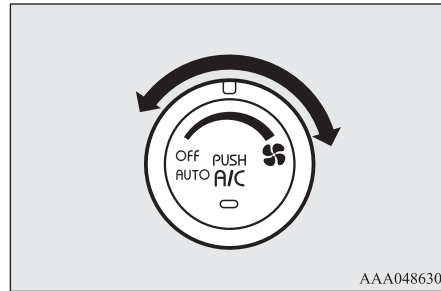
AAA048366

エアコンが自動的に作動し、外気導入 (表示灯消灯) に切り換わります。



AAA048379

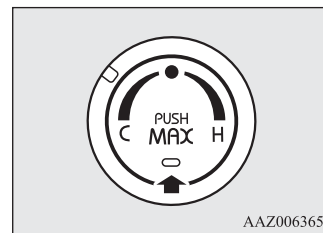
3. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。



AAA048630

アドバイス

- 早く曇りを取りたいときは、MAX スイッチを押します。



AAZ006365

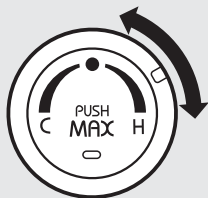
- MAX スイッチを使用した曇り取りは消費電力が大きいため、曇りが取れたら停止させてください。長時間使用すると、航続可能距離が短くなります。

暖房使用時にウインドウガラスの曇り、霜を取りたいときは

J01013801028

ヒートポンプエアコン付き車

1. 温度調整ダイヤルを●からHの間に設定し、好みの温度になるよう調整します。

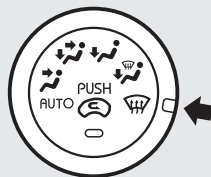


AAA048210

アドバイス

- Hに近い位置に設定すると、曇りが取りやすくなります。

2. 吹き出し口切り換えダイヤルを☼(曇り取り)にします。



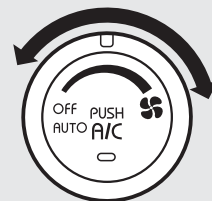
AAA048366

自動的に外気導入（表示灯消灯）に切り換わりませんが、エアコンは作動しません。

⚠ 注意

- 吹き出し口切り換えダイヤルを☼と☼の間にしてもウインドウガラスの曇り、霜を取ることができますが、自動的にエアコンは作動しません。また、外気導入にも切り換わりません。外気導入への切り換えは、内外気切り換えスイッチを操作して行ってください。

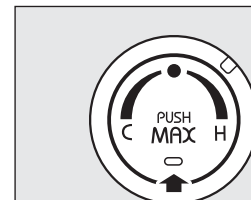
3. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。



AAA048630

📖 アドバイス

- 風量を多めに設定すると、曇り、霜が取りやすくなります。
- 早く曇り、霜を取りたいときは、MAX スイッチを押します。



AAZ005326

- MAX スイッチを使用した曇り、霜取りは消費電力が大きいため、曇り、霜が取れたら停止させてください。長時間使用すると、航続可能距離が短くなります。

📖 アドバイス

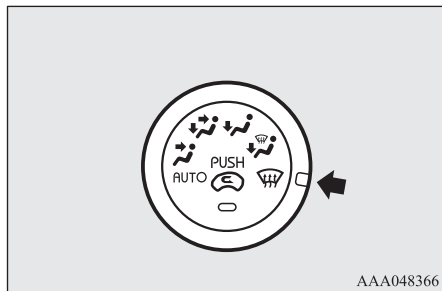
- 内外気切り換えスイッチの表示灯が点灯しているときに、温度調整ダイヤルが●の位置にある場合は、MAX スイッチを押すと一時的に曇りが広がる場合があります。このようなときは、内外気切り換えスイッチを押して外気導入にするか、温度調整ダイヤルを C 側に動かして、エアコンを作動させてください。

ウィンドウガラスの曇り、霜を取りたいときは

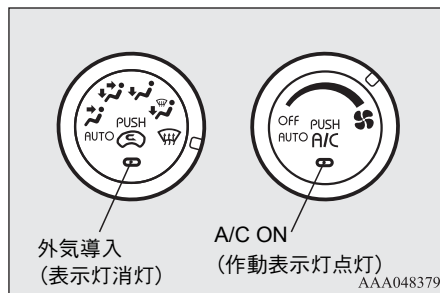
J01012701059

電気温水式ヒーター付き車

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを☼(曇り取り) にします。



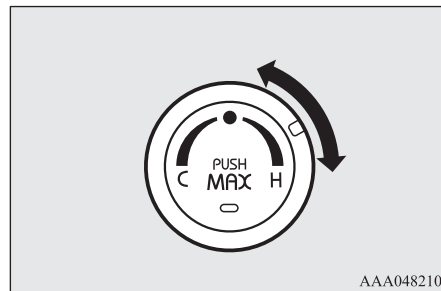
エアコンが自動的に作動し、外気導入(表示灯消灯) に切り換わります。



⚠️ 注意

- 吹き出し口切り換えダイヤルを☼と☼の間にしてもウィンドウガラスの曇り、霜を取ることができますが、自動的にエアコンは作動しません。また、外気導入にも切り換わりません。エアコンの作動および外気導入への切り換えは、エアコンスイッチおよび内外気切り換えスイッチを操作して行ってください。

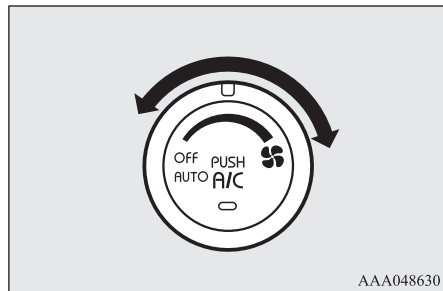
2. 温度調整ダイヤルを●からHの間に設定し、お好みの温度になるよう調整します。



📖 アドバイス

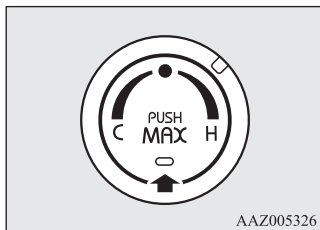
- 吹き出し口切り換えダイヤルを☼(曇り取り) にしてエアコンを使用するときは設定温度を最低温度付近にしないでください。ウィンドウガラスの外側に露が付くことがあります。

3. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。



アドバイス

- 早く曇り、霜を取りたいときは、MAX スイッチを押します。



- MAX スイッチを使用した曇り、霜取りは消費電力が大きいので、曇り、霜が取れたら停止させてください。
長時間使用すると、航続可能距離が短くなります。

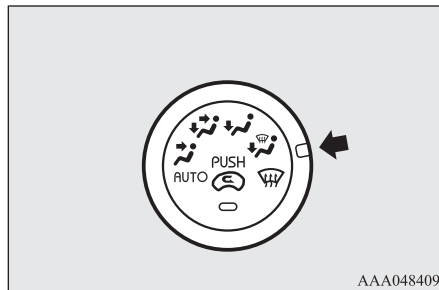
曇り止めと暖房を同時にしたいときは（ヒートポンプエアコン付き車）

J01012800037

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをつぎの位置にします。

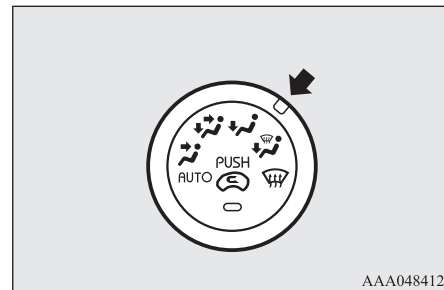
曇り止めを優先するとき

吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にします。

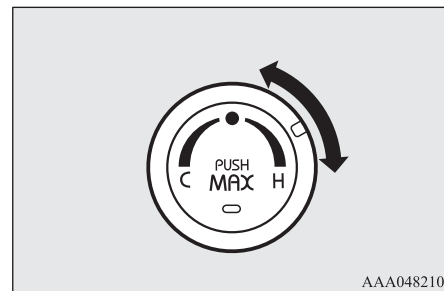


暖房を優先するとき

吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にします。



2. 温度調整ダイヤルを●からHの間に設定し、お好みの温度になるよう調整します。



アドバイス

- Hに近い位置に設定すると、曇りが取りやすくなります。

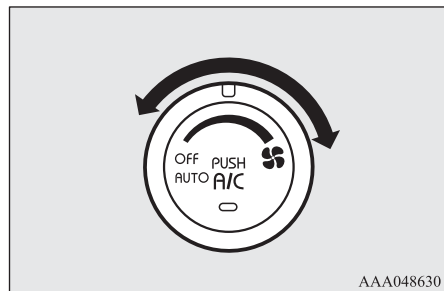
3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。



⚠ 注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。



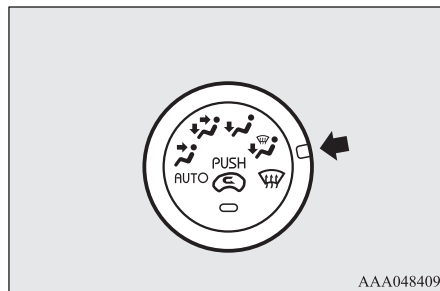
曇り止めと暖房を同時にしたいときは（電気温水式ヒーター付き車）

J01012800040

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをつぎの位置にします。

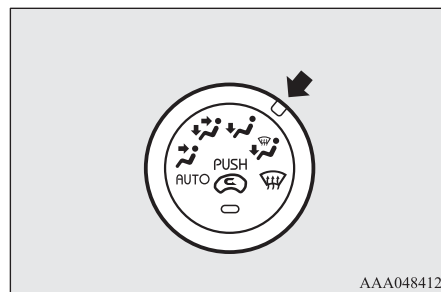
曇り止めを優先するとき

吹き出し口切り換えダイヤルを❶と❷の間にします。

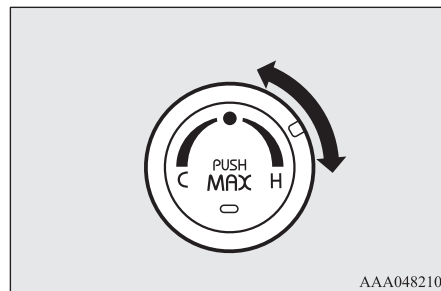


暖房を優先するとき

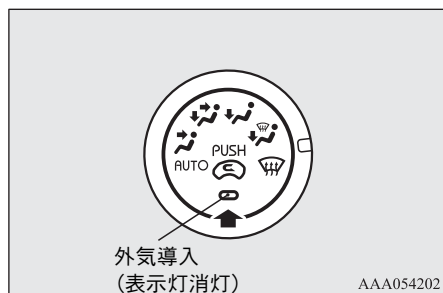
吹き出し口切り換えダイヤルを❸と❹の間にします。



2. 温度調整ダイヤルを●からHの間に設定し、お好みの温度になるよう調整します。



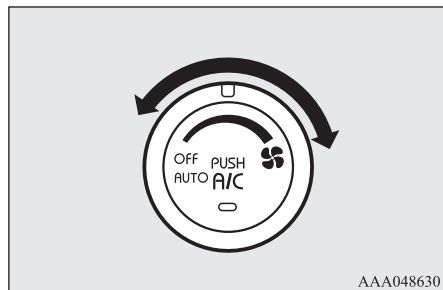
3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。



⚠ 注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。



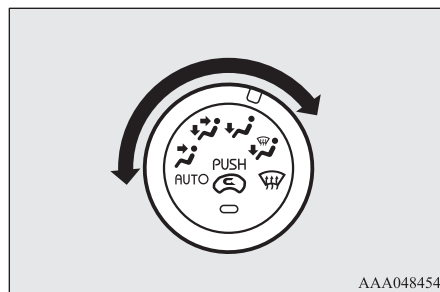
📖 アドバイス

- エアコンを使用すると除湿効果があります。

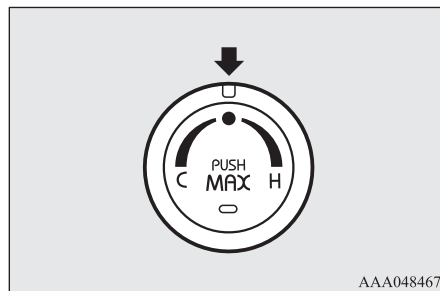
換気したいときは

J01012900025

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを🌀以外のお好みの位置に設定します。



2. 温度調整ダイヤルを●にします。



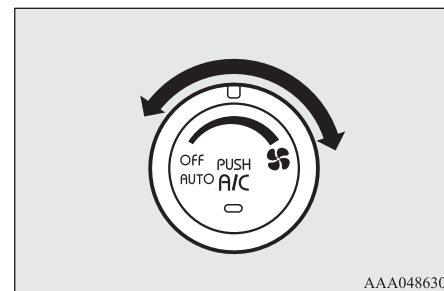
📖 アドバイス

- エアコンが作動しているときに温度調整ダイヤルを●にすると、エアコンは停止します。

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。



4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。



排気ガス、ほこりなどを車室内に入れたくないときは

J01013000010

トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内外気切り換えスイッチを押して内気循環にします。

→「内外気切り換えスイッチ」P.11-7

エアコンの上手な使い方

J01009400606

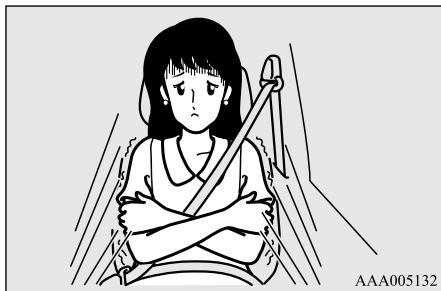
長時間炎天下に駐車したときは

車室内の温度は大変高くなります。このようなときはドアガラスを開けて車室内の熱気を車外に追い出してください。



冷やしすぎに注意

長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので、少し涼しいと感じる温度に調整してください。



定期点検を忘れずに

暑い季節になる前に冷媒ガス量の点検を行ってください。冷媒ガスが不足すると冷房効果が悪くなります。

⚠ 注意

- エアコンの冷媒ガスを充填する場合は、ボンネット内に貼付のエアコン冷媒ラベルに記載されている冷媒量をお守りください。規定量を超えて充填した場合、エアコンコンプレッサが故障するおそれがあります。

📖 アドバイス

- エアコンの効が悪い場合は冷媒ガスが不足またはないことが考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

航続可能距離を延ばすために

J01013100037

エアコンは駆動用バッテリーの電力を消費するため、過度に使用すると航続可能距離がいちじるしく短くなります。冷やしすぎや暖めすぎにならないように、風量をこまめに絞リ、さらに設定温度を控えめに調整してください。

クリーンエアフィルター (脱臭機能付き)

J01009500577

花粉、ほこり、たばこおよび排気ガスの臭いなどを取り除くフィルターを内蔵しています。フィルターに花粉やほこりな

どが付着すると効果が低下しますので、フィルターは定期的に交換することをおすすめします。

→「クリーンエアフィルターの交換のしかた」P.13-3

アドバイス

- 使用地域やエアコンの使用頻度によってはフィルターの寿命が短くなります。吹き出し風量が極端に減少したりガラスが曇りやすくなったときは交換時期ですので三菱自動車販売会社にご相談ください。
(交換時期の目安：1 年または 12,000km のいずれか早いとき)

充電中のエアコンの使い方

J01014400037

普通充電または急速充電中にエアコンを使用することができます。

工場出荷時は、充電中にエアコンが「作動しない」に設定されています。「作動する」に変更したいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医療用電気機器を使用している方は、充電中にエアコンを使用しているときに乗車しないでください。医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

アドバイス

- 充電中にエアコンを使用しているときにシートヒータースイッチやリヤウインドウデフォグガー（曇り取り）スイッチを ON にすると、シートヒーターやリヤウインドウデフォグガー（曇り取り）を作動させることができます。
→「シートヒーター」P.7-4
→「リヤウインドウデフォグガー（曇り取り）スイッチ」P.8-22
- 充電中にエアコンを使用すると、駆動用バッテリーへの充電が制限されるため、つぎようになります。
 - 普通充電時：
電力消費量が充電量よりも大きくなり、駆動用バッテリーへ充電されず、駆動用バッテリーの充電量が低下する場合があります。
 - 急速充電時：
充電時間が長くなる場合があります。また、急速充電器の仕様によっては、充電されず、充電量が低下する場合があります。

アドバイス

- 充電中にエアコンを使用すると、強い電磁波またはノイズによりラジオが聞こえなくなることがあります。

使用するとき

J01014500038

1. 普通充電または急速充電を開始します。
→「普通充電のしかた」P.5-4
→「急速充電のしかた」P.5-16
2. メーター内の充電ランプが点灯していることを確認します。

アドバイス

- 充電ランプが点灯していないと、エアコンが作動しません。充電が正しく行われているか確認してください。

3. パワースイッチを LOCK から ACC にします。

アドバイス

- パワースイッチは ON にしないでください。充電中に ON にするとエアコンが停止し、送風のみとなります。また、急速充電中は充電も停止するため、もう一度急速充電を開始する場合、再度課金されることがあります。

📖 アドバイス

- 充電中にエアコンを使用しているときは、キーレスエントリー機能またはキーレスオペレーション機能でドアおよびテールゲートを施錠することができません。盗難などを防ぐため、車から離れないでください。

4. エアコンの各ダイヤルおよびスイッチをお好みの設定にします。
→「目的に合った使い方」P.11-9

📖 アドバイス

- 駆動用バッテリー残量計の目盛りが 0 のとき、エアコンは作動しません。また、充電中にエアコンを使用しているときに駆動用バッテリー残量計の目盛りが 0 になると、エアコンが停止して、送風のみになり切り換わります。
- 電池暖房（タイプ別装備）が作動しているときは、充電中にエアコンは作動しません。
→「電池暖房」P.5-15
- つぎのようなときに、充電中のエアコンで得られる効果が小さくなることがあります。
 - ・外気温が非常に高いとき、または低いとき
 - ・日射が強いとき
 - ・駆動用バッテリーが満充電付近のとき

📖 アドバイス

- 電気温水式ヒーター付き車は、外気温が低いときにエアコンスイッチを押しても、充電中にエアコン（除湿機能）が作動しない場合があります。

停止するときは

J01014600039

パワースイッチを LOCK にします。

📖 アドバイス

- つぎの場合でも充電中にエアコンが停止します。このとき、必ずパワースイッチを LOCK にしてください。パワースイッチを ACC のままにしておくと、補機用バッテリーが上がる場合があります。
 - ・充電が完了したとき *
 - ・普通充電コネクターを取り外したとき
 - ・急速充電器側で充電停止操作を行ったとき
- *: 急速充電時間が 60 分を経過したとき、急速充電器側に設定されている停止条件（充電量・充電時間）となったときを含む
- 充電中にエアコンが停止したあとも、数秒間送風が続くことがあります。

プレ空調

タイプ別装備

J01013701030

乗車前にエアコンを作動させておくことができます。
詳しくは「プレ空調」をお読みください。
→P.5-26, 5-38

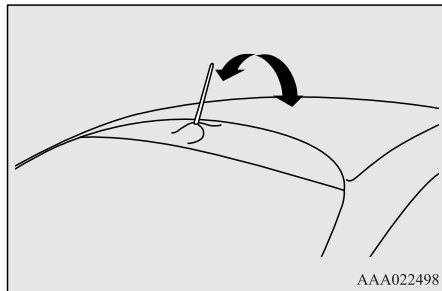
オーディオ

アンテナ 12-2

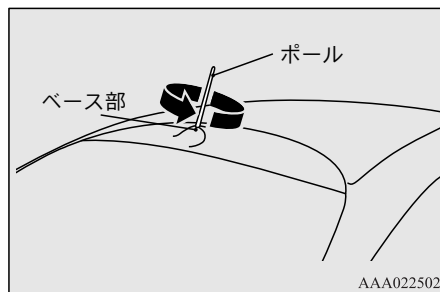
アンテナ

J01102200651

ルーフアンテナ



ラジオを聞くときは、アンテナをいっぱいまで起こしてからお聞きください。



取り付けるときは時計回りにまわしてボールをベース部にねじ込み、しっかりと取り付けてください。

アドバイス

- つぎのようなときは、アンテナを損傷するおそれがあるため必ずアンテナを取り外してください。
 - ・ 自動洗車機を使用するとき
 - ・ ボデーカバーをかけるとき
- 立体駐車場など天井の低い所へ入るときは、アンテナが当たらないように倒してください。

12 取り外し方、取り付け方

取り外すときはボールを反時計回りにまわします。

簡単な整備・車のお手入れ

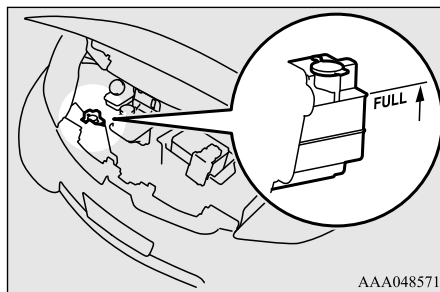
ウォッシャー液の点検・補給	13-2
タイヤメンテナンス	13-2
クリーンエアフィルターの交換のしかた	13-3
内装品のお手入れ	13-4
外装品のお手入れ	13-5

ウォッシャー液の点検・補給

J01200201974

タンク内の液面の位置で液量を点検します。

フロント・リヤ共用



AAA048571

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
極寒冷地の冬期	原液のまま	-50℃程度

⚠ 注意

- ウォッシャー液以外の液体を、タンクに入れないでください。ポンプの故障、ノズルの詰まり、塗装のしみなどの原因になることがあります。
- 冬期は、ウォッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

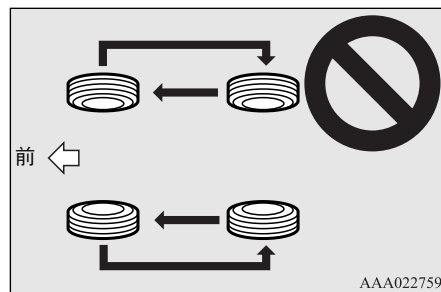
タイヤメンテナンス

J01202100143

タイヤローテーション

J01202400146

タイヤ、ホイールのサイズが前後で異なるため、タイヤローテーションはできません。



AAA022759

⚠ 警告

- タイヤローテーションをすると、車の安定性や操縦性が確保できず、重大な事故につながるおそれがあります。

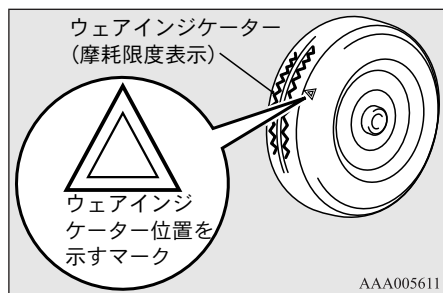
タイヤの摩耗

J01202500017

ウェアインジケーター（溝の深さ 1.6mm 以下）が現れたら、スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。

13 ウォッシャー液が不足している場合は、三菱自動車純正ウォッシャー液を気温に適した濃度で補給してください。

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液 1 に 水 2	-10℃程度
寒冷地の冬期	原液 1 に 水 1	-20℃程度



アドバイス

- ウェアインジケーターのマークや位置は、タイヤメーカーによって異なります。

タイヤ空気圧の点検・調整

J01202600106

タイヤの空気圧は定期的に点検し、必ず規定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P.16-5

警告

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、タイヤが偏摩耗したり、車の安定性や操縦性を確保できなくなるおそれがあります。また、バースト（破裂）するなど重大な事故につながるおそれがあります。

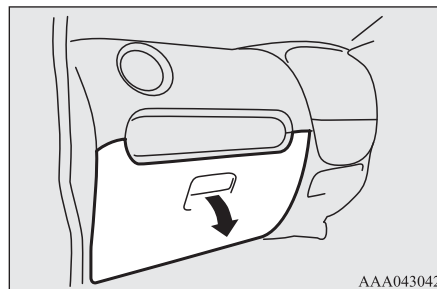
アドバイス

- 点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 規定の空気圧は運転席ドアを開けたボデー側のラベルにも表示しています。

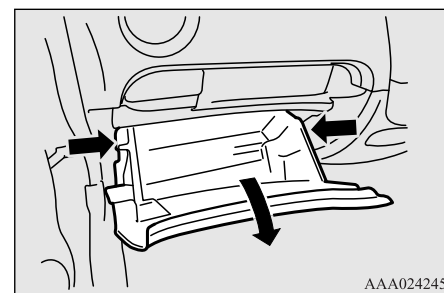
クリーンエアフィルターの交換のしかた

J01202001543

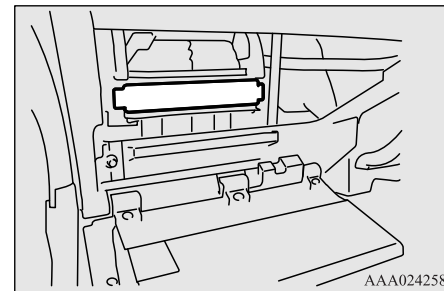
1. パワースイッチを LOCK にし、グローブボックスを開けます。



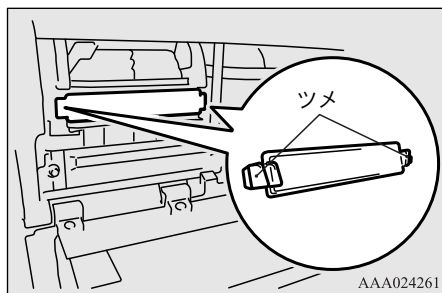
2. グローブボックスの側面を押しながら、左右のストッパーを外し、グローブボックスを下ろします。



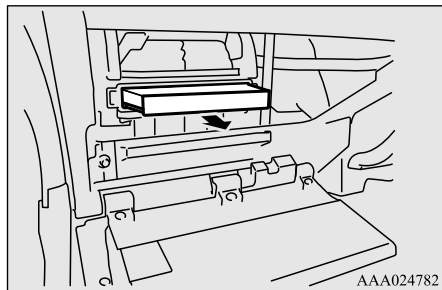
3. グローブボックスの奥にクリーンエアフィルターがあります。



4. カバー左右にあるツメを外して、カバーを外します。

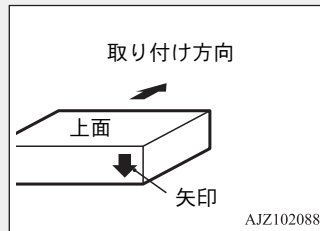


5. クリーンエアフィルターを取り出して新品と交換します。



⚠ 注意

- クリーンエアフィルターはエアコンおよび駆動用バッテリー冷却システムへの花粉やほこりなどの侵入を防いでいます。取り付けるときは、フィルターの矢印が図の向きになるよう確実に取り付けてください。取り付け方向を間違えると、フィルターの効果を十分に発揮しません。



6. 元に戻すときは、取り外したときと逆の手順で取り付けます。

内装品のお手入れ

J01200602265

1. 電気掃除機などでほこりを取り除きます。
2. ガーゼなどの柔らかい布に、中性洗剤を薄めた水溶液を含ませて、軽くふき取ります。
3. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって、洗剤をきれいにふき取ります。

4. 水分をよくふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠ 注意

- シリコンやワックスを含むクリーナーや保護剤を使用しないでください。インストルメントパネルなどに使用すると使用箇所がウインドウガラスに映り込み、視界の妨げになるおそれがあります。また、各種スイッチなどに付着すると電装品の故障につながるおそれがあります。
- 見えにくい場所や狭い場所のお手入れをするときは、手袋などを使用して、手にはがをしないよう注意してください。

📖 アドバイス

- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみ、割れの原因になります。また、各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 液体芳香剤は、こぼれないよう容器を確実に固定してください。また、インストルメントパネルの上やランプ類、メーターの近くには置かないでください。含まれる成分によって樹脂部品や布材の変色、ひび割れをおこすおそれがあります。

本革

タイプ別装備

J0120270080

1. ガーゼなどの柔らかい布に、ウール用中性洗剤の5%水溶液を含ませて、汚れをふき取ります。
2. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって、洗剤をふき取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分をふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。

アドバイス

- 水をこぼしたり、雨などでぬれたときは、乾いた柔らかい布で早めに水分をふき取ってください。
- ナイロンブラシ、合成繊維類で強くこすると表面を傷つけるおそれがあります。
- 本革の汚れはカビなどの原因となります。油污れなどは、早めに落としてください。
- 直射日光に長時間さらすと表面が日焼けしたり、硬くなって縮むことがあります。できるだけ日陰に駐車してください。

外装品のお手入れ

J0120070084

お車を美しく保つために、走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。

つぎのような汚れは、そのままにしておきますと、腐食、変色、しみになるおそれがありますので、できるだけ早く洗濯してください。

- 海水や道路凍結防止剤など
- 工場のばい煙、油煙、粉じん、鉄粉、化学物質（酸、アルカリ、コーラタールなど）など
- 鳥のふん、虫の死がい、樹液、花粉など

注意

- 下回りやホイールを洗うときは、厚手のゴム手袋などを使用して、手にけがをしないよう注意してください。

洗車のしかた

J01202800629

1. 水をかけながら、車体の下回りを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら、スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには、中性洗剤を使用してください。
洗車後は、中性洗剤を水で完全に洗い落とします。
4. 鳥のふんや虫の死がいなどの汚れは、水で洗い落とし、必要に応じてワックスで汚れを落とします。

5. 柔らかい布またはセーム皮で、塗装面にはん点が残らないよう水分をふき取ります。

警告

- 駆動用バッテリーを充電しながら洗車をしないでください。
火災、感電の原因となります。
- 洗車をする前には、充電リッドおよび中ブタが確実に閉まっていることを確認してください。
リッドが開いていると充電装置に水がかかり、火災、感電の原因となります。
- パワーユニットルーム内には水をかけないでください。火災、感電の原因となります。

注意

- 洗車時はパワースイッチを LOCK にしてください。
- 高圧の洗浄機を使用して下回りの洗車をしないでください。
パワーユニットの不調や故障の原因になります。
- 洗車後は、低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキを乾かしてください。
ぬれたままにしておくとブレーキの効きが悪くなったり、凍結やさびによってブレーキが固着し、走行できなくなることがあります。

アドバイス

- 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり、劣化を早めるおそれがあります。
- 洗淨機（コイン洗車機など）は機種によって高温、高圧のものがああります。車体樹脂部品の熱変形、破損、接着式マーク類のはがれ、室内への水浸入などのおそれがありますので、つぎのことをお守りください。
 - ・洗車ノズルと車体との距離を十分離す。（約 70cm 以上）
 - ・ドアガラス回りを洗うときは、洗車ノズルをガラス面に垂直に向け、洗車ノズルとガラスとの距離を十分離す。（約 70cm 以上）
- 自動洗車機を使用するときは、部品が破損したり、車両を傷つけるおそれがありますので、ドアミラーを格納し、アンテナを取り外してください。リヤスポイラー付き車は、使用する前に必ず係員にご相談ください。係員のいないコイン洗車機などは、操作要領にしたがって洗車してください。

ワックスのかけ方

J01202900343

月に 1~2 回または、水をはじかなくなるときにかけます。

ワックスかけは、洗車後の塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。塗装面が熱いときにワックスをかけると、しみの原因になります。

アドバイス

- 三菱自動車純正ワックスの使用をおすすめします。
- コンパウンド（研磨剤）入りのワックスは使用しないでください。コンパウンド入りのワックスを使用すると、汚れ落ちはよくなりますが、塗装面やメッキ面を削り取るため塗装面の光沢が失われる原因になります。また、使用した布に色が付着し色落ちするおそれがあります。特に濃彩色は変色部分がめだちやすくなります。
- 黒色のつや消し塗装部にワックスをかけると、色むらなどが起こるおそれがありますので、ワックスをかけないでください。ワックスが付着したときは、温水を用い柔らかい布できれいにふき取ってください。

アドバイス

- 洗車やワックスがけを行うときは、車体の一点に強い力がかからないよう注意してください。力のかけぐあいや場所によっては、万一の場合、車体がへこむおそれがあります。



ウインドウガラスのお手入れ

J01203000178

ワイパーのふきが悪くなったときは、ウインドウガラス洗淨剤（ガラスクリーナー等）で清掃してください。

アドバイス

- 三菱自動車純正ウインドウガラス洗淨剤の使用をおすすめします。
- ガラスの内側を清掃するときは、電熱線を傷つけないよう電熱線に沿って柔らかい布でふいてください。

ワイパーのお手入れ

J01201100087

ワイパーゴムに異物が付着していたり、摩耗しているとふきが悪くなりますので、つぎのように処置してください。

- 異物が付着しているときは、水を含ませた柔らかい布でワイパーゴムを清掃してください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは、早めにワイパーゴムを交換してください。

アドバイス

- ワイパーゴムの交換については、別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

樹脂部品のお手入れ

J01201500108

スポンジまたはセーム皮で清掃します。黒色や灰色系統で表面がざらざらしている部分（バンパーやモールディングなど）およびランプ類にワックスが付着すると白くなることがあります。ワックスが付着したときは、温水を用い柔らかい布またはセーム皮などできれいにふき取ってください。

アドバイス

- たわしなどの硬いものは、表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りワックスは、樹脂の表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- ガソリン、軽油、ブレーキ液、エンジンオイル、グリース、塗装用シンナー、硫酸（バッテリー液）を付着させると、変色、しみ、ひび割れの原因になりますので、絶対に避けてください。万一、付着したときは、すみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布またはセーム皮などでふき取ったあと、多量の水で洗い流してください。

塗装の補修

J01201700070

飛び石や引っかき傷などは、腐食の原因になります。見つけたら早めにタッチアップペイントで補修してください。

アドバイス

- 三菱自動車純正タッチアップペイントの使用をおすすめします。



寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備	14-2
走行前の点検	14-2
雪道，凍結路の走行	14-3
寒冷地での駐車	14-4
タイヤチェーン	14-4
ヒートポンプエアコン付き車	14-5

冬期前の点検と準備

J01300102506

冷却水・温水ヒーター液

工場出荷時は不凍液濃度 50% の冷却水および温水ヒーター液を充填しているため、濃度の調整は不要です。

ウォッシャー液

ウォッシャー液（三菱自動車純正品）の濃度を 50% 以上にします。

→「ウォッシャー液の点検・補給」P.13-2

補機用バッテリー

液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や充電をしてください。

アドバイス

- バッテリー液の補給は「メンテナンスノート」をお読みください。

タイヤチェーン、または冬用タイヤの準備

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。

→「タイヤチェーン」P.14-4

冬用タイヤに取り換えるときは、4 輪とも交換します。

→「タイヤ交換のしかた」P.15-22

ワイパー

寒冷地用ワイパーは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムでおおってあります。

寒冷地用ワイパーに交換するときは、必ず三菱自動車純正品をご使用ください。

アドバイス

- フロントワイパーを寒冷地用ワイパーに交換するとき、ウォッシャーノズルの噴射位置を調整する必要があります。フロントワイパーを寒冷地用ワイパーに交換するときは、必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。

走行前の点検

J01300201874

日常点検時につぎの点検を追加してください。

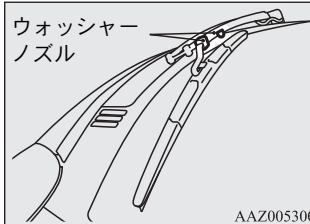
ガラス、ランプ類、車の屋根の雪や霜を落とす

走行前にガラスやランプ類に付いた雪や霜および車の屋根に積もった雪を落としてください。

また、ワイパーブレードがガラスに凍りついていないか確認してください。

アドバイス

- 雪や霜を落とすときは、ワイパーアームに付いているウォッシャーノズルを破損させないように注意してください。



⚠ 注意

- 車の屋根に雪が積もったまま走行すると、走行中ガラスに雪が落ちて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ワイパー作動中に雪が落ちた場合、ワイパーの故障の原因となります。
- 冬季はワイパーブレードが凍結しガラスに張り付くことがあります。ガラスに張り付いたまま動かすとワイパーブレードを痛めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。フロントガラスの場合は、ヒーターで暖めてください。
→「ウインドウガラスの曇り、霜を取りたいときは」P.11-13

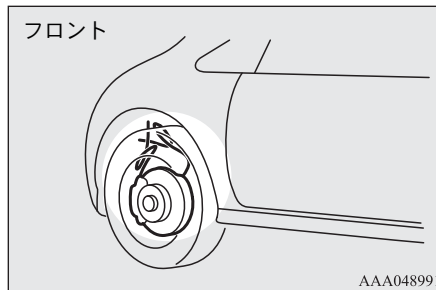
足回りの確認

足回りに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に氷塊が部品を損傷するおそれがあります。

⚠ 注意

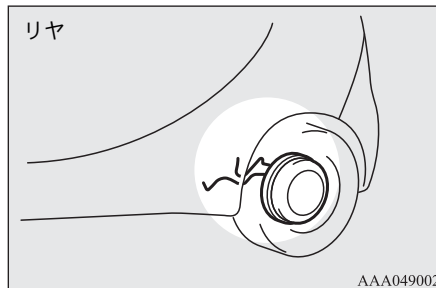
- 足回りにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して取り除いてください。

フロント



AAA048991

リヤ



AAA049002

ドアの凍結

ドアが凍結したときに無理に開けようとするとドア回りのゴムがはがれたり、き裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分ふき取ってください。

📖 アドバイス

- キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。

車に乗る前に

ペダルのすべりや、ウインドウガラスの曇りを防止するため、靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

ペダル、ハンドル、ブレーキの効きの確認

- ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。
- ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。走り始めの極低速時にブレーキペダルを踏んで、効き具合を確認してください。

雪道、凍結路の走行

J01300301732

雪道や凍結した道路はスリップに注意

- 速度はひかえめにしてください。

寒冷地での駐車

- タイヤチェーンを後輪に装着、または4輪とも冬用タイヤに交換してください。
- 橋の上、日陰、水たまり、トンネルの出入口付近などは路面が凍結していることがあります。慎重な運転を心がけ、急ブレーキ、急ハンドル、急なアクセル操作は避けてください。

車間距離は十分に

雪道、凍結路は滑りやすいため、ブレーキの効きが悪くなります。走行中は車間距離を十分にとってください。

フェンダー内の雪は早めに取除く

走行中にはね上げた雪がフェンダー内に着氷しハンドルの切れが悪くなることがあります。氷塊を取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。走行中は前後の車や道路状況に注意し、ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

⚠ 注意

- 回生ブレーキは駆動用バッテリーの温度が低いほど効きが弱くなり、極寒時では効かなくなる場合があります。このとき、回生ブレーキ力警告灯が点滅します。
→ 「極寒時の注意事項と対処方法」P.2-7
→ 「回生ブレーキ力警告灯」P.8-12

駐車後の発進は慎重に

ブレーキ装置への着氷により車輪がロックしていることがあります。車のまわりの安全を十分確認してからゆっくり発進してください。

⚠ 注意

- 急にアクセルペダルを踏み込まないでください。着氷によるロックが外れたときに急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

洗車は早めに

寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。さびの原因になりますので、下回りを中心に早めに洗車してください。

⚠ 注意

- 高圧の洗浄機を使用して下回りの洗車をしないでください。パワーユニットの不調や故障の原因になります。

寒冷地での駐車

J01300401704

駐車ブレーキが凍結するおそれがあります。駐車ブレーキはかけず、セレクトレバーをP^①に入れさらに輪止めをしてください。また軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪や積雪の重みで屋根などのへこみや車体が損傷するおそれがあります。

📖 アドバイス

- 輪止めは、三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

タイヤチェーン

J01300702238

後輪駆動車ですので、タイヤチェーンは後輪に取り付けてください。

⚠ 注意

- タイヤチェーンは前輪に取り付けないでください。

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正部品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。三菱自動車純正部品以外のタイヤチェーンを装着すると、ボデーなどにあたり傷をつけるおそれがあります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。取り付け要領は、タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

⚠ 注意

- 路上でタイヤチェーンをかけるときは、交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らで硬い場所を選びます。また、非常点滅灯や停止表示板で後続車に注意を促し同乗者は安全な場所に待機させてください。
- タイヤチェーンを取り付けるときは、厚手のゴム手袋などを使用してください。車体端部などでけがをするおそれがあります。

📖 アドバイス

- ホイールカバーを外してからタイヤチェーンを取り付けてください。ホイールカバーを付けたままタイヤチェーンを取り付けると、ホイールカバーが傷つくおそれがあります。
→ 「ホイールカバー」 P.15-25
- タイヤチェーンを装着したときは30km/h 以下で走行してください。
- 雪道、凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので、避けてください。

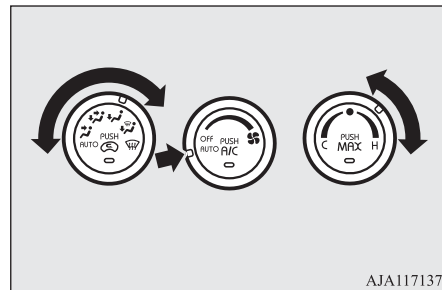
ヒートポンプエアコン付き車

J0130100029

降雪時など、外気温が低く湿度が高いときに暖房を使用すると、エアコン機器に霜が付いて、暖房性能が低下または航続距離が短くなることがあります。

パワーユニットを起動するときに、エアコンの各ダイヤルをあらかじめつぎのように設定しておく、自動でエアコン機器の霜取り運転を行い、暖房性能の低下または航続距離が短くなることを低減させることができます。

- 吹き出し口切り換えダイヤル：☼（曇り取り）以外
- 風量調整ダイヤル：AUTO
- 温度調整ダイヤル：● から H の間



AJA117137



もしものときの処置

警告灯が点灯または点滅したときは！	15-2
ブザーが聞こえたときは！	15-6
こんなことでお困りのときは！	15-7
故障したときは！	15-10
発炎筒を使うときは！	15-11
工具とジャッキ	15-11
ジャッキアップのしかた	15-13
パンクタイヤ応急修理キット	15-15
タイヤ交換のしかた	15-22
補機用バッテリーが上がったときは！	15-26
けん引	15-29
ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！	15-32
ヒューズが切れたときは！	15-32
バルブ（電球）が切れたときは！	15-36

警告灯が点灯または点滅したときは！

警告灯が点灯または点滅したときは！

J01400102839

ただちに安全な場所に停車し、最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。
ブレーキ警告灯は駐車ブレーキをかけたままのときも点灯します。駐車ブレーキを解除し、消灯すれば異常ではありません。

	ブレーキ警告灯 (ブレーキ警告ブザー)	P.8-12		補機用バッテリー 充電警告灯	P.8-13
	パワーユニット警告灯	P.8-13		セレクトレーバー 位置表示	P.9-7

ただちに最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	SRS エアバッグ／ プリテンショナー機構 警告灯	P.7-12, 7-25
---	---------------------------------	--------------

15

できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

EPS	電動パワーステアリング 警告灯	P.9-16
-----	--------------------	--------

安全な場所に停車し、セレクトーレバーを **P** に入れてパワースイッチを LOCK にしてください。

再度パワーユニットを起動し、その後しばらく走行しても点灯しなければ異常ありません。

消灯しないときやたびたび点灯するときは、できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは、急ブレーキや高速走行を避け、ただちに車を安全な場所に停めて最寄りの三菱自動車販売会社に連絡してください。

	ABS 警告灯	P.9-15	 および  OFF	アクティブスタビリティ コントロール (ASC) 作動表示灯 および ASC OFF 表示灯	P.9-18
---	---------	--------	--	--	--------

警告灯が点灯または点滅したときは！

すぐに停車する必要はありませんが、できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

	キーレスオペレーション システム表示灯	P.6-10		LED ヘッドライト警告灯	P.8-17
	ヘッドライト オートレベルリング 警告灯	P.8-18			

参照ページをお読みになり処置してください。

	シートベルト警告灯	P.7-10		駆動用バッテリー 残量警告灯	P.8-9
	半ドア警告灯	P.8-13		パワーダウン警告灯	P.8-13
	充電ランプ (点滅)	P.8-11		回生ブレーキ力警告灯 (点滅)	P.8-12

15

	車両接近通報装置警告灯	P.9-13
---	-------------	--------

定期点検時期が近づいたことを知らせます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

	サービスリマインダー	P.8-5
---	------------	-------

ブザーが聞こえたときは！

ブザーが聞こえたときは！

J01400201833



AAJ000837

誤操作や盗難防止などのため警報ブザーで注意を促す機能が装備されています。参照ページをお読みにになり正しく操作してください。

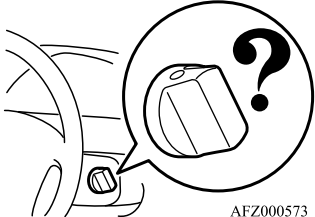
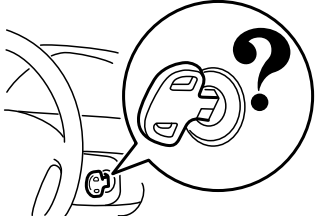
現象	機能	参照ページ
運転席ドアを開けるとブザーが鳴る。	「パワースイッチ切り忘れ警告ブザー」 「キー抜き忘れ警告ブザー」 「ライト消し忘れブザー」	→P.6-18 →P.6-18 →P.8-17
いずれかのドアを開けるとブザーが鳴る。	「キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構」	→P.6-11
15 運転席ドアおよびテールゲートのスイッチを押して施錠しようとするときブザーが鳴る。	「キー閉じ込め防止機構」 「半ドア防止機構」 「パワースイッチ切り忘れ防止機構」	→P.6-11 →P.6-12 →P.6-12
ドアまたはテールゲートを施錠・解錠するときブザーが鳴る。	「キーレスオペレーションシステム：施錠・解錠時の作動確認」	→P.6-7, 6-15

現象	機能	参照ページ
パワースイッチを ON にしたときにブザーが鳴る。	「セキュリティアラーム」 「シートベルト警告」	→P.6-22 →P.7-10
走行中にブザーが鳴る。	「シートベルト警告」 「半ドア警告灯」	→P.7-10 →P.8-13
車を後退しようするとブザーが鳴る。	「後退（リバース）ブザー」	→P.9-8
ブレーキペダルを何度も繰り返して踏み込むとブザーが鳴る。	「ブレーキ警告ブザー」	→P.8-12
セクターレバーを操作したときにブザーが鳴る。	「充電コネクタ抜き忘れ警告ブザー」	→P.5-3

こんなことでお困りのときは！

J01400303258

現象	処置
水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」→ P.3-11
走行中に READY（走行可能）表示灯が消灯した	通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。 「走行中に READY（走行可能）表示灯が消灯したときは」 → P.3-13

現象	処置
パワースイッチが回らない。 (キーレスオペレーション機能を使ってパワーユニットを起動するとき)  AFZ000573 (エマージェンシーキーを使ってパワーユニットを起動するとき) 	[キーレスオペレーション機能を使ってパワーユニットを起動するとき] LOCK (PUSH OFF) から ACC に回らない キーレスオペレーションキーが車室内にあることを確認します。 「パワーユニットを起動するときの作動範囲」 → P.6-6 再度パワースイッチを押してハンドルを左右に動かした後、パワースイッチを回してください。 ACC から LOCK に回らない セクターレバーが P に入っているか確認してください。 「パワーユニットの起動：ACC から LOCK に回すときは」 → P.6-9 [エマージェンシーキーを使ってパワーユニットを起動するとき] LOCK から ACC に回らない ハンドルを軽く左右に動かしながらパワースイッチを回してください。 ACC から LOCK に回らない セクターレバーが P に入っているか確認してください。 「エマージェンシーキー：ACC から LOCK に回すときは」 → P. 6-12
キーレスオペレーション機能が作動しない。	エマージェンシーキーを使ってドアの施錠・解錠操作、パワーユニットの起動操作を行ってください。 「キーレスオペレーションシステム：キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは」 → P.6-12
セクターレバーが P から動かない。	ブレーキペダルを踏んでからセクターレバーを操作してください。 パワースイッチが ON になっているか確認してください。 「セクターレバーの動かし方」 → P.9-6

現象	処置
雨の日、湿気の多い日などに窓が曇る。 	外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り、霜を取りたいときは」 → P.11-13
パンクした。 	1. あわてずに、ハンドルをしっかり持ち、安全な場所に車を停止します。 2. パンクしたタイヤの応急修理をします。 「パンクタイヤ応急修理キット」→ P.15-15
・ パワーユニットが起動しない。 [READY（走行可能）表示灯が点灯しない。] ・ ライトが点灯しない、暗い。 ・ ホーンが鳴らない、音が小さい。 ・ 充電ができない	補機用バッテリーが上がっているおそれがあります。 「補機用バッテリーが上がったときは！」→ P.15-26
MiEV リモコンが正常に作動しない。	「正常に作動しないときの処置」を参照してください。→P.5-41

故障したときは！

現象	処置
タイヤがスリップして発進できない。 (ぬかるみ、雪道、凍結路などの発進時)	1. 毛布か布などがあるときは、それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。そして、ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進してください。 2. 何も滑り止めにするものがないときは、前後進をくり返して車の反動を利用して脱出します。

⚠ 注意

- 車の反動を利用して脱出するときは、車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- ぬかるみなどにはまったときは、むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み、かえて脱出しにくくなります。数回試して脱出できないときは、専門業者に依頼してください。

故障したときは！

J01400401877

故障して動けなくなったときは、同乗者または付近の人に応援を求め、安全な場所まで車を押して移動します。
このとき、パワースイッチを ON にしてセレクターレバーを **N** に入れてください。

15 踏切内で動けなくなったときは

脱輪などで、すぐに車を動かせないときは、すみやかに同乗者を避難させ、踏切の非常ボタンを押します。

⚠ 注意

- 電車が近づいているときや、緊急を要するときは、発炎筒で合図してください。

📖 アドバイス

- パワースイッチを START の位置で保持しても、緊急避難的に車を動かすことはできません。

一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため、車を路肩に寄せ、非常点滅灯を点滅させるか、停止表示板などで故障表示します。

高速道路、自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では、車両後方に停止表示板を置くことが義務づけられています。
人は車内に残らず、路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

📖 アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

修理の連絡先

別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

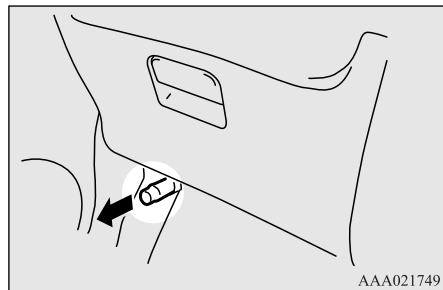
発炎筒を使うときは！

J01400501487

発炎筒は、高速道路や踏切などで故障したときに使用します。

使用したときや期限切れのときは、三菱自動車販売会社でお買い求めください。

発炎筒は、グローブボックスの左下部に備えつけてあります。



警告

- お子さまには、発炎筒をいじらせないでください。
- 人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。
- ガソリンなど燃えやすいものの近くでは使用しないでください。火災をまねくおそれがあります。

警告

- トンネル内では使用しないでください。煙により視界が悪くなり、重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

アドバイス

- 使い方は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。
→「非常点滅灯スイッチ」P.8-19
- 発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）がありますので、有効期限が切れる前に三菱自動車販売会社でお買い求めください。

工具とジャッキ

J01400600449

注意

- ジャッキは、タイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。
- 車両に搭載されているジャッキは、お客様のお車専用です。他の車両に使用したり、他の車両のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車両を損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

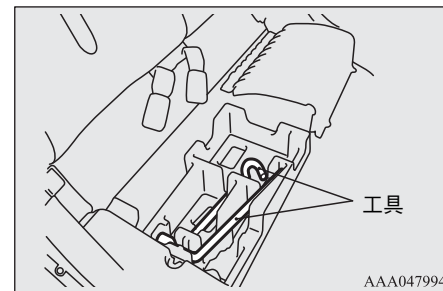
- 工具の種類、ジャッキの使い方は、万一のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

格納場所

J01405800257

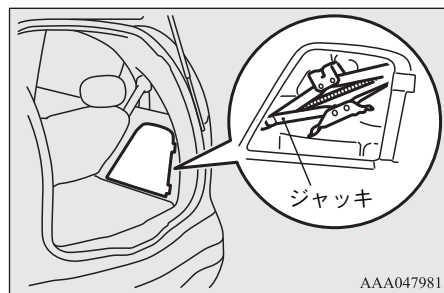
工具

リヤシートクッションの下に格納されているパンクタイヤ応急修理キットの下に格納されています。



ジャッキ

ラゲッジルームの右側に格納されています。

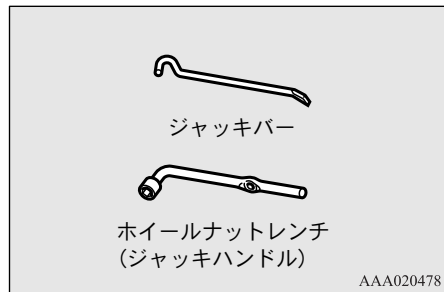


⚠ 注意

- 工具やジャッキを使用した後は、元の位置に確実に格納してください。室内などに放置すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

工具の種類

J01404300590



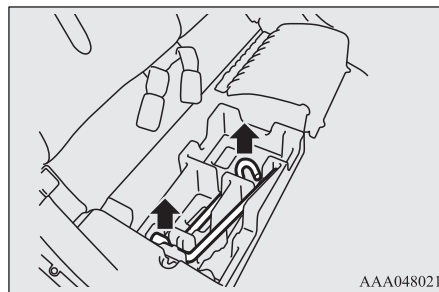
工具、ジャッキの脱着

J01404200762

工具

取り出すときは

- 1.パンクタイヤ応急修理キットを取り外します。
→「パンクタイヤ応急修理キット」P.15-15
- 2.工具を取り出します。



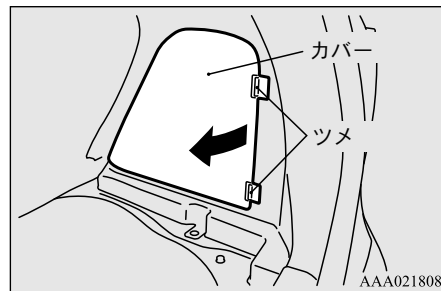
格納するときは

取り出すときの逆の手順で行います。

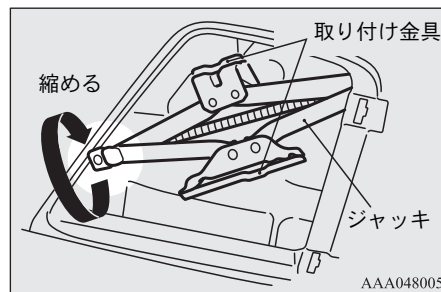
ジャッキ

取り出すときは

1. ツメを外しカバーを外します。

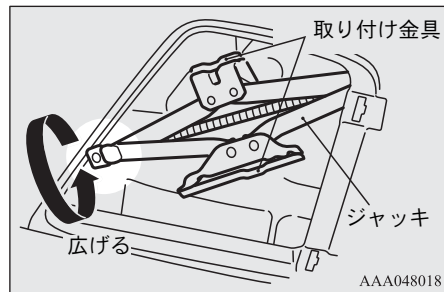


2. ジャッキを縮めて取り付け金具から取り外します。



格納するときは

1. ジャッキを縮めてから取り付け金具に置きます。
2. ジャッキを広げて確実に固定します。



3. カバーを取り付けます。

ジャッキアップのしかた

J01400701548

⚠警告

- ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れたとき、重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

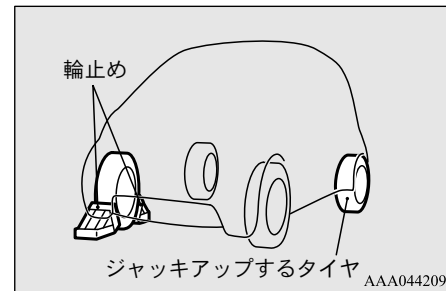
- ジャッキアップするときは安全のため、つぎのことを必ず守ってください。万一の場合、ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
- READY（走行可能）表示灯を点灯させたまにしない。
- 人や荷物を乗せたままにしない。
- 地面が平らで硬い場所以外では使用しない。
- 凍結した路面では使用しない。
- ジャッキの上や下に物をはさまない。
- ジャッキアップ中に車をゆすらない。
- ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
- ジャッキアップしたまま放置しない。

1. 交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ、セレクトレバーをPに入れて、パワースイッチをLOCKにします。
3. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ、人や荷物を車から降ろし、停止表示板を車両後方に置きます。

📖アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



⚠注意

- ジャッキアップするときは、必ず輪止めを使用してください。万一、ジャッキアップ中に車両が動いたとき、ジャッキが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

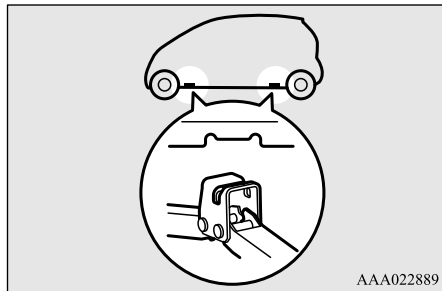
📖アドバイス

- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

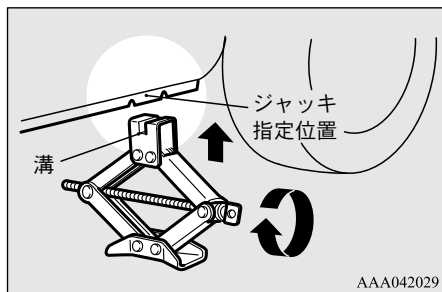
5. 工具とジャッキを取り出します。
→「工具とジャッキ」P.15-11

ジャッキアップのしかた

6. ジャッキアップするタイヤに近い指定位置にジャッキをセットします。



7. ジャッキ頭部の溝がジャッキ指定位置にはまるまで、ジャッキを手で右に回して上げます。



⚠ 警告

- ジャッキ頭部の溝は、指定された位置以外にかけないでください。指定された位置以外にかけると、車体がへこんだり、ジャッキが倒れて、重大な傷害を受けるおそれがあります。

8. ジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）の穴にジャッキバーを差し込み、タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）を右に回します。



⚠ 注意

- 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。必要以上にジャッキアップすると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

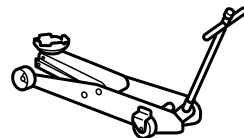
ガレージジャッキを使用するときは

J01407100065

⚠ 警告

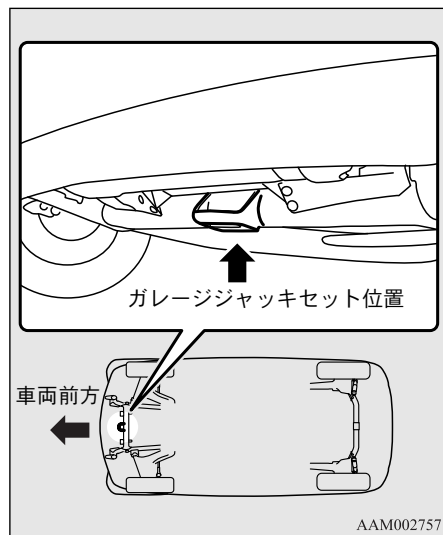
- ガレージジャッキを使用するときは、必ず指定のガレージジャッキセット位置に当ててジャッキアップしてください。指定された位置以外に当ててジャッキアップすると、車両を損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ガレージジャッキ

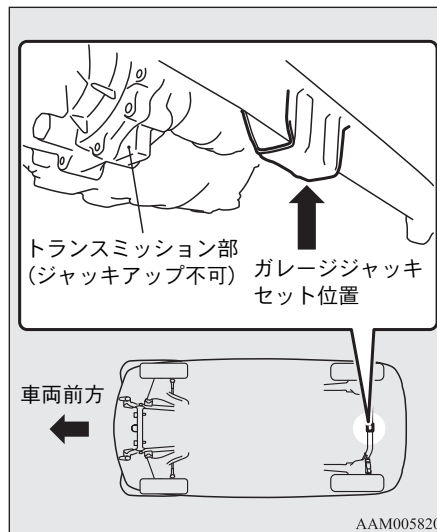


ガレージジャッキセット位置

フロント

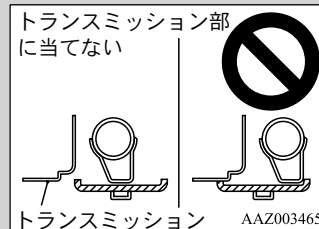


リヤ



警告

- リヤ側をジャッキアップするときは、トランスミッション部にガレージジャッキを当ててジャッキアップしないでください。トランスミッション部にガレージジャッキを当ててジャッキアップすると、車両を損傷するおそれがあります。



パンクタイヤ応急修理キット

J01403801843

本キットはタイヤ接地部に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクを応急修理するものです。

パンクタイヤ応急修理キット付き車には、スペアタイヤが搭載されていません。

警告

- パンクタイヤ応急修理キットは必ず三菱自動車純正品を使用してください。

⚠ 注意

- 応急修理剤を飲用すると健康に害があります。もし誤って飲用した場合は、できるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤がもし目に入ったり、皮膚に付いたりした場合は、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。
- 応急修理剤にお子さまが誤って手を触れないようご注意ください。
- 応急修理キットで応急修理を行うときは、車を地面が平らで安全な場所に止めてください。

📖 アドバイス

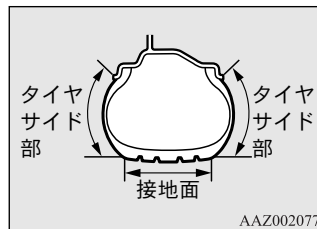
- つぎのような場合は、応急修理剤を使って修理することができません。
三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。JAF の営業所は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

📖 アドバイス

- 応急修理剤の有効期限が切れているとき（有効期限はボトルのラベルに記載されています。）



- タイヤが2本以上パンクしているとき
- およそ 4mm 以上の切り傷や刺し傷によるパンクのとき
- タイヤサイド部（接地面以外の部分）が損傷を受け、パンクしたとき

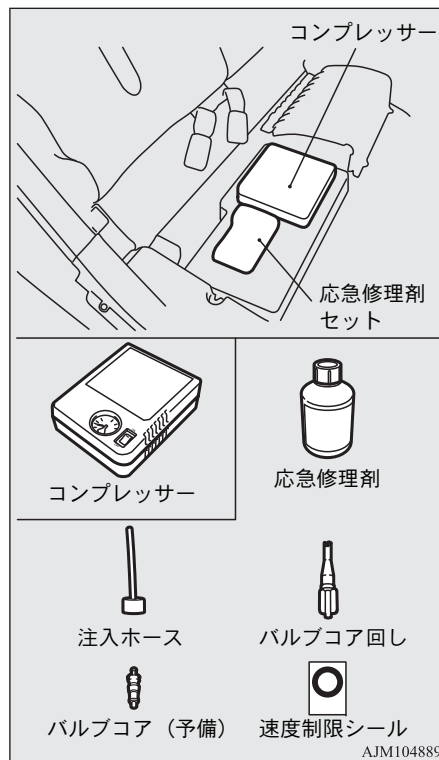


- 空気がほとんど抜けた状態で走行したとき
- タイヤがホイールの外側へ完全に外れているとき
- ホイールが破損しているとき

📖 アドバイス

- タイヤに刺さった釘やネジなどは、抜かずにそのまま応急処置をしてください。
- 応急修理剤が衣服などに付着すると、おちないおそれがあります。
- 応急修理剤には有効期限がありますので、定期的に点検を行ってください。有効期限が切れる前に三菱自動車販売会社でお買い求めください。

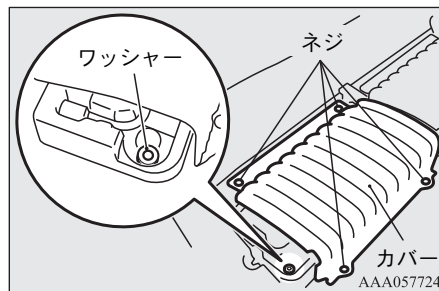
格納場所と内容



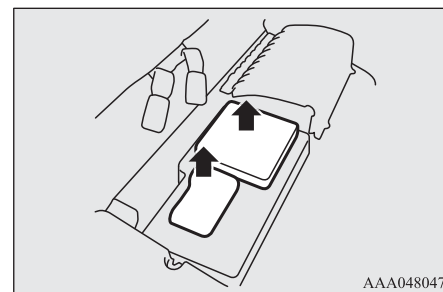
脱着

取り出すときは

1. リヤシートクッションを取り外します。
→「リヤシートクッション」P.7-6
2. 手持ちのコインや図の位置にあるワッシャーを利用してネジ（4 箇所）を外し、カバーを取り外します。



3. パンクタイヤ応急修理キットを取り出します。



格納するときは

取り出すときの逆の手順で行います。

応急修理のしかた

J01407301514

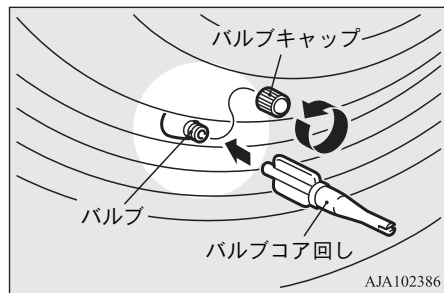
1. 交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らな場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけ、セレクトレバーを②に入れて、パワースイッチをLOCKにします。
3. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ、人や荷物を車から降ろし、停止表示板を車両後方に置きます。

アドバイス

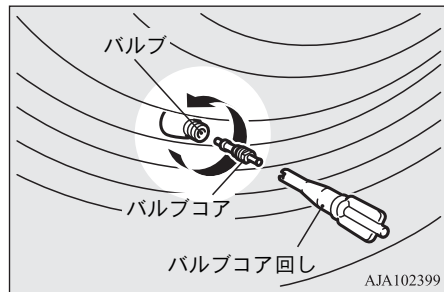
- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

パンクタイヤ応急修理キット

- パンクタイヤ応急修理キットを取り出します。
- タイヤのバルブからバルブキャップを外し、ビニール袋に入っているバルブコア回しを図のように押しあてて、タイヤの空気を完全に抜きます。



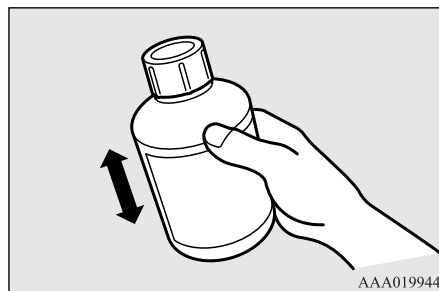
- バルブコア回しでバルブコアを反時計回りに回して取り外します。取り外したバルブコアは、汚れないようにきれいな場所に保管します。



⚠ 注意

- バルブコアを外すとき、タイヤに空気が残っているとバルブコアが飛び出し、傷害を受けるおそれがありますので、完全に空気が抜けていることを確認してから外してください。

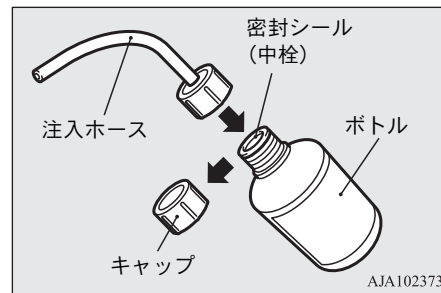
- 応急修理剤のボトルをよく振ります。



📖 アドバイス

- 寒冷時 (0℃ 以下) では、応急修理剤の粘度が高くなり注入しづらくなることがありますので、ボトルを振る前に車内などで温めてください。

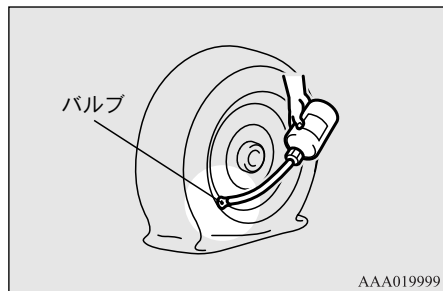
- キャップを外して応急修理剤の密封シール (中栓) を外さずに注入ホースをボトルにねじ込みます。注入ホースをねじ込むと、密封シール (中栓) が破れ、修理剤が注入できる状態になります。



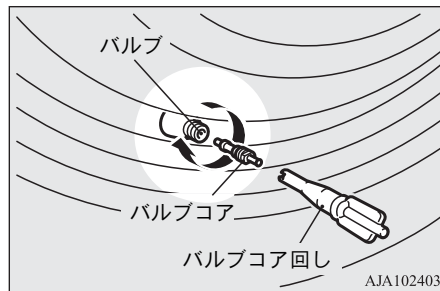
⚠ 注意

- 注入ホースをねじ込んだ後、応急修理剤のボトルを振ると、修理剤が注入ホースから飛び出すおそれがあります。

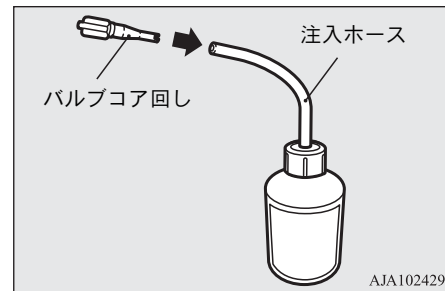
9. 注入ホースをバルブに差し込みます。
応急修理剤のボトルを逆さまに持ち、手でボトルを何回も圧迫し、ボトル内のすべての修理剤をタイヤ内に注入します。



10. 注入後、注入ホースをバルブから引き抜き、バルブコアをバルブに取り付け、バルブコア回しでしっかりと時計回りにねじ込んでください。



11. 注入が終わった空ボトルから修理剤が漏れるのを防ぐため、注入ホースの先端にバルブコア回しを差し込んで栓をします。



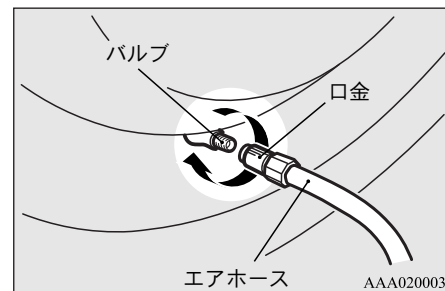
アドバイス

- 修理剤は、タイヤバルブがタイヤと地面の接地部分近く（最低部付近）以外の位置で注入してください。バルブが接地部分近くにあると、修理剤が入りにくい場合があります。

アドバイス

- バルブコア回しは、手で回してください。工具などを使って回すと、バルブコア回しが破損するおそれがあります。

12. コンプレッサーのエアホースを取り出し、口金をバルブに確実に取り付けます。

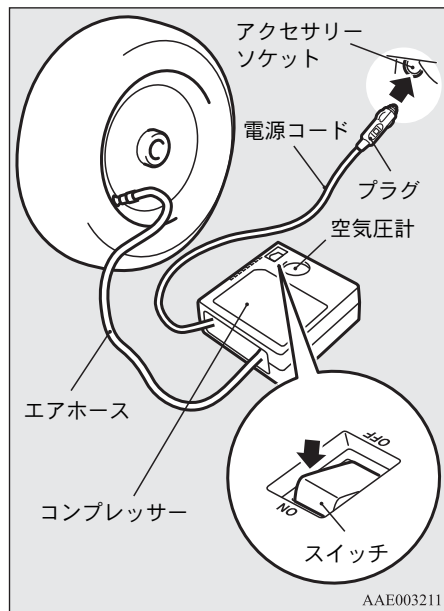


13. 空気圧計を上にして、コンプレッサーを置きます。

コンプレッサーの電源コードを取り出し、プラグをアクセサリソケットに差し込み、パワースイッチを ACC にします。

→「アクセサリソケット」 P.10-2
コンプレッサーのスイッチを ON にしてタイヤを指定の空気圧まで昇圧します。

→「タイヤの空気圧」 P.16-5



⚠ 注意

- 備え付けのコンプレッサーは、お客様のお車専用です。他の車には使用しないでください。
- 備え付けのコンプレッサーは、自動車用タイヤの空気充填用です。自動車用タイヤの空気充填や空気圧の点検以外での使用はしないでください。
- コンプレッサーの電源は、自動車用 12V 専用です。他の電源は接続しないでください。
- コンプレッサーには防水加工をしておりません。降雨時などは、水がかからないようにしてご使用ください。
- コンプレッサーは、砂埃などを吸い込むと、故障の原因になります。砂地など砂埃の多い場所に直接置いて使用しないでください。
- コンプレッサーの分解、改造などは絶対にしないでください。また、空気圧計などに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

14. コンプレッサーの空気圧計を使用して、空気圧を点検、調整します。

空気を入れ過ぎたときは、エアホースの口金をゆるめて空気を抜きます。

タイヤがホイール内側に外れている場合は、空気が漏れないように手でタイヤ外周をホイールに向けて押すなどしてホイールとタイヤのすき間をなくすようにしてコンプレッサーを作動させてください。(すき間がなくなれば空気圧が上がります。)

⚠ 注意

- タイヤがふくらむとき、タイヤとホイールの間に指などはさまないようにしてください。
- 使用中、コンプレッサーの表面が熱くなります。コンプレッサーは 10 分以上連続して作動させないでください。故障につながるおそれがあります。
- コンプレッサーの運転中に動作が鈍くなったり、本体が熱くなった場合は、オーバーヒート状態になっています。このような場合はただちにスイッチを OFF にし、30 分以上放置してください。

📖 アドバイス

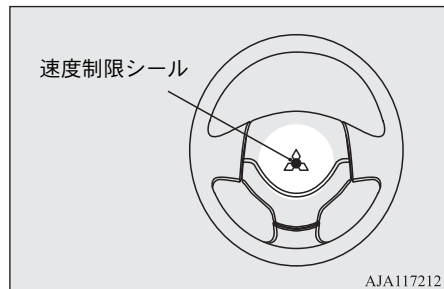
- 10 分以内に指定の空気圧に昇圧しないときは、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあり、応急修理剤を使って応急修理することができません。三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

- 15.コンプレッサーのスイッチを OFF にしてから電源コードのプラグをアクセサリーソケットから抜きます。

📖 アドバイス

- 本応急修理キットでタイヤに修理剤および空気を注入するだけではパンク穴はふさがりません。応急修理が完了するまで(手順 18.または 19.まで)は、パンク穴より空気が漏れます。

- 16.速度制限シールをハンドルの三菱マークの上に貼ります。



⚠️ 注意

- ハンドルのパッドの指定位置以外にシールを貼らないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。

- 17.指定の空気圧まで昇圧できたら、応急修理キットを車に搭載してただちに走行してください。
走行は 80km/h 以下の速度で法定速度を守り、急ブレーキ、急ハンドル、急なアクセル操作を避けて慎重に運転してください。

⚠️ 注意

- 走行中異常を感じたときは、運転を中止して三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。
応急修理完了までに空気圧が低下して安全性を損なうおそれがあります。

- 18.10 分間または約 5km 走行後、コンプレッサーの空気圧計でタイヤの空気圧を点検します。
空気圧の低下がなければ、応急修理完了です。つぎに手順 20.を行ってください。
タイヤの空気圧が不足している場合は、もう一度指定の空気圧まで昇圧し、走行します。

⚠️ 注意

- 空気圧が最少空気圧 (130 kPa {1.3kgf/cm²}) より低下しているときは、応急修理剤での応急修理はできません。
運転を中止して三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

- 19.10 分間または約 5km 走行後、再びタイヤの空気圧を点検します。
空気圧の低下がなければ、応急修理完了です。

📖 アドバイス

- タイヤの空気圧が指定空気圧より低下していたら運転を中止して三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。
- 寒冷時 (0°C 以下) では修理完了までの時間、走行距離が長くなる場合があるため、2 度目の空気圧の昇圧、走行後でもタイヤ空気圧が指定空気圧より低下することがあります。
そのような場合は、もう一度指定空気圧まで昇圧しさらに 10 分間または約 5km 走行後、もう一度空気圧を点検してください。それでも指定空気圧より低下する場合はこれ以上の運転を中止し三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に連絡してください。

タイヤ交換のしかた

20. すみやかに三菱自動車販売会社まで慎重に運転し、タイヤの修理、交換を行ってください。

⚠ 注意

- 必ず空気圧の点検を行い、応急修理の完了を確認してください。

📖 アドバイス

- 応急修理剤の空ボトルは、三菱自動車販売会社で新しい応急修理剤をお買い求めの際にお渡しください。
- 応急修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換することをおすすめします。修理・再使用する場合は三菱自動車販売会社にご相談ください。なお、応急修理後の恒久修理のとき、パンク穴を発見できず恒久修理できないことがあります。

タイヤ交換のしかた

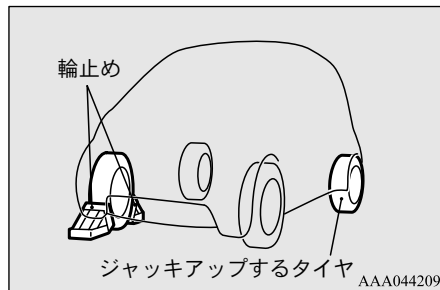
J01400902879

3. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ、人や荷物を車から降ろし、停止表示板を車両後方に置きます。

📖 アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

4. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



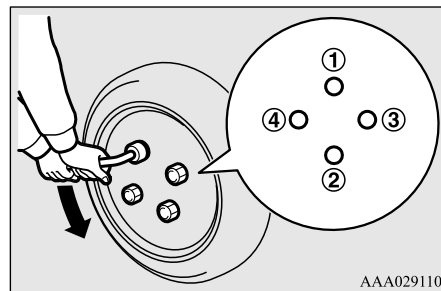
⚠ 注意

- ジャッキアップするときは、必ず輪止めを使用してください。万一、ジャッキアップ中に車両が動いたとき、ジャッキが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 アドバイス

- 輪止めは標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

5. 工具とジャッキを取り出します。
→「工具とジャッキ」P.15-11
6. ホイールカバーを取り外します。
→「ホイールカバー」P.15-25
7. 交換するタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。
→「ジャッキアップのしかた」P.15-13
8. ホイールナットレンチを使用して、ホイールナットを番号順に、手で回るくらいまで左に回してゆるめます。



9. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
10. ホイールナットを外し、タイヤを取り外します。

アドバイス

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

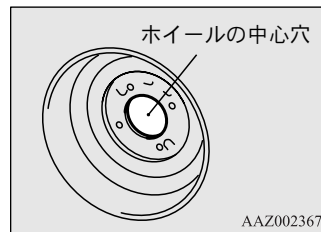
タイヤを取り付けるときは

警告

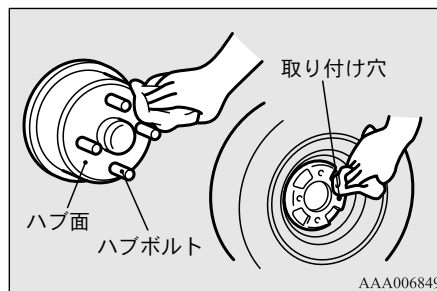
- タイヤ、ホイールのサイズが前後で異なるため、必ず指定サイズのものを指定位置に取り付けてください。指定サイズ以外のタイヤ、ホイールを使用したり、取り付け位置を間違えると、車の安定性や操縦性が確保できず、重大な事故につながるおそれがあります。
→ 「タイヤ、ホイールのサイズ」P.16-4
- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは、安全走行に悪影響をおよぼしますので、避けてください。

アドバイス

- 前輪と後輪の取り付け間違いを防止するため、リヤホイールの中心穴をフロントホイールに対し小さくしています。したがって後輪を前輪に取り付けることはできません。



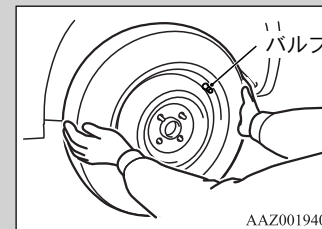
1. ハブ面、ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取ります。



2. タイヤを取り付けます。

警告

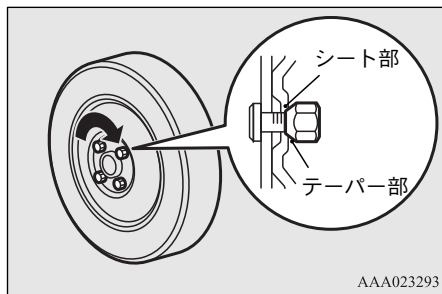
- タイヤを取り付けるときは、タイヤの裏表に注意し、バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けの際、バルブが見えなければ、タイヤが裏向きに取り付けられています。タイヤの裏表を間違えて取り付けると、車両に悪影響をおよぼし、思わぬ事故につながるおそれがあります。



タイヤ交換のしかた

3. 手でホイールナットを右へ回して仮締めします。

ホイールナットのテーパ部がホイール穴のシート部に軽く当たり、タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。



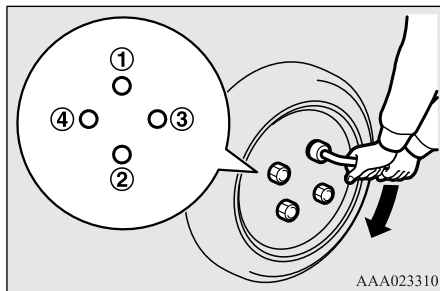
⚠ 注意

- ハブボルト、ホイールナットには油やグリスを塗らないでください。必要以上に締め付けられてボルトが破損したり、ホイールが損傷するおそれがあります。また、ナットがゆるんで走行中にタイヤが外れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを降ろし、ホイールナットレンチを使用して、ホイールナットを番号順に2~3回に分けて、徐々に締め付けます。最後の締め付けは、確実に行ってください。

締め付けトルク：88~108N・m
{9~11kgf・m}

(車載のホイールナットレンチの先端で350~420N {35~42kgf} の力)



⚠ 注意

- ホイールナットを締め付けるときは、ホイールナットレンチを足で踏んだり、パイプなどを使用して必要以上に締め付けしないでください。

5. タイヤの空気圧を点検します。
→「タイヤの空気圧」P.16-5

6. ホイールカバーを取り付けます。

→「ホイールカバー」P.15-25

7. 工具とジャッキを元の位置に戻します。

→「格納場所」P.15-11

⚠ 注意

- タイヤ交換後、走行中にハンドルや車体に振動がでたときは、三菱自動車販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。

📖 アドバイス

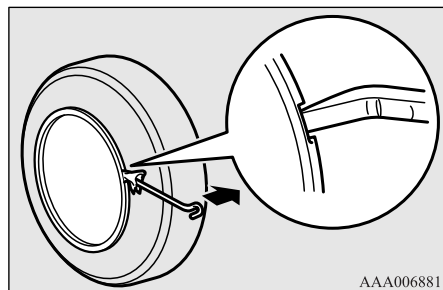
- タイヤ交換したときは、約 1,000km 走行後、再度ホイールナットを締め付けて、ゆるみがないことを点検してください。

ホイールカバー

J01402801660

取り外すときは

1. ジャッキバーの先に布をかぶせて、ホイールカバーの切り欠き部へ深く差し込み、タイヤ側にこじてカバーを少し浮かせます。



AAA006881

2. カバーが浮いたら、ホイールカバーの周囲に沿ってジャッキバーの差し込み位置を変えながら、少しずつこじてカバーを取り外します。

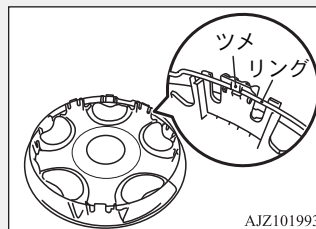
⚠ 注意

- ホイールカバーが外れるまでジャッキバーを使ってください。手でこじるとホイールカバーの端などで怪我をすることがあります。

取り付けるときは

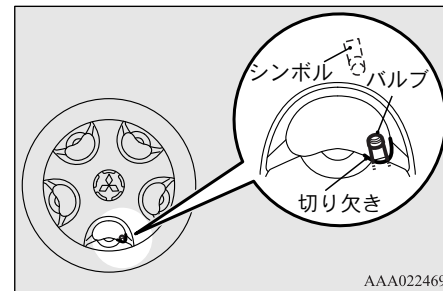
⚠ 注意

- ホイールカバーを取り付ける前に、裏面のツメがリングに正しく組み付いていることを確認してください。また、ツメが折れているときはホイールカバーを取り付けしないでください。正しく組み付いていなかったり、ツメが折れていると、走行中にホイールカバーが外れるおそれがあります。



AJZ101993

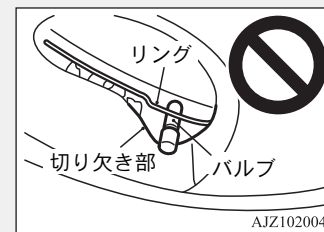
1. タイヤのバルブ（空気注入口）とホイールカバーの切り欠き部を合わせます。



AAA022469

⚠ 注意

- バルブと切り欠き部を合わせるときは、バルブを切り欠き部とリングの間に入れないでください。この状態でカバーを取り付けると、バルブがはさまれて損傷し、空気漏れを起こすおそれがあります。

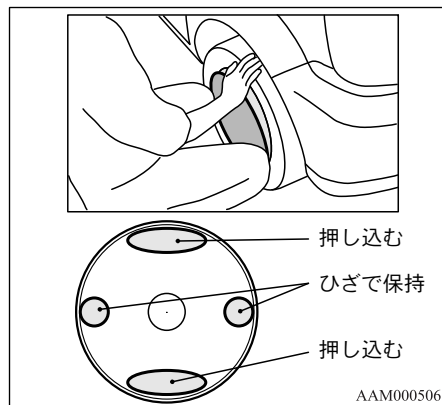


AJZ102004

📖 アドバイス

- カバー裏側に切り欠き部の位置を表示するシンボルがあります。

2. ホイールカバーの下部をホイールに押し込みます。
3. ホイールカバーの両端を軽く押し込み、両ひざで保持します。
4. ホイールカバーの上部を外周に沿って軽くたたいて押し込みます。



補機用バッテリーが上がったときは！

J01407401166

つぎのような状態を補機用バッテリー上がりといいます。

- パワーユニットが起動しない。
[READY (走行可能) 表示灯が点灯しない。]
- ライトが点灯しない。または、点灯してもいつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または、鳴ってもいつもより音が小さい。



ブースターケーブル (別売) を使用し、他車のバッテリーを電源として、パワーユニットを起動することができます。

⚠️ 警告

- 救援車を依頼し、ブースターケーブルを使用してパワーユニットを起動するときは、取扱説明書にしたがって正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると、引火爆発や車両損傷のおそれがあります。

📖 アドバイス

- 駆動用バッテリーを充電したままの状態では、補機用バッテリーにブースターケーブルを接続しないでください。車両または充電機器が破損するおそれがあります。

1. ブースターケーブルが接続でき、かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。

⚠️ 注意

- 救援車は必ず 12V で、自車と同容量以上のバッテリーを装着している車を使用してください。

2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 自車は駐車ブレーキを確実にかけ、セクターレバーを P に入れ、パワースイッチを LOCK まで回します。

救援車も駐車ブレーキを確実にかけ、マニュアル車の場合はシフトレバーを **N**、オートマチック車の場合はセクターレバーを **P** に入れ、エンジンスイッチを **LOCK** まで回します。

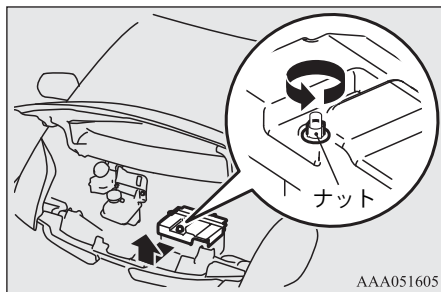
⚠ 警告

- ブースターケーブルの接続時は、救援車のエンジンを止め、自車のパワースイッチも **LOCK** にしてください。ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて、けがをするおそれがあります。
- 冷却ファンは、冷却水の温度により回転、停止をくり返します。エンジン運転中、パワーユニット作動中または充電中は、ファンに手を近づけないでください。

4. ボンネットを開きます。

→ 「ボンネット」 P.6-29

補機用バッテリーカバーの固定ナットを外してカバーを取り外します。



AAA051605

5. 補機用バッテリーの液量を確認します。

⚠ 警告

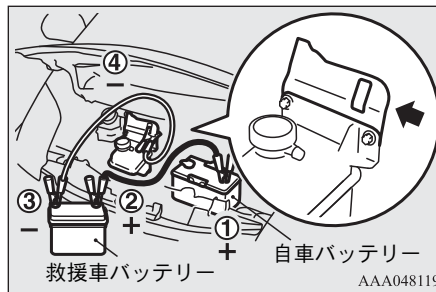
- 補機用バッテリーの液量が下限 (LOWER LEVEL) 以下のままで使用しないでください。バッテリーの劣化を早めたり、発熱や爆発するおそれがあります。

📖 アドバイス

- バッテリー液の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

6. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。

- ① 自車の補機用バッテリーの＋端子
- ② 救援車のバッテリーの＋端子
- ③ 救援車のバッテリーの－端子
- ④ 図で指示の箇所（アースをとる）



AAA048119

⚠ 警告

- 接続する順番は必ず①→②→③→④の順番で行ってください。
- ④の接続は必ず図の矢印の位置にしてください。補機用バッテリーの－端子に直接つなぐと、補機用バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。
- ブースターケーブルを接続するときは、＋と－端子を接触させないでください。火花が発生し、バッテリーが爆発するおそれがあります。

⚠ 注意

- ブースターケーブルのクリップは、確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると、ケーブルがファンに巻き込まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ブースターケーブルは、バッテリーの＋と－端子を正しく接続してください。逆に接続すると、車の電装品が故障するおそれがあります。

📖 アドバイス

- 補機用バッテリーの＋端子は、カバーを外してからブースターケーブルを接続してください。

📖 アドバイス

- ブースターケーブルは、補機用バッテリーの容量に適したものを使用してください。ケーブル焼損の原因になることがあります。
- ブースターケーブルに破損および腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。

7. 接続した後、救援車のエンジンをかけます。
8. 自車のパワースイッチを START まで回します。
9. READY（走行可能）表示灯が点灯するか確認します。
[READY（走行可能）表示灯が点灯したとき]
救援車のエンジンを止め、ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外し、そのまま 30 分以上補機用バッテリーを充電します。
(充電後、手順 16. から処置を続けてください。)

[READY（走行可能）表示灯が点灯しないとき]

補機用バッテリーおよび駆動用バッテリーが同時にバッテリー上がりを起こしています。

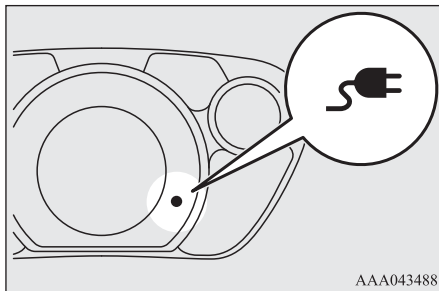
以下の手順（手順 10. ～手順 14.）で補機用バッテリーおよび駆動用バッテリーを充電します。

10. ブースターケーブルを接続したまま、自車のパワースイッチを LOCK まで回します。

📖 アドバイス

- 車載充電器などは補機用バッテリーの電源で作動するため、駆動用バッテリーの充電開始時にはブースターケーブルを補機用バッテリーに接続する必要があります。

11. 普通充電で駆動用バッテリーの充電を開始します。
→「普通充電のしかた」P.5-4
12. メーター内の充電ランプが点灯したら、救援車のエンジンを止め、ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。

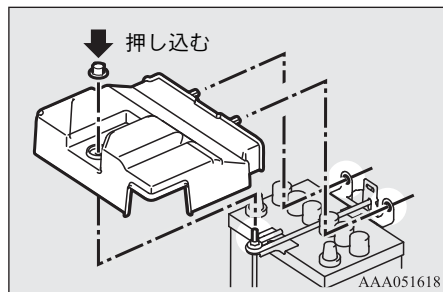


📖 アドバイス

- 充電ランプは、普通充電コネクターを普通充電給電口に差し込むと点滅し、充電が開始されると点灯に切り換わります。
- 駆動用バッテリーを充電すると補機用バッテリーも自動的に充電されます。

13. そのまま 1 時間以上駆動用バッテリーを充電します。
14. 普通充電ケーブルを取り外します。
→「普通充電のしかた」P.5-4
15. パワースイッチを START まで回して、READY（走行可能）表示灯が点灯するか確認します。
READY（走行可能）表示灯が点灯しない場合は、再度手順 6. に戻って処置してください。
それでも充電できないときは、三菱自動車販売会社へご連絡ください。

16. 補機用バッテリーカバーを図のように取り付け、ナットを押し込んで固定します。



17. 最寄りの三菱自動車販売会社で補機用バッテリーの点検を受けてください。

警告

- 市販のバッテリーチャージャーなどを電源として、車両に搭載したまま補機用バッテリーを充電しないでください。引火爆発や車両損傷につながるおそれがあります。
- 充電中は補機用バッテリーに火気を近づけないでください。補機用バッテリーからは可燃性ガスが発生しており、爆発するおそれがあります。
- 周囲の囲まれた狭い場所で補機用バッテリーを充電するときは、換気を十分に行ってください。
- 充電するときは、補機用バッテリーのキャップをすべて外してください。

警告

- バッテリー液は希硫酸です。皮膚についたり、目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い、速やかに専門医の治療を受けてください。

アドバイス

- 押しがけやけん引によりパワーユニットを起動することはできません。

けん引

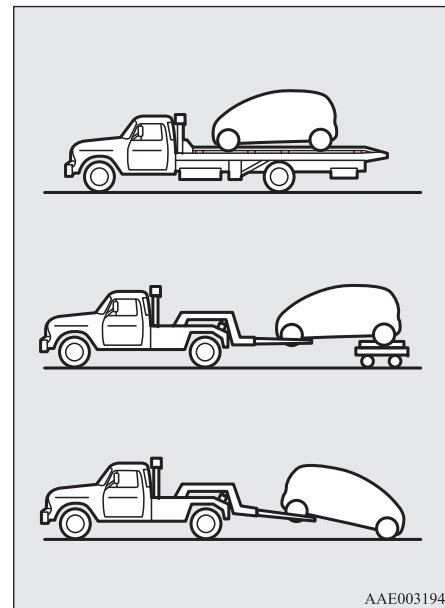
J01401202606

けん引は三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に依頼し、4 輪または後輪（駆動輪）を持ち上げて搬送してください。

つぎの場合は、三菱自動車販売会社に連絡し、必ず 4 輪とも持ち上げて搬送してください。

- READY（走行可能）表示灯が点灯しているのに車が動かない。または異音がする。
- パワーユニット警告灯が点灯している。
- 下まわりを点検し、オイルなどが漏れている。
- 事故などで車体が大きく破損・変形している

また、車輪が溝などに落ちたときは無理にけん引せず、三菱自動車販売会社または JAF など専門業者に依頼してください。



駆動用バッテリーが上がったときなどの非常時には、一時的に後輪（駆動輪）を接地してけん引することができます。やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは、「他車にけん引してもらうと

き」の手順にしたがってできるだけ短距離にとどめ、慎重に行ってください。

→P.15-31

アドバイス

- JAFの営業所は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

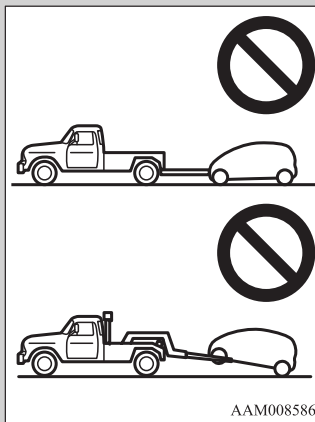
レッカー車に搬送してもらうとき

警告

- レッカー車で吊り上げた場合は、絶対に車両の下に入らないでください。車両が落下した場合、命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- けん引される車両には乗車しないでください。

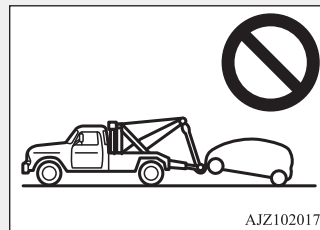
警告

- 後輪（駆動輪）を接地してのけん引はしないでください。モーター（パワーユニット）が損傷するおそれがあります。また、パワーユニットルームの配線が損傷しているときなどに後輪（駆動輪）を接地してけん引すると、モーターが発電し、万一の場合、漏電による火災の原因となることがあります。

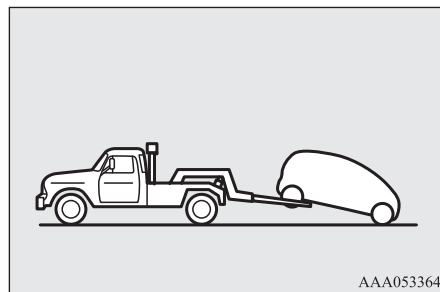


注意

- 車体つり上げ式のレッカー車でけん引はしないでください。バンパーや車体が破損するおそれがあります。



後輪（駆動輪）を持ち上げてけん引するときは



セレクトーレバーをNに入れ、パワースイッチをACCにして、ハンドルをローブなどで直進状態に固定してください。

パワースイッチは絶対にLOCKまたはONにしないでください。

⚠ 注意

- 駆動系や操舵系に異常がないことを確認してください。これらに異常がある場合は、必ず 4 輪とも持ち上げて搬送してください。
- パワーユニットを起動して後輪（駆動輪）を持ち上げたけん引を行うと、アクティブスタビリティコントロール (ASC) 機能が作動し思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずパワースイッチをACCにしてください。

他車にけん引してもらうとき

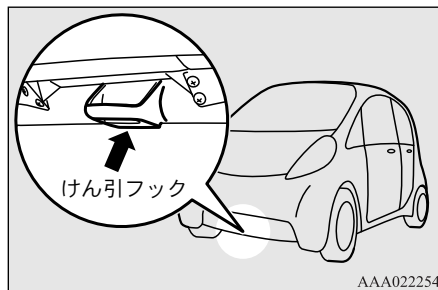
J01403901482

駆動用バッテリーが上がったときなどの非常時に、やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは、つぎの要領にしたがってできるだけ短距離にとどめ、慎重に行ってください。

⚠ 警告

- 駆動用バッテリーが上がったとき以外は、この方法でけん引しないでください。パワーユニットルームの配線が損傷しているときなどにこの方法でけん引すると、モーターが発電し、万一の場合、漏電による火災の原因となることがあります。

1. つぎのことを確認します。
 - ・ 駐車ブレーキがかかっている。
 - ・ セレクターレバーが **P** に入っている。
 - ・ パワースイッチが LOCK の位置にある。
2. けん引ロープをけん引フックにかけます。

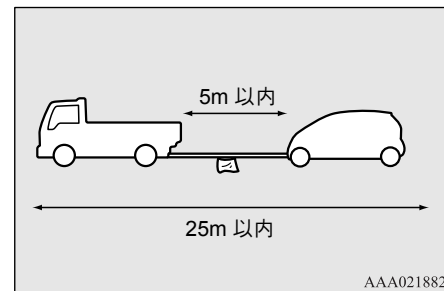


AAA022254

📖 アドバイス

- ワ이어ロープや金属製のチェーンなどを使用すると、車体を傷つけるおそれがあります。ソフトロープを使用するか、車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどしてけん引してください。
- けん引ロープは、三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- けん引ロープは水平にしてけん引してください。水平でない位置にかけると、車体を傷つけるおそれがあります。

3. けん引ロープには、30cm 平方（タテ 30cm× ヨコ 30cm）以上の白い布を必ずつけてください。



AAA021882

4. パワーユニットを起動します。

⚠ 注意

- パワーユニットを起動せず、パワースイッチをONの位置にしてけん引すると、けん引中に補機用バッテリーが上がることがあります。この場合、ブレーキの効きが非常に悪くなる場合があります。また、ハンドル操作が非常に重くなります。
- パワースイッチがLOCK位置にあると、ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。

5. セレクターレバーをNに入れ、駐車ブレーキを解除します。
6. 後続車に注意をうながすため、けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。
→「非常点滅灯スイッチ」P.8-19

⚠ 警告

- けん引される車のエアコンは、内気循環に切り換えてください。排気ガスが車内に侵入して、ガス中毒になるおそれがあります。
- 急ブレーキ、急発進、急旋回など、けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。万一の場合、その破片が周囲の人などにあたり重大な傷害をおよぼすおそれがあります。

⚠ 警告

- 長い下り坂ではブレーキが過熱して、効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。

⚠ 注意

- けん引される車は、けん引車のブレーキランプに注意して、常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
- けん引するときの速度は30 km/h以下、けん引する距離は30km以内にしてください。この速度、距離を超えると車両の故障の原因になります。

他車のけん引

J01404100019

📖 アドバイス

- この車で他車をけん引することはできません。

ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！

J01401300225

ディスクブレーキには、ブレーキパッドの摩耗量が使用限度近くになると走行中に金属摩擦音（キーキー）を発生して警告する装置が設けてあります。

📖 アドバイス

- 金属摩擦音が聞こえたときは、三菱自動車販売会社でブレーキパッドを点検してください。

ヒューズが切れたときは！

J01401500849

各種のランプが点灯しないときや、電気系統の装備が作動しないときは、ヒューズが切れているときがありますのでヒューズを点検し、切れているときは交換してください。

📖 アドバイス

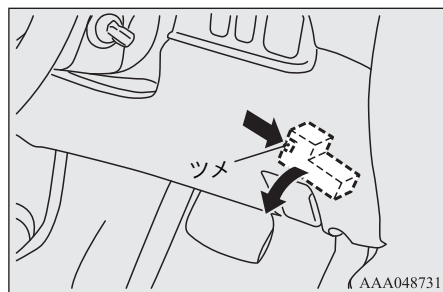
- 予備ヒューズは装備されていません。三菱自動車販売会社などでお買い求めください。

ヒューズボックスの位置

J01407500085

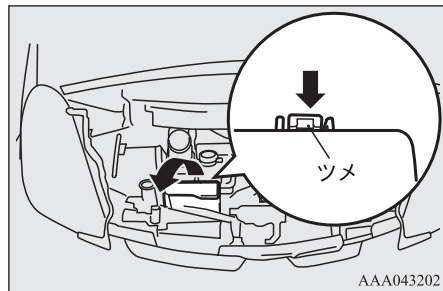
運転席足元

ツメ部を押してヒューズカバーを取り外します。



ボンネットルーム内

ツメを押してロックを外し、カバーを取り外します。



ヒューズの交換

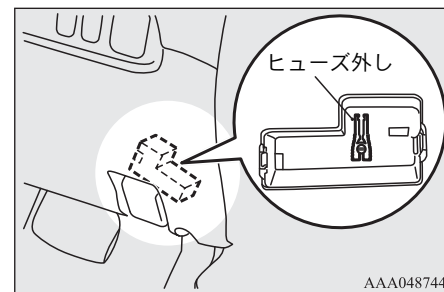
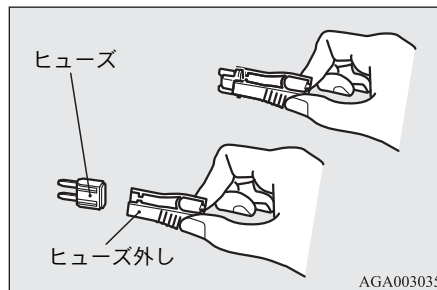
J01407600099

1. パワースイッチを LOCK にします。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。
→「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P.15-34

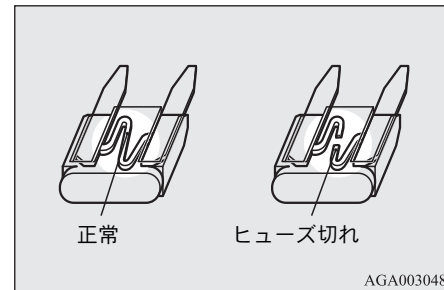
アドバイス

- 各ヒューズの受け持つ装備および容量は、ヒューズボックスのふたに記載してあります。

3. ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。ヒューズ外しは、運転席足元のヒューズボックスカバーの内側にあります。



4. ヒューズを点検し、切れているときは同じ容量のヒューズと交換します。



警告

- 取り付けであるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金、銀紙などを使用すると、電線の過熱により火災のおそれがあります。

ヒューズが切れたときは！

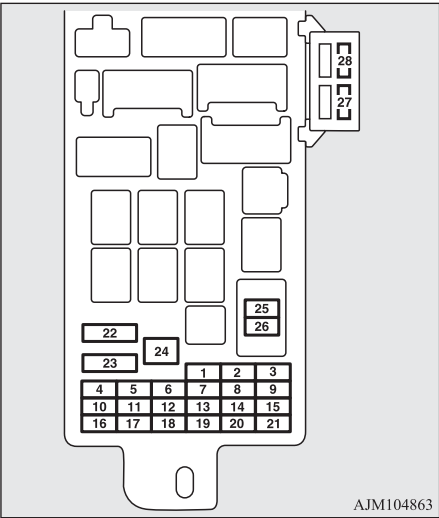
 アドバイス

- ヒューズを交換しても再び切れるときは、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは、他の原因が考えられます。すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

各ヒューズの受け持つ装備および容量

J01403702836

運転席足元



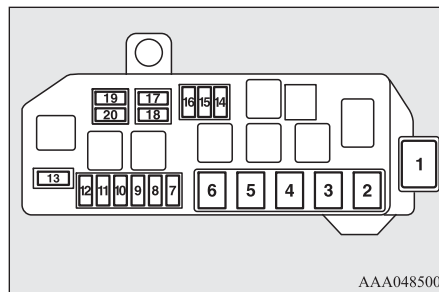
NO.	表示	装備	容量
1		尾灯（テールランプ）（左）	7.5A

NO.	表示	装備	容量
2		シガレットライター／アクセサリソケット	15A
3	—	—	—
4		スターター	7.5A
5		オーディオアンプ	20A
6	—	—	—
7		尾灯（テールランプ）（右）	7.5A
8		電動リモコンドアミラー	7.5A
9		コントロールユニット（パワーユニット）	7.5A
10		コントロールユニット	7.5A
11		リヤフォグランプ	10A
12		ドアロック	15A
13		室内灯（ルームランプ）	10A
14		リヤワイパー	15A
15		メーター	7.5A
16		リレー	7.5A
17		シートヒーター	20A

NO.	表示	装備	容量
18	OPTION	OPTION	10A
19		ヒーター ドアミラー	7.5A
20		フロントワイパー	20A
21		後退灯 (バック アップランプ)	7.5A
22		デフォグガー	30A
23		ヒーター	30A
24		補機用バッテリー	30A
25		ラジオ	10A
26		エレクトロニック コントロール ユニット	15A
27	—	エレクトロニック コントロール ユニット	7.5A
28	—	回生レベル セクター	5A

- 装備仕様の違いにより、ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は、各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

ボンネットルーム内



NO.	表示	装備	容量
1	—	—	—
2		補機用バッテリー	30A
3		パワースイッチ	40A
4		ラジエーター ファンモーター	40A
5		パワーウインドウ	40A
6		パキュームポンプ (ブレーキ)	30A
7		パワーユニット コントロール	15A
8	STOP	制動灯 (ストップランプ)	15A
9		フロント フォグランプ	15A

NO.	表示	装備	容量
10		ウォーターポンプ (パワーユニット)	15A
11		チャージ	10A
12		非常点滅灯	10A
13		ホーン	10A
14		デイトタイム ランニングライト	10A
15		バッテリー ファンモーター	15A
16		ウォーターポンプ (エアコン)	10A
17		ヘッドライト (下向き) (右)	20A
18		ヘッドライト (下向き) (左)	20A
19		ヘッドライト (上向き) (右)	10A
20		ヘッドライト (上向き) (左)	10A

- 装備仕様の違いにより、ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は、各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

バルブ（電球）が切れたときは！

バルブ（電球）が切れたときは！

J01401602147

ヒューズが切れていないのにランプが点灯しないときは、バルブ（電球）が切れているときがあります。
バルブ（電球）を点検し、切れているときは交換してください。

バルブ（電球）の位置・W（ワット）数

J01406201213

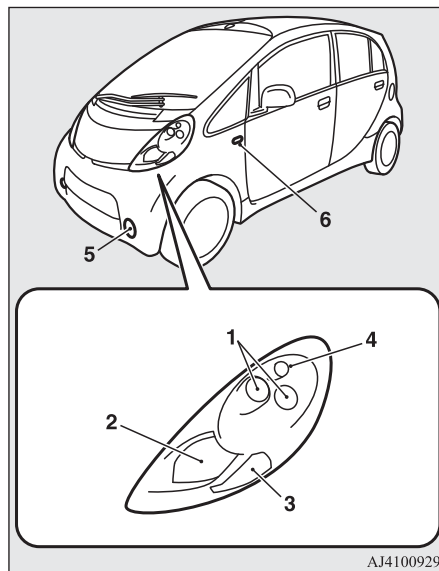
⚠ 注意

- バルブを交換するときは、必ず同じバルブ型式、同じ W（ワット）数、同じバルブ色のものを使用してください。
異なるバルブを装着すると、点灯しないなどの故障や車両火災の原因につながるおそれがあります。

車外照明

J01406802056

■ フロント



AJ4100929

1	ヘッドライト (ロービーム)	—
2	ヘッドライト (ハイビーム)	60W (HB3)
3	方向指示灯／非常点滅灯 (フロント)	21W (WY21W)

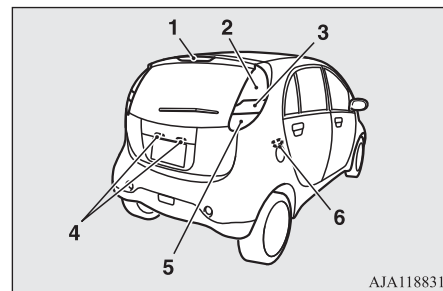
4	車幅灯	5W (W5W)
5	フロントフォグランプ	19 W (H16)
6	方向指示灯／非常点滅灯 (サイド)	5W (WY5W)

- ()内はバルブ（電球）の型式を示しています。

📖 アドバイス

- ヘッドライトロービームの修理・交換は三菱自動車販売会社にご相談ください。

■ リヤ



AJA118831

1	ハイマウントストップ ランプ	5W (W5W)
---	-------------------	-------------

2	制動灯／尾灯	—
3	方向指示灯／非常点滅灯 (リヤ)	21W (WY21W)
4	番号灯	5W (W5W)
5	後退灯	21W (W21W)
6	普通充電給電口ランプ	—

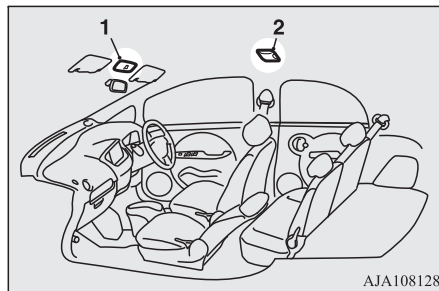
- ()内はバルブ（電球）の型式を示しています。

📖 アドバイス

- つぎのランプはバルブ（電球）ではなく LED を使用しています。修理・交換は三菱自動車販売会社にご相談ください。
 - ・制動灯／尾灯
 - ・普通充電給電口ランプ

車内照明

J0140630159T



AJA108128

1	マップ&ルーム ランプ（フロント）	8 W
2	ルームランプ（リヤ）	8 W

バルブ（電球）の交換

J01401702252

ここではおもなバルブ（電球）の交換方法を記載しています。記載されていないバルブの交換については、三菱自動車販売会社にご相談ください。

1. 該当するランプのスイッチを OFF にして、パワースイッチを LOCK にします。

バルブ（電球）が切れたときは！

2. 該当するランプの W（ワット）数を確認します。
→「バルブ（電球）の位置・W（ワット）数」P.15-36

⚠ 注意

- 消灯直後はバルブの表面が高温になっているため、やけどをするおそれがあります。
バルブの表面が十分冷えてから交換してください。
- 市販の LED バルブを取り付けしないでください。走行装置やランプが正常に動作しなくなるなど、車両に影響をおよぼすおそれがあります。

📖 アドバイス

- 新しく交換するバルブの表面に触れないでください。
油などが付着すると、点灯したときの熱で蒸発して、レンズ内側に曇ることがあります。
バルブの表面に触れたときは、柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて、油をふき取ってください。
- ランプ本体やレンズを外すときは、車体を傷つけないよう十分注意してください。
- バルブを交換した後は、ランプが正しく点灯するか確認してください。

アドバイス

- 雨の日や洗車後などに、レンズ内側が曇ることがあります。
これは湿気が多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で、機能上の問題はありません。
ランプを点灯すると熱で曇りはとれます。
ただし、ランプ内に水がたまっているときは、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライトの脱着

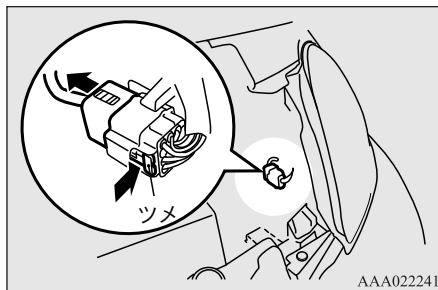
J01401903163

ヘッドライト（ハイビーム）、車幅灯、方向指示灯（フロント）のバルブ（電球）の交換は、ヘッドライト全体を車から取り外して行います。

つぎの手順で取り外してください。

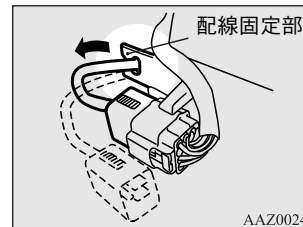
取り外すときは

1. ボンネットを開けます。
→「ボンネット」P.6-29
2. ツメを押しながらコネクターを外します。

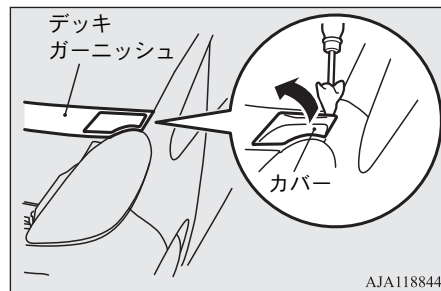


アドバイス

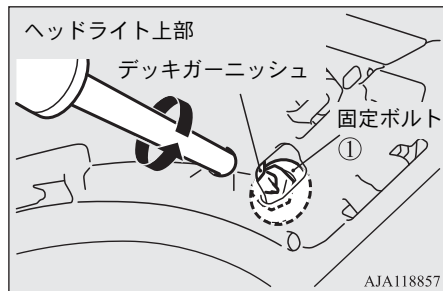
- 左側のヘッドライトのコネクターを外すときは、ヘッドライトの配線を配線固定部から忘れずに外してください。



3. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで、デッキガーニッシュにある作業穴のカバーを取り外します。



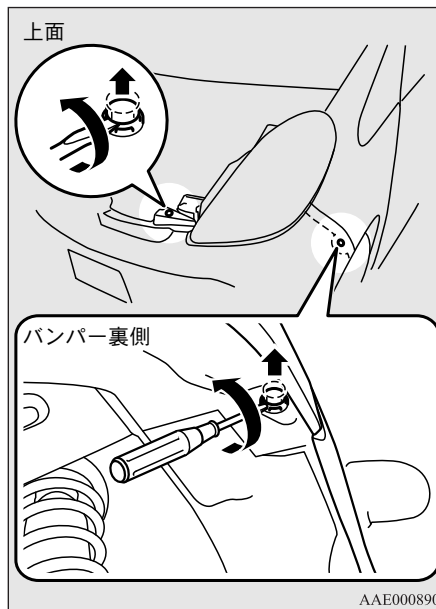
4. ヘッドライト上部の固定ボルト①を、ボルトの頭部がデッキガーニッシュに当たるまでゆるめます。



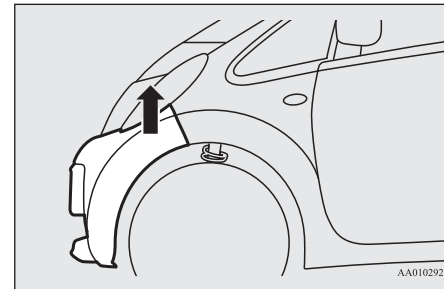
アドバイス

- ボルトは必要以上にゆるめないでください。ゆるめすぎるとボルトが落下することがあります。

5. バンパーを固定しているクリップ（2箇所）をマイナスドライバーなどを差し込み、取り外します。



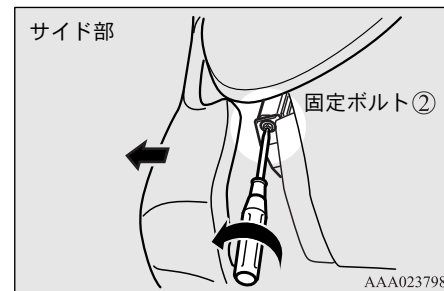
6. バンパーをゆっくりと持ち上げてバンパーとフェンダーの結合部を外します。



アドバイス

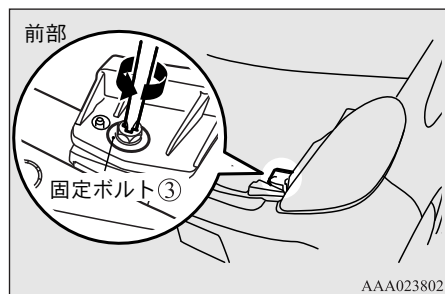
- 結合部を取り外すときは、周辺部品を損傷させないように注意してください。

7. サイド部固定ボルト②をバンパーをめくりながら取り外します。

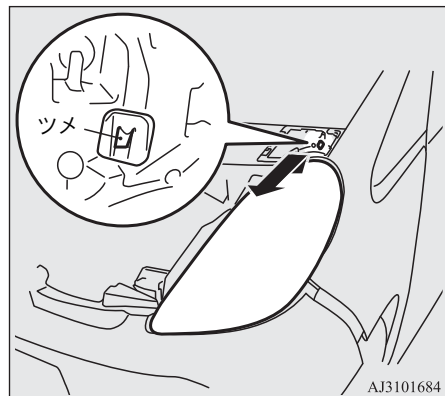


バルブ（電球）が切れたときは！

8. 前部固定ボルト③を取り外します。



9. 図のように、ヘッドライト全体を上へずらすようにして、ヘッドライト上部のツメを外し、車から取り外します。

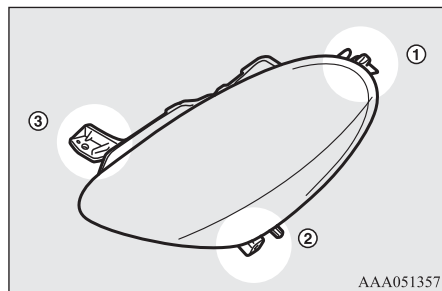


アドバイス

- ツメが破損するおそれがあるため、無理な取り外しをしないでください。

取り付けるときは

ヘッドライトの取り付けブラケットには①～③の番号が刻印されています。番号の付いている箇所を順に取り付けます。



1. 図のように、取り付けブラケット①部の切り欠きを車側に残してあるボルトに差し込み、ツメを固定穴にかけて、ヘッドライト全体を車に取り付けます。



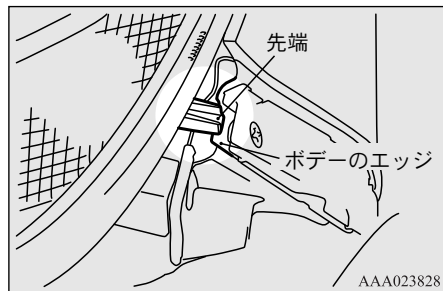
アドバイス

- ヘッドライト上部のツメが確実に固定されていることをデッキガーニッシュの作業穴から確認します。



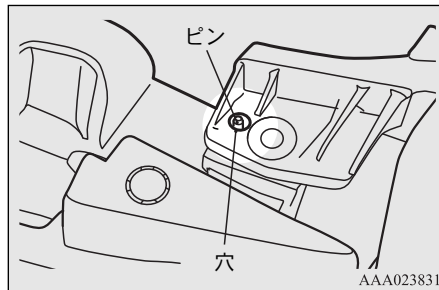
AJZ103199

2. 取り付けブラケット②の先端が、ボデーのエッジ部にかかっていることを確認します。



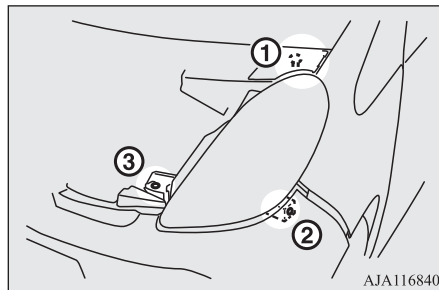
AAA023828

3. 取り付けブラケット③の穴にピンが入っていることを確認します。



AAA023831

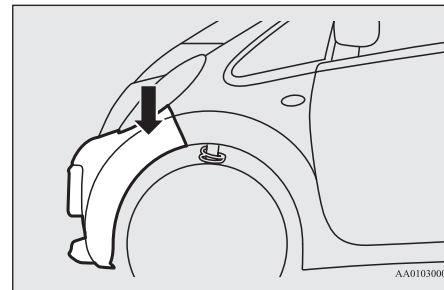
4. ヘッドライト取り付けボルトを①～③の順に確実に締め付けます。



AJA116840

バルブ（電球）が切れたときは！

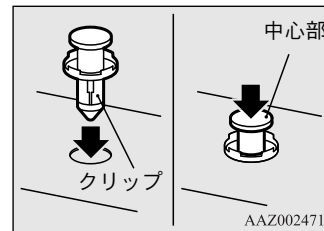
5. バンパーとフェンダーの結合部を上から押さえてはめ込んだ後、クリップで固定します。



AA0103000

アドバイス

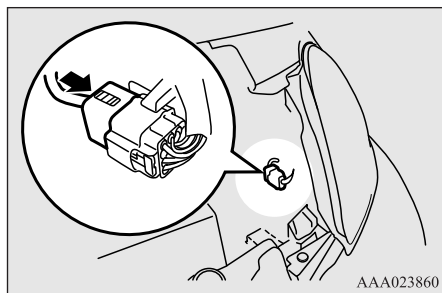
- バンパー固定用クリップは、はじめにクリップを取り付け穴に差し込み、その後でクリップの中心部を押し込んで固定します。



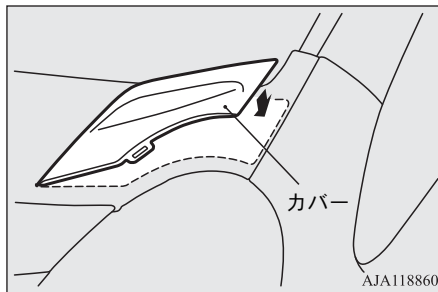
AAZ002471

バルブ（電球）が切れたときは！

6. コネクターを確実に差し込みます。



7. デッキガーニッシュにあるカバーを確実に取り付けます。

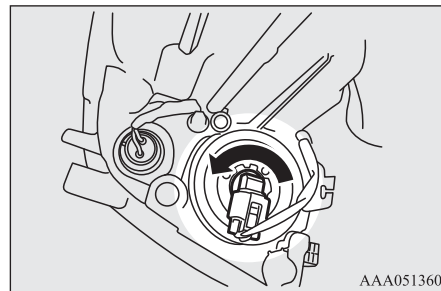


→「ヘッドライト（ハイビーム）」P.15-42
→「ヘッドライト（ロービーム）」P.15-43
→「車幅灯」P.15-43
→「方向指示灯（フロント）」P.15-44

ヘッドライト（ハイビーム）

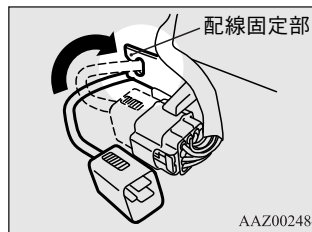
J01401903004

1. バルブを反時計回りに回して外します。



アドバイス

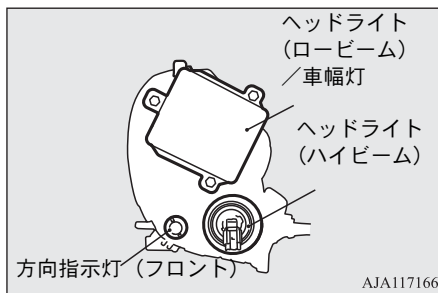
- 左側のヘッドライトのコネクターを差し込むときは、ヘッドライトの配線を配線固定部に忘れずに固定してください。



ヘッドライトのバルブ交換

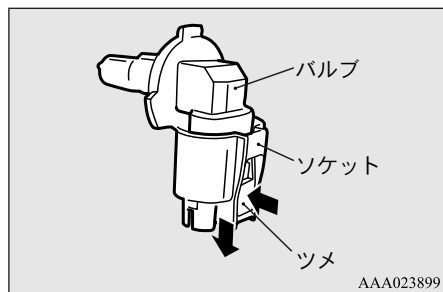
J01407801160

各バルブの交換は、ヘッドライト裏側から行います。



2. ツメを押しながらソケットをバルブから引き抜きます。

交換方法についてはつぎの項をお読みください。



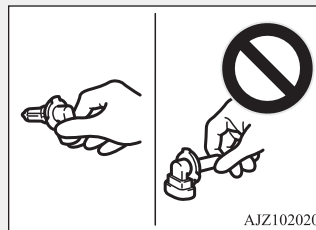
3. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

⚠ 注意

- ハロゲンバルブは、バルブ内の圧力が高いため、落したり、物をぶつけたり、傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。

⚠ 注意

- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
点灯中はバルブの表面が高温になるため、油などが付着すると、点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
バルブの表面に触れたときは、柔らかい布に中性洗剤の3%水溶液を含ませて、油をふき取ってください。



ヘッドライト（ロービーム）

J01407001205

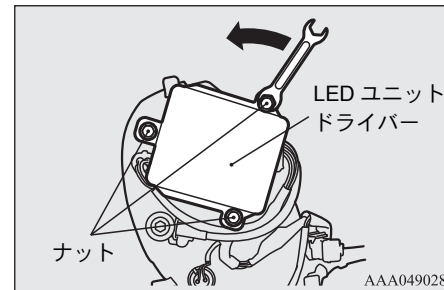
📖 アドバイス

- ヘッドライト（ロービーム）はバルブ（電球）ではなく LED を使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

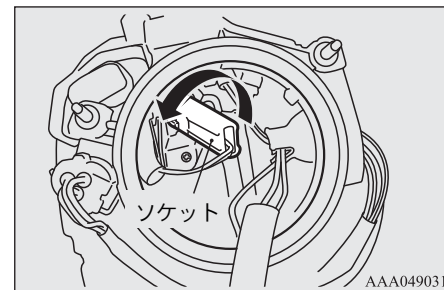
車幅灯

J01402002018

1. ナット（3箇所）を外し、ヘッドライトから LED ユニットドライバーを取り外します。

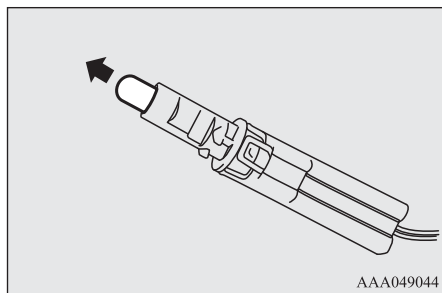


2. ソケットを反時計回りに回して外します。

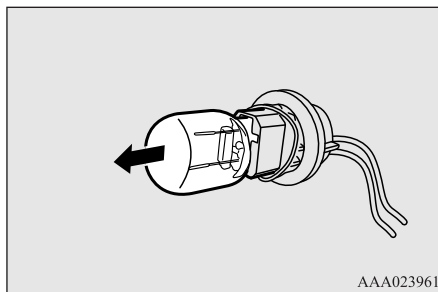


バルブ（電球）が切れたときは！

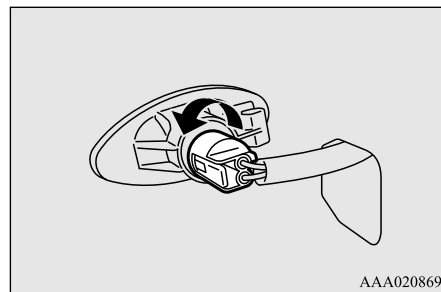
3. ソケットからバルブを引き抜きます。



4. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。



3. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

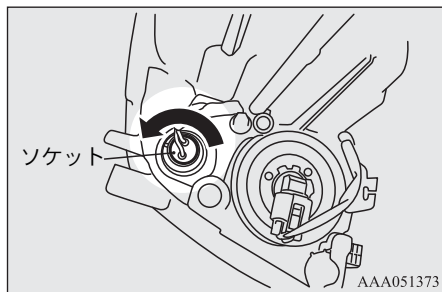


3. ソケットからバルブを引き抜きます。

方向指示灯（フロント）

J01402100682

1. ソケットを反時計回りに回して外します。



2. ソケットからバルブを引き抜きます。

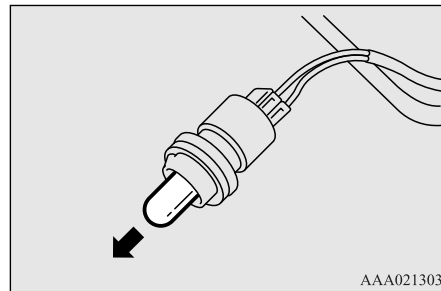
方向指示灯（サイド）

J01402200481

1. 車両後方側より先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで、ランプ本体をこじて外します。



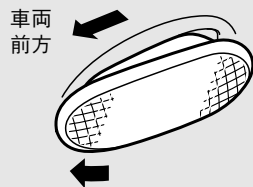
2. ソケットを反時計回りに回して外します。



4. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

- ランプ本体を取り付けるときは、車体前方側より先に取り付けます。

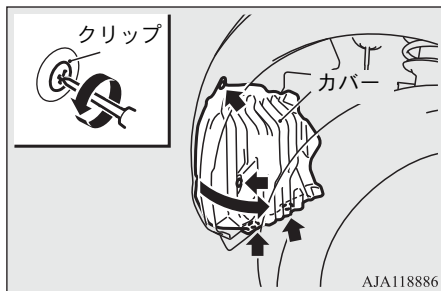


AAZ003524

フロントフォグランプ

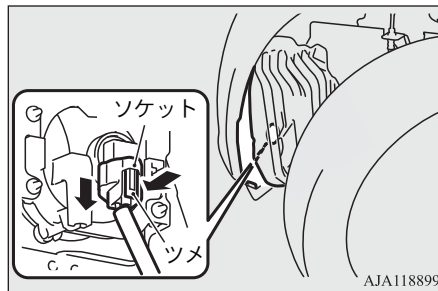
J01403202150

1. 交換したい側のバルブと同じ方向にハンドルをいっぱい回して作業スペースを作ります。
2. クリップ（4箇所）を図の要領で外し、カバーをめくります。



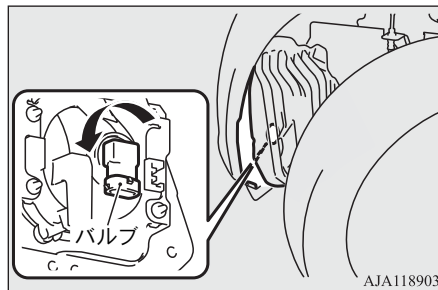
AJA118886

3. ツメを押しながらソケットを引き抜きます。



AJA118899

4. バルブを反時計回りに回して外します。

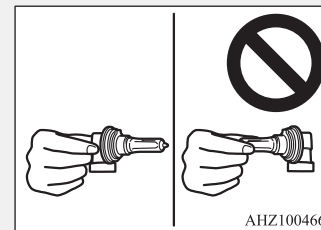


AJA118903

5. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

⚠ 注意

- ハロゲンバルブは、バルブ内の圧力が高いため、落したり、物をぶつけたり、傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
点灯中はバルブの表面が高温になるため、油などが付着すると、点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
バルブの表面に触れたときは、柔らかい布に中性洗剤の3%水溶液を含ませて、油をふき取ってください。

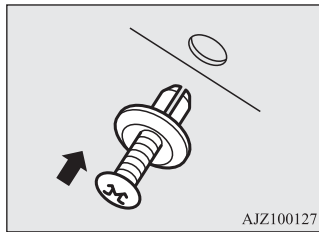


AHZ100466

バルブ（電球）が切れたときは！

アドバイス

- クリップを取り付けるときは図の状態
穴に差し込み、押さえつけます。



AJZ100127

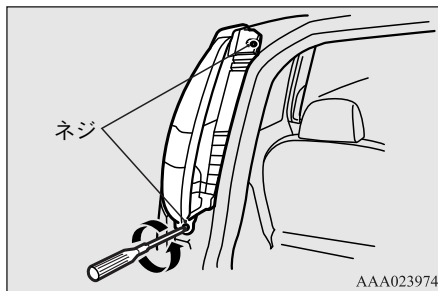
リヤコンビネーションランプ

J01403002002

アドバイス

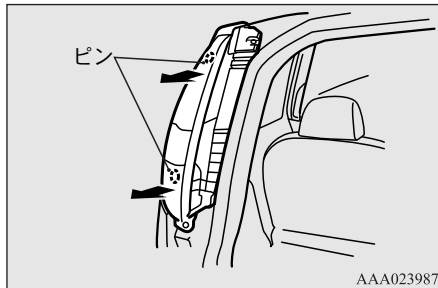
- 制動灯／尾灯はバルブ（電球）ではなく
LED を使用しています。修理・交換の際
は三菱自動車販売会社にご相談ください。

1. ネジ（2箇所）を外します。



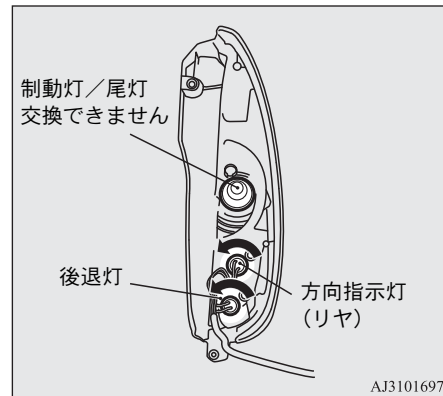
AAA023974

2. ランプ本体のピン（2箇所）を車体側
から外しながら、ランプ本体を取り外
します。



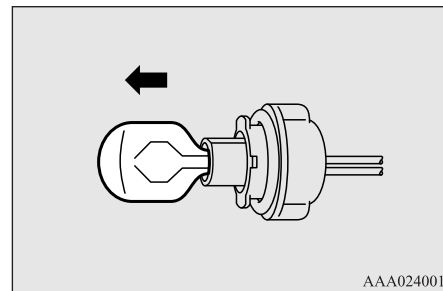
AAA023987

3. ソケットを反時計回りに回して外し
ます。



AJ3101697

4. ソケットからバルブを引き抜きます。



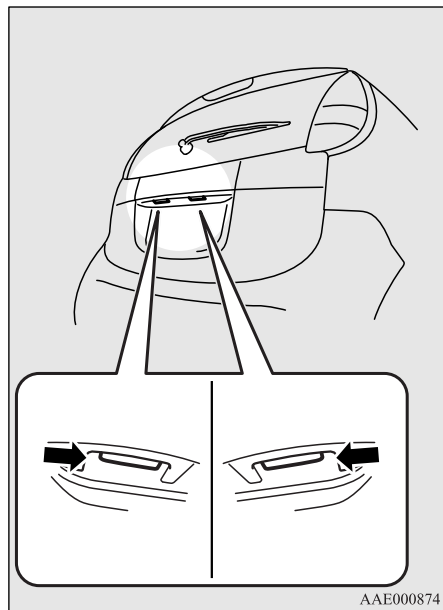
AAA024001

5. 取り付けるときは、取り外したときと
逆の手順で行います。

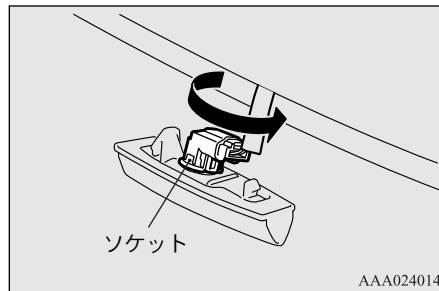
番号灯

J01402601756

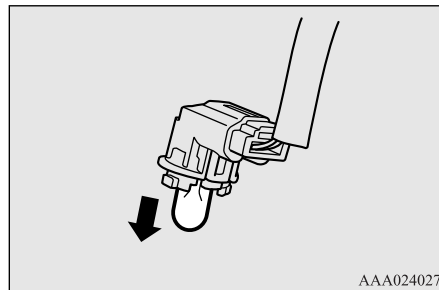
1. 内側に押し込みながら、ランプ本体を浮かせて取り外します。



2. ソケットを反時計回りに回して外します。



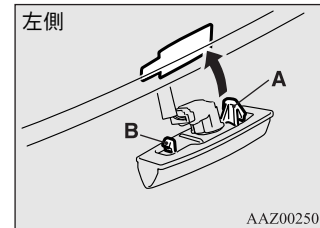
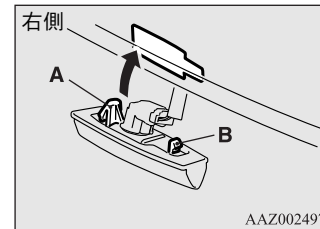
3. ソケットからバルブを引き抜きます。



4. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

- ランプ本体を取り付けるときは、ツメ (A) を先に入れ、ランプ本体を内側に押し込みながらツメ (B) を後で合わせて取り付けます。

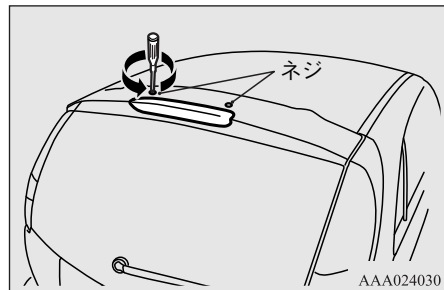


バルブ（電球）が切れたときは！

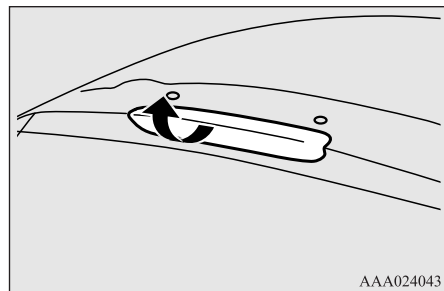
ハイマウントストップランプ

J01402701597

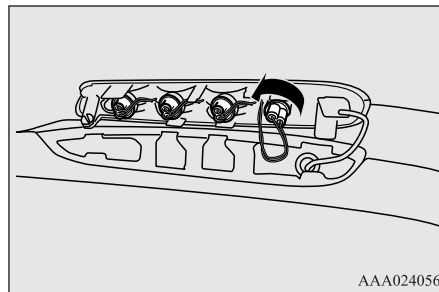
1. ネジ（2箇所）を外します。



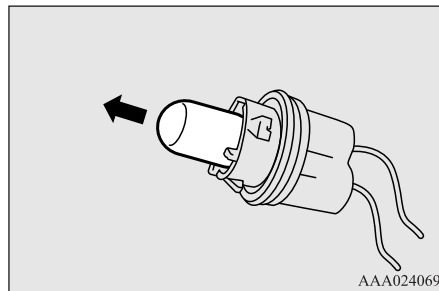
2. ランプ本体を外します。



3. ソケットを反時計回りに回して外します。



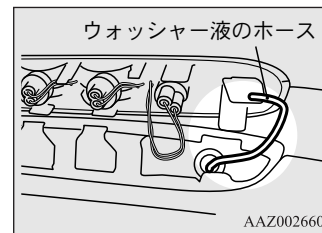
4. ソケットからバルブ（電球）を引き抜きます。



5. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

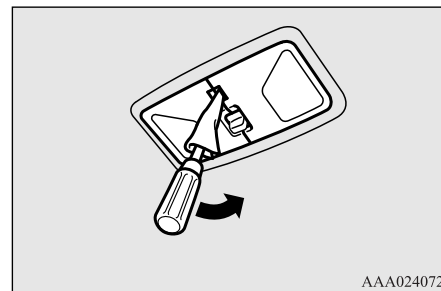
- リヤワイパー付き車は、ランプ本体を取り付けるとき、ウォッシャー液のホースが折れないように確実に取り付けてください。



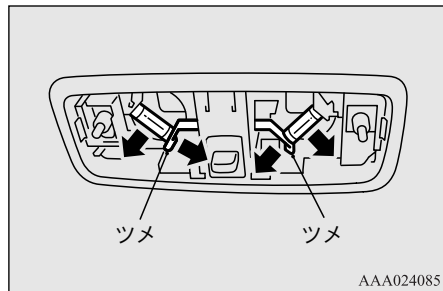
マップ&ルームランプ（フロント）

J01404400634

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで、レンズをこじって外します。



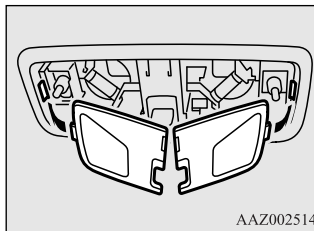
2. ツメを押しながらバルブを取り外します。



3. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

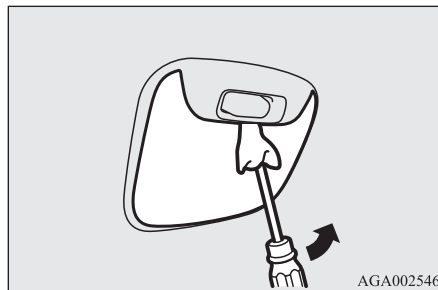
- レンズを取り付けるときは、ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。



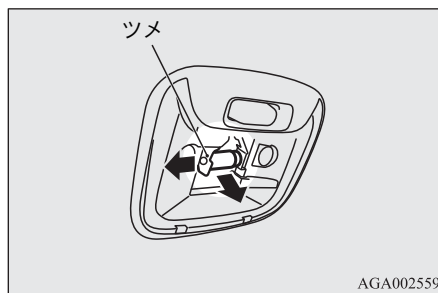
ルームランプ（リヤ）

J01404700291

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをレンズの切り欠き部に差し込んで、レンズをこじて外します。



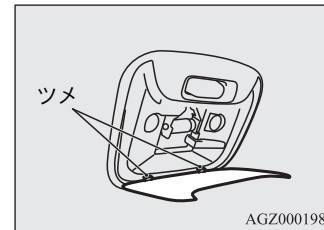
2. ツメを押しながら、バルブを取り外します。



3. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

- レンズを取り付けるときは、ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。





サービスデータ

メンテナンスデータ	16-2
タイヤ, ホイールのサイズ	16-4
タイヤの空気圧	16-5
充電システム仕様	16-6
カスタマイズ (機能の設定変更)	16-7

メンテナンスデータ

J01600101427

- 日常点検、定期点検の内容およびトランスミッションオイルなど油脂類の交換時期については、別冊の「メンテナンスノート」に詳しく記載してありますのでお読みください。
- 車両寸法（全長、全幅、全高）、車両重量については車載の「自動車検査証」をご参照ください。

オイル類の量と種類

J01600602227

項目	容量	使用銘柄
トランスミッションオイル	約 0.75L	三菱自動車純正 ATF SPIII

⚠ 注意

- トランスミッションオイルは、指定の三菱自動車純正ダイヤクイーン ATF を必ずご使用ください。それ以外のオイルを使用すると、トランスミッションが破損するおそれがあります。

項目	容量	使用銘柄
ブレーキ液	所要	三菱自動車純正ブレーキフルードスーパー 4 (DOT4)

冷却水の量と種類

J01600701801

項目	容量	使用銘柄
冷却水	約 5.1L（コンデンスタンク内約 1.1L を含む）	三菱自動車純正スーパーロングライフクーラントプレミアム

温水ヒーター液の量と種類（電気温水式ヒーター付き車）

J01601301093

項目	容量	使用銘柄
温水ヒーター液	約 1.7L（コンデンスタ ンク内約 0.4L を含む）	三菱自動車純正スーパーロングライフクーラントプレミ アム

ウォッシャー液の量と種類

J01600800430

項目	容量	使用銘柄
ウォッシャー液	約 1.9L	三菱自動車純正ウォッシャー液

補機用バッテリーの種類

J01601401821

形式
34B19L

⚠警告

- 補機用バッテリーの＋端子と－端子を間違えないように取り付けてください。
- 補機用バッテリーを取り付けるときは、＋端子から先に接続してください。－端子から先に接続した場合、万一、＋端子が他部品に接触すると火花が発生し、補機用バッテリーが爆発するおそれがあります。
- 駆動用バッテリー充電中に補機用バッテリーを取り外さないでください。
補機用バッテリーは、駆動用バッテリー充電中に自動的に充電されているため、取り外すと感電など、命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

タイヤ、ホイールのサイズ

⚠ 注意

- お客様のお車には専用の補機用バッテリーが搭載されています。このため補機用バッテリーの型式が同じでも、お車に正しく取り付けられないことがあります。補機用バッテリーを交換するときは三菱自動車販売会社に依頼してください。
- 補機用バッテリーを取り外すときは、パワースイッチを LOCK の位置にしてから約 2 分以上経過後に、接続されている＋端子や－端子を取り外してください。パワースイッチを LOCK の位置にした直後に補機用バッテリーの端子を取り外すと電気部品故障の原因となります。また、パワユニット警告灯が点灯しているときは、高電圧部位に異常が発生しています。補機用バッテリーを外さずに、三菱自動車販売会社へご連絡ください。

整備基準値

J01601000471

項目	サービスデータ	
ブレーキペダル	遊び	3~8mm
	踏み込んだときの床板とのすきま（踏力約 500N {約 50kgf}）	60mm 以上
駐車ブレーキ	引きしろ（操作力 200N {20kgf}）	6~7 ノッチ

タイヤ、ホイールのサイズ

J01600201705

タイヤ、ホイールを交換するときは、つぎのことをお守りください。

- 前輪または後輪の左右 2 本のタイヤを同時に交換してください。また、ホイールを交換するときも左右 2 本のホイールを同時に交換してください。
- 指定サイズのタイヤ、ホイールを装着してください。

タイヤ、ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。

⚠ 警告

- タイヤ、ホイールのサイズが前後で異なるため、必ず指定サイズのものを指定位置に取り付けてください。指定サイズ以外のタイヤ、ホイールを使用したり、取り付け位置を間違えると、車の安定性や操縦性が確保できず、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは、安全走行に悪影響をおよぼしますので、避けてください。
- ホイールは、リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも、車体に干渉するため使えない場合があります。お手持ちのものを使われるときは、三菱自動車販売会社にご相談ください。

タイヤ		ホイール
前輪	145/65R15 72S	15×4J (35mm) [100mm] 4 穴
後輪	175/55R15 77V	15×5J (35mm) [100mm] 4 穴

() 内は、オフセット（インセット）量（ホイールの取り付け面とリムの中心との距離）

[] 内は、PCD（ホイール取り付け穴のピッチ円直径）

冬用タイヤなどについても表中のサイズのものをご使用ください。

タイヤの空気圧

J01600300826

タイヤサイズ		空気圧 (kPa {kgf/cm ² })
前輪	145/65R15 72S	250 {2.5}
後輪	175/55R15 77V	

充電システム仕様

J01602001127

普通充電システム	定格電圧	AC 200V (単相)	AC 100V (単相)
	定格周波数	50Hz/60Hz	
	最大定格電流	15A* ¹	10A* ¹
	最大消費電力	3.0kVA* ¹	1.0kVA* ¹
	純正充電ケーブル内蔵コントロールボックス漏電検知電流	20mA	
	充電モード	IEC61851-1 に基づく Mode 2/Case B* ¹ Mode 3/Case C* ²	
急速充電システム	準拠規格	CHAdeMO	
	最大入力電流	125A	
共通	IP 等級	IP44: 充電コネクタが接続されている状態のとき IP55: 充電リッドを閉じて走行している状態のとき	

*¹: 純正コントロールボックス付き充電ケーブル使用時

*²: 公共用および家庭用に市販された充電ケーブル付き普通充電器使用時。
普通充電器の一部は、i-MiEV に対応していないことがあります。

カスタマイズ（機能の設定変更）

J01600402935

つぎの機能をお好みの設定に変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム	キーレスオペレーション 機能で可能な操作 →P.6-3	ドアおよびテールゲートの施錠・ 解錠， およびパワーユニットの起 動	○
		ドアおよびテールゲートの施錠・ 解錠のみ	
		パワーユニットの起動のみ	
	キーレスオペレーションキーまたはキー レスオペレーション機能で， ドアまたは テールゲートを解錠した後， 自動的に施 錠されるまでの時間 →P.6-7, 6-15	ドアおよびテールゲートの施錠・ 解錠， およびパワーユニットの起 動を働かなくする	
		約 30 秒	○
		時間を長くする	

カスタマイズ（機能の設定変更）

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム	キーレスオペレーションキーまたはドア およびテールゲートスイッチで施錠・解 錠したときの非常点滅灯による作動確認 →P.6-7, 6-15	施錠時：1 回点滅 解錠時：2 回点滅	○
		施錠時：1 回点滅 解錠時：点滅しない	
		施錠時：点滅しない 解錠時：2 回点滅	
		施錠時：2 回点滅 解錠時：1 回点滅	
		施錠時：2 回点滅 解錠時：点滅しない	
		施錠時：点滅しない 解錠時：1 回点滅	
	施錠・解錠時の作動確認 ブザーの有無 →P.6-7, 6-15	点滅しない	
		有り	○
		無し	
	ドアを開けずに窓からキーレスオペレー ションキーを持ち出したときのキーレス オペレーションキー持ち出し監視機構の 作動 * ¹ →P.6-11	作動する	
		作動しない	○
	施錠後のテールゲート OPEN スイッチに よる施錠確認時間 →P.6-7	約 3 秒	○
		約 5 秒	
		無し	

*¹: ドアを開閉してキーレスオペレーションキーを車内から持ち出したときの監視機構は、作動しないように変更することはできません。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
ドアミラー	自動格納・復帰の条件 →P.9-3	車速約 30km/h 以上で復帰	○
		パワースイッチに連動（ON で復帰，OFF で運転席ドアを開くと格納）	
		キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムによるドアのロック・アンロックに連動（ロックで格納，アンロックで復帰）	
		自動格納・復帰しない	
セキュリティアラーム *2	システムの設定 →P.6-22	警報作動する	
		警報作動しない	○
センタードアロック	パワースイッチが ON のときにセレクトレバーを P に入れると解錠 →P.6-19	解錠する	
		解錠しない	○
パワースイッチ	パワースイッチが ACC のときに自動的に電源をカットする機能 →P.9-5	30 分後にカットする	○
		電源をカットしない	
半ドア警告	半ドアのまま走行したときの，ブザーによる警告 →P.8-13	警告する	○
		警告しない	
		連続して警告する	

*2：お客様自身でもカスタマイズ（機能の設定変更）可能です。

→「システム作動の設定変更のしかた」 P.6-23

カスタマイズ（機能の設定変更）

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
ヘッドライト	自動点灯のタイミング （オートライトコントロールセンサーの感 度調整） →P.8-15	標準	○
		点灯を早くする	
		点灯を遅くする	
	ヘッドライトオートカット機能（自動消 灯） →P.8-15	作動する	○
		作動しない	
	降車後照明として利用するときのライト スイッチの位置 →P.8-16	③のみ	○
		③と④	
方向指示灯	車線変更時の 3 回点滅機能 →P.8-18	作動する	○
		作動しない	
	車線変更時の 3 回点滅機能が作動するま でのレバー操作時間 →P.8-18	短い	○
		長い	
	方向指示灯の点滅に合わせて断続的に鳴 るブザー音	標準	○
		音色を変更する	
フロントワイパー	車速感応 →P.8-20	ON	○
		ON または ACC	
		有り	○
		無し	

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
リヤワイパー	間けつ作動時間 →P.8-22	約 8 秒	○
		時間を短くする *3	
		時間を長くする *3	
		連続作動にする	
フロント・リヤウォッシャー	ウォッシャー液を噴射させたときのワイパー作動 →P.8-21, 8-22	連動する	○
		連動しない	
ルームランプ	すべてのドアおよびテールゲートを閉じたときに消灯するまでの時間（遅延消灯） →P.10-3, 10-5	約 15 秒	○
		時間を短くする	
		時間を長くする	
		遅延消灯機能を働かなくする	
	ルームランプのスイッチが中間 (●) または DOOR 位置で点灯し続けたとき、自動的に消灯するまでの時間（自動消灯） →P.10-3, 10-5	約 30 分	○
		自動消灯機能を働かなくする	
充電中のエアコン	普通充電または急速充電中にエアコンを作動させる機能 →P.11-21	作動する	
		作動しない	○

*3：連続作動モードあり

→「リヤワイパー／ウォッシャースイッチ」P.8-22



A	INT 8-21	アクティブスタビリティコントロール (ASC)..... 9-17
ABS(アンチロックブレーキシステム) ... 9-15	ISO FIX対応チャイルドシート 7-13	アシストグリップ..... 10-8
ABS警告灯 9-15	L	アンチロックブレーキシステム(ABS).... 9-15
ASC OFF スイッチ(アクティブスタビリティコントロールオフスイッチ).. 9-18	LEDヘッドライト警告灯 8-17	ABS 警告灯 9-15
ASC OFF 表示 9-18	M	アンテナ
ASC(アクティブスタビリティコントロール)..... 9-17	MiEV リモートシステム 5-26	ルーフアンテナ 12-2
ASC 警告表示 9-19	MiEV リモコン..... 5-28	
ASC 作動表示 9-18	MIST 8-21	イ
E		ISO FIX 対応チャイルドシート 7-13
EPS(電動パワーステアリング) 9-16	R	
警告灯 9-16	READY(走行可能)表示灯 8-11	ウ
I	S	ウインカー(方向指示レバー) 8-18
i-MiEV	SRS エアバッグ 7-20	ウインドウガラスのお手入れ..... 13-6
主な特長..... 2-2	SRS エアバッグ警告灯 7-12, 7-25	ウォッシャー
駆動用バッテリー 2-2	SRS カーテンエアバッグ 7-24	ウォッシャー液 16-3
航続可能距離..... 2-3		ウォッシャー液の点検・補給 13-2
極寒時の注意事項と対処方法 2-7	W	フロントウォッシャースイッチ.. 8-21
酷暑時の注意事項と対処方法 2-6	W(ワット)数 15-36, 15-37	リヤウォッシャースイッチ 8-22
車両接近通報装置 2-3	ア	運転のしかた 9-11
充電中またはプレ空調中の作動音について 2-4	アクセサリソケット 10-2	走行 9-11
万一、事故が起きたときは 2-4		駐車 9-13
		停車 9-12
		発進 9-11

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。

S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

工

ASC(アクティブスタビリティコントロール).....	9-17
エアコン.....	11-4
エアコンの上手な使い方.....	11-20
クリーンエアフィルター.....	11-20
充電中のエアコンの使い方.....	11-21
吹き出し口.....	11-2
エアバッグ.....	
SRS エアバッグ.....	7-20
SRS エアバッグ警告灯.....	7-12, 7-25
SRS カーテンエアバッグ.....	7-24
ABS.....	9-15
ASC OFF 表示.....	9-18
ASC 警告表示.....	9-19
ASC 作動表示.....	9-18
ACC電源オートカット機能.....	9-5

オ

オートライトコントロール.....	8-15
お手入れ.....	
ウインドウガラス.....	13-6
樹脂部品.....	13-7
洗車.....	13-5
塗装の補修.....	13-7
本革.....	13-5
ワイパー.....	13-7

ワックス.....	13-6
オドメーター(積算距離計).....	8-3
主な特長(i-MiEV).....	2-2
温水ヒーター液.....	16-3

カ

カードホルダー.....	10-2, 10-6
回生ブレーキ.....	2-2, 3-12
警告灯.....	8-12
回生レベルセクター(パドル式).....	9-9
外装品のお手入れ.....	13-5
カスタマイズ(機能の設定変更).....	16-7
カップホルダー.....	10-8
ガレージジャッキ.....	15-14
寒冷時の取り扱い.....	14-2

キ

キー.....	6-2
エマージェンシーキー.....	6-12
キーレスオペレーションシステム.....	6-3
機能の設定変更(カスタマイズ).....	16-7
急速充電.....	5-16

ク

区間距離計(トリップメーター).....	8-3
----------------------	-----

駆動用バッテリー残量計.....	8-9
駆動用バッテリー残量警告灯.....	8-9
曇り取り リヤウインドウデフォグガースイッチ.....	8-22

クラクション(ホーンスイッチ).....	8-23
クリーンエアフィルター.....	11-20, 13-3
グローブボックス.....	10-6
カードホルダー.....	10-6

ケ

警告灯.....	8-10, 8-12
ABS 警告灯.....	9-15
SRS エアバッグ警告灯.....	7-12, 7-25
LED ヘッドライト警告灯.....	8-17
回生ブレーキ力警告灯.....	8-12
駆動用バッテリー残量警告灯.....	8-9
シートベルト警告灯.....	7-10
電動パワーステアリング警告灯..	9-16
パワーダウン警告灯.....	8-13
パワーユニット警告灯.....	8-13
半ドア警告灯.....	8-13
プリテンショナー機構警告灯.....	7-12, 7-25
ブレーキ警告灯.....	8-12
ヘッドライトオートレベリング警告灯.....	8-18
補機用バッテリー充電警告灯.....	8-13
警告表示.....	

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。

S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ASC 警告表示.....	9-19
けん引.....	15-29

コ

交換	
クリーンエアフィルター.....	13-3
タイヤ.....	15-22
電池 (MiEV リモコン).....	5-40
電池 (キーレスオペレーションキー).....	6-17
バルブ (電球).....	15-37
ヒューズ.....	15-33
工具.....	15-11
航続可能距離表示.....	8-3
後退灯	
バルブ (電球) の交換.....	15-46
バルブ (電球) のワット数.....	15-36
極寒時の注意事項と対処方法.....	2-7
酷暑時の注意事項と対処方法.....	2-6
小物入れ.....	10-6
グローブボックス.....	10-6
シークレットボックス.....	10-7

サ

サービスデータ.....	16-2
サービスリマインダー.....	8-3, 8-5
三角表示板(停止表示板).....	15-10

サンバイザー.....	10-2
カードホルダー.....	10-2
パニティーミラー.....	10-2

シ

シークレットボックス.....	10-7
シート.....	7-2
シートヒーター.....	7-4
チャイルドシート.....	7-12
フロントシート.....	7-2
ヘッドレスト.....	7-6
リヤシート.....	7-5
シートベルト.....	7-8
3点式シートベルト.....	7-9
シートベルト警告灯.....	7-10
プリテンショナー機構/フォースリミッター機構付シートベルト.....	7-11
室内灯.....	10-3
マップ&ルームランプ (フロント).....	10-3, 15-37, 15-48
ルームランプ (リヤ).....	10-5, 15-37, 15-49
ジャッキ.....	15-11
ジャッキアップ.....	15-13
車幅灯.....	8-14
バルブ (電球) の交換... ..	15-37, 15-42, 15-43
バルブ (電球) のワット数.....	15-36

車幅灯表示灯.....	8-11
車両重量.....	S
車両寸法.....	S
車両接近通報装置.....	9-13
充電.....	5-2, 5-3
急速充電.....	5-16
普通充電.....	5-4
普通充電ケーブル.....	5-6
充電中のエアコンの使い方.....	11-21
充電トラブルシューティングガイド.....	5-21
修理の連絡先.....	M
樹脂部品のお手入れ.....	13-7

ス

スタビリティコントロール機能.....	9-17
スピードメーター.....	8-2

セ

制動灯	
バルブ (電球) の交換.....	15-46
バルブ (電球) のワット数.....	15-36
積算距離計(オドメーター).....	8-3
セキュリティアラーム.....	6-22
セクターレバー.....	9-6
セクターレバー位置表示.....	9-7

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。

S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

さくいん

セクターレバーの動かし方	9-6
セクターレバー位置表示	9-7
洗車	13-5
センタードアロック	6-19

タ

タイマー充電	5-32
タイヤ	
空気圧	16-5
空気圧の点検・調整	13-3
交換	15-22
タイヤ、ホイールのサイズ	16-4
タイヤチェーン	14-4
タイヤの摩耗	13-2
タイヤメンテナンス	13-2
タイヤローテーション	13-2
パンクタイヤ応急修理キット ...	15-15

チ

チェーン	14-4
チャイルドシート	7-12
助手席へのチャイルドシート取り付け 時の注意	7-13
チャイルドプロテクション(後席ドア安 全施錠装置)	6-20
駐車ブレーキ	
駐車ブレーキ	9-2, 16-4
ブレーキ警告灯	8-12

テ

テールゲート	6-20
テールランプ(尾灯)	8-14
バルブ(電球)の交換	15-46
バルブ(電球)のワット数	15-36
定期点検	M
停止表示板	15-10
電球(バルブ)	15-37
点検・整備をするときは	3-2
電動パワーステアリング	9-16
電動パワーステアリング警告灯 ..	9-16

ト

ドア	6-17
施錠・解錠	6-18
センタードアロック	6-19
チャイルドプロテクション(後席ドア 安全施錠装置)	6-20
テールゲート	6-20
ドアミラー	9-3
ヒートッドアミラー	9-4
トラクションコントロール機能	9-17
トランスミッション	
トランスミッションオイル	16-2
トリップメーター(区間距離計)	8-3

ナ

内装品のお手入れ	13-4
----------------	------

ニ

日常点検	M
------------	----------

ハ

パーキングブレーキ(駐車ブレーキ) ..	9-2
排気量	S
ハイドロプレーニング現象	3-11
ハイマウントストップランプ	
バルブ(電球)の交換	15-48
バルブ(電球)のワット数	15-36
ハザードランプ(非常点滅灯)	8-19
バルブ(電球)の交換 ..	15-37, 15-42, 15-44, 15-46
バルブ(電球)のワット数	15-36
発炎筒	15-11
バックミラー(ルームミラー)	9-2
バックランプ(後退灯)	
バルブ(電球)の交換	15-46
バルブ(電球)のワット数	15-36
バッテリー	
駆動用バッテリー	5-3
補機用バッテリー	16-3
バッテリーについて	5-3

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。

S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

パドル(回生レベルセクター)	9-9
パニティーミラー	10-2
バルブ(電球)	
交換	15-37
ワット数	15-36, 15-37
パワーウインドウ	6-27
パワースイッチ	6-9, 6-13, 9-4
パワーステアリング	
電動パワーステアリング	9-16
電動パワーステアリング警告灯..	9-16
パワーダウン警告灯	8-13
パワーメーター	8-2
パワーユニット起動のしかた..	6-9, 6-10, 6-15, 9-5
パワーユニット警告灯	8-13
パワーユニット点検口	6-30
パワーユニットルーム	1-6
パンクタイヤ応急修理キット	15-15
番号灯	
バルブ(電球)の交換	15-47
バルブ(電球)のワット数	15-36
半ドア警告灯	8-13

ヒ

ヒーテッドドアミラー	9-4
非常点滅灯	

バルブ(電球)のワット数	15-36
非常点滅スイッチ	8-19
非常点滅表示灯	8-11
尾灯	
バルブ(電球)の交換	15-46
バルブ(電球)のワット数	15-36
ヒューズ	15-32
交換	15-33
ヒューズボックス	15-32
表示	
ASC OFF 表示	9-18
ASC 警告表示	9-19
ASC 作動表示	9-18
表示灯	8-10, 8-11
キーレスオペレーションシステム表示灯	6-11
車幅灯表示灯	8-11
充電ランプ	8-11
セキュリティインジケーター ..	6-22
セクターレバー位置表示	9-7
非常点滅表示灯	8-11
フロントフォグランプ表示灯	8-11
ヘッドライト上向き表示灯	8-11
方向指示表示灯	8-11
READY(走行可能)表示灯	8-11
日よけ(サンバイザー)	10-2

フ

フォグランプ	
バルブ(電球)の交換	15-45
ブザー	
ブレーキ警告ブザー	8-12
ライト消し忘れブザー	8-17
普通充電	5-4
普通充電ケーブル	5-6
プリテンショナー機構/フォースリミッター機構付シートベルト	7-11
プリテンショナー機構警告灯 ..	7-12, 7-25
ブレーキ	
アンチロックブレーキシステム(ABS) ..	9-15
制動灯(尾灯)	15-36
ブレーキ液	16-2
ブレーキ液量の点検・補給	M
ブレーキ警告灯	8-12
ブレーキ警告ブザー	8-12
ブレーキパッドの摩耗	15-32
ブレーキアシスト	9-14
ブレーキ警告ブザー	8-12
ブレーキランプ(制動灯)	
バルブ(電球)の交換	15-46
バルブ(電球)のワット数	15-36
ブレ空調	5-26, 5-38, 11-22
フロアマット	10-8

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。

S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

さくいん

フロントウォッシャースイッチ	8-21
フロントシート	7-2
シートヒーター	7-4
フロントフォグランプ	
バルブ（電球）の交換	15-45
フロントフォグランプスイッチ ..	8-19
フロントフォグランプ表示灯	8-11
フロントワイパースイッチ	8-20

へ

ヘッドライト	8-14
バルブ（電球）の交換 .. 15-37, 15-42, 15-43	
バルブ（電球）のワット数	15-36
ヘッドライト上向き表示灯	8-11
ヘッドライトオートレベリング ..	8-18
ヘッドライトオートレベリング警告灯	8-18
ヘッドレスト	7-6

ホ

ホーンスイッチ	8-23
ホイール	
タイヤ、ホイールのサイズ	16-4
ホイールカバー	15-25
方向指示灯	
バルブ（電球）の交換 .. 15-37, 15-42, 15-44, 15-46	

バルブ（電球）のワット数	15-36
方向指示表示灯	8-11
方向指示レバー	8-18
補機用バッテリー上がり	15-26
補機用バッテリー液量の点検・補給 M	
補機用バッテリー充電警告灯	8-13
ポジションランプ（車幅灯）	8-14
バルブ（電球）の交換... 15-37, 15-42, 15-43	

バルブ（電球）のワット数	15-36
ボンネット	6-29
ボンネットルーム	1-6

マ

マップランプ	10-3, 10-4
バルブ（電球）の交換	15-48
バルブ（電球）のワット数	15-37
万一、事故が起きたときは	2-4

ミ

ミラー	
ドアミラー	9-3
パニティーミラー	10-2
ヒートドドアミラー	9-4
ルームミラー	9-2

メ

メーター	
オドメーター（積算距離計）	8-3
駆動用バッテリー残量計	8-9
スピードメーター	8-2
トリップメーター（区間距離計） ..	8-3
パワーメーター	8-2
メンテナンスデータ	16-2

ラ

ライセンスランプ（番号灯）	8-14
バルブ（電球）の交換	15-47
バルブ（電球）のワット数	15-36
ライトスイッチ	8-14
ランプ	
バルブ（電球）の交換	15-37
フロントフォグランプ	15-45
ワット数	15-36, 15-37

リ

リヤウインドウデフォグガー（曇り取り）	
スイッチ	8-22
リヤウォッシャースイッチ	8-22
リヤコンビネーションランプ	
バルブ（電球）の交換	15-46
バルブ（電球）のワット数	15-36
リヤシート	7-5

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。

S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

リヤワイパー／ウォッシャースイッチ ...
8-22

ル

ルームミラー 9-2
 ルームランプ(室内灯) 10-3, 10-5
 バルブ(電球)のワット数 15-37
 ルームランプ(フロント) 10-3
 バルブ(電球)の交換 15-48
 バルブ(電球)のワット数 15-37
 ルームランプ(リヤ) 10-5
 バルブ(電球)の交換 15-49
 バルブ(電球)のワット数 15-37

レ

冷却水 16-2
 冷却水量の点検・補給 **M**
 READY(走行可能)表示灯 8-11

ワ

ワイパー
 お手入れ 13-7
 フロントワイパースイッチ 8-20
 リヤワイパースイッチ 8-22
 ワックス 13-6
 ワット数(バルブ) 15-36, 15-37

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。

S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。



純正品のおすすめ

- お客様のお車に最適な純正品をご使用ください。
- 純正品は、厳しい検査に合格し、その品質が保証されています。
また、三菱自動車販売会社を通じてお求めになれます。
- 新車時の性能と快適な乗り心地を長く維持していただくために、点検や交換の際は、三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 三菱自動車指定の純正品や油脂類以外のものを使用すると、故障などの原因になることがあります。
- 純正品にはこのマークが貼ってあります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

事故が起きたときは！

あわてずにつぎの処置をしてください。

● 続発事故防止

続発事故を防ぐため、車を路肩などの安全な場所に移動させ、パワースイッチを LOCK にします。その他に漏電や感電防止の処置も必要です。
詳しくは「i-MiEV を正しく理解していただくために：万一、事故が起きたときは」をお読みください。

→P.2-4

● 負傷者の救護

- ・医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。
この場合、とくに頭部に傷などがあるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、続発事故のおそれがあるときは安全な場所に移動させます。
- ・外傷がなくても医師の診断を受けてください。
後になってから後遺症が出るおそれがあります。

● 警察への届け出

事故が発生した場所、状況および負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し指示を受けます。

● 相手方の確認とメモ

相手方の氏名、住所、電話番号を確認し、事故の状況をメモします。

● ご購入された販売会社と保険会社への連絡

万一にそなえて

安心のため、自賠責保険（強制保険）のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。
詳しくは三菱自動車販売会社へご相談ください。